

K O M A Z A W A

2000 (平成12) 年度

# 講義内容

---

国文科 英文科 放射線科  
専攻科(放射線技術科学専攻)  
仏教科

 駒澤短期大学

# 講 義 內 容

## 目 次

### 国文科・英文科・放射線科

1. 専門教育科目		
(1) 国 文 科 .....		9
(2) 英 文 科 .....		63
(3) 放 射 線 科 .....		133
2. 他学部履修科目 .....		183
3. 「日本語」・「日本事情」科目 .....		265
4. 教職課程・資格講座科目 .....		283

専 攻 科 (放射線技術科学専攻) … 309

仏 教 科 (-夜間開講-)

1. 専門教育科目 .....		325
2. 他学部履修科目 .....		345
3. 仏教学部開設科目 .....		375

国文科	専門	国文科
	教育	英文科
英文科	放射線	放射線科
	科目	他学部履修科目
放射線科	放射線	日本語・日本事情科目
	科目	教職資格講座
専攻科	放射線	放射線技術科学専攻
仏教科	専門	専門教育科目
(夜間開講)	他学部	他学部履修科目
	履修科目	仏教学部開設科目



国文科・英文科・放射線科



# 1. 專門教育科目

## (1) 国 文 科



# 1. 専門教育科目

## (1) 国 文 科

古 典 文 法	〈萩原義雄〉	9
古 典 文 法	〈片山晴賢〉	11
国語演習 I	〔平成9年度以前入学生：国文演習 I〕〈片山晴賢〉	11
国語演習 I	〔平成9年度以前入学生：国文演習 I〕〈萩原義雄〉	12
国 文 演 習 I	〈石割透〉	13
国 文 演 習 I	〈岡本恭子〉	13
国 文 演 習 I	〈小林治〉	14
国 文 演 習 I	〈坂口博規〉	14
国 文 演 習 I	〈佐原作美〉	15
国 文 演 習 I	〈鈴木裕子〉	15
国 文 演 習 I	〈清田啓子〉	16
国 文 演 習 I	〈蘭部幹生〉	16
国 文 演 習 I	〈松田直行〉	17
国語演習 II	〔平成9年度以降入学生適用：国文演習 II〕〈片山晴賢〉	17
国語演習 II	〔平成9年度以前入学生適用：国文演習 II〕〈萩原義雄〉	18
国 文 演 習 II	〈石割透〉	19
国 文 演 習 II	〈岡本恭子〉	19
国 文 演 習 II	〈小林治〉	20
国 文 演 習 II	〈坂口博規〉	20
国 文 演 習 II	〈佐原作美〉	21
国 文 演 習 II	〈鈴木裕子〉	21
国 文 演 習 II	〈清田啓子〉	22
国 文 演 習 II	〈蘭部幹生〉	22
国 文 演 習 II	〈松田直行〉	23
上代文学史	〔平成9年度以前入学生：国文学史 I〕〈佐原作美〉	23
中古文学史	〔平成9年度以前入学生：国文学史 I〕〈鈴木裕子〉	24
中世文学史	〔平成9年度以前入学生：国文学史 I〕〈岡本恭子〉	24
近世文学史	〔平成9年度以前入学生：国文学史 I〕〈清田啓子〉	25
近代文学史	〔平成9年度以前入学生：国文学史 II〕〈井上優〉	26
現代文学史	〔平成9年度以前入学生：国文学史 II〕〈小林治〉	27
国 文 学 概 論	〈坂口博規〉	27
国 語 学	〈前期：片山晴賢〉	28
	〈後期：奥原淳子〉	
中 国 文 学 講 読	〈清水浩子〉	28
上代文学講読	〔平成9年度以前入学生：国文講読 I（上代）〕〈佐原作美〉	29
中古文学講読	〔平成9年度以前入学生：国文講読 II（中古）〕〈鈴木裕子〉	29
中世文学講読	〔平成9年度以前入学生：国文講読 III（中世）〕〈蘭部幹生〉	30
近世文学講読	〔平成9年度以前入学生：国文講読 IV（近世）〕〈越後敬子〉	30
近代文学講読	〔平成9年度以前入学生：国文講読 V（近・現代）〕〈石割透〉	31
現代文学講読	〔平成9年度以前入学生：国文講読 V（近・現代）〕〈松田直行〉	32
原 典 講 読	〈岡本恭子〉	33
国 語 史	〈萩原義雄〉	33
口 語 文 法	〈前期：萩原義雄〉	34
	〈後期：奥原淳子〉	



中国文学史	〈清水浩子〉	34
中和歌文学	〈坂口博規〉	35
物語文学 I	〈佐原作美〉	35
物語文学 II	〈藺部幹生〉	36
説話文学	〈藺部幹生〉	36
日記文学	〈岡本恭子〉	37
歴史文学	〈藺部幹生〉	37
連歌・俳諧	〈越後敬子〉	38
近代詩	〈井上優〉	39
児童文学	〈吉田司雄〉	40
古典戯曲演劇	〈清田啓子〉	40
近代戯曲演劇	〈松田直行〉	41
比較文学入門	〈石割透〉	41
女性史入門	〈高嶋めぐみ〉	42
文芸創作	〈松田直行〉	42
文職実論	〈大塚英子〉	43
文化概論	〈佐原作美・井上優・川上順子・佐藤憲昭・茂野隆晴・末藤美津子・高嶋めぐみ〉	44
周縁芸術 I	〈小林治〉	44
周縁芸術 II	〈石割透〉	45
国文学特殊研究	〈佐原作美・小林治・坂口博規・鈴木裕子〉	45
上代文学研究	〈川上順子〉	46
中古文学研究	〈鈴木裕子〉	46
中世文学研究	〈坂口博規〉	47
近世文学研究	〈清田啓子〉	47
近・現代文学研究	〈松田直行〉	48
国語学研究	〈片山晴賢〉	48
書道実習 I	〈那須隆吉〉	49
書道実習 II	〈那須隆吉〉	49
情報処理解	〈中原誠〉	50
応用情報処理解	〈中原誠〉	51
表現現法	〈笹瀬王子〉	51
編集実務	〈長谷川孝〉	52
ジャーナリズム研究	〈簇野寿雄〉	52
秘書概論	〈森本正恵〉	53
秘書実務	〈森本正恵〉	54
卒業研究 I	〈清田啓子〉	55
卒業研究 II	〈石割透〉	55
卒業研究 III	〈片山晴賢〉	56

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典文法	はぎ 原 よし 雄	短国1必	4

講義のねらい

古典文法の学習を進めていくこととなる。たとえていうならば、「湧きいづる乾坤の一滴の雫が山を下り、瀧・岩瀬の川を縦横無尽に流れ、逆巻く激流青どんぶらに身を委ねやがては広大な大海にたどり着く。まさに、“ことばの海”への旅立ちなのである。」ここで長期欠席者に対する最大の苦しみは、「淀み」にはまって時の流れのなかで意外と速度を誤ることにある。学習意識が薄れ、つまずきそうになったら、いつでもヘルプのサインを私に出すことである。こちらも、「溺れる子は藁にも縋る」ではないが、常に警告のカードと学習意識度を再認識する逆モードによる確認を促す意味で個々に質問対応する構えである。この科目での最大の学習はことばの理會であり、創造力と感性を豊かに育むことにある。まさに「継往開来」の精神を宿していきたい。悠優たることばの学びは、古典が現代の私たちに多様なことばの羅を教導する。この教導を実践することでことばの自己啓発が生まれてくることを自らの志で実感していただきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

名詞

- 和語名詞
- 漢語名詞
- 混種語名詞
- 数名詞
- 代名詞
- 固有名詞 (人名・地名・歌名など)

動詞の分類

- 動詞の活用語尾からみた語の成分機能
- 単純和語動詞
- 複合動詞
- サ変動詞 漢語サ変動詞と和語サ変動詞

形容詞と形容動詞

- 色彩感覚の形容表現
- 音調感覚の形容表現
- 量語形容表現

副詞

- 象徴語表現
- 呼応の副詞表現

感動詞

接続詞

助詞

助動詞

- 否定表現 (「ず」と「ぬ」)
- 肯定表現
- 推量表現

敬意表現

句表現

文表現

文章表現

といった内容について、実際の作品データから該当語の表現を多く取り込み、検討を重ねていく。データ量の増大に伴いコンピュータ機器の使用が望ましいので、各自使用方法をマスターする意味からも情報センター室の機器利用を促進するとともに個人利用の高い連動機器などを含めた使用方法についても十二分に検討する。

[年間講義スケジュール表とその講義内容題目]

- |          |  |
|----------|--|
| 4月～5月連休前 | ①コンピュータ機器利用による文法学習とは、どのようなものか?<br>②実際体験学習(インターネットの利用方法とその恣意性・思考性を探る) |
| 5月中旬     | ③テキストデータへの挑戦!<br>④データの仕組みを文法学的に理解してみよう                               |
| 5月下旬     | ⑤ネーミングということばの成立過程と断続性とその展開性について                                      |
| 6月       | ⑥ことばの仕組み(逆引き検索による上接語と下接語の関係について)                                     |
| 7月       | ⑦形容表現<br>⑧象徴語表現  |
| (夏休み)    | ⑨電子メールで、故郷・旅先などの各地に伝わる和歌・連歌・俳諧語の文                                    |

	構造を楽しんでみよう。
9月下旬	⑩感動表現
	⑪接続語の利用度合いについて
10月	⑫助詞について(係助詞による文末表現)
	⑬助詞「は」と「が」
	⑭副助詞・終助詞・格助詞・接続助詞
11月	⑮助動詞について
12月	⑯敬意表現(複助動詞)
	⑰句表現(慣用句によることばの言いまわし)
<冬休み>	⑱レポート提出
	主題目「古典作品資料『○○』による○○」について
1月	⑲レポートがうまく書けない人のためにワンポイントアドバイス

教科書

講義に使用する古典作品資料について

竹取物語 (FD版)  
 伊勢物語 (歌物語 FD版)  
 大和物語 (歌物語 FD版)  
 平中物語 (歌物語 FD版)  
 源氏物語 (渋谷栄一さん作成・公開資料)  
 今昔物語集 (鈴鹿本京都大学付属図書館公開資料)  
 宇治拾遺物語 (私家版・情報言語研究室公開資料)  
 大鏡 (目下作成中)  
 平家物語 (目下作成中)  
 徒然草 (私家版烏丸本)  
 選集抄 (私家版松平文庫本・情報言語研究室公開資料)  
 仮名書き法華経 (私家版西来寺本・FD版)  
 正法眼蔵 (私家版乾坤本・FD版)  
 吾妻鏡 (目下作成中)  
 太平記 (CD-ROM版)

上記、古典作品資料データベース・テキスト版を使用する。使用に際しては、適宜ファイルデータ資料を管理するうえで、容量に応じた各10枚程(500円ぐらい)のFDを各自が用意されたい。

その他

PC機器利用による電子教科書(4月の①でFD購入配布。業者依頼による。)を使用するため、常に進行表に従い、各自が講義内容項目の箇所を紙出して講義に臨まれたい。もしくはPC機器の持ち込みによる対応でも良い。

<http://www.komazawa.com/hagi> における短大「伝言板」にて即時対応していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古典文法	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国1必	4

講義のねらい	古典読解に役立つ文法理論を展開する。
講義の内容・授業スケジュール	前期は日本語の特質・文法学説史の講義を中心として、後期は古典語の助詞・助動詞を中心とした授業となる。
履修上の留意点	予習・復習を怠らず、毎時間『古語辞典』を持参すること。
成績評価の方法	出席状況・定期試験・小テストをもとに総合的に評価する。
教科書	『国文法要説』文語篇(おうふう)1,500円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習Ⅰ	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	10以降入学生/短国1選必	2
国文演習Ⅰ		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい	国語学研究の基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。
講義の内容・授業スケジュール	それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。
履修上の留意点	演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。
成績評価の方法	レポートにより成績を評価する。
教科書	必要に応じてコピーを配布する。
参考書等	授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習Ⅰ	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	10以降入学生/短国1選必	2
国文演習Ⅰ		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

明治時代の国語辞書である大槻文彦編『大言海』を読んでいく。読むというより、どのようなことばが収録されていて、どのように意味解説され、用例をどのように掲載しているのかを考察していくのである。この近代国語辞書を繙くとき、常に考えておきたいことは、近代から現代へと変遷する時代の流れのなかで古語と新語そして常語という多くのことばがどう生かされてきたのか文学資料・新聞、雑誌記事そして現代の国語辞書などへの影響をも見ていくことにある。ことばを常に意識していくことで、現実をもっともっと具現化できるに違いない。時には頭上高く舞い上がる鳥の目で見、ときには、地を這うような蟻の目で物事を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 編纂者大槻文彦と周囲の人々について
  - ② 辞書編纂における意図するところは
  - ③ 辞書の凡例内容を分析する
  - ④ 見出し語項目別によることばの数量的統計化について
  - ⑤ 意義分類項目別によるおのおのことばの意味記述の特徴について
  - ⑥ 逆引きによることばの理解とその検索方法
  - ⑦ 品詞別項目によることばの意味理解とコード化分類
  - ⑧ シソーラス形式による類義語の効用
  - ⑨ 異名・別名・別称の記述の有無
  - ⑩ ことばの語源探求は、如何に解明されてきているか？
  - ⑪ 引用用例と典拠とした書籍について
  - ⑫ 『大言海』引用の研究論文資料の確認
- 以上、12項目について検討を重ねていく。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
- 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り  
本格的に作業確立のための資料準備  
分析「ことば」に基づく旅立ち調査とその方法  
(夏休みを大いに利用しよう)
- 9月下旬 調査結果の報告書の作成
- 10月以降 結果報告を公開発表
- 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえる形で提出発表していく。個人が分析することばの数を100語として、一語ずつ評価する。

教科書

私家版『大言海』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開中。FD4枚程度 URL <http://www.komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参考書等

大槻文彦『大言海』初版から現代版まで(富山房)他国語辞書。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	いしわりとある 石割透	10以降入学生/短国1選必	2
		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい	夏目漱石の小説を多様な側面から細かく読み、検討する。
講義の内容・授業スケジュール	それぞれ、時間ごとに発表者を決め、その発表に基づいて授業を進めていく。
履修上の留意点	受講者は、発表者に限らず、必ず扱う作品を細かく読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法	評価は、それぞれの発表と、それを更に深めた内容にまとめたレポートによって、主として評価する。
教科書	『虞美人草』『坊ちやん』『三四郎』(以上新潮文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習 I	おかもとゆきこ 岡本恭子	10以降入学生/短国1選必	2
		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい	<p>京都下鴨神社の神職の家に生を受けた「鴨長明」が、その出自に対応する生き方をせずに、晩年は出家者となり、さらに世を背き、いわゆる隠遁者としての生き方を選んだ。その長明にはいろんな逸話があるが、長明が生きた“あかし”として残した作品の一つに『方丈記』がある。その他の作品に『鴨長明集』、『無名抄』、『発心集』があるが、特に後者の二作品は成立年代が明らかではない。</p> <p>ここでは『方丈記』を教材として用いるが、次の二点に要約する問題点を勉強する上で、『方丈記』のみで処することはできないはずである。そのテーマとする問題とは、</p> <p>① 長明と文筆活動について ② 長明の求道とは何か</p> <p>の二点をあげる。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>上記に示した問題点をふまえて、分担者が発表するという授業形態をとる。</p> <p>「演習」という授業科目は、大学生として真に実力のつく科目であるので、大いに力を発揮してもらいたいと考える。</p>
履修上の留意点	『方丈記』に関する研究図書は多いので発表者は扱いやすいかも知れない。しかし、それらをいかに取捨選択できるかによって、発表の中身が異なるのは言うまでもない。何よりも大事なことは、自分の中で完全消化をすることである。
成績評価の方法	授業時の発表のみ
教科書	梁瀬一雄編「古本・流布本対照方丈記」(大修館書店) 824円
参考書等	授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	こ ばやし おさむ 小 林 治	10以降入学生/短国1選必 9以前入学生/短国1必	2

講義のねらい

宮澤賢治の散文作品、および野間宏、安部公房の初期短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践(行動)と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えている問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告書にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

そ の 他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	10以降入学生/短国1選必 9以前入学生/短国1必	2

講義のねらい

元禄2年閏正月刊『和歌威徳物語(別名「和歌奇妙談」)』を版本影印で読む。本書は「和歌の徳」を主題とした説話集で、これを変体仮名の学習も含めて読み進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

『和歌威徳物語』版本は全5冊、第1巻は「神感上」、2巻は「神感下」、3巻は「君恩」、4巻は「人愛」、5巻は「人愛下」となっていて、中古・中世の歌人の詠歌の徳を語る話が収められている。受講生に各説話を分担、変体仮名の訓みと語釈等を与えてもらい、その説話の「歌徳」の意味を考える。注釈書が存在しないので、各人古語辞書を用いる等その注解に努めてもらう。歌人の評伝等も調査、発表してもらう。6月迄は変体仮名の訓みの練習に費される予定である。

履修上の留意点

作品の読解を中心に授業を進めるので、まず本文の訓みを学ぶことが第一となる。従ってしばらく文字=記号との付き合いとなり、これに耐えられるかが問題、辞書を引く作業を好むか否か、まずこの点を出発とする。

成績評価の方法

定期試験は行わず、各報告者のレポート内容、及び出席状況を加味して評価する。

教科書

テキストは授業にて配布する。  
中川浩文編『変体かな字類-古様ひらがなのいろいろ-』(双文社出版)650円

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	佐 原 作 美 <small>さ はら さく み</small>	10以降入学生/短国1選必	2
		9以前入学生/短国1必	

## 講義のねらい

十世紀の中頃に成立したと思われる『大和物語』を対象に演習を行う。本書はいわゆる歌物語と称されるもので、前半は和歌にまつわるエピソード、後半には昔物語をそれぞれ収めて成る。授業では後の昔物語を主に扱っていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査と講読を中心に進めることになる。受講生の活発な質疑応答を期待しながら授業を展開したい。

## 履修上の留意点

演習授業という観点から、受講生の自主的で意欲的な態度が望ましい。

## 成績評価の方法

授業時の発表や質疑応答および出席状況等をもって評価する。

## 教科書

校注古典叢書『大和物語』(明治書院刊)

## 参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	鈴 木 裕 子 <small>すず き ひろ こ</small>	10以降入学生/短国1選必	2
		9以前入学生/短国1必	

## 講義のねらい

『古今和歌集』を精読します。和歌とはいったいどのような表現なのか、またいかなる美学を有するものなのか、理解を深めましょう。心と詞が織りなす表現の美しさを知ることで和歌のおもしろさを味わえるようにしたいと思います。また、歌語の検索を中心に、『古今和歌集』が後世に及ぼした影響についても考察しましょう。

## 講義の内容・授業スケジュール

授業は、受講生の分担報告を中心として進めます。演習の主たる目的は、まず、古典文学研究の方法の基礎を学ぶこと、そして、自分の意見を他者にわかりやすく伝える訓練をすることです。担当者はもちろんその発表を聴く者も、積極的に読み、調査し、考えて自分の考えを表現するように心がけましょう。

## 成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席状況(授業に欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に評価します。

## 教科書

『古今和歌集』(角川文庫)

## 参考書等

授業中に指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	せい だ けい こ 清 田 啓 子	10以降入学生/短国1選必	2
		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

演習は、研究方法を実習する科目であるので、参加する学生の研究・調査とその発表がこの時間の中心になる。

講義の内容・授業スケジュール

今年度の演習材料として、上田秋成の『雨月物語』をとりあげる。九章ある物語を、各自希望により選んでもらい、個人あるいはグループで研究を深めてもらう。その成果を発表し、参加者全員の検討を経て、作品論を仕上げたいと思う。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要となる。積極的に発言することと、他の意見を充分聞きとる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況（三分の一以上の欠席は〈不可〉となる）及び、発表の研究内容、折々の宿題や夏期レポート等によって評価する。定期試験は行わない。

教科書

水野稔校注『雨月物語』（明治書院）2,000円

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	その べ みま お 園 部 幹 生	10以降入学生/短国1選必	2
		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

国文学研究の基本的な方法を実践的に獲得することを目標とする。今年度は、中世を代表する説話集である『古今著聞集』をとりあげる。担当説話の正確な解釈はもちろんのこと、同類話を検索したり、比較したりする作業を通して、説話の本質を理解すると同時に、自分で研究が出来るような基本的な方法論を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で、各人が、一つの説話について、年間に三回の発表を行うが、追加や訂正のための発表も数えると、年間に六〜七回の発表回数になる。また、授業時間外に研究方法や内容についての個別ディスカッションを行い、より完成度の高い研究成果があげられるように努力する。

履修上の留意点

説話は、様々なジャンルの作品と密接に関わりながら伝承されてきた。繰り返し作品として形象されるだけあって、おもしろい話が多い。したがって、話としてのおもしろさを鑑賞することも大切だが、その話が担ってきた意味合いを考えることを通して、幅広い視点を養って欲しい。

成績評価の方法

発表内容によって60点分の評価を下し、他の受講生の発表に対する意見・質問によって40点分の評価を下す。また、必要に応じてレポート提出を求めることもあるが、追再試験を含む定期試験は一切行わない。

教科書

なし

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 I	まつ だ なお けい 松 田 直 行	10以降入学生/短国1選必 9以前入学生/短国1必	2

講義のねらい

マルチメディア時代における言語表現を、パフォーマンス論の立場から考える。パフォーマンスとは、狭義には演劇などの上演を意味するが、ここではより広く、ある表現者の作品が、それを鑑賞する者に届くまでの一連のプロセスとして定義する。それはある種のコミュニケーション論として理解され得る。作家という職業の人間が、紙の上に文字を書き、出版社の手を経て、本という形態の作品が書店に並び、読者がそれを買って読む。それがいわゆる伝統的な文学のパフォーマンス形態であるが、現代生活における表現の場(すなわちメディア)は、実に多様な形態をとっている。そのプロセスにおいては、ことばを発した作者とそれを受取る者とか一対一で向き合っているという幻想を抱くことは、もはや不可能に近い。しかし、いかにメディアの技術が発達しようとも、私たちは依然としてことばを使った表現から逃れることはできない。まずは私たちがどのようなメディアに囲まれ、それぞれのメディアにおいて言葉がどのように機能しているのかを考えてみることから出発しよう。

そ の 他

演習形式の授業なので、学生各自が授業において積極的な表現を行うことが必要となる。教室という劇場で、講師という名の表現者が、舞台ならぬ教壇に立ち、観客=学生に向けて一人芝居をする、授業とはまさにパフォーマンスそのものである。しかし、パフォーマンスとは、舞台上の表現者から観客に向けた一方通行のコミュニケーションではない。実は観客もまた、演者に向かって演じているのである。舞台は観客が作り、授業は学生が作る。したがって具体的な内容やスケジュール、評価方法などもすべて、実際の授業というパフォーマンスの中で、逐次考えながら進めさせていただきたい。できる限り、受講する学生が、それぞれの興味に近い部分で参加できるように考えたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 語 演 習 II	かた やま ほる かた 片 山 晴 賢	10以降入学生/短国2選必 9以前入学生/短国2必	2
国 文 演 習 II			

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるのために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担当発表を中心に進めるので、自からの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配付する。

参 考 書 等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語演習Ⅱ	はぎ 秋 ほら 原 よし 義 お 雄	10以降入学生/短国2選必	2
国文演習Ⅱ		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

鎌倉時代に成る百科辞書『塵袋』を読む。この書の書写者印融上人は、神奈川県横浜市に縁ある関東輩出の高野山の学僧である。この資料は現在、上野国立博物館の所蔵するところであり、昨年書と学問展が、名古屋市立博物館で催された折にも公開展示されている。現存する唯一の古写完本である。しかし、時を隔てず数十年の間に、高野山の他学僧による書写本(零本)などが知られていることもあり、原本『塵袋』の存在を窺わず根拠に成っている。この書の成立問題について、本文記載内容から考察して、以下の課題項目について言及してみることも必要であり、多くの時代性豊かなことばについて考えてみるのも妙趣を感じないではない。古人の知的関心度とは、如何なる物事であり、これを読み解くことで、受講者お一人おひとりにして、何か人生の糧となることを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 『塵袋』という百科辞書をみんなでもっと知ろう。
- ② 書写者、印融上人って、どんな人？
- ③ 項目内容の目次作成って、どういう作業なの？
- ④ ことばの索引は、なぜ近代まで作成されなかったの？
- ⑤ 書写表記する文字に、なぜカタカナと漢字が使用されているの？
- ⑥ 問答体による記述方法って、質問応諾する人物は複数なの？
- ⑦ 鎌倉時代の知識者というのは、この内容をどう受容していったの？
- ⑧ この資料の公開理会の度合いは、どの程度なの？
- ⑨ この書籍を見た人って、どのような身分階層人なの？
- ⑩ この書籍に引用されている内外の典籍って、どこからどのように入手し、その内容をどの程度で抄録したの？
- ⑪ この書籍の文章を音読するとき、どう読むの？
- ⑫ 読めない文字漢字って、どんな漢字？筆法は？
- ⑬ 特徴のある古語・古句って、どんなふうに使っているの？
- ⑭ 回答内容は、当代にあって瀟灑のある解釈表現からなっているの？
- ⑮ この辞書を編集するに、どの程度の年月をかけて着想してなったの？
- ⑯ 後世、この書籍がどのように影響を及ぼしているの？
- ⑰ この書籍と発想を同じくする内容の書籍は、他に知られていないの？
- ⑱ 現代人の目からみて、どんな事柄が役立つの？
- ⑲ 現代語訳するとしたら、どんなふうに表示できるの？
- ⑳ この内容を一枚の絵として仕上げることができるのかな……？

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
- 5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り  
本格的に作業確立のための資料準備  
分析「ことば」に基づく調査とその方法  
(夏休みに展示資料館を見に行こう)
- 9月下旬 調査結果の報告書の作成
- 10月以降 結果報告を公開発表
- 1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえた上で、提出発表していく。個人が年間分析する事柄の数を35問答として、一問答ずつを単位として評価する。

教科書

私家版『塵袋』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開予定。FD 2枚程度 URL <http://www.komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参考書等

- 山崎 誠編『塵袋の研究』(勉誠社)。
- 佐竹昭広編『瑤囊抄』(臨川書店)。
- 原装影印版 増補 古辞書叢刊『瑤囊抄』(大東急記念文庫藏・雄松堂出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	いし わり 透 石 割 透	10以降入学生/短国2選必 9以前入学生/短国2必	2

講義のねらい	谷崎潤一郎の小説を細かく検討していく。
講義の内容・ 授業スケジュール	それぞれ、時間ごとに発表者を決め、その発表に基づいて授業を進めていく。
履修上の留意点	受講者は、発表者に限らず、必ず扱う作品を細かく読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法	評価は、それぞれの発表と、それを更に深めた内容にまとめたレポートによって、主として行なう。
教 科 書	谷崎潤一郎『刺青・秘密』（新潮文庫）『美食倶楽部——谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）『痴人の愛』（新潮文庫）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	おか ちと ゆき 子 岡 本 恭 子	10以降入学生/短国2選必 9以前入学生/短国2必	2

講義のねらい	『徒然草』作者を「吉田兼好」と呼んでいるが、こうした呼称は江戸時代になってからのものであるから、もし姓を付して呼ぶとすれば「卜部兼好」と言うべきであろう。その兼好が遁世した時期や原因については明確でない。兼好は、『徒然草』の中では冗舌であるが、自身の出家に関しては沈黙する。そのせいか、時代を越えて、個人の今、という立場によって、つまり作品に対する接近の仕方によって、いろんな相貌を見せるのである。ゆえに、ある時は叱咤される、あるときは生きる指針を与えてくれる書であると感じとられるのが、『徒然草』である。 たくさんの未来をもつ学生たちに生きることの意味を、また生きる上でのヒントを与えられるか、それが楽しみである。
講義の内容・ 授業スケジュール	分担者による発表の場が設けられるということは、大学生として真に力つける場である。最終学年として、あるいは次のステップとなるように、手を抜かず勉強してほしい。
履修上の留意点	『徒然草』に関する研究図書は多いので、発表者は取り扱いやすいかも知れない。しかし、自分の発表する主題に添っての取捨選択は、自分の中でかなり消化していないとむづかしい。
成績評価の方法	授業時の発表のみ
教 科 書	福田秀一他編『常縁本 徒然草』（大修館書店）930円
参 考 書 等	授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	こ ばやし 小 林 治	10以降入学生/短国2選必	2
		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

安部公房、高尾敏雄、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	10以降入学生/短国2選必	2
		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

鎌倉時代後期、後深草上皇の後宮に生きた二条という女性の回想の記『とはずがたり』を読む。上皇の寵愛を受けながら、同時に作中「雪の囁」と称される藤原(西園寺)実兼と、「有明の月」と称される上皇の弟仁和寺御室性助法親王の二人の男性から愛され交渉を持つ。当時の宮廷貴族社会の頹廃的な風潮の中に生きた作者の、その赤裸々な愛欲遍歴の大胆な告白の記は、古典文学においては他に例を見ない作品である。その告白は、後に西行法師を理想に仰ぎ出家した作者が、真摯な求道心をもって諸国修行の旅を重ね、自己の前半生の贖罪の体験を通して得たところの愛欲の苦悩を超克した告白だと理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では三人の男性との交渉を中心として読み進める。女性の手になる回想の記として、本作品は日記文学のジャンルに入る。これは紀行文学・随筆文学等と共に「自照文学」と称される。自照(自己、その人生を観照する)の精神は、平安王朝時代の女流文学の伝統に立つものだが、自ずと本作品が生まれた中世という時代の特質が指摘され、また作者固有の感性・闊達な自在の精神が考えられ、まず女性の手になる文学の歴史を概観し導入としたい。テキストは口語訳も補われておりその読解は主に作者の心理の読みなどを中心に進めたい。受講者に作品を分担して、その点について各自の読みを問う。

履修上の留意点

演習につき各担当者の発表内容を中心として評価する。特に出席重視。

教科書

福田秀一校注『とはずがたり』(新潮社) 2,270円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	さ 原 作 美 佐 原 作 美	10以降入学生/短国2選必	2
		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

平安朝の前期に成立し、わが国の仏教説話集の祖とされる『日本霊異記』をもとに演習を行う。この作品は、上中下巻の三巻に116の説話を取めたものであるが、その思想的主張は序文に見られるように、仏教思想とくに因果応報の思想をもとにしての教化善導にあると言える。当時の一般庶民が何に苦しみ悩み、何に光明を見出そうとしていたかなど、古代社会にあってその底辺にあった人々の心情や思想行動がよく描写されている。作品の読解をもとに、当時の社会状況や人々の心性を見ていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

科目の性格上、受講生による調査の発表を中心に進めることになる。具体的には、上中下の各巻ごとに、受講生が任意に担当する説話を選び、その調査をもとに口頭による発表とそれへの質疑応答をまじえながら授業を展開していきたい。

履修上の留意点

演習授業という点からどうしても受講生の発表が中心となるが、単に説話の内容やあらすじを知るだけに終らせず、作品や登場人物の背景となっている社会的時代的な状況をも視野に入れて、より多角的に理解を深めることが必要である。作中人物を追体験する程の気概を持ってのぞんでほしい。

成績評価の方法

成績は授業時の発表やレポートや出席状況などを見て評価する。

教科書

新潮日本古典集成『日本霊異記』(新潮社) 2,200円

参考書等

授業の折に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	す ぎ ひろ こ 鈴 木 裕 子	10以降入学生/短国2選必	2
		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

『枕草子』を精読します。この作品はそれまでにない新しい文学のスタイルを打ち出したものと言えるでしょう。そのような作品の表現の特色とは何か、またこの作品世界はいかなる美意識によって構築されているか、あるいはまた、そこに描き出される宮廷生活とはどのようなものかなどについて考察しながら『枕草子』のおもしろさを味わいましょう。また、周辺の資料をも調べてより深く作品の歴史的背景を理解するようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、受講生の分担報告を中心として進めます。演習の主たる目的は、まず、古典文学研究の方法の基礎を学ぶこと、そして、自分の意見を他者にわかりやすく伝える訓練をすることです。担当者はもちろんその発表を聴く者も、積極的に読み、調査し、考えて自分の考えを表現するように心がけましょう。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の発表内容・発言、出席態度(授業に欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に評価します。

教科書

『枕草子上・下』(角川文庫) 必ず二冊揃えて購入すること。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	せいだけいこ 清田啓子	10以降入学生/短国2選必	2
		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

一年次で習得した国文学研究方法を、さらに発展させ、同じ素材を別の作者・異なるジャンルで扱うとどのような作品になるか、比較しながらそれぞれの作品を評価していくという方法を試みたい。とりあえずは、西鶴と近松との作品で検討するが、その後の材料は参加者が自由に選んでかまわない。

講義の内容・授業スケジュール

西鶴の『好色五人女』・近松の世話浮瑠璃にとり上げられた【おなつ清十郎及びおさん茂兵衛】について論じてもらい、その後は参加者の提出する材料を全員で検討していきたい。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、出席すること、論議に加わることが最重要になる。発表担当者の準備は当然だが、それをよく聞きとり、自分の意見を積極的に述べる姿勢が望ましい。

成績評価の方法

出席状況(三分の一以上の欠席は〈不可〉となる)及び、発表の内容、折々の宿題や夏期レポート等による。定期試験は行わない。

教科書

松崎仁・白石梯三編『西鶴と近松』(和泉書院)1,470円

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文演習Ⅱ	そのべみきお 園部幹生	10以降入学生/短国2選必	2
		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

国文学研究の方法を実践的に獲得することを目標とする。今年度は、中世を代表する文学ジャンルである説話をとりあげる。各自が好きな題材とテーマを選び、一年かけてその説話を研究する。完成度の高い研究を求める。

講義の内容・授業スケジュール

演習形式で、各人が選んだ題材について年間に四段階に分けて発表を行うが、追加や訂正のための発表も数えると、年間に十回程度の発表回数になる。また、授業時間外に研究方法や内容についての個別ディスカッションを行い、より完成度の高い研究成果があげられるように努力する。

履修上の留意点

同類話の比較や参考資料の検索を通して、説話の特質を理解するとともに、自分なりの根拠のある結論が導き出せるように、意欲的に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

発表内容によって60点分の評価を下し、他の受講生の発表に対する意見・質問によって30点分の評価を下す。それ以上の成績を得たい場合はレポートを提出する。それ以外の場合でも、必要に応じてレポート提出を求めることもあるが、追再試験を含む定期試験は一切行わない。

教科書

なし。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 文 演 習 II	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	10以降入学生/短国2選必 9以前入学生/短国2必	2

講義のねらい

「演じられる言葉たち」を年間のテーマとし、演者によって語られる、演じられる、歌われる言葉の表現について考える。文字として書かれた表現を鑑賞者が読む場合とは違い、それが表現者の身体を通して演じられる時、その語り口、身体の使い方、音楽との融合などによる非言語的表現が加わって、それらの言葉は言葉として本来持っている言語的意味を超えた姿で鑑賞者の前に立ち現れてくる。さらに鑑賞者は、そうした演者を目の前にして同じ場を共有した時に、もはや傍観者であることを許されなくなり、その表現における参加者として自ら演じることを要求される。このようなパフォーマンスの場において、言葉はどんな役割を果たし、何を表現しているのだろうか。ただし考察の対象は、それらの文字テキストではなく、あくまで上演という現象自体である。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、詩と歌詞の違い、小説と戯曲の違いから考え始め、演劇、歌、そしてミュージカルなどを考察の題材として使いながら、授業を進める。場合によっては、受講者に簡単な発表を課すことも考えている。

成績評価の方法

出席状況とレポート提出、授業における発表などによって、総合的に評価する。

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書や文献は、適宜教場で指示し、必要な資料はプリントとして配布する。

そ の 他

演習形式の授業とする。その形態に関しては、「国文演習Ⅰ」に準じるので、そちらを参照してほしい。教室の設備が許せば、CD等の音源や、VTRの映像を教材として使用したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上 代 文 学 史 国 文 学 史 I	き ほん さく み 佐 原 作 美	短国1・2選 9以前入学生/短国1必	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に上代文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話を豊富に含む古事記や日本書記や風土記などの散文学をはじめ、万葉集などの韻文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』(新典社) 927円

参考書等

授業時に指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学史	すずき ひろこ 鈴 木 裕 子	短国1・2選	4
国文学史 I		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

古代後期(平安時代を中心として)の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』(新典社)

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学史	おかもと ゆきこ 岡 本 恭 子	短国1・2選	4
国文学史 I		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

日本文学とは何か。それを説明する方法の一つに文学史がある。これは日本文学の全体を歴史的展開の軌道に乗せながら、作品・作者・思想などを考えもので、日本文学の全貌を理解する有力な方法の一つである。

ここでは中世期という範囲を設けてはいるが、いうまでもなく前時代の、そして次代への影響についても考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 和歌伝統の回復と衰退について
- ② 新しい詩の創造(連歌)について
- ③ 擬古物語と歴史物語について
- ④ 短篇小説への移行について
- ⑤ 説話集の盛行について
- ⑥ 禅僧たちの文学について
- ⑦ 叙事詩文学世界の展開(軍記もの)について
- ⑧ 自照文学について
- ⑨ 芸能と文学について

履修上の留意点

教科書を用いないが、参考資料として、プリントを配布する。ただし、これはあくまでも「参考資料」であって、主たる資料とはならないので、個々で調べて勉強しなければならない。

成績評価の方法

前期、後期に分けて行う予定であるが、授業の状態によって変更する。また出席状況も評価点に加味する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学史	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2選	4
国文学史 I		9以前入学生/短国1必	

講義のねらい

近世（江戸時代）の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』（双文社出版）1,800円

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学史	井上 優	短国1・2選	4
国文学史Ⅱ		9以前入学生/短国2必	

講義のねらい

「文学史」という言葉を聞くと、どのようなことを思い浮かべるだろうか。たとえば、中学高校時代の国語の試験問題や、大学入試の問題に出題された、有名な作者や重要とされる作品、その文学上の主義に関する事項、あるいはそのためにそれらをやみくもに暗記させられた記憶などであろうか。「文学史」とは何かと問われると、文学の生成発展の歴史を記したものとすぐに答えたくなるだろう。しかし「文学史」も、ひとつの歴史記述として作成されたものである以上、そこに描かれているものは、文学現象として生じたありとあらゆる事実を無私な立場から客観的に、ありのままに復元したものではあり得ない。国語の授業時間や試験の際に覚えたあの傑作とされる作品名やそれを書いた著者名の羅列は、ある立場からの選択と分類によるものにほかならず、そうした「文学史」の記述からこぼれ落ちている数多くの作品や作者が存在していたことはいうまでもない。たとえば、ある「文学史」と銘打たれた書物が取り上げている特定の時期について、当時の雑誌などに掲載されている文壇月評の類いを実際に手にとって見れば、従来の「文学史」が整理し記述している文学的事象との間にさまざまな相異が発見できることになる。クレマン・モワザンは、「文学史は、作品の〈出版〉と同じプロセスによっている。そのプロセスから、選択と組織化のモードに従ってひとつの言説が構成されるのであるが、その言説の主たる特徴は価値づけにある」、「この価値づけは、視点の取りかたとそこから生ずる価値判断に依頼する。文学史が差異や差別によって根拠を示したものを、教育機関が承認して公的なものとする。こうして、過去へとさかのぼって、文学作品として指定されたものが、教育という価値づけの装置によって固定化される」（『文学史再考』）と指摘している。多くの国語教科書に採用され、全国の生徒たちに教授される安定教材のように、えてして、「文学史」は教育と連動する形で、ある作品の聖典化を行うと共に、そこに定められた規範や価値観を生徒達が受け入れさせられることに帰結する。だからまず、わたしたちは、教育現場で「文学史」が教授されるとはいかなることかを問いかけなければならない。そしてそのうえで、文学作品を規制し意味を付与している規範、コード、文体やジャンル、そして文学生産物の市場とその流通、消費の過程と場、あるいは発表された作品を読む当時の読者の「期待の地平」と作品との関わりなど、文学現象の広く総体的な目配りのもとで、近代文学を再考することが目標となるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では明治大正期の文学的事象について探って行く。文芸思潮の紹介とそれに付随する作品の列挙に終始することは避け、いくつかの作品を個々に具体的に読解しながら、近代文学として出来たことは何かを見極めることに努めたい。「文学」論であると同時に、最終的には「文学史」のディスカールの構成規則を明らかにする「文学史」論にいたることを目標としたい。

履修上の留意点

数々の作品を抜粋に頼らず粘り強く読んで行くことになるし、実際に受講学生が図書館等で当時の新聞雑誌を調査分析し、今日流布している文学史書の記載と比較検討する作業も要請されることにもなろうかと思われるので、作品を準備もせず漫然と出席するだけの学生ではない、意欲的に学ぼうとする人たちの受講を希望する。

成績評価の方法

試験にするかレポートにするかの判断は、学生の学習状況の把握をまわって決定したい。なお、そうした素点のみならず、出欠状況や学習課題への取り組み方なども総合して評価したい。

教科書

特定の文学史の教科書は指定しないが、扱う作品は授業で指示し、各白文庫本などで用意し、あらかじめ読んだうえで臨むこと。

参考書等

授業の中でその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学史 国文学史Ⅱ	こばやし おさむ 小林 治	短国1・2選 9以前入学生/短国2必	4

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12(1923)年前後に置き、以降、昭和の終り(1988)まで見ていくことになる。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

三好行雄編『近代文学史必携』(学燈社-別冊國文學-) 1,000円

参考書等

『時代別日本文学史事典(現代編)』(東京堂出版) 6,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	10以降入学生/短国1・2選 9以前入学生/短国2必	4

講義のねらい

日本文学は原始より長い歴史をもち、政治や社会や風土と深くかかわりながら、複雑多様で豊かな展開を示してきた。個々の作品や作家を考える上で、そうした日本文学がいかなる背景のもとで生成したのかを理解していることは大切なことである。日本文学の本質をきわめ、その諸相を十分に把握することで作品・作家の抱えた諸問題への深い関心が喚起される。即ち、日本文学を研究する上で様々な視点があることを知り、問題意識を持つ必要があるからである。文学作品を研究するには客観的立場に立って「論証」することが要求され、単に個人の主観的印象や価値判断を与えるものではない。日本文学とはいかなるものか、日本文学研究とはいかなるものかを考えるのが目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文学について、各ジャンルの様相・文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等を中心に概観する。講座名に「国文学概論」となっていて、今「日本文学」という語を用いているが、学術体系の名称として、この「国文学」と「日本文学」という用語をめぐって論争の時期もあった。まずその問題から説き始めて、以下テキストを読み進めることを中心に、主に文学理念を考えてゆく。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

教科書

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』(右文書院刊) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	前期：片山晴賢 後期：奥原淳子	10以降入学生/短国1・2選 9以前入学生/短国2必	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声／音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか  
どのように声を作っているのか  
音声をどのように表記するのか  
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・かたかな・ローマ字の成立と変遷  
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。  
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著、『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学講読	清水浩子	10以降入学生/短国1・2選 9以前入学生/短国2必	4

講義のねらい

『唐宋八家文』、『白氏文集』、唐詩を学ぶことによって漢文に親しみ、中国の文学への理解を深め、平安文学への影響を考える。

成績評価の方法

年間数回の試験と授業中の発言によって判定を行う。

教科書

中村璋八編『中国思想文学通史』（明治書院）及びプリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学講読 国文講読Ⅰ(上代)	佐原作美 き ばら さく み	短国1・2選 9以前入学生/短国1・2選必	4

講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝(629-641)の頃から奈良朝の天平宝字3年(759)までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や和歌を選んで講読していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう(桜楓社)1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学講読 国文講読Ⅱ(中古)	鈴木裕子 すず き ひろ こ	短国1・2選 9以前入学生/短国1・2選必	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見付けてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになるとよいと考えています。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年は、篝火の巻から読みます。六条院の栄華を誇る権力者光源氏の保護を受け、華やかな生活の中で玉鬘の苦悩は続きます。父の期待を裏切らない息子夕霧の成長ぶりや、六条院世界における紫の上の位置も気になるところです。

履修上の留意点

講読という科目の性格上、授業はテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成(新潮社)

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学講読	その園部幹生	短国1・2選	4
国文講読Ⅲ(中世)		9以前入学生/短国1・2選必	

講義のねらい

中世の作品の中から、『無名草子』をとりあげる。今年度は特に後半の女性論の部分を中心に読み進めたい。その関連から、記録類や説話集類も読むことになる。評論として書かれた内容について理解するだけでなく小野小町以下の古典文学史上著名な女性たちがどのような経緯を経て、どのように受けとめられ、評価されてきたのかを確認し、それらについての自分なりの意見を持てるようになりたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の後半は、序から源氏物語論の前までを講義する。前期の後半から後期にかけては、小野小町・清少納言・小式部内侍・和泉式部・宮宣旨・伊勢御息所・兵衛内侍・紫式部・皇后定子・上東門院・大斎院選子・小野皇太后宮といった女性たちに対する女性論や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、十二月末の時間内に50点満点の筆記試験(持ち込み参照でも可)を行う。なお、追再試験はレポートとするが、これについては、一月の授業時間内に指示するので必ず出席すること。

教科書

新潮日本古典文学集成『無名草子』(新潮社)2,000円

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学講読	えちごはいこ子	短国1・2選	4
国文講読Ⅳ(近世)		9以前入学生/短国1・2選必	

講義のねらい

西鶴の代表作の一つである『好色五人女』を読む。本書は実際にあった五つの恋愛事件をもとに描かれた作品である。当時は封建体制のもと厳しい身分制度がしかれており、自由な恋愛が認められていなかった。そのため悲劇的な結末を迎えざるを得ない男女が数多くあった。それを西鶴はどのように描いたか、当時の時代背景や先行文芸との関わりを視野に入れながら読み進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

第一回 授業の進め方の説明  
第二・三回 西鶴と『好色五人女』に関する概説  
第四回以降 『好色五人女』講読

履修上の留意点

毎回、授業範囲分の下調べをしてきてほしい。また教科書は活字本を用いるが、適宜影印資料を配付するので、変体仮名に慣れてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

江本裕『好色五人女 全訳注』(講談社学術文庫)1,200円  
その他、授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学講読	いしわり 石割透	短国1・2選	4
国文講読V(近・現代)		9以前入学生/短国1・2選必	

## 講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の一助としたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

扱う作品は、芥川龍之介「羅生門」「鼻」「芋粥」、『奉教人の死』、谷崎潤一郎「小さな王国」「白昼鬼語」、志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「十一月三日午後の事」「雨蛙」、内田百閒「旅順入城式」など。

また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代の文学のもっていた課題を考えていく予定。

## 履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は、必ず前もって読んで授業に臨んでほしい。

## 成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視角によるものを期待したい。

## 教 科 書

『芥川龍之介全集1・Ⅱ』(ちくま書房) 志賀直哉『小僧の神様 城の崎にて』『清兵衛と瓢箪・網走まで』(以上新潮文庫) 谷崎潤一郎『美食倶楽部・谷崎潤一郎大正作品集』(ちくま文庫) 内田百閒『冥途・旅順入城式』(岩波文庫)

## 参 考 書 等

授業時に適宜指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学講読	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4
国文講読V(近・現代)		9以前入学生/短国1・2選必	

講義のねらい

「よりによって」とあなたは言うかもしれない。それでも、現在の文学界において最もポピュラーな作家の一人である村上春樹を読む。年間を通じての講義タイトルは、「現象としての村上春樹」(あるいは、「よりによって村上春樹」)。彼の作品を読み進めながら、作品に描かれたフィクションの「世界」と、我々が生きる現実との距離、その位相の違い、そして接点を探る。ここには村上春樹という作者研究の視点はない。私は村上春樹の友達ではないし、会ったこともないので、彼がどんな人間であろうと私には関係がない。また同時に、たとえば『ノルウェイの森』が400万部以上売れたことによって、一種の社会現象になったという文脈での「現象」を考察したいわけでもない。もちろんそうした情報は、事実として何らかの前提にはなり得るわけだが。本講において注目したいのは、彼の作品と読者がきり結ぶ関係そのものである。すなわち具体的に、作品と私の関係、作品とあなたの関係が、すべての出発点である。さらに教場において共に講読した結果として、「作品を通しての私とあなたの関係」が想定されるとしたら、そこから村上作品と現代社会の関係性についての何かが浮かびあがるはずである。通常の文学鑑賞においては、作品と読者との一対一の関係によって表現のほとんどすべてが完結してしまえるが、村上春樹現象と言われたほどのポピュラリティを持ってしまった作品については、それが現代社会の中でどのように認識されるのかを意識せずには読めない部分があると思えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

順次、村上春樹の作品を講読する。できるだけ多くの作品に触れたいと思うが、具体的にどの作品をどのようなスケジュールで読み進めて行くかは、講義を進める中で随時決めさせていただく。

履修上の留意点

当然ながら授業時間中に読むことのできる部分のごく限られているので、各自が授業以外の時間で少しでも多くの作品を読むことが要求される。また、国文科であるのに恐縮だが、村上春樹が翻訳したアメリカ現代小説もいくつか、参考として講読の対象としたい。原文を英語で読む必要はないが、講義において翻訳文と原文との比較を行うことがある。

成績評価の方法

出席回数と、レポートの提出によって評価を行う。レポートの内容・時期・回数等も、授業を進める中で適宜決めさせていただきたい。

教科書

テキストとして、加藤典洋編『村上春樹 イエローページ』(荒地出版社)1,553円+税およびユリイカ臨時増刊号『総特集 村上春樹の世界』(青土社)1,260円を指定するので、各自購入し、毎回授業の際に持参してほしい。これらをいわゆる教科書として読み進めるわけではないが、村上作品の全体像を見渡すことのできるガイドとして使用する。前者は主要な長編小説の紹介として、後者は短編や翻訳作品を含めた全体像を概観するのに有効である。実際に講読する村上作品については、これらのガイドにも紹介されているのでそれを参考に、各自で用意していただく。読んでいない者は、まず『羊をめぐる冒険』(講談社)および講談社文庫と『ノルウェイの森』(上・下 講談社)だけは読んでおいてほしい。

参考書等

村上春樹に関する出版物は数多いが、最寄の書店で入手できる参考書として、鈴木和成『村上春樹クロニクル 1983-1995』(洋泉社)1,500円と、木股知史『日本文学研究論文集成46 村上春樹』(若草書房)3,500円+税をあげておく。

その他

講読形式の授業であり、それは学生が各自講読するという意味である。講義では、全員が声を出して読んでも仕方がないので代わりに私が読むが、あくまで自分が読まなければ意味のないものだという前提を忘れていただきたい。そのあとは、作家研究・作品研究の講義でない分、各自の興味と感性に引きつけて、むしろそれぞれの受け入れ方をしてほしい。私は私の感性をもとに、作品について何かを述べることになるが、それをそのまま受け入れるのではなく、むしろそれとあなた自身の感じ方の「ズレ」を意識することの方が重要である。年間の授業の最後に、あなたにとっての村上春樹とは何か、と訊ねることになるだろう。その時に、それぞれの感じ方で、それぞれの言葉で答えてほしい。音楽が好きなら、音楽にたとえるなら、という個人的な言い方でかまわない。ほくにとって村上春樹は、なぜか佐野元春なんですけど。どうしてかはどうも説明できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原典講読	おか もと めき こ 岡 本 恭 子	短国1・2選	4

講義のねらい	「小倉百人一首」は、奈良時代から鎌倉初期までの百人の歌人の歌が収められたものだが、それらは藤原定家の美意識によって選ばれた秀歌であるといわれている。 中心となる歌の多くは平安時代のものであるが、王朝和歌によって形成された美意識を知ることができよう。
講義の内容・授業スケジュール	① 歌の声調の美しさを直接知るために、まず百人一首の暗唱からはじめたい。 ② 歌語は、物語・日記・随筆などの表現上重要な役割を果しているの、歌語の把握を通して古典文学の世界を深める。 ③ 王朝人の自然観を考えていく。 ④ 秀歌選とは、百首歌とは、それらを通して歌人たちの生活を考えてみる。
履修上の留意点	「講読」は、教師の一方的な講義では成立しない。最低のところ、読めることと内容把握することを義務づける。つまり予習を必要とするということである。この点について、前もって指名しておくか、当日無作為に指名するかは後日考える。
成績評価の方法	出席・発表内容等を加味し、試験については授業の状態によって決めたいと思う。
教科書	犬養 廉他編『影印本百人一首』(新典社) 773円、その他として、「変体仮名の手引」となるものなら出版社を問わない。
参考書等	授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語史	はぎ ほう よし お 萩 原 義 雄	短国1・2選	4

講義のねらい	音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に掘える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼でしかと見据えていくことを目的とする。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となる。そしてどう時代区分されているのかを知らねばなるまい。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきたい。												
講義の内容・授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>①国語資料の領域とその分野別区分を学ぼう。</td> <td>計画案 [4、5月]</td> </tr> <tr> <td>②古代語の新発見とその資料。</td> <td>[6、7月]</td> </tr> <tr> <td>③50音図といろはうたの文化。</td> <td>[9月]</td> </tr> <tr> <td>④古典語に見る内と外</td> <td>[10月]</td> </tr> <tr> <td>⑤近代語としての口語(方言資料も含む)と文書語。</td> <td>[11月]</td> </tr> <tr> <td>⑥異国からみた日本語とは、どのような言語だったのか?</td> <td>[12月]</td> </tr> </table>	①国語資料の領域とその分野別区分を学ぼう。	計画案 [4、5月]	②古代語の新発見とその資料。	[6、7月]	③50音図といろはうたの文化。	[9月]	④古典語に見る内と外	[10月]	⑤近代語としての口語(方言資料も含む)と文書語。	[11月]	⑥異国からみた日本語とは、どのような言語だったのか?	[12月]
①国語資料の領域とその分野別区分を学ぼう。	計画案 [4、5月]												
②古代語の新発見とその資料。	[6、7月]												
③50音図といろはうたの文化。	[9月]												
④古典語に見る内と外	[10月]												
⑤近代語としての口語(方言資料も含む)と文書語。	[11月]												
⑥異国からみた日本語とは、どのような言語だったのか?	[12月]												
成績評価の方法	上記6つごとの課題提示の回答に従って評価する。												
教科書	インターネットにテキスト資料“国語史”を公開する。[URL <a href="http://www.komazawa.com/hagi/">http://www.komazawa.com/hagi/</a> ]												
参考書等	『講座国語史』第1巻から第6巻(大修館) 『日本語の歴史』全7巻(平凡社)												

科目名	担当者名	配当学科	単 位
口 語 文 法	前期：萩原義雄 後期：奥原淳子	短国1・2選	4

講義のねらい

本講義の目標は、「言語を客観的に分析する態度を育てること」にあります。  
 普段、当たり前前に使用している日本語を、なぜそう表現するのか、どんなルールが隠されているのか、誰の視点から表現しているのか等探っていきます。私たちは、日本語の文法を意識して言語を運用しているわけではありませんが、この授業ではその無意識の部分を意識するといった作業が必要となります。これを繰り返すことで、言語を分析する視点が養われていくだろうと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、これまで学んできた伝統的な口語文法の基礎項目を復習します。  
 それから、外国語としての日本語という視点から、現在使用されている日本語の文法的現象をとらえ直していきます。大切なことは、種々の言語現象を「当たり前だ」とやり過ごすのではなく、「おもしろい」「不思議だ」と感じることです。  
 後半は、学生による調査・発表で進めていきます。調査・発表を通じて、関連資料の調べ方・レジュメの書き方・発表の仕方なども併せて学んでほしいと思います。

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら調べ、分析し、発表するという姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

研究発表／授業態度／提出物

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中 国 文 学 史	清水浩子	短国1・2選	4

講義のねらい

テキストにより周代の文学から現代までの文学について概観し、代表的な作品の講読を行い、中国文学への理解を深める。

成績評価の方法

年間2回の試験とレポートによって判定する。

教科書

中村璋八編著『中国思想文学通史』（明治書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
和歌文学	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	4

## 講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛女徳子(安徳天皇母)の宮廷に女房として仕えた、右京大夫と称された女性の個人歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体は年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学としての自照精神を問うことも出来る。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死別を体験し、その追想の日々を過ごす。その動乱期の戦乱に運命を翻弄された作者の人生を考えてみたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

開講時、和歌文学の流れを通観し、また女性の手になる自照文学の流れを概説したい。作者はまた一時似絵(肖像画)の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋も体験する。授業では、資盛・隆信二人の男性との交渉時に詠まれた歌を中心に作品を読み進めていく。講読とは違い作品研究という形で本文を読解する。

## 成績評価の方法

学年末の定期試験の成績をもとに評価する。

## 教科書

糸賀きみ江校注『建礼門院右京大夫集』(新潮社)1,940円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物語文学 I	さ はら さく み 佐 原 作 美	短国1・2選	4

## 講義のねらい

平安朝前期に成立したと考えられている『竹取物語』を対象に講読を中心とする授業を行う。知っての通り『竹取物語』は『源氏物語』の中で、「物語の出で来はじめの祖(おや)なる竹取物語」と書かれているように、わが国の物語文学の祖と見られ、古くから時代や階層を超えて多くの人々に親しまれて来た作品である。作品のもつ諸問題を考察しつつ読んでいきたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

短い作品なので年間を通して読み終えるようにしたい。時間があれば他の関連する作品にも目を向けていきたい。

## 成績評価の方法

成績は平常の授業の出席状況やレポートその他などをもって評価する。

## 教科書

新潮古典集成『竹取物語』(新潮社)

## 参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅱ	その 園 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

住吉物語は、はやく平安時代に成立して落窪物語や源氏物語にも影響を与えたが、改作が重ねられた。現存するものは鎌倉時代に擬古物語として作られた作品である。異本を含めた諸本もたいへんに多く、中には御伽草子の域にまで達した本もある。何度も改作が繰り返された作品だけに、住吉物語はたいへんおもしろい。そのおもしろさを味わうことも講座のねらいではあるが、加えて、流動し変質する作品を講読することを通して、中世文学のあり方や享受の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通して、住吉物語全編を通読する。その過程で、可能な限り、古本系や異本系の住吉物語にも触れながら、文学史的な展開の問題や、作品の質的变化の問題についても触れる予定でいる。

履修上の留意点

本文の内容を理解するだけではなく、作品の変質の意味や文学のあり方のなどについて、問題意識を持って授業に取り組むことを求めたい。なお、毎時間、その日の講義内容に対する意見文の提出を求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限に提出する意見文によって50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(暗記科目ではないので、試験はノート・参考書等何でも持ち込み参照可)。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては1月の授業時間内に指示する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要が出てくれば時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
説話文学	その 園 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

今年度は、代表的な説話文学作品の中から、宇治拾遺物語をとりあげる。特に、宇治拾遺物語編者の意識がどのようなものであったかを考えるために、宇治拾遺物語に収録されている説話に内在する編者もしくは説話伝承者の視点を読み解いていきたい。近年、宇治拾遺物語を扱った講義では、その内容を論文としてまとめており、論文に先行するという意味で、学問的レベルとしては、宇治拾遺物語研究の最先端をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、宇治拾遺物語編者論を中心に講義する。前期の後半から後期にかけては、宇治拾遺物語に収録された箇々の説話を検討する。その関連から、他の説話集や歴史物語、及び、記録類における同類話を読む必要も出てくる。どの説話をどのような順序で読むかは、各時限に学生諸君から出される意見や疑問などによって決定するので、スケジュールの大半は、実際には学生諸君自身の問題意識に委ねられることになる。

履修上の留意点

毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(筆記試験はテキスト・ノート・参考書等全て持ち込み参照可。但し、受講生が少ない場合はレポートに変更する)。なお、追再試験はレポート提出とするが、これについては、1月の授業時間内に指示する。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)720円

参考書等

『駒澤短大国文』30号

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日記文学	岡本恭子	短国1・2選	4

講義のねらい

日記を付ける、日記を書く、この両者の意味は同じなのか同じでないのか。日記と日記文学の共通性と非共通性について。真名と仮名、男性と女性の、日記の関わり合いについて考えることとする。

ここでは主として仮名日記を扱うが、時代を越えて女性の生きざまを学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 日記と日記文学について
- ② 仮名日記誕生の歴史的背景 (中古)
- ③ 仮名日記誕生の歴史的背景 (中世)
- ④ 仮名日記と歌集について

履修上の留意点

上記の講義の内容・授業スケジュールを簡略に記したが、この中身は多様な問題を有する。それらを学ぶための拠り所として、下記の教科書を教材として用いるが、重要と思われる問題のある場合は、その都度プリントを配布する。ただし、試験はそのいずれも必要とするので、よく承知しておくこと。

成績評価の方法

前期・後期に分けて行いたいと考えている。出席の有無は考慮する。

教科書

藤原忠美編『王朝日記選』(和泉書院) 1,400円

参考書等

授業の中で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史文学	園部幹生	短国1・2選	4

講義のねらい

中古(平安時代)の代表的な歴史物語の中から、『大鏡』をとりあげる。昨年度の「歴史文学」の講座の中でも大鏡を取り扱い、序文と為光伝・公季伝、及び、その関連作品を読んだので、今年度は序文と公季伝の続きにあたる兼家伝を中心に読み進めたい。その関連から、栄花物語や記録類・説話集類も読むことになる。歴史物語としての『大鏡』について理解するだけでなく、時代や人物に関する認識を持ち、そこに登場してきた人物や出来事がどのように受けとめられ、評価されてきたのかを見る目を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、序文を講読する。前期の後半から後期にかけては、兼家伝や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時限、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、12月末の時間内に50点満点の筆記試験を行う(試験は、テキスト・ノート・辞書・参考書等何でも持ち込み参照可)。追再試験はレポートとするが、これについては、1月の授業時間内に指示するので、必ず出席すること。

教科書

特に指定しないので、『大鏡』の全文が載っているものであれば何でもよい。むしろ、受講生がそれぞれ異なる『大鏡』を持参して、違いを検討しながら読み進めることができれば、その方がよいと考えている。

参考書等

必要に応じて時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
連歌・俳諧	越後敬子	短国1・2選	4

講義のねらい

連歌の発生・隆盛から初期俳諧への移行、芭蕉の蕉風俳諧の確立へという、連歌・俳諧の歴史的な流れを把握するとともに、連歌・俳諧が複数の作者によって長句(五・七・五)と短句(七・七)を交互に付け連ねてゆく「付合文芸」であることを理解する。また、いくつかの実作品を鑑賞することによって、その魅力に触れてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 付合文芸とは何か
- 2 付合文芸のルール(式目・作法)
- 3 連歌の歴史

連歌の発生・展開・確立

『菟玖波集』『新撰菟玖波集』『水無瀬三吟何人百韻注』等鑑賞

- 4 初期俳諧への移行  
貞門俳諧『犬子集』鑑賞  
談林俳諧『天満千句』鑑賞

- 5 芭蕉  
芭蕉の発句・連句・紀行文  
『猿蓑』『奥の細道』等鑑賞

- 6 芭蕉以降の俳諧

できるだけ多くの実作品を鑑賞してほしいので、上記6については、講義の進度によっては触れられない可能性もある。

履修上の留意点

ただ講義を聴くという受け身の姿勢ではなく、実作品を読むにあたり、簡単な下調べはしてきてほしい。

成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦『連句の世界』(新典社)1,300円  
その他、授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 ・ 現 代 詩	井 上 優	短国1・2選	4

## 講義のねらい

私たちはよく、「文学的」であるとかないとかいおうとして、それと同様の意味で「詩的」であるとかないとかいうことがある。現代、文学ジャンルの中で詩歌は小説などの散文に比較して隅のほうに追いやられている気味がある。特に若い世代にとって、実際詩を朗読したり、あるいは実作したりするということはそう多くないだろうし、例えば高等学校までの国語の授業を振り返ってみても、詩が取り上げられたのは年に一二度であつたらう。にもかかわらず、私たちは「文学的」という趣味の範囲を「詩的」という言葉で覆うように想定している日常がある。ところで、ロシア・フォルマリズムの一人ヴィクトル・シクロフスキーが、「日常的に見慣れた事物を奇異なものとして表現する《非日常化》の方法が芸術の方法」であるといった(『散文の理論』)ことはよく知られている。このいいかたを文学に引き付けていえば、「文学」と「非文学」との違いは、「文学」とは日常の見慣れ使い古された言葉を《非日常化》したものであるということになる。こういうとなんとなく分かったような気もしてしまうが、「非文学」とされる日常語自体が性別、出身地、現住地、階層、宗教、職業などによって人それぞれ多様であり、皆が皆同じ日常語を共有していると考えるのは幻想であつて、「文学的言語」、「詩的言語」が何であるのかは容易に括ってしまえない。だが、そうであっても、いやそうであるからこそ、詩とは何か、詩の言語とは何かを問いかけて行くことは、文学やそれを取り巻く環境を考え直して行くうえで、大切なことであるのだ。この授業では、明治期以降に発表された詩作品を、形式、モチーフ、イメージなど様々な点から考察を加えて行くことを通して、詩的言語の持つ魅力や問題を見つめてみたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

まず始めに現代の文学理論の極めて初歩的な事柄について概観する。詩を読むうえで現代文学理論を踏まえることで何が可能となるのか、いくつかの理論の中で、ある理論に立つと詩作品から何が見え、また同時に何が見えないままになってしまうのか、言語や記号への考察を含め、最初にアプローチの手掛かりを求めることにしたい。その後、実際に詩作品の考察を試みるが、詩ジャンルに自閉せず、広く同時代の散文作品や、童謡、唱歌、流行唄なども視野に入れ、交響させつつ味わって行きたい。また聴講者それぞれが街へ出て、自らが触れる言葉を拾い集め、実際に詩を作ったり、それを相互に鑑賞しあつたりする機会も設けられればと思う。

## 履修上の留意点

授業で取り上げる作品は各自文庫本を入手したり、配布されたプリントを使ってあらかじめ読んでから出席することが絶対に要求される。読まぬままの学生、および用意してくるよう指示されたものを持参せずに来た学生は出席とは見なさないの、注意すること。

## 成績評価の方法

学年末に教場での試験を行おうと思うが、ふだんの授業のおりにも何らかの小課題を提出してもらうことも考えている。出席状況や授業中の姿勢も考慮して、多面的に評価したい。

## 教 科 書

授業の中で、その都度指示する。

## 参 考 書 等

授業の中で、その都度指示する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童文学	よし だ もり お 雄 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

近代日本の児童文学のルーツを探り、その後の歴史的展開を学ぶ。併せて、実際に童話の創作にチャレンジする機会をもうける。現代の児童文学は多様な試みと可能性をみせているにもかかわらず、それらに触れることなく、固定的な「子供」や「童話」のイメージに囚われている人は多いように思う。自らの思い込みを問い直すきっかけになってほしいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

日本近代児童文学の出発期の作品の中から、若松賤子の訳した『小公子』（バーネット原作）、巖谷小波の創作「こがね丸」と日本昔噺「桃太郎」の再話、森田思軒の訳した『十五少年』（ジュール・ベルヌ原作）に注目し、その系譜上に現れた児童文学作品について講義する。夏休み等には課題図書を読書を求めるほか、後期には実際の創作に挑戦でもらう予定である。

履修上の留意点

子供のための文学を取り上げるからと言って、授業自体がやさしい訳ではない。何でも見てやろう読んでやろうという、旺盛な好奇心と読書欲をもって授業に臨むこと。

成績評価の方法

未定。ちなみに前年度は試験は行わず、数回の読書レポートと学年末に提出してもらった創作または児童文学に関する批評で成績評価をした。ただし今年は、状況によっては試験を行うかも知れない。出席は大事。定刻に授業を始めるので、遅刻もしないように。

教科書

読んでおくべき作品を教室で随時指示する。

参考書等

『ディスカールの帝国』（新曜社）2000年。この本を参考図書として挙げるのは、そこに収められた高橋修「『冒険』をめぐる想像力」が『十五少年』研究における必読の文献だからではない。「言説研究」とか「文化研究」（カルチュラル・スタディーズ）と呼ばれる日本文学研究の最新モードによる達成と問題点とがピットに現れた論文集だからである。そこに指し示された方法と問題意識とを随時参照して講義を行うので、手元に1冊用意してもらえればと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
古典戯曲演劇	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の古典芸能に親しみ、鑑賞眼をやしなうための、必要な知識を与えることを目的とする。参加者には、能・人形浄瑠璃・歌舞伎をそれぞれ最低一回鑑賞し、レポートを提出する義務を課す。

講義の内容・授業スケジュール

日本演劇の大まかな歴史を解説し、随時都内又は近郊で上演される上記三種の芸能に関して解説・案内する。基本的に浄瑠璃の歴史を中心に、他に及び予定であるが、上演の現実的な状況から、厳密なスケジュールは立てられない。

履修上の留意点

上記三種の芸能を鑑賞する余力——時間的、経済的、精神的余裕——が必要である。

成績評価の方法

上記三種のレポートと、総括としての期末試験による。

教科書

影山正隆編『人形浄瑠璃関係資料（抄）』（新典社）515頁

参考書等

教場にて指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代戯曲演劇	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

日本において近代演劇は、西洋の文学・思想とともに外からもたらされた。能や歌舞伎といった伝統芸能との根本的なあり方の違いを考えれば、その時日本人は初めて「演劇」を目にしたとも言える。まずは近代演劇が日本に紹介された歴史的事情を理解した上で、いくつかの戯曲をとりあげ、近代演劇の理念に触れる。その性質上、日本人が書いた作品だけでなく、西洋の近代戯曲がどう翻訳されて紹介されたのかも重要な問題となる。西洋の演劇理念を、日本人がどのように理解し、そこから何を生み出したのかを検証する。もう1つの問題意識として、当時は近代演劇の理念イコール演劇であると考えられたために、ポストモダンと言われる今日の演劇状況においてさえも、未だにその呪縛から逃れきっていない部分がある。そこに注目する手段として、近代「演劇」の理念と対峙する近代の「芸能」(レビューやミュージカルなど「大衆芸能」などと呼ばれた種類)をも視野に入れ、劇場という場で演者が観客に向かって何かを上演すること(それを「パフォーマンス」と呼ぶ)の多様な可能性の中にあつて、近代劇とは何だったのかを考える。当然ながら、ここで扱う戯曲はすべて、活字として読まれるために書かれたものではなく、俳優の身体を通して劇場で演じられるために書かれたものである。したがって、本講は戯曲のテキスト研究ではなく、パフォーマンスという表現=コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考となる。そのために、演劇史や演劇論の基礎的な部分にも触れることになると思う。

参考書等

教科書としては指定しないが、参考図書として、河竹登志夫『近代演劇の展開』新NHK市民大学叢書11 昭和57年(日本放送出版協会)をあげておく。授業に必要な部分は、随時プリントして配布する予定だが、入手できれば便利であると思われる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学入門	いし わり とおる 石 割 透	短国1・2選	4

講義のねらい

一つの作品が成立するに際して、作家に意識され、強い影響を与えた前代の作品と比較することで、その作品の特質、その作家の創造性を追究したい。

講義の内容・授業スケジュール

この時間では、和漢洋の種々な作品から材料を得て成立している作品が多く、書斎の所産とも形容される芥川龍之介の初期の作品を中心にして、その作品の成立の材料となった作品と比較することで、芥川文学の特質、近代文学としての芥川の作品を検討したい。

履修上の留意点

受講者は、授業時に扱う芥川の作品、それに関わる作品を読んでくること。それは前もって授業の中で指示する。

成績評価の方法

年に二度ほど提出することになるレポートで主として行なう。

教科書

『芥川龍之介全集1』(ちくま文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史入門	たかしま 高嶋めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代 ②中世 ③近世 ④近代 ⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況 ②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文芸創作	まつだ 松田直行	短国1・2選	4

講義のねらい

自ら1行でも多く創作することを目的とします。他人の表現を批評するのはたやすいことですが、自分で詩や小説を書いて人に見せるなんて、まず第一に恥ずかしいし、面倒くさいし、ものすごくつらいことだったりします。でも人は、詩人や小説家じゃなくても、いろいろな形で自分自身を表現して生活しています。そうした表現は、必ずしもことばだけを使ったものではありませんが、そこでことばが重要な役割を担っていることは、言うまでもありません。ことばを使って、あなた自身を表現してみましょう。難しいことはありません。あなたにそんな気がなくても、あなたが書きたいと思って書いたことばの中には、しっかりとあなたの姿が映し出されています。恥ずかしがっても仕方ないでしょう。なぜなら、それはあなた自身なのですから。

講義の内容・授業スケジュール

授業の時間を使って書くのは落ち着かないし、難しいでしょう。授業で出す課題に基づいて、各自が創作を行って提出し、提出された作品をみんなで読んでみる、という作業の繰り返しを基本とします。課題として何かを要求されなくても、普段作品を書いている、あるいは自由に書きたいという人は、そうした作品を提出してくれて構いません。逆に何でもいから自由に書いてみろと言われても困ってしまう人には、何らかの形で書くべきことの素材と形式を提供し、誰にでも気安く始められるような手段を考えたいと思います。まずは詞の1行から始めましょう。

履修上の留意点

授業で提出された作品は、プリントして出席者の全員に公開することを前提とします。人に見せても恥ずかしくないと自分で思えなければ、作品とは呼べません。本当は恥ずかしくても。

成績評価の方法

提出された作品によって評価します。ただし、プロの詩人や小説家を養成するのが目的ではありませんから、作品としての巧拙よりも、どれだけ自分の世界をしっかりと表現できたかを基準とします。出席も必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
有職故実	おおつかひでこ 大塚英子	短国1・2選	4

講義のねらい

「有職故実」の本来の意味は、故実(正しい前例)に精通している事であって、博搜された前例に基づき、多くは国家的行為の当事者が正しいと判断した方法によって行事を実施し、それをまた記録して故実化しようとするという、政治的文化的営為によって形成された、前近代のシステムである。本講座は、こうした「有職故実」の細目を学習して古典解読の参考に供するだけでなく、そのシステムを対象化して論じることにより、日本文化の研究に一視点を提供したい。

具体的な方法としては、平安朝の儀式書・有職故実書に記されている年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗・文化との関係を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期A、「有職故実」とは何か。学年最初の講義日に説明する。必ず出席してほしい。

B、平安朝の服飾文化

1. 古代服制の歴史的变化をたどり、平安初期に唐風服飾として完備した時の姿を、各種の資料から考える。
2. 律令服飾制を規範としながら、平安貴族社会がどのような流行を生み、それがまたいかなる制度を生じたかを考える。
3. 平安文学の中心となる撰関期の男性装束・女性装束を細部にわたって解説。また、かさね色目の標本で当時の色を調べる。
4. 『源氏物語絵巻』のビデオを見る。

後期A、平安朝の年中行事

1. 『源氏物語』花宴をめぐって曲水宴・重陽宴と比較し、文化的年中行事を考える。
2. 正月の年中行事を詳説。特に朝賀の儀式の持つ政治的意味について考える。

B、平安朝における官職位階の制度

履修上の留意点

常時OHPを用いて、視覚的にわかりやすく講義をするが、必ず出席していないと十分な修得はできないので留意すること。

成績評価の方法

夏休みレポート「源氏物語絵巻における服飾と調度」(絵の模写・復原をふくむ)と、学年末テストを総合して評価する。

教科書

河鱈実英『有職故実』(塙書房) 1,900円  
コンパクト版『日本の絵巻1』(中央公論社) 1,400円、及びプリントを使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化概論	佐原作美・井上 優・川上順子 佐藤 憲昭・茂野 隆晴 末藤美津子・高嶋めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

「タブー」(taboo)を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことは、各担当者により指示があるのでそれに従うこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月19日(水) オリエンテーション

① 近代文学とタブー 《4/26、5/10、5/17、5/24(4回)》

佐原作美

② タブーと宗教 《5/31、6/7、6/14、6/21(4回)》

井上 優

③ 上代文学の中に見えるタブー 《6/28、7/5、7/12、7/19(4回)》

佐藤 憲昭

④ 教育におけるタブー 《9/20、9/27、10/4、10/11(4回)》

川上 順子

⑤ 歴史におけるタブー 《10/18、10/25、11/8(3回)》

末藤美津子

⑥ 慣習のタブー 《11/15、11/22、11/29、12/6(4回)》

茂野 隆晴

◎12月13日 まとめ

高嶋めぐみ

◎1月10日 レポート提出

佐原作美

佐原作美

履修上の留意点

最初の授業時(4/19)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
周縁芸術 I	小林 治	短国1・2選	4

講義のねらい

本講義における周縁芸術とは、文学の周縁にあって、文学を触発し、影響を与え、その想像力を飛躍させ、同時に自己洞察させてきたところの他の様々な芸術、例えば音楽、演劇、映画、美術、写真などを指すこととする。ここでは、それら他ジャンルの芸術と言語表現による芸術-文学作品との関わりの諸相を、日本の近現代に事例をとってみたい。なお、外国文学と日本文学の関わりを考察する比較文学的事例もいくつか入るであろう。

講義の内容・授業スケジュール

宮沢賢治、安部公房、村上龍、村上春樹などの作家、作品と周縁芸術の関係を順次みていく。例えば、賢治と音楽、演劇、安部と演劇、映画、写真、村上龍と音楽、映画、村上春樹と音楽などの予定である。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

その都度、適宜プリントを配布する。

参考書等

授業で、その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
周縁芸術Ⅱ	いしわり とおる 石割透	短国1・2選	4

講義のねらい

日本近代文学と美術、特に絵画との関わりを、作品の表現、発表メディアに挟まれた挿絵、口絵、表紙絵などを通して検討していく予定。この時間では、特に雑誌「明星」「白樺」を中心として、そうした課題をとりあげていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「明星」を中心に、後期は「白樺」を中心にして検討していく予定であるが、その都度プリントなどの資料を配布して授業を進めたい。

履修上の留意点

文学者、文学作品に限らず、この授業では度々美術作品や画家などに言及する筈である。美術に充分に関心を持ち、折をみて、美術館に足を運んだり、画集をひろげる機会を数多くもってほしい。

成績評価の方法

レポートにより評価する。年に2回ほど提出することになる予定。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	さくみ こけいし れんご 作原作美・小林治 坂口博規・鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

「旅」を共通のテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者よりその都度指示があるのでそれに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は次の通りである。

- ①古代文学に見られる旅 (4/13・4/20・4/27・5/11・5/18・5/25) 佐原作美
- ②物語と日記の旅 (6/8・6/15・6/22・6/29・7/6・7/13) 鈴木裕子
- ③中世の旅人と文学 (9/21・9/28・10/5・10/12・10/19・10/26) 坂口博規
- ④現代文学にあらわれた旅について (11/9・11/16・11/30・12/7・12/14・1/11) 小林 治

履修上の留意点

最初の授業時(4/13)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況により評価する。

教科書

各担当者により指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究	川上順子 <small>かわかみよりこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

『古事記』を中心として、『日本書紀』・『風土記』等、日本上代の書物なかの、散文で書かれた文学作品を対象として講義を行う。神話から発して説話・物語に結実する上代文学の流れを押えて、個々の上代文学作品がどのような意義をもつのか考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『古事記』上巻のなかの出雲神話をとりあげて、誰でもよく知っているオオクニヌシの神話と、「出雲国風土記」の相違を考えながら、『古事記』の神話がどのようにして創り上げられていったか研究する。それに先立ってスサノオという神についても考えることになるであろう。さらに時間があれば『古事記』の三輪山神話を研究して、「常陸国風土記」その他にみえるヘビの説話との比較・検討をこころみたい。

後期は『古事記』中巻のヤマトタケル物語を研究するところから始めて、遍歴する貴種の話を考える。『古事記』下巻のオケ・ヲケの物語も貴種流離譚であるが、これは「播磨国風土記」との関わりのなかで考えたい。時間が許せば「古風土記逸文」の楽しい話を順次紹介したい。

履修上の留意点

授業の前に教科書を読み、話のあら筋や内容を把握してから出席すると、講義の内容がよくわかり、深く理解することができる。上代文学の大きさを実感してもらいたい。

成績評価の方法

リポートによる評価を行う。出席を毎回とり参考にする。随時小論文提出を行うので専用ノートを用意して講義にそなえること。

教科書

①倉野憲司校注『古事記』(岩波文庫) ②大久間喜一郎編『古代説話風土記篇』(おうふう)

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学研究	鈴木裕子 <small>すずきひろこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』第三部の世界を考察します。光源氏という英雄が不在となった第三部は、第一部・第二部世界を縛っていた王権や家の意思や予言といった強力な呪縛から比較的自由な物語世界と言えるでしょう。とくに宇治十帖に描かれた人間の生の問題に、現代を生きる私たちにも通じる問題意識を探ってみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

今年は大君物語について、特にその結婚拒否の問題を中心に検討します。まず、『源氏物語』三部構成説についての概説、第二部世界から第三部世界に繋がる問題の所在、匂宮三帖についての解説から始めます。

授業はテキストを用いての講義形式が中心です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

『源氏物語六』新潮日本古典集成(新潮社)

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究	さか ぐち ひろ ぎ 坂 口 博 規	短国1・2選	4

## 講義のねらい

我が国の歌人の中でも、特に平安時代末(1118~1190)に生きた歌人西行法師は広く親まれ、その歌は愛誦されている。西行は後代に影響を与え中世文学の開拓者とも考えられ、その精神は継承されている。その西行の生涯を通して中世文学の精神を考えたい。

 講義の内容・  
授業スケジュール

西行の歌のうち、特に旅の歌を中心に詠みながらその生涯を考える。従って通年で若い時期の旅の歌から詠む形をとってゆく。

## 成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その評価と、及び出席内容をもって評価する。

## 教科書

開講時に指示する。西行の歌集(山家集他)ならどの出版物も可。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究	せい だ けい こ 清 田 啓 子	短国1・2選	4

## 講義のねらい

近世文学の諸ジャンルの中で大きい存在である読本(よみほん)を対象にしたい。前期読本が『雨月物語』をその頂点とし、後期読本に影響を与える様相、そして後期読本の成熟という流れを追い、曲亭馬琴の代表作『椿説弓張月』を鑑賞する。

 講義の内容・  
授業スケジュール

読本の簡単な歴史の説明。その時々代表的作品の紹介・鑑賞。それらを経て、『弓張月』前編を影印本で読む。

## 履修上の留意点

読本には大部の著が多いがその分量に怖れず、当時の読者と同レベルで楽しもうと心がけてほしい。何かを発見するはずである。

## 成績評価の方法

授業への参加、宿題やリサーチ等による。

## 教科書

坂坂則子編『椿説弓張月前編』(笠間書院)1,748円



科目名	担当者名	配当学科	単 位
近・現代文学研究	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

「モダニズムの諸相」を年間テーマとして、近・現代の小説と戯曲を扱う。ただし、文字として書かれたテキストのみを対象として扱うのではなく、作品の背景にある時代、風俗、社会思想を広く多面的に視野に入れることにより、モダニズムという文化状況自体を再考したい。西洋諸国から突如としてもたらされた「近代」という名の、ありがたい、そして同時に抗し難い巨大な力を前にして、日本人がそれをどのように身に纏い、あるいは反発し、そして自らの身体のうちに取り込んで行ったのか、その軌跡を追う。過去を検証する作業としてではなく、ポストモダンと言われて久しい今日の時代状況において、モダニズムにおける個々の事象が現代を生きる我々に何を語りかけてくるかを検証する。

講義の内容・授業スケジュール

幅広い領域を扱うので、個々の事象について綿密な検証を行う余裕はない。そこで、モダニズムと呼ばれる文化の諸側面を、直感的に把握する方法をとる。モボ・モガと呼ばれた特異な人々、谷崎潤一郎の「痴人の愛」や川端康成の「浅草紅団」に描かれた風俗、浅草オペラやエノケンのレビューなど西洋音楽劇を取り込んだ芸能空間、映画という新しいメディアとの出会いといった事象に触れることにより、大衆消費社会の誕生にまつわる一連の文化状況の立体像を、個々の感性と想像力を生かして幻視する力が要求される。

成績評価の方法

出席回数による評価に加え、年1回のレポート提出を課す予定。

教科書

上記のような複眼的視点を必要とするため、特定の教科書を指定することはできないが、毎回プリントで必要な資料を配布し、取り扱う事象に関する参考文献を紹介する。

その他

基本的に講義形態の授業とする。教室の設備が許せば、VTRによる映像を教材として使用したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学研究	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語の語彙を中心とした講義をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は敬語の起源・中古中世の敬語をとりあげ、後期は近世近代の敬語について検討してみたい。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用いて講義を中心に進めたい。

成績評価の方法

前期・後期にそれぞれ1回、その他授業中に適宜小テストを実施する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習 I	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。  
 ○書体とその変遷を理解する。  
 ○初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。  
 ○仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習 II	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

○古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。  
 ○変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。  
 ○実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）〈書道実習 I、II 併用〉

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理	なかほら まこと 中原 誠	短国1・2選	4

講義のねらい

コンピュータ利用技術の進歩は、ダウンサイジングと低価格化を招き、「コンピュータは高価で利用は難しい」というイメージを払拭し、社会のあらゆる面に於いてコンピュータによる情報処理は必須となってきている。全社員にパーソナルコンピュータを与え、すべての業務をコンピュータ処理する企業も増えており、コンピュータに関する知識と利用技術は必須となってきている。

このような実社会の現状を踏まえ、この講座では、基本的なコンピュータ知識と利用技術の習得に重点をおき、講義と実習を併用しておこなう。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 前期

ビジネスレターの作成を通して、ワードプロセッサの利用技術とビジネス社会の基本実務の知識習得に重点をおいて進める。

(2) 後期

コンピュータの基本機能と利用技術に関する講義とパソコンを利用したビジネス諸表の作成をおこない、コンピュータの理解と一般的な利用技術を習得することに重点を置く。

履修上の留意点

本講座は、情報処理の基本を中心に講義するので、コンピュータ関連の知識は皆無でも受講可能である。

但し、実習がかなりのウエイトをしめるので、欠席した場合は、次の時限の講義を理解することが難しくなる。年間を通して、無欠席で受講する覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験を組み合わせる総合的に評価する。  
試験は、前期（講義時間内）と期末（全学一斉）におこなう。

教科書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度、配布する。

参考書等

開講時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用情報処理	なか はら まこと 中 原 誠	短国1・2選	4

講義のねらい

ここ数年世の中はコンピュータブームに沸き、多くの企業で全従業員に1台ずつのパーソナルコンピュータが与えられ、企業内に張り巡らされたネットワークを経由して、誰もが簡単に様々なデータを手に入れ、自らの業務に役立つ情報に加工できるようになってきた。もはや、企業においてはワープロや表計算ソフトを使えることは当たり前となり、むしろデータをどのように処理すればより業務に役立つ情報になるかということを考える知恵が重要視されるようになりつつある。こうした点を踏まえ本講座では、最近のデータベース技術の概要と利用法を、講義と実習を通じて学びながら、データの有効な活用法を習得することを狙いとす。

講義の内容・授業スケジュール

前期  
前期はデータベース技術の概要と利用法の基本を、実習を通じて習得する。  
後期  
データベース内のデータを他のアプリケーション(表計算ソフト、ワープロソフト等)を利用して、より役立つ情報に加工する技術を習得する。

履修上の留意点

本講座の受講にあたっては、ワープロの知識は必須で、できれば表計算ソフトの知識があることが望ましい。実習のウェイトがかなり高く、欠席による遅れを次の時限の講義で取り戻すことがなかなか難しいため年間を通して欠席をしない覚悟が必要である。

成績評価の方法

出席状況等の平常評価と試験の組み合わせで総合的に評価する。試験は、前期(講義時間内)と期末(全学一斉)に行う。

教科書

すべてプリントを使用する。講義開始時に、都度配布する。

参考書等

開講時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
表現法	まさ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本語の構造や特質の理解を通じ、文章表現力を養うのが本講義の主眼である。表現とは、自己発現の手段であると共に、他者や社会とのコミュニケーションをはかる手段でもある。そのことを踏まえ、明晰で論理的な、そして何よりも正しい表現方法の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を中心に現代日本語の表現について学ぶ。それと並行して、プリントなどの各種教材を参考に語彙力や書く力の向上をはかる。

履修上の留意点

随時に課す、課題を通して積極的な講義への参加をのぞむ。

成績評価の方法

授業中に実施する各種課題、レポート等を総合的に評価する。

教科書

影山尚之他編『日本語と表現の工夫』(双文社出版) 1,796円

参考書等

教場にて、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	はせがわ たかし 長谷川 孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を讀みとるのかという「視点(目のつけどころ)」と、「なぜ」それを伝えるのかという意思と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材、原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして考えながら、「自分の視点」を育てることを目指したいと思っています。「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われます。こうした観点からも、編集を考えてみることでできれば、と思います。個人紙(誌)づくりの課題には、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙(誌)を課題作品として提出してもらうほか、自己評価と平常の提出物などによります。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたの としお 旗野 寿雄	短国1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースや報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材(マスメディア志望者)、あるいは、情報を自律的に解説・判断できる人間(読者)を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉毀損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、小論文、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語(意見発表)歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
秘書概論	もり森 もと本 まさ正 え恵	短国1・2選	2

講義のねらい

イギリスの産業革命以後興った急激な工業化、社会の変革に伴い秘書業務の必要性が叫ばれ、近代の秘書の地位が確立した。しかし、ここ数年においては、オフィスオートメーションによる情報システムの進展により国際化、情報化が急速に進み従来の業務とは異なった新しい業務の処理が求められる。このような企業の業務革新に伴い、本来の秘書業務を基盤として、さらに質の高い新しい業務処理能力が秘書に求められるのは自明の理である。現在の大きな変革の波の中でこそ可能な秘書のニーズはある。そこで、秘書として必要な基本的資質、職務知識、形態、課題や今後の問題について理解を深めるために秘書理論を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. 企業とは何か-会社の種類と特徴、企業経営と組織
3. 「働く」とは-産業・職業に関する知識職場とは何か
4. 秘書活動の基本-秘書の機能と形態
5. 職務能力と専門性-秘書の資質と専門能力
6. 秘書と人間関係-TAで自分を知る
7. 秘書に求められるコミュニケーション能力
8. 予備日 (学会)
9. 秘書とパーソナリティ-必要とされるパーソナリティ
10. 秘書と情報
11. ライフスタイルについて-女性とライフスタイル、キャリアアップへの道
12. レポート提出
13. 予備日

履修上の留意点

講義形式で授業を進めるが、各自の個別学習(予習)と全員での学習を効率よくかみ合わせ、クラスでは発表の機会などを設け、自分の考えが表現できるような創造的学習を行う。グループワークも取り入れるので、欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心がけること。

成績評価の方法

出席及びレポートを重視する。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識をもち(新聞・ニュースなどに常に興味をもつこと)自分で考え、自分の言葉で表現できるようになること。課題が出された場合、指定の提出日に必ず出すこと。期限の過んだものは評価しない。他人のレポートを写すなどは論外である。(0点)  
2年生は、就職活動で欠席を余儀なくされることがあるが、欠席の届を出したうえで「就職活動の報告」を翌週に発表してもらうことにより、欠席分を補えるものとする。

教科書

武田秀子 能登洋子 松井弘子 三村善美 共著『新秘書・ビジネスワーク論』1998(早稲田教育出版) 1,900円

参考書等

新聞記事など新しい情報はプリントして、その都度配布する。

その他

オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと。出席を重視するので、止むをえず欠席する場合は、必ず届出ること。合同授業のため、受講生が多いと予想される。授業中の私語や遅刻は他人の迷惑になるので慎むこと。授業中は、働く女性としての意識をもち、行動するように心がけること。以上のような基本的なことが守れない人は、登録を遠慮してほしい。以上

科目名	担当者名	配当学科	単 位
秘書実務	もりもとまさえ 森本正恵	短国1・2選	2

講義のねらい

秘書業務の基本を修得する。  
 企業で働く秘書として必要な資質、職務知識、一般知識、マナー・接遇、技能などの分野について学び、即戦力として実務知識が役立つような講義を目的とする。  
 文部省認定秘書技能検定試験の受験にも対応できる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の進め方としては、秘書や秘書の仕事について考え理解し行動でき、表現できるように適宜レポートや実技(来客対応・電話対応など)を課題として与えながら実務能力がつくように進めていく。

(授業計画)

1. オリエンテーション(ねらいと進め方)
2. 秘書の役割と心がまえ
3. 会 話(話し方、聞き方、敬語)
4. 接 遇(来客対応、電話対応)
5. 文書作成Ⅰ(社内文書、社外文書、グラフ)
6. 文書作成Ⅱ(社外文書、メモ・グラフ)
7. 文書管理(ファイリング、郵便の扱い)
8. 交際業務と環境整備(慶弔のマナー、仕事のしやすい環境)
9. 会 議Ⅰ(会議の種類と準備、後始末)
10. 会 議Ⅱ(会議の実際-グループワーク)
11. 日程管理(行動予定、出張、旅行)
12. 実 技①基本の姿勢(おじぎ、イスの立ち方座り方、歩き方)
13. 実 技②(接遇 受付、取次、案内、接待、見送り)
14. まとめ

履修上の留意点

毎年、受講者が多いため、グループ別ワークを取り入れることもある。他のメンバーに迷惑をかけないよう心がけること。  
 毎回講義と演習を中心に進めますので、資料を参考にして課題をきちんとこなすこと。  
 提出物については、締切日を守るように自己管理すること。

成績評価の方法

小テスト及び定期テストの成績。レポート等の提出物。実技。授業への参加意識などを含んだ総合評価とする。

教 科 書

野坂裕子・能勢照代・森本敦司共著『セクレタリアル・オフィスワーク・ノート』(燃焼社) 1,800円

そ の 他

なお、適宜ビデオを使用し、秘書や秘書の仕事について具体的な理解ができるようにするとともに、立ち居振舞いや話し方について自己を客観的に見られる資料とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究Ⅰ	せい た けい こ 清 田 啓 子	短国2選	4

講義のねらい

各自が選んだテーマで研究論文を作成することが『卒業研究』という科目の目的であり、この時間(クラス)は古典(上代・中古・中世・近世)を研究対象に選んだ学生のためのものとなる。

講義の内容・授業スケジュール

四月～五月は、論文作成のための基礎を固める期間。テーマの検討・決定、調査方法、その他についてアドバイスし、完成までの過程を“楽しく”想像してもらえればと思う。

六月以降は、対象とする時代・作品によりそれぞれ専門の教員の指導を受ける。そして一月最終授業時までに研究論文を提出してもらう。

その間随時、責任担当者として清田が相談に応じてゆくことになる。

履修上の留意点

二年間の学習の総決算として、自己の好むテーマにより研究を完成させることは、大きな喜びとなるはずである。過程の大変さもよい思い出になり、卒業後の自信にもつながるので、ぜひ試みてほしいと思う。

成績評価の方法

完成論文による。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究Ⅱ	いし わり とう 石 割 透	短国2選	4

講義のねらい

二年間の学習の一つの達成として、自己の研究テーマ、自己のモチーフに基づいた分野の研究を追究し、これ迄の研究成果を十分に吸収し、視野に取めたうえで一つの論文を作成していく。この時間は、そうした論文を実際に書き、その質をより高いものに仕上げていくための、実際の指導を行う。この時間は、研究テーマを近・現代文学に関わる者が受講してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月にかけては、論文の具体的なテーマを各自が決めるまでの期間として、研究の基本的な方法、研究を進めるうえでの基本的な文献、多様な研究方法のありようを紹介する。各自の研究テーマが決められた六月以降は、テーマに基づいた指導を個々に具体的に行ない、進行状況、問題点を指摘し、指導する。そのようにして自己のテーマを深めながら、十二月末或いは一月のはじめに、四百字詰め原稿用紙三十枚から四十枚の論文を提出する。

履修上の留意点

二年間の学習成果をまとめる意味で、できるだけ多くの学生に受講してほしいと思う。論文を書くことで、直接のテーマを超えた、多くのことが見え、新たな発見がなされるに違いない。受講者は、他の受講者のテーマにも関心をもち、互いに話し合ったり、刺激を与えあったりすることができれば、と思う。

成績評価の方法

完成した論文によるとともに、授業時の学習意欲、積極性に高い評価を与えたい。

教科書

特に指定はしない。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 Ⅲ	かた 片 やま 山 はる 晴 かた 賢	短 国 2 選	4

講義のねらい

卒業研究Ⅲは、国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初に論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教 科 書

面談の中で指示する。

# 1. 專門教育科目

## (2) 英 文 科



# 1. 専門教育科目

## (2) 英 文 科

英米文学概論〈熊崎久子〉	63
英語講読Ⅰ〈三島出〉	64
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ〕	
英語講読Ⅰ〈熊崎久子〉	65
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ〕	
英語講読Ⅰ〈滝静寿〉	66
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅰ〕	
Oral CommunicationⅠ〈デンドウ, G.〉	67
〔平成11年度以前入学生：Freshman English〕	
Oral CommunicationⅠ〈ウエイド, D. A.〉	67
〔平成11年度以前入学生：Freshman English〕	
Oral CommunicationⅠ〈キーズ, P.〉	68
〔平成11年度以前入学生：Freshman English〕	
Intensive EnglishⅠ〈モエ, R. A.〉	69
Intensive EnglishⅠ〈ゴムリグーナー, L.〉	69
Intensive EnglishⅠ〈オーラー, B.〉	69
Intensive EnglishⅡ〈キーズ, P.〉	70
Intensive EnglishⅡ〈ウエイド, D. A.〉	70
Intensive EnglishⅡ〈ミルン, A.〉	70
Intensive EnglishⅡ〈アシュウエル, T.〉	71
Intensive EnglishⅢ〈シェレン, キース.〉	71
Intensive EnglishⅢ〈ギャリソン, J. G.〉	72
Intensive EnglishⅢ〈山縣裕〉	72
Intensive EnglishⅣ〈アシュウエル, T.〉	73
Intensive EnglishⅣ〈オーラー, B.〉	73
Intensive EnglishⅣ〈ロルフ, M. F.〉	74
Intensive EnglishⅣ〈デンドウ, G.〉	74
コンピュータⅠ〈湯浅陽子〉	75
コンピュータⅠ〈野崎芳秀〉	76
英文学史〈滝静寿〉	77
英語講読Ⅱ〈梅原敏弘〉	78
英語講読Ⅱ〈高野秀夫〉	78
英語講読Ⅱ〈三島出〉	79
Oral CommunicationⅡ〈デンドウ, G.〉	79
Oral CommunicationⅡ〈ウエイド, D. A.〉	80
Oral CommunicationⅡ〈キーズ, P.〉	80
Intensive EnglishⅤ〔平成12年度以降入学生〕〈モエ, R. A.〉	81
Intensive EnglishⅤ〔平成12年度以降入学生〕〈ゴムリグーナー, L.〉	82
Intensive EnglishⅤ〔平成12年度以降入学生〕〈オーラー, B.〉	82
Intensive EnglishⅥ〔平成12年度以降入学生〕〈キーズ, P.〉	82
Intensive EnglishⅥ〔平成12年度以降入学生〕〈ウエイド, D. A.〉	83
Intensive EnglishⅥ〔平成12年度以降入学生〕〈ミルン, A.〉	83
Intensive EnglishⅥ〔平成12年度以降入学生〕〈アシュウエル, T.〉	83
Intensive EnglishⅦ〈シェレン, キース.〉	84

Intensive English VII	〈ギャリソン, J. G.〉	84
Intensive English VII	〈山 縣 裕〉	85
Intensive English VIII	〈アシュウェル, T.〉	85
Intensive English VIII	〈オーラー, B.〉	85
Intensive English VIII	〈ロルフ, M. F.〉	86
Intensive English VIII	〈デンドウ, G.〉	86
コンピュータ II	〈湯 浅 陽 子〉	87
コンピュータ II	〈野 崎 芳 秀〉	88
英 語 学 概 論	〈高 野 秀 夫〉	89
言 語 と 文 化	〈 休 講 〉	
日 英 語 比 較	〈梅 原 敏 弘〉	90
英 文 法 論	〈梅 原 敏 弘〉	91
英 語 音 声 学	〈山 縣 裕〉	91
作 品 作 家 研 究	[ロマン派の詩] 〈熊 崎 久 子〉	92
作 品 作 家 研 究	[世紀末文学] 〈滝 静 寿〉	93
作 品 作 家 研 究	[20世紀アメリカ小説] 〈吉 沢 栄 治 郎〉	93
作 品 作 家 研 究	[19世紀英文学] 〈高 野 秀 夫〉	94
作 品 作 品 研 究	[近代アメリカ文学] 〈三 島 出〉	95
米 文 学 演 習	〈ギャリソン, J. G.〉	96
20世紀イギリス文学	〈高 野 秀 夫〉	97
〔平成11年度以前入学生：20世紀英文学〕		
ア メ リ カ 演 劇	〈ギャリソン, J. G.〉	98
20世紀アメリカ文学	〈 休 講 〉	
〔平成11年度以前入学生：20世紀米文学〕		
戯 曲 研 究	〈熊 崎 久 子〉	99
英 米 文 学 講 読	〈熊 崎 久 子〉	100
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
英 米 文 学 講 読	〈滝 静 寿〉	100
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
英 米 文 学 講 読	〈三 島 出〉	101
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
英 米 文 学 講 読	〈高 野 秀 夫〉	101
〔平成11年度以前入学生：英文講読Ⅱ〕		
聖 書 研 究	〈水 島 陽 子〉	102
西 洋 古 典 文 学	〈水 島 陽 子〉	103
イ ギ リ ス 史	〈 休 講 〉	
イギリス文化事情	〈アシュウェル, T.〉	104
ア メ リ カ 史	〈モ エ, R. A.〉	105
アメリカ文化事情	〈 休 講 〉	
時 事 英 語	〈 休 講 〉	
英 語 演 習	[ボキャビュラリービルディング] 〈梅 原 敏 弘〉	106
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅲ〕		
英 語 演 習	[時事英語へのアプローチ] 〈吉 沢 栄 治 郎〉	107
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅳ〕		
英 語 演 習	[センテンスの構造] 〈三 島 出〉	107
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅴ〕		

英語演習〔英語表現〕〈高野秀夫〉	108
〔平成11年度以前入学生：英語演習Ⅵ〕	
英語表現〈三島出〉	108
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈梅原敏弘〉	109
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈高野秀夫〉	109
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語表現〈吉沢栄治郎〉	110
〔平成11年度以前入学生：英作文〕	
英語翻訳法〈梅原敏弘〉	111
Advanced English A 〈モエ, R. A.〉	112
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈ギャリソン, J. G.〉	113
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English A 〈アシユウエル, T.〉	113
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II A〕	
Advanced English B 〈モエ, R. A.〉	114
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈ギャリソン, J. G.〉	115
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
Advanced English B 〈アシユウエル, T.〉	115
〔平成11年度以前入学生：Advanced English II B〕	
News English 〈休講〉	
English through Movies 〈休講〉	
英語とコンピュータⅠ〈ブルックス, D.〉	116
英語とコンピュータⅡ〈ブルックス, D.〉	118
同時通訳入門〈モエ, R. A.〉	119
〔平成11年度以前入学生：同時通訳Ⅱ〕	
秘書英語〈森本正恵〉	120
秘書実務〈森本正恵〉	121
秘書概論〈森本正恵〉	122
ジャーナリズム研究〈旗野寿雄〉	123
ビジネスイングリッシュ〈町井靖〉	123
日本語教育法〈石田小百合〉	124
表現法〈笹瀬王子〉	124
Group Discussion〔平成11年度以前入学生〕〈マーフィ, K.〉	125
Group Discussion〔平成11年度以前入学生〕〈グリフィス, J.〉	125
Group Discussion〔平成11年度以前入学生〕〈トームソン, E.〉	126
Group Discussion〔平成11年度以前入学生〕〈スネール, J.〉	126
Reading Comprehension〔平成11年度以前入学生〕〈グリフィス, J.〉	126
Reading Comprehension〔平成11年度以前入学生〕〈エバアート, A.〉	126
Reading Comprehension〔平成11年度以前入学生〕〈マーフィ, K.〉	127
Intensive English V〔平成11年度以前入学生〕〈レオン, J.〉	127
Intensive English V〔平成11年度以前入学生〕〈スカーリー, S.〉	127
Intensive English VI〔平成11年度以前入学生〕〈エバアート, A.〉	128
Intensive English VI〔平成11年度以前入学生〕〈トームソン, E.〉	128

Intensive English VI [平成11年度以前入学生] 〈スネール, J〉	……………	128
Intensive English VI [平成11年度以前入学生] 〈グリフィス, J〉	……………	128

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学概論 (前期)	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1必(一類)	4
		12以降入学生/短英1・2選必(二類)	
		11以前入学生/短英1必	

専門(英文科)

講義のねらい

古代英語の時代より、中世英語の時代、文芸復興期を経、浪漫主義、古典主義等々の長く、膨大な歴史と伝統の上に結実をみせた19世紀イギリス文学と逞しい開拓精神と果てしない夢と希望の上に独自の浪漫主義を開花させた19世紀アメリカ文学を、それぞれの時代の趨勢を背景に概観する。産業革命の影響を受け、大きく変動していく社会と揺れ動く人心を反映させたヴィクトリア女王朝のイギリス文学は明治の日本文学にも少なからぬ影響を与えています。英国同様に産業革命の影響を受け、また、辺境の消滅による失意から、リアリズム文学へ、自然主義文学へと変革するアメリカ文学は後にこの国独自の文学者を生み出します。南部作家、黒人作家等です。それらの背景を踏まえて社会と文学の接点にも目を向けます。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 前期 ヴィクトリア朝の英文学
  - 4月 英文学の流れ ― 古代英語時代から18世紀まで、およびヴィクトリア朝概観
  - 5月 詩歌
  - 6月 小説
  - 7月 アイルランド文芸運動、児童文学、世紀末文学
- ② 後期 19世紀米文学
  - 9月 独立以前からロマンティシズム興起まで
  - 10月 ロマンティシズム興隆からリアリズム発生まで
  - 11月 リアリズムの確立、自然主義の台頭、第一次世界大戦前後
  - 12月 新劇、ロスト・ジェネレーションの作家、黒人作家、南部作家
  - 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- ① 予定表に従い、作家と作品について論じる。重要な作品については必要な箇所を引用し参照します。特に韻律が主要な役割を果たす詩歌の場合は解説のみでは十分な理解ができないので作品を引用し朗読します。
- ② 必要に応じ講義概要を配布する。あるいは黒板に板書します。
- ③ 終了前10分間弱を質問の時間に当てます。

履修上の留意点

広い範囲の作品作家を扱うことになるので、予定表を参考にあらかじめその日のための予備知識を備えて出席すること。出席するだけでは内容の把握が出来ません。またその日の疑問は必ずその日に質問をし、解決しておくこと。

成績評価の方法

1. 定期試験の成績……50%
2. 年2回提出のレポートの評価……30%
3. 授業中に提出をもとめた小レポート……20%

教科書

教場にて説明・紹介します。

参考書等

引用も多く専門的なものとしては、斎藤勇著『英文学史』(研究社)、『アメリカ文学史』(同上)があります。  
 その他、英米文学史関係の本であれば殆ど差異はありません。自分に合ったものを各自選んでほしい。辞書的なものは『英米文学辞典』(研究社)、『イギリス文学案内』(朝日出版社)、『アメリカ文学案内』(朝日出版社)などがあります。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語講読Ⅰ(前期)	みしま 出	12以降入学生/短英1必(一類)	2
英文講読Ⅰ(前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

英文を読んで単にその内容を理解するだけではなく、内容記述に用いられている語彙に関しての学習や聞いて理解するための技能の修得をも、この学習の目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

アメリカ文学に関する情報を平易な文体で紹介している。取り扱う作家としては、Washington Irving, Edgar Allan Poe, Walt Whitman, Emily Dickinson, Edwin Arlington Robinson, Robert Frost, T. S. Eliot, Eugene O'Neill, Sherwood Anderson, Sinclair Lewis, Ernest Hemingway, F. Scott Fitzgerald, William Faulkner, Thomas Wolfe, John Steinbeck, Robert Penn Warren, Tennessee Williams, J. D. Salinger, William Saroyan の20名である。

各課の冒頭にGuide to Readingとして三つの質問事項が示されている。これらの質問を念頭において、先ず読んで質問に答える事から授業は始まる。次ぎにPractice Aではテープを聴き、正しい答えを選ぶ作業がある。Practice Bでは、空白に入るべき適当な語彙を選ぶ作業があり、Practice Cは、単語の意味を英語で理解する問題(英英辞典を引いてその単語の特徴を理解するのと同じ学習過程)、最後のPractice Dは、対話を聞いて英文を正しく並び替える英文構造に関する学習である。

年間の実質的な授業時間は20時間前後なので、一時間にワンレッスンを終わらせたいと考えている。

履修上の留意点

予習してくることが大切。予習の如何によって、学生の理解度には大きな差が出てくると思う。テキストにウエイトを置くので何度も何度も予習・復習を繰り返してもらいたいと思う。

成績評価の方法

授業への出席状態と筆記試験によって評価する。授業への遅刻は、減点の対象となるので注意すること。

教科書

『Famous American Writers (アメリカの作家たち)』(朝日出版社) 1,600円

参考書等

特になし。教科書中心に学習すればよい。

その他

テープレコーダーを毎回使用する。時々ビデオも使用して理解への助けとする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	くま ぎき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1必(1類)	2
英文講読 I (前期)		11以前入学生/短英1必(1類)	

講義のねらい

- 20世紀英文学の中でも特異な存在であるD. H. ロレンスの後半生について、妻フリーダが綴った思い出の記、「私ではなく、風が……」を読みます。
- 併せてロレンス自身が書いた短編小説、詩、エッセイ、および書簡を読み、人生、愛、性、芸術、宗教など、あらゆる分野に互り独自の見解を披瀝しているロレンス自身の生き方とその思想に触れたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前半；第一週 D. H. ロレンスについて解説  
第二週以降 “*Not I, but the Wind* ……” を読む。  
質疑応答とまとめ。
- 後半；D. H. ロレンスの作品を読む。小説、詩、エッセイ、書簡等。作品のコピーを逐次配布します。  
最終週 質疑応答とまとめ。

授業のスケジュール

- 「私ではなく、風が……」は簡単な文章で綴られていますので速読をいたします。作品中に言及されているロレンスの詩、小説、紀行文などはその都度、一部引用して鑑賞します。受講者全員による朗読とディスカッションを行います。
- 配布プリントはロレンス自身の英語で書かれたものですから十分に文章と内容を味わいます。この場合も受講者全員の発表と意見の交換を行います。

履修上の留意点

十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握して教場に臨んでください。朗読、意見発表は申し出制としますので、下調べ等あらかじめ準備をしてクラスに臨み、積極的に参加してください。

成績評価の方法

定期試験の成績……60%  
平常点……40% とします。

教科書

- Frieda Lawrence : “*Not I, but the Wind* ……” (弓プレス)
- D. H. Lawrence の作品、プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読 I (前期)	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	12以降入学生/短英1必(1類)	2
英文講読 I (前期)		11以前入学生/短英1必(1類)	

講義のねらい

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』の中の作品(未定)を取り上げ、輪読・鑑賞する。子供向けに平易に書き直されたものであるが、文学的格調の高い文体を通し、ラムのシェイクスピアに対する思い入れを考えていく。また、原典の一部を対訳を通して読み、シェイクスピアの言葉の特質を考えてみる。途中で映画を鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) ラムの『シェイクスピア物語』を輪読・鑑賞する。  
(後期前半) 原典の一部を対訳を通して読む。  
(後期後半) シェイクスピアの作品の映画を鑑賞し、劇作家とその作品を研究する。

履修上の留意点

小グループに分け、輪番制で研究発表をする。割り当てられた所は、文法的な問題はもとより、全て責任をもって質問や意見に答えてもらう。  
予習が第一、授業に対する積極的な態度が第二、遅刻、欠席には厳しく臨む。

成績評価の方法

授業態度、出席率、意見の発表、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral Communication I (前期)	Dendo, Gary (デンドウ, ゲーリー)	12以降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English (前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

## 講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

 講義の内容・  
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

## 履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

## 成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

## 教科書

No text will be used.

## 参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral Communication I (前期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	12以降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English (前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

TEXTBOOK: *Go Ahead, Talk* by Paul Gilbert (pub. by Macmillan)

Our textbook, which was written especially for Japanese students, creates many opportunities for you to express your ideas and opinions with a partner or in small groups. The exercises cover a wide range of contemporary topics that should build confidence in your ability to communicate effectively in English.

Grades will be determined by your attendance, participation and improvement, as well as in-class quizzes and presentations.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication I (前期)	Keyes, Peter (キーズ, ピーター)	12以降入学生/短英1必(一類)	2
Freshman English (前期)		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

The text will be announced later.  
Supplementary material will be handed out by the teacher.

講義の内容・  
授業スケジュール

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

履修上の留意点

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

成績評価の方法

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

教 科 書

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt

参 考 書 等

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

そ の 他

Although the text will be announced later the students will require the following :-  
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).  
An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English I (前期)	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

The emphasis of this course is on grammatical structure and rapid response to oral questions. These exercises are designed to help students to make the transition from mental translation to naturally responding in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

This course will be conducted in the language laboratory. Students will record lessons in advance which they will be expected to thoroughly study outside of class. In class, students will be drilled on their comprehension of the content and their ability to use the structures and patterns being introduced. There will be a 20-question multiple-choice test each lesson over the content of the previous lesson.

履修上の留意点

Preparation for this class will require much preparation and practice. Merely studying the material and memorizing its content will not be enough; students will need to actually practice speaking outside of class. Using the practice tapes recorded in class is essential, however, motivated students will find that practicing with a friend will greatly improve their skills. It will be necessary to attend every class promptly. Absences and tardiness will adversely affect evaluations.

成績評価の方法

Evaluation will be based on ability, performance, and attendance. There will be approximately 20 tests over the material being studied and the average of these tests will be the central determining factor in grading. In addition, absence and tardiness will be reflected in the evaluation formula as negative factors. The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y) + 2Z) / 3) + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all tests, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

Students will be provided with printouts of the material to be studied in class.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English I (前期)	Gormley-Guner, L. (ゴムリグーナー, L.)	短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English I (前期)	Olah, B. (オーラー, B.)	短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English II (前期)	Keyes, Peter (キーズ, ピーター)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

The main text will be announced later, but supplementary material will be handed out by the teacher.

講義の内容・授業スケジュール

The course will concentrate on improving the students' reading ability, but written work will also be included in this course. The skills of silent reading for speed and comprehension, skimming for finding selected information and oral reading for developing fluency of speech and good clear pronunciation will be actively encouraged.

履修上の留意点

A wide range of reading material will be used such as news and magazine articles, short stories and books in simplified form.

成績評価の方法

Students will be expected to read extensively outside class and to prepare reports for classroom presentation.

教科書

Students will be graded throughout the semester for classroom effort and will be required to keep a notebook of the readings and class activities in English. Marks will also be given for high attendance.

参考書等

Although the text will be announced later the students will require the following :-  
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).  
An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English II (前期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	短英1必(二類)	2

TEXTBOOK : *Read All About It : Book 1* by Lori Howard (pub. by Oxford)

Throughout this first semester course we will concentrate on improving your reading skills. A wide range of news stories, magazine articles, fables and even some poetry will be studied to increase your vocabulary and comprehension, and to develop critical thinking about English texts. There will be time for dialogues and discussions in class as many of the exercises involve working in pairs or small groups.

However, you will be expected to read extensively outside the class and to prepare written book reports. Copies of several well-known stories-especially adapted and shortened for students-are reserved for you in the library. A complete list of the required readings and due dates for your book reports will be distributed in class.

Grades will be based on attendance, in-class performance, book reports and presentations.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English II (前期)	Milne, A. (ミルン, A.)	短英1必(二類)	2

To be announced

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II (前 期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, T.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will read a large number of graded English readers and will begin to treat reading English as an everyday activity it is hoped.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will receive an orientation booklet at the beginning of the course explaining the rationale for the course, the target number of pages they will have to read and the way the grading system is connected to the total number of pages read. Students will turn in reports on each graded reader they read. These will be checked by the teacher and returned to the students who will then stick the reports into a notebook. Apart from reading the graded readers silently in class, time will be spent developing students' awareness of the reading resources around them and on exploring ways of exploiting these resources.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on i). number of pages read; ii). effort shown in class; 3). attendance.

教 科 書

All readers are provided. Students will occasionally be asked to buy an English language newspaper.

そ の 他

Students will need a B5 (or slightly bigger) notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前 期)	Schellin, Keith (シェレン, キース)	短英1必(二類)	2

To be announced



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前期)	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J. G.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation and the results of tests given after each lesson is completed-normally 3 to 4.

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前期)	やま がた ゆたか 山 縣 裕	短英1必(二類)	2

講義のねらい

実際にアメリカで放映されている番組を見ることによって、通常のテキストにない生きた英語を聞きとる。

履修上の留意点

原則として、8回欠席したものは単位を与えない。授業開始から20分以内に来た者のみ遅刻(1/2出席扱い)とする。

成績評価の方法

出席点、定期試験、小テストなどを総合的に評価する。

教 科 書

プリント教材を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English IV (前期)	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

This course will aim to develop student's ability to cope successfully with situations they are likely to find themselves in if they travel in English-speaking countries or if they study abroad or if they go on a homestay programme abroad. The emphasis will be very much on spoken survival English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum for the first time in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course. Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be tested orally in this class every other week and at the end of the semester. Grades will be based on: 1). mastery of the expressions covered; 2). effort shown in class; 3). attendance.

教科書

開講時に指示します。

その他

Students will need a B5 notebook.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English IV (前期)	Olah, B. (オーラー, B.)	短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English IV (前期)	Rolff, Michael, F. (ロルフ, M. F.)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Introduction to English in the New Millennium

講義の内容・  
授業スケジュール

Intercultural & global issues introduced, explored and discussed in an autonomous learning environment.

履修上の留意点

Students must stay abreast current world news.

成績評価の方法

Grades based on regular attendance, participation and completion of assignments and journals.

教科書

No required text

その他

Video, audio and other forms of media.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English IV (前期)	Dendo, Gary (デンドー, ゲーリー)	短英1必(二類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews and international communication.

講義の内容・  
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy of the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week.

Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing everyday situations.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his/her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance, quizzes and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅠ (前期)	湯浅陽子	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中でますますコンピュータが普及し、これから社会に飛び立とうとする皆さんは、コンピュータが難しそうだと行って避けては通れない状況になってきています。また、コンピュータ自体も取り扱いがより易しくなり、誰にでも使えるようになってきました。コンピュータを使うには、まず最初にデータの入力という作業が必要ですが、その時にいわゆるブラインドタッチ(手元を見ないで文字入力を行う方法)ができるか否かがコンピュータ操作の重要な鍵となります。この講義では、まず完璧にブラインドタッチを習得し、その上で社会で役立つ技能を身につけることを目的とし、ワープロ技能(Wordを使用)および基礎的な表計算(Excelを使用)を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月～5月 TYPEQUICKを使用し、ブラインドタッチ習得練習、OS基本操作練習を経て、キータッチ2000テスト(日本商工会議所のキーボード操作技能認定試験)模擬試験にて入力速度測定
- 5月～6月 英語ビジネス文書検定試験および各種ワープロ検定試験に対応した入力速度練習を行いながら、入力速度と正確さを高めつつ、ワープロ検定4級の技能習得に励む。
- 6月～7月 ワープロ検定試験(7/12、15)で基礎力を確認。他に表計算ソフト操作練習をして9月のビジコン(日本商工会議所のビジネスコンピューティング検定試験)に備える。第1回キータッチ2000テスト(目標:1,000文字以上/10分間)

履修上の留意点

- ① 総合情報センターの自習室利用登録申請(1,000円:一年間有効、他の科目の課題にも使えて便利)を済ませ、TYPEQUICKの独習、キータッチ2000テスト対策に利用すること
- ② 総合情報センター主催の「ネットワーク講習会」をできるだけ早い時期に受講し、メールアドレスを各自もらうこと
- ③ キータッチ2000テスト用のFD(フロッピーディスク)代および一回分の受験料を一括申込する期間がある。これを逃すと割高になるので気をつけること
- ④ 教場には栓の開いた飲み物を持ちこまない
- ⑤ できるだけ欠席をしないこと。どうしても都合がつかなくて欠席する場合は、事前に担当教員にその旨を伝え、欠席する授業に最も近い他の時間に振り替えて出席するか、課題をもらって次の授業までに自習室で作成しておくこと。
- ⑥ データを入力したFD:TYPEQUICK用、キータッチ2000テスト用、課題保存用等を絶対忘れないこと。忘れると減点になる

成績評価の方法

実習科目ですから出席を重視します。また、独自に自習室等で進めておくTYPEQUICKの進捗や、6月に実施するキータッチ2000テスト試験結果も重要なポイントになります。この他、指示に従って作成した課題の良否、授業の理解度、機器操作の習熟度などによって、総合評価を行います。なお、6月のキータッチ2000テスト実施時点でブラインドタッチが習得できていない人、または10分間の入力文字数が1,000字未満の人には単位を認めません。

教科書

機器操作用テキストとして、駒澤大学総合情報センターの作成した『パソコン使いこなし術』を使用します。その他、必要に応じてプリントを配布します。データ保存用に2HD3.5インチのFDを2枚程度用意してください。第1回目の授業から使用します。

参考書等

使用するアプリケーションソフトに即した本を選ぶとよいでしょう。(使用ソフト:Microsoft社のWord、Exel)

その他

総合情報センター(4号館)の教場を使用して実習を進めます。コンピュータⅠは、ほぼ同じ内容のものが5コマあり、それぞれの授業が週2回のセットになっています。各コマの受講者数に制限がありますので、場合によっては抽選ということになります。各コマとも、第1回目の授業に出席し、担当者印を押した受講許可証を受け取らないと履修が認められません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ I (前 期)	野 崎 芳 秀 <small>の ぎま よし ひで</small>	短 英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にデータの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部である OS [Operating System]（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習  
ハードウェアの基本的な操作  
6～7月 OSの基本操作、  
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集  
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教 科 書

正式の教科書は特に有りません。  
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を3～4枚が必要です。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文 (後学期)	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	12以降入学生/短英1必(一類)	4
		11以前入学生/短英2必	

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (4月) イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- (5月) 古英語時代の詩歌等『ベイウルフ』を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- (6月) 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシヤ・ローマ演劇について。
- (7月) 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- (9月) エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- (10月) 18世紀までの歴史、・ピューリタニズムについて、特にミルトン、バンヤンを中心に。王政復古について。
- (11月) 19世紀までの歴史。ポープ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- (12月) ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- (1月) イギリス文学史の総まとめ。

履修上の留意点

出欠はとらない代わりに、レポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、提出のレポートを参考に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	うめ 梅 原 とし 敏 ひろ 弘	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を使って、授業を進めていきます。この教科書は、アメリカの著名な日本文学研究者である Donald Keene 氏の日本語及び日本文学との出会いを綴った自叙伝風エッセイです。平易な英語で書かれているので、1回の授業で3-4ページ進み、半期で読み上げる予定です。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてください。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてください。

成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(4-5回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてくれなかった場合、減点します。

教科書

Donald Keene 著 *Confessions of a Japanologist* (朝日出版社)

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	たか の ひで お 夫 高 野 秀 夫	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

英語の基本構文の理解を図り、英文学の面白さとは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。  
 ② 教科書を読み進める。  
 19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。  
 悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

履修上の留意点

毎回教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 中期、期末テスト
- ② 平常点

教科書

- ① *To Please His Wife and Other Stories* (成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ (後期)	みしま いつる 三島 出	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

英文を早く読むことに慣れるということは、付随的に同時に頭の中で、その内容の理解が伴う筈である。この技能を身に着けるためには、英文を恐れずに逆に英文に親しむ気持を持たねばならない。言い換えれば速読の技能を身に着けるための授業であると言ってもよい。

講義の内容・授業スケジュール

各課は少し長い英文で書かれているが、内容は平易でしかも必要に応じて難しいと思われる単語の意味が記述されている。先ず読む前に留意すべき質問事項が示され、それに答えるつもりで読んでいけばよい。読み終わると使用されている英文の文型または文構造についての説明がなされる。その後実際に理解しているかどうかを知るための練習問題があり、それらに答えることによって、個々人の理解度を知ることができるようになっていく。第十八課までであるので、一時間一課を原則として学習していきたいと思っている。

履修上の留意点

予習・復習共に必要。特にその日に学習予定の英文は、読んで来ること。

成績評価の方法

出席状態と授業中の質問に対する応答と筆記試験によって評価する。遅刻は減点の対象となる。

教科書

『English Reading and Grammar (英語文法読本)』(朝日出版社) 1,456円 + tax

その他

テープレコーダを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral Communication II (後期)	Dendo, Gary (デンドウ, ゲーリー)	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week.

Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his/her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

Not text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.



科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral Communication II (後期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	12以降入学生/短英1必(一類)	2

TEXTBOOK : *J-Talk : Conversation Across Cultures* by Lee, Yoshida & Ziolkowski (pub. by Oxford)

This new textbook, designed specifically for Japanese learners, helps you share your feelings and opinions clearly in English. It expands your vocabulary and communication skills through an examination of a broad range of customs, events, and values in Japan and other countries. The book includes a CD, which you are expected to listen to and practice at home as well as in the classroom.

Grades will be based on attendance, in-class performance, and presentation of additional homework assignments.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral Communication II (後期)	Keyes, Peter (キーズ, ピーター)	12以降入学生/短英1必(一類)	2

講義のねらい

The text will be announced later.  
Supplementary material will be handed out by the teacher.

講義の内容・授業スケジュール

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

履修上の留意点

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

成績評価の方法

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

教科書

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt

参考書等

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

その他

Although the text will be announced later the students will require the following : -  
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).  
An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V (後 期)	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

The emphasis of this course will be on using the grammatical structures and rapid response to oral questions learned in the first semester in natural, spontaneous conversations.

講義の内容・授業スケジュール

The exercise known as Timed Paired Practice (TPP) will be conducted in each class. At the start of each class, students will fill out attendance slips and return them to the instructor. The instructor will then randomly mix the slips after which he will call the names of two students. Promptly upon being called, those two students will begin a conversation in English. They may talk about any subjects they wish, as long as the conversation is natural and not prepared. The moment they begin to speak, the teacher will begin timing them with a stopwatch. When either of the students makes a mistake that goes unnoticed and uncorrected, the teacher will stop the time and record the same time on the back of each student's attendance slip. If a student catches her own mistake or her partner's mistake and corrects it, the pair will be allowed to continue talking. After one pair has been timed, the instructor will call two more names and the process repeated. The teacher will go through the attendance slips twice so that each student will speak with two different partners each time. If time permits, students may volunteer to speak with the instructor. All times, whether they be for the two times a student speaks with another student or the extra times she speaks with an instructor, will be recorded on the back of her attendance slip.

履修上の留意点

Preparation for this class will require much preparation and practice. Practicing TPP outside of class will be necessary if a student wishes to make satisfactory progress in her conversational ability. In class, students who show initiative and actively participate will receive higher evaluations than students who are passive and shy. It will be necessary to attend every class promptly. Absences and tardiness will adversely affect evaluations.

成績評価の方法

At the end of each class the instructor will enter the times for each student into a database program which will calculate the score for her performance. The score is based both on the average time the student spoke as well as the number of times she spoke in class. All of these scores will be compiled and their average will be the basic grade for the course. Evaluation will be based on ability, performance, and attendance. There will be at least 20 TPP sessions. In addition, absence and tardiness will be reflected in the evaluation formula as negative factors. The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all TPP performances, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no texts or materials for this class.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V (後 期)	Gormley-Guner, L. (ゴムリグーナー, L.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V (後 期)	Olah, B. (オーラー, B.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English VI (後 期)	Keyes, Peter (キース, ピーター)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

The main text will be announced later, but supplementary material will be handed out by the teacher.

講義の内容・授業スケジュール

The course will concentrate on improving the students writing ability, but a variety of reading materials will also be used in this course.

履修上の留意点

Students will be given a wide variety of written tasks. These will include essays, business and social letter writing, keeping a diary, memo writing etc. A wide range of reading materials will also be used.

成績評価の方法

Students will be expected to read extensively outside class and to prepare reports for classroom presentation.

教科書

Students will be graded throughout the semester for classroom effort and will be required to keep a journal of the class and other activities in English. Marks will also be given for high attendance.

参考書等

Although the text will be announced later the students will require the following : -  
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).  
An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI (後期)	Wade, D. A. (ウエイド, D. A.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

TEXTBOOK : *Face to Face : English for Today's Generation* by Dale & Corey Fuller (pub. by Macmillan)

The focus of this second semester course will be on practicing and enlarging your English writing skills. The textbook is new and it has been designed especially for Japanese college students. Each unit begins with listening/speaking exercises, moves on to short reading passages, and then gives you the opportunity to express yourself clearly in writing. Some pair work and small group activities are involved but we will concentrate on the individual writing assignments which you will work on both in the classroom and at home. Additional material and writing exercises will be distributed in class.

Grades will be based on attendance, in-class performance, and regular submissions of written work.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI (後期)	Milne, A. (ミルン, A.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI (後期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, ティム)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course, students will write extensively in English in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing oneself.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will be given a target number of pages to complete in their journals and some class time will be set aside for diary writing. Students will also work from the textbook in class to build up basic skills. As well as the project work contained in the textbook, students will also be required to produce some essays which will need to be researched and drafted.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on: 1). completing journals on time each week; 2). textbook work completed; 3). essay assignments; 4). effort shown in class; 5). attendance.

教科書

David Olsher, "Words in Motion", Oxford University Press

参考書等

Students should bring an English-Japanese dictionary to each class. Students will be advised about buying a good English-English dictionary in the first class.

その他

Students will need a B5 notebook to use for their journal.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VII (後 期)	Schellin, Keith (シェレン, キース)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

To be announced

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VII (後 期)	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J. G.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than that of IE III.

講義の内容・授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation and the results of tests given after each lesson is completed—normally 3 to 4.

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.  
All material and instruction in English.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VII (後期)	やまがた ゆたか 山 縣 裕	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい	Intensive English IIIのつづきとして、この授業は行われる。内容も Intensive English IIIに準じたものである。
履修上の留意点	原則として、8回欠席をした者には単位を与えない。授業開始から20分以内に来た者のみ遅刻(1/2出席扱い)とする。
成績評価の方法	出席点、定期試験、小テストなどを総合的に評価する。
教科書	プリント教材を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VIII (後期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, ティム)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい	The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their test scores.
講義の内容・授業スケジュール	開講時に指示します。
履修上の留意点	Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.
成績評価の方法	開講時に指示します。
教科書	You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VIII (後期)	Olah, B. (オーラー, B.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English Ⅷ (後期)	Rolff, Michael, F. (ロルフ, M. F.)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

English in the New Millennium

講義の内容・  
授業スケジュール

Intercultural & global issues introduced, explored and discussed in an autonomous learning environment.

履修上の留意点

Students must stay abreast current world news.

成績評価の方法

Grades based on regular attendance, participation and completion of assignments and group media projects.

教科書

No required text

その他

Video, audio internet and other forms of media.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English Ⅷ (後期)	Dendo, Gary (デンドウ, ゲーリー)	12以降入学生/短英1必(二類)	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their test scores.

講義の内容・  
授業スケジュール

Students will be taught strategies for taking the TOEIC test and will complete practice exercises and drills during each class. Recognizing why mistakes were made will be an important function of these tasks. The TOEIC test will be given in class at the beginning and end of the semester. Students will be expected to show improvement on their test scores at the end of the year.

履修上の留意点

When a student is absent from class, it is her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate and complete it by the next class. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

To be announced in class.

教科書

Building Skills for the TOEIC Test. Gina Richardson and Michele Peters, Longman, Y2,390

その他

Students are encouraged to talk to the teacher if they have any problems concerning the class.

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅡ (後期)	湯浅陽子	短英1選	2

#### 講義のねらい

この講義を受講するには、コンピュータⅠを受講してブラインドタッチ：手元を見ないで文字入力を行う技能を習得し、表計算ソフトの Excel、およびワープロソフトである Word の基本的な操作方法を身につけているか、もしくはそれと同等の技能を有していることが必須条件となります。本講義では、それらのアプリケーションソフトのさらに高度な技能を学習し、その他データベースやプレゼンテーション等のソフトも使えるようにするなど、社会ですぐ役立つ技能の習得に励み、様々なビジネスの場面で応用できる能力を育成することを目的とします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 9月～10月 第2回キータッチ2000テスト（日本商工会議所のキーボード操作技能認定試験）にて入力速度測定、英語ビジネス文書検定試験に対応した英文による文書作成能力養成
- 10月～11月 ビジネス文書技能検定試験（ビジネス実務技能検定協会）の検定対策、ワープロ技能検定試験（日本ワープロ検定協会）および日本語ワードプロセッサ検定試験（日本商工会議所）に対応した検定対策を行いながら、さらに高度なワープロ技能養成
- 11月～12月 PowerPoint を使用して、プレゼンテーション用の資料作成、インターネットを使用して情報収集、E-Mail 交換、第3回キータッチ2000テスト（目標：1500文字以上／10分間）本試験

#### 履修上の留意点

- ① 教場には栓の開いたの飲み物を持ちこまない
- ② できるだけ欠席をしないこと。どうしても都合がつかなくて欠席する場合は、事前に担当教員にその旨を伝え、欠席する授業に最も近い他の時間に振り替えて出席するか、課題をもらって次の授業までに自習室で作成しておくこと
- ③ データを入力した FD：キータッチ2000テスト用、課題保存用等を絶対忘れないこと

#### 成績評価の方法

実習科目なので出席を重視します。また、12月に実施するキータッチ2000テスト試験結果も重要なポイントになります。このテスト結果は日本商工会議所の「技能認定証」という形で、公的証明書の発行を伴うものです。この他、指示に従って作成した課題の良否、授業の理解度、機器操作の習熟度などによって、総合評価を行います。なお、9月のキータッチ2000テスト実施時点でブラインドタッチが習得できていない人、または10分間の入力文字数が1,000字未満で、回復が望めない人にはその後の履修継続を認めません。

#### 教科書

必要に応じてプリントを配布します。データ保存用に2HD3.5インチのFDを2枚程度用意してください。第1回目の授業から使用します。

#### 参考書等

使用するアプリケーションに即した本を選ぶとよいでしょう。（使用ソフト：Microsoft 社の Word、Excel、PowerPoint）

#### その他

総合情報センター（4号館）の教場を使用して実習を進めます。コンピュータⅡは、ほぼ同じ内容のものが5コマあり、それぞれの授業が週2回のセットになっています。各コマの受講者数に制限がありますので、場合によっては抽選ということになります。各コマとも、第1回目の授業に出席し、担当者印を押した受講許可証を受け取らないと履修が認められません。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ Ⅱ (後 期)	の 野 <small>の</small> 崎 <small>さき</small> 芳 <small>よし</small> 秀 <small>ひで</small>	短 英 1 選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部である OS (Operating System) (アプリケーションはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です) の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト (ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等) の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用して、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

なお、本講義を受講するためには、コンピュータ I を受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来る必要があります。

講義の内容・  
授業スケジュール

9～12月 OS の基本操作

ワープロソフト (Word) を使用して文書の作成及び編集

表計算ソフト (Excel) を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能

プレゼンテーションソフト (PowerPoint) を使用してパソコンを使つての表現力を学ぶ

履修上の留意点

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。授業中に作品が完成出来なかったり、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は 4 号館の自習室を利用しましょう。

ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教 科 書

正式の教科書は特に有りません。

データ保存用フロッピーディスク (3.5インチ 2HD) を 3～4 枚が必要です。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学概論 (前期)	たかの野 ひと秀 夫	12以降入学生/短英1・2選必 11以前入学生/短英2必(一類)	4

講義のねらい

ドイツ語の Vater, Mutter, Bruder, Schwester は英語の Father, Mother, Brother, Sister である。これは中学、高校で一生懸命学んできた英語の歴史を紐解くことですぐに分かる。

英語はインド・ヨーロッパ語族 (Indo-European Family of Languages) のひとつの言語であり、その生い立ちは “Indo-European” … “Germanic” … “West Germanic” … “Low Germanic” … Anglo-Saxon (Old English) … Middle English … Modern English となる。

今や a leading international Language になり10億の人が話す英語が如何に生まれ、発達し今日に至ったのか？ このことを概観することによって、英語の理解が一層深まり、また English speaking people の眼であり心であり生き方がはっきり分かる講義をしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. General Character of English (一般的な英語の特徴)
2. The Indo-European Family of Languages (インド・ヨーロッパ語族)
3. Vocabulary (語彙)
4. Spelling and Pronunciation (綴りと発音)
5. The Shaping of Words (語の形成)
6. Making of Modern English (現代英語の成立)
7. The English Language Today (今日の英語)

履修上の留意点

教科書を使うので事前にしっかり予習しておくこと。

成績評価の方法

期末試験とレポート

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 英 語 比 較 (前 期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	12以降入学生/短英1・2選必	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。

成績評価の方法

レポートの出来映え、特にその独自性、と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教 科 書

使用せず。

参 考 書 等

小島義郎著『日本語の意味 英語の意味』（南雲堂）  
 国広 編『日英語比較講座』全5巻（大修館）  
 国広哲哉 著『日英語の比較』（現代英語教育－8）（研究社）  
 榎垣 実 著『日英比較表現論』（大修館）  
 中右 実 編『日英語比較選書』全10巻（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文法論 (前期)	うめ 梅 ほん 原 とし 敏 ひろ 弘	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1必(一類)	

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が特に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

ハンドアウトをあらかじめ配り、ハンドアウトに記されたそれぞれのセンテンスに含まれる重要な文法項目を逐次解説していくという形をとる。センテンスの量はかなり多く、中にはやや理解の難しい文法概念を含んだものもあるので、受講者は毎回必ず講義に出席し、こまめにノートを取る必要がある。講義は基本的な文構造の知識の再確認から始まり、時制、アスペクト、名詞の数と冠詞等の日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説していくことにする。練習問題も配布するが、課題として自宅でやってもらう。

履修上の留意点

ハンドアウトには英語のセンテンスのみが記されていて解説は書かれていないので、毎回講義に出席し、ノートをこまめに取らないと試験で合格点をとることは難しい。講義の内容を理解し、正確にノートテイキングをするためには、あらかじめ家で十分下調べをしてセンテンスの意味をよく理解しておくことが肝要である。

成績評価の方法

平常の授業時間内に数回テストを行い、成績評価をする。出席は重視し、欠席が多い場合は、総合成績から減点する。

教科書

使用せず。ハンドアウトを配布。

参考書等

クワーク著『現代英語文法』（紀伊国屋書店）  
 松波 有編『英文法』（大修館）  
 正保富三著『英語の冠詞がわかる本』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語音声学 (後期)	やま 山 がた 縣 ゆたか 裕	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1必	

講義のねらい

英語の母音・子音の発音を、単語の中のみならず文あるいは会話の中で理解していく。

履修上の留意点

原則として、8回欠席をした者には単位を与えない。授業開始から20分以内に来た者のみ遅刻(1/2出席扱い)とする。

成績評価の方法

出席点、定期試験、小テストなどを総合的に評価する。

教科書

『Tune In To Spoken English (実践 LL 演習)』（成美堂）1,800円  
 『First Pronunciation Handbook (はじめての英語発音)』（セイドー外国語研究所）583円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究(後期) 〔ロマン派の詩〕	くま ぎき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩を鑑賞します。  
 エリザ朝にその最初の萌芽と開花を見た英国浪漫主義は、「理性と散文の時代」を経て、18世紀後半から19世紀初頭にかけて円熟と完成の時期を迎えます。この時期に活躍した詩人（その殆どは夭折してしまいましたが）とその作品を研究、鑑賞し、彼らがどのように自然と人間に対峙したかを学び、かつ、彼らがさまざまな詩型と詩句を駆使して語るイギリス湖水地方を初めとする美しい田園の姿を味わい得ることを期待します。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 4月 ①英国浪漫主義について ②英詩の特徴、詩型、韻律等について
- 5月 人と作品 ウイリアム・ワーズワース
- 6月 S.T. コールリッジ
- 7月 G.G. バイロン
- 9月 P.B. シェリー
- 10月 ジョン・キーツ
- 11月 ウイリアム・ブレイク
- 12月 ロバート・バーンズ
- 1月 補足とまとめ

授業の進め方

- 概ね以下の手順で進めます。
1. 受講者は取り上げる詩人について、生涯、作品の特質、傾向等をあらかじめ調べて出席し、発表する。
  2. 発表に対し、質疑応答を行う。
  3. 担当者が補足する。
  4. 取り上げた作品の英国俳優等による朗読を聞く。
  5. 受講者の朗読と作品解釈。
  6. 詩型、詩句、韻律について担当より補足。
  7. 作品について意見交換。

履修上の留意点

- ① 英詩における韻律はその作品を理解する上で特に重要な役割を持っています。従って黙読するだけでは十分な把握は望めません。用いられている語句に正しい抑揚をつけて音読することが必要となります。各自が下調べの段階において繰り返し音読をしてきていただきたい。
- ② 地名、その他固有名詞についてはテキスト注を参照されたい。
- ③ 詩人の伝記等については、『英米文学辞典』（研究社）その他の「文学辞典」、「文学史」関係の書によって簡単に調べることが出来ます。必要に応じ教場において説明、紹介します。

成績評価の方法

1. リポートによる評価……60%
2. 授業中の発表等に対する評価……40%

教 科 書

英文『イギリス・ロマン派名詩選』（英宝社）  
 (Gems of English Romantic Poetry)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究(前期) 〔世紀末文学〕	たき 滝 せい 静 じゅ 寿	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい	オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。
講義の内容・ 授業スケジュール	輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。 (前——期) 世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞（童話を中心に）。 (後期前半) 戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家（ビアズレーを中心に）について。 ビデオで、バーコフの『サロメ』鑑賞。 (後期後半) 小説『ドリアン・グレーの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。
履修上の留意点	必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。
成績評価の方法	輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。
教 科 書	O. Wilde <i>The Happy Prince and Other Tales</i> (北星堂) O. Wilde <i>Salome</i> (英光社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究(後期) 〔20世紀アメリカ小説〕	よし 吉 ざわ 沢 えい 栄 じ ろう 治 郎	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい	よみながら情景を描きつつ、登場人物の心理面をもよみとるようにします。ひとまず、作品を原文でよむことに意義があります。翻訳書も大いに助けになります。
講義の内容・ 授業スケジュール	スタインベックの中編小説、of mice and men をよんでいきます。事前に3ページくらいはよんでおいて下さい。授業では予習したものを確認するようにしてほしい。
履修上の留意点	英和辞典を持参のこと。
成績評価の方法	定期試験の結果を基にして評価します。
教 科 書	授業時に指示します。
参 考 書 等	『新英英辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品作家研究(後期) 〔19世紀英文学〕	たかの野秀夫	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

英国の大学で英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読み、著者ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学に於いて特異な存在となったのかを考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

『サイラス・マーナー』作品の逐語訳

『サイラス・マーナー』の作品理解に努める。

「神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになる。そして彼はついに天涯孤独な守銭奴と化す。16年後、その金も盗まれ、再び絶望の淵をさまざましている時、たまたま迷い子が家に転がり込んで来る。サイラスはその子を育てることで、実の親子あるいはそれ以上の強い心の絆で結ばれ、過去に失った全ての間味溢れる生活を取り戻す。そしてまれに見る美しい髪の可愛い娘に成長したエビーと幸せに暮らす。」この話を原書で読む。

口頭発表

○口頭発表の機会を作る。

発表は各自が課題を決めて一人20分程度でまとめる。

○この作品に登場する人物の様々な問題点(孤独、神、偶然など)を取り上げ、ジョージ・エリオットの文学に迫る。

同時に、19世紀英文学に於けるジョージ・エリオットの位置付けをも考える。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

- ① 口頭発表
- ② レポート
- ③ 7枚程度の論文

教科書

- ① George Eliot: *Silas Marner*

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究(後期) 〔近代アメリカ文学〕	三島 出	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英2選	

## 講義のねらい

イギリス文学から出発したアメリカ文学が、何時、どのような内容や形態で独立した文学としての存在を認められ、独自の道を歩み始めたのか、その特色とするものは？等々の命題を解くのがこの授業の主たる目的です。

 講義の内容・  
授業スケジュール

具体的には次の作家とその作品の一部を取り扱います。

Native American Literature, Benjamin Franklin (The Autobiography), Washington Irving (Sketch Book), Nathaniel Hawthorne (The Scarlet Letter), Henry W. Longfellow (Ballads), John G. Whittier (In School Days), Edgar Allan Poe (Black Cat), Harriet B. Stowe (Uncle Tom's Cabin), Henry D. Thoreau (Walden), Herman Melville (Moby Dick), Walt Whitman (Leaves of Grass), Mark Twain (Adventures of Huckleberry Finn), O. Henry (The Gift of Magi), Stephen Crane (Maggi), Theodore Dreiser (Sister Carrie), Sherwood Anderson (Winesburg, Ohio), Jack London (The Call of the Wild), Pearl Buck (The Good Earth), F. S. Fitzgerald (The Great Gatsby), William Faulkner (A Rose for Emily), Ernest Hemingway (A Farewell to Arms), John W. Steinbeck (The Grapes of Wrath), Tennessee Williams (A Streetcar Named Desire), J. D. Salinger (The Catcher in the Rye), Eric Segal (Love Story). 以上25名の作家の紹介と作品の特徴と原文の一部を実際に取り扱う。

## 履修上の留意点

上記の掲げた作家と作品について書かれたものを出来るだけ読んでおく講義内容の理解に大いに役立ちます。

## 成績評価の方法

評価は、出席状態と筆記試験を勘案して評価します。

## 教科書

第一時間目にプリントを配布しますので欠席しないように心がけて下さい。

## 参考書等

上記の作家作品について書かれたものであれば、何れも役立つと思います。

## その他

講義形式をとりますが、作品をより理解してもらうために頻繁にビデオを使用します。また時々作品の翻訳を宿題として課します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
米 文 学 演 習 (後 期)	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

The literature, art and music of the Harlem Renaissance during the 1920s, how they reflect the social changes brought about by World War I, Reconstruction, Industrialization, the Great Migration and the search by Black Americans for their African roots. The poetry, novels and short stories of Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer and James Weldon Johnson will be introduced in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans during the period.

講義の内容・  
授業スケジュール

Introductory comments on social, cultural and literary trends in America during the early 1900s followed by reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Limited reading in English. Participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned upon consultation with instructor.

履修上の留意点

There will be no retests ; term papers, however, may be rewritten.  
Computer and internet skills required.

成績評価の方法

Completion of assignments, class participation and presentations (50%) and one 7-10 page research paper (50%) on an author or artist selected by the student in consultation with the instructor.

教 科 書

Steven Watson 著、The Harlem Renaissance : Hub of African-American Culture, 1920-1930, Pantheon Books, New York, 1995

参 考 書 等

None

そ の 他

Sophomores will be given preference in admission.  
Completion of 20世紀アメリカ文学 or アメリカ演劇 required.  
Internet skills required.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
20世紀イギリス文学(前期)	たかのひでの 高野秀夫	12以降入学生/短英1・2選必	4
20世紀英文学(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

- ① Natural Speed で英語の聞く能力を高める。
- ② 教科書：現代イギリス小説について  
19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位のはなはだしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げ、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで現代人の心を魅了し続けている新しいタイプの女流作家について考える。いわゆる20世紀の“意識の流れ”の作家 (James Joyce, D. H. Lawrence, Virginia Woolf 等) との接点を探りながら、まだ文学的評価の定まっていない女流作家の作品を読み、現代英国文学についての理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① テープの英語
- ② 教科書を逐語訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、現代英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

毎回教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

期末テスト、平常点。

教 科 書

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 演 劇 (前 期)	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J.)	12以降入学生/短英1・2選必	4
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

The purpose of the course is twofold: 1) to familiarize the student with the historical development, social and cultural background, and principal themes and elements of American dramatic writing from the earliest years through the 1990s, 2) to nurture a critical appreciation of American drama, both as literature and performing art.

講義の内容・  
授業スケジュール

A panoramic introduction to American drama with particular emphasis on contemporary issues and themes, lectures and discussions will be supplemented viewing of filmed American plays.

- 1) Definition and discussion of the elements of "drama." How a play reaches production: the creative and collaborative process from script to performance. Who and what is involved.
- 2) The 20s: birth of modern American Drama: selections from: Rachel Crothers, Susan Glaspell, Zona Gale, Georgia Douglass Johnson and Sophie Treadwell
- 3) Eugene O'Neill: Thirst, The Emperor Jones, & Desire Under the Elms
- 4) Realism and Thornton Wilder's Our Town
- 5) Lillian Hellman's The Children's Hour
- 6) The 40s: The Marginalized-Tennessee Williams' A Streetcar Named Desire
- 7) The 50s: the dark side-William Inge's Come Back, Little Sheba
- 8) The collapse of the American Dream-Arthur Miller's Death of a Salesman
- 9) The 60s and 70s: Edward Albee's Who's Afraid of Virginia Woolf?
- 10) The 80s and 90s: Sam Shepard's Fool for Love, David Mamet's Sexual Perversity in Chicago, Marsha Norman's Night, Mother, Beth Henley's Crimes of the Heart, August Wilson's Fences

履修上の留意点

No written tests, hence no retests will be given. Papers, however, can be rewritten

成績評価の方法

- 1) One in-class presentation on a play read or viewed on film (25%)
- 2) One 3 to 5-page paper on the works of a playwright selected in consultation with instructor (50%)
- 3) Attendance and class participation (25%)

教 科 書

鳴原真一 編『モダン・アメリカン・ドラマ』（研究社出版）1989  
 高島邦子 著『20世紀アメリカ演劇-アメリカ神話の解剖』（図書刊行会）1993  
 池内靖子 訳『アメリカ女性劇集』Plays by American Women 1990-1930（新水社）1988

参 考 書 等

田川弘雄・鈴木周二 共編『アメリカ演劇の世界』（研究社出版）1991  
 岩元 巖・酒素雅之（共編）『アメリカ文学作家作品事典』（本の友社）1991  
 現代演劇研究会編『現代英米の劇作家たち』（英潮社）1990  
 芳賀 馨（はが かおる）著『現代アメリカ文学研究』（開文社）1992

そ の 他

Nothing

科目名	担当者名	配当学科	単 位
戯 曲 研 究 (前 期)	くま ざき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1・2選必 11以前入学生/短英1・2選	4

講義のねらい

シェイクスピアの『ヴェニスの商人』を読みます。  
没後400年余を経てもなおシェイクスピアは世界中で最も愛されている作家と言っても過言ではありません。我が国においても内外の劇団によって、年間に上演されるシェイクスピアの作品は相当の数のにのぼり、しかもいずれの場合にも満席の観客を動員しています。原作を読みその魅力を味わいます。  
この作品はシェイクスピアの一連のロマンティック・コメディの中の傑作であり、現実的な町ヴェニスとロマンティックで牧歌的な町ベルモントを舞台に、有名な「人肉裁判」、「箱選び」の二つの筋と「指輪」をめぐるエピソードが巧みにからみ合って展開します。芝居の面白さを十分に楽しみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 第一週 ‘Syllabus’に基づいて、科目に関し、内容、年間の予定、目標等々について説明をし、質疑を受けます。  
第二週 シェイクスピアについて。  
第三週 シェイクスピアの作品全般について。  
以降は ① テキストの講読。  
② 研究発表と発表を巡ってのディスカッション。  
③ 発表に対する補足を行います。
- ① 年間を通し、James Kirkupの解説と批評（『ヴェニスの商人』朝日出版社）に基づいて作品へアプローチします。その中で言及され、指摘されている名句、名場面は原文（“The Merchant of Venice”篠崎書林）によって味わいます。  
② 履修者が確定した段階で個人或はグループによる研究発表の要領を決め、逐次発表してもらうこととなります。研究のテーマ、発表の日時については追って発表します。  
③ 発表に対し、質疑応答を行います。  
④ 担当者が補足します。  
⑤ ビデオ・テープを用いてBBC放送収録の映画“The Merchant of Venice”を観賞します。

履修上の留意点

シェイクスピアの戯曲は韻文で書かれており、現代の散文で書かれたものに比べ難解な箇所も多々あります。テキストの注、或は訳本等を参照して、十分に予習をすることが不可欠となります。発表に備えてあらかじめ個別に指導します。予約をし研究室において打ち合わせを行います。必要な参考書についてはその都度紹介、指示します。参考書は非常に多く、皆さんの必要に応じたものを取り敢えず指示することにします。

成績評価の方法

- 研究発表の評価（発表の態度、内容等）……50%
- 発表原稿の提出……20%
- 平常の評価……30%

教 科 書

- ① James Kirkup 著 *The Merchant of Venice* (朝日出版社)
- ② *The Merchant of Venice* (篠崎書林)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	くま さき ひさ こ 熊 崎 久 子	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

戦後華やかにアメリカ文壇に登場し、1990年代後半に数多くの作品を発表したトルーマン・カポーティの中期の代表作「ティファニーで朝食を」を読みます。方言、俗語などもしばしば出てきますが、内容、表現を楽しめるよう、読解力の向上を図ります。愛着を込めて描かれているニュー・ヨークの風物、都会的なスマートな雰囲気を楽しみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ① ヴィデオ・テープを用いてアメリカ映画“Breakfast at Tiffany's”を鑑賞し、hearing の力を養う。
- ② 内容について意見を交換をし、内容の理解を深める。  
本文内容についての意見の発表、その他問題点について討論など、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発表と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前にも必ず独自の意見をまとめて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

- ① 原則として筆記試験による評価…60%  
平常点…40% とします。
- ② クラスの人数によっては平常点のみで評価する場合があります。

教科書

“Breakfast at Tiffany's” (Penguin Fiction)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	たき せい じゅ 滝 静 寿	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

旧約聖書の『創世記』を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- (4月) 『聖書』、『聖書物語』について
- (5月) 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- (6月) “ノアの箱舟”
- (7月) “天地創造”のビデオ鑑賞
- (9月) “アブラハム”
- (10月) “ソドム”
- (11月) “イサク”
- (12月) “ヨセフ”から“モーゼの十戒”(出エジプト記)への導入と、ビデオ鑑賞
- (1月) 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。  
必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

The Story Bible by Pearl S.Buck Vol.1 (英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読(前期)	みしまいつる 三島 出	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(前期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

Dover Wilson によって書かれた Shakespeare の戯曲の内、Othello, Antony & Cleopatra, Hamlet の三つの悲劇の作品に対する批評を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

Romeo & Juliet, Macbeth, King Lear の順でなされた後での彼の批評になるが、すでにこれら三つの戯曲は、一年次で学習されているので、軽く触れる程度に留め、後半の作品の批評に重点を置くつもりである。特に Hamlet は、Shakespeare の最も偉大な作品であると彼自身が言うように、この戯曲の批評に当たっては、他の作品の二倍の頁数を割いている。Othello (94min), Antony & Cleopatra (148min), Hamlet (155min) のビデオテープを使用して、先ず内容を理解してもらい、それから彼の批評を取り上げていくことにしている。

履修上の留意点

授業に出席して、作品の筋を知ることが第一、第二には英文を正しく理解すること、そのためには、英文の構造を知る必要がある。難解な文章に対しては、そのつど文構造を分解して説明する予定にしているので、出席して学習しなければ理解出来ないと思う。

成績評価の方法

授業への出席状態と筆記試験によって評価する。

教科書

『Six Tragedies of Shakespeare (シェイクスピアの六悲劇)』(英宝社) 1,300円+tax

その他

必要に応じてビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読(後期)	たかのひでお 高野 秀夫	12以降入学生/短英1・2選必	2
英文講読Ⅱ(後期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

- ① Natural Speed で英語を読み、聞く能力を高める。
- ② 教科書：いわゆるクリスマスの読物のなかでデイケンズの『クリスマス・キャロル』はとりわけ有名です。特に冷酷な主人公が亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進めていく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ① テープの英語
- ② 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

毎回教科書の逐字訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

中間・期末各一回テスト・レポート・平常点

教科書

Charles Dickens : *A Christmas Carol*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
聖書研究	みずしま ようこ 水島 陽子	12以降入学生/短英1・2選必(一類) 12以降入学生/短英1・2選(二類)	4
		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響による波紋は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。

ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について

(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)

後期……主として新約聖書について

(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとわかりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート

教科書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋古典文学	みずしま ようこ 水島陽子	12以降入学生/短英・2選(一類) 12以降入学生/短英・2選(二類) 11以前入学生/短英1・2選	4

#### 講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシャに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシャにあると言っても、過言ではないだろう。その、いわゆる「古典期ギリシャ」において人々を捉えてきたテーマは、「人間とは」ということであった。人間とはいかなるものか、また、いかに生くべきものか。

ここでは、多彩に発展した神話をもとに、詩人たちがそれぞれの世界観の中でどのように「人間」を捉えてきたかを追っていきたい。古くはホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』から、紀元前5世紀の黄金時代に競演された数々のギリシャ悲劇までを、作品論的に、かつまた現実の時代背景との関連において考察する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期……神話と詩人  
ホメロス『イリアス』『オデュッセイア』  
後期……ギリシア悲劇  
ソポクレス『オイディプス王』など

#### 履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。叙事詩や劇の形式、また古めかしい表現などにとまどいがあるかもしれないが、決してむずかしすぎることはない。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

#### 成績評価の方法

筆記試験及びレポート

#### 教科書

ホメロス『イリアス、上・下』(岩波文庫)  
ソポクレス『オイディプス王』(岩波文庫)



科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文化事情 (後 期)	Ashwell, Tim (アッシュウェル, ティム)	12以降入学生/短英1・2選(一類) 12以降入学生/短英1・2選(二類) 11以前入学生/短英1・2選	4

講義のねらい

このコースでは、現在のイギリス社会を色々な角度から考察する。イギリス社会を知ることにより、日本社会を客観的に見る目を養い、視野を広げることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

まずイギリスの地理をとりあげ、その後、7つのテーマを柱としてみていく。テーマは、教育制度、食文化、スポーツ、祭、音楽、首都：ロンドン。

教材には、既製の映像教材（ビデオ・映画）のみでなく、教師自身がイギリスで収集した生の資料や、彼自身の経験もふんだんに用い、イギリスの内側からの生きた情報も盛り込む。

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences are expected to be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Grades will be based on i). assignments completed ; 2). effort shown in class ; 3). attendance.

教 科 書

You will be told well in advance of the first class which textbook to buy.

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ史 (前期)	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	12以降入学生/短英・2選(一類)	4
		12以降入学生/短英・2選(二類)	
		11以前入学生/短英・2選	

講義のねらい

To provide students with a solid overview of American history from prehistoric times to the present day.

講義の内容・  
授業スケジュール

The class will be conducted as a lecture, however, students are encouraged to ask questions at any time. Discussion of the lessons being presented is welcomed.

履修上の留意点

Students will be expected to take notes on the contents of the lessons as there will be tests over the content. Students are also encouraged to submit reports over aspects of American history on their own initiative. All reports, questions, communication, and most tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no texts or materials for this class. Students are encouraged to read any materials or information they can on American history, be it books borrowed from the library or papers researched on the Internet.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習(ボキャビュラービルディング)(後期)	うめ 梅 原 とし 敏 ひろ 弘	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅲ(ボキャビュラービルディング)(後期)		11以前入学生/短英・2選	

講義のねらい

英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際に必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしなが、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。教材の準備及び演習という授業の性格上、またパソコン教室を使用する関係上、受講者数を限定せざるをえない。受講希望者多数の場合は小テストをして、受講者を決定する。従って、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。

教科書

使用しない。ハンドアウトを配る。

参考書等

小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)  
 渡部昇一 著『英語の語源』(講談社現代新書)  
 梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習(時事英語へのアプローチ)(前期)	よし ざわ えい じ ろう 吉 沢 栄 治 郎	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅳ(時事英語へのアプローチ)(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

AFN 放送から材を得て、その読み取りをしていきます。一方で、ディクテーションも試みます。何回か繰り返してゆくうちに、少しずつ語いに馴染んでいきます。語いをふやしていきながら、響きに馴染むことがポイントになります。

講義の内容・授業スケジュール

様々なジャンルのものをできるだけ取りあげていく予定です。この機会に時事英語に関心を持って戴き度いと思います。一回の授業で一つ的话题をあつかいます。

履修上の留意点

英和辞典を持参のこと。

成績評価の方法

定期試験の結果を基にして評価します。

教科書

随時、プリントを配布します。

参考書等

『リーダーズ英和辞典』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語演習(センテンスの構造)(後期)	み し ま いづる 三 島 出	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅴ(センテンスの構造)(後期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

日本人が第二外国語として英語を使うには、言語を構成する基礎となる英文法の知識が必要不可欠となる。すでに中学・高校で学習してきた知識ではあるが、単に知識に留めることなく、実際にその知識に基づいて文を作成したり理解したりする技能を修得させるのがこの授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

「英文の構造」から始まって「It 及び There を含む構文」まで30章もある。あまり必要でない、しかも多くの学生がすでに身につけている文法規定は、どんどん飛ばして、重要な規定をじっくりと学習し、実際に練習してもらうことにしている。

この授業は演習なので、主役は学生の方にあり、それぞれの章の練習問題を解答してもらって、その解答がどうして正しいのか、或いは誤っているのかを学習することになる。

履修上の留意点

必ず予習して来ること。ランダムに練習問題に対する解答を求めるので、少なくとも一日に一回は当たると覚悟してもらいたい。

成績評価の方法

授業での質問に対する応答と筆記試験の成果を勘案して評価する。

教科書

『大学英文法 A to Z』(金星堂) 1,300円+tax

参考書等

文法に関して説明されている参考書ならば何れも役に立つ。高校時代に使用したものでよい。

その他

演習形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習〔英語表現〕(前期)	たかのひでお夫 高野秀夫	12以降入学生/短英2選必	4
英語演習Ⅵ〔英語表現〕(前期)		11以前入学生/短英1・2選	

講義のねらい

日常、大学生活において役に立つ、口語英語表現の英作の例文を多数練習し、Case by Caseですぐに英語で自分の意思が伝えられるような、実践的な英作文の授業を目指す。  
また、英字新聞で日常生活の出来事を伝えるための身近な英語表現の向上をも図る。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 英字新聞の活用。
- ② 「コミュニケーションのための口語英作文」のテキスト使用。

履修上の留意点

- ① 日常の出来事を30分間でよいから毎日英文で書き表す習慣を身につけること。
- ② 教科書の練習問題の解答、レポート提出を忘れぬこと。

成績評価の方法

- ① レポート (いろいろな話題を英語で書き表す)
  - (a) 英字新聞
  - (b) 教科書
  - (c) 自由英作文 (辞書持込可)
- ③ 平常点

教科書

- ① *The Road From Writing To Speaking*

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現(前期)	みしまいづる 三島出	12以降入学生/短英2選必	2
英作文(前期)		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

英文によって色々な内容を記述するには、英文法だけの知識では不十分である。単語には単語使用上の特徴があり、語句には慣用的な表現、自然な文体、Formal, Informalとその使用に当たっては、様々な知識が必要となる。多くの英文を読むことが必要不可欠であるが、しかし使用頻度の高い表現方法を学習することによって日常支障のない程度の英語表現は可能となる。この使用頻度の高い表現方法を学びそれらの語句を使用して、別の内容を記述する知識を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはPart1とPart2に分かれてそれぞれ10課ある。前半は日常よく使われる色々な表現の学習、後半は自然の英文の表現学習に重点を置いている。原則として一時間1課を終える予定である。

履修上の留意点

語学の学習には、予習・復習が不可欠であり、更に日頃、日常の事柄を英文で表現する習慣を身につけることが大切である。勿論、授業に於ける学習もおろそかにすべきではない。

成績評価の方法

授業への出席状態と筆記試験を勘案して評価する。

教科書

『Shortcuts to Good Writing (英文上達への近道)』(南雲堂) 1,748円+tax

その他

テープレコーダーを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（後期）	うめ ほら とし ひろ 梅 原 敏 弘	12以降入学生/短英2選必	2
英作文（後期）		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

最新のニュースを読み及び聴き取りながら、時事英語の表現を勉強します。それらの表現を理解するだけでなく、使いこなすことも勉強の目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を使って、授業を進めていきます。この教科書は20課からなり、1回の授業につき1課を進度の目安として考えています。あらかじめ取り上げられているニュース記事の内容の下調べをし、練習問題をこなしたうえで授業に臨んでください。授業では、記事の内容、及び練習問題の答えの確認を行います。

なお折りに触れて、インターネット上の、USA TODAYのような英字新聞にもアクセスして、その時々大きなニュースを読んで、そこで使われている表現を勉強します。

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせることが望ましい。なおコンピュータの台数に制限があるため、受講希望者多数の場合は、選抜を行います。受講希望者は、下記の英文をあらかじめ日本語に訳し、第1回目の授業に必ず出席して、提出すること。

Centuries of apparently wasted effort on the part of alchemists giving birth to chemistry provides us another example of things that go wrong bringing about an unexpected good.

成績評価の方法

平常の授業時に行う小テストの結果（80%）、毎回提出してもらう課題の出来具合と提出の有無（20%）。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

木塚晴夫 著 *Writing English through the Latest News*（金星堂）1,500円

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞典（Longman Dictionary of Contemporary EnglishやOxford Advanced Learner's Dictionary of Current English等の）を購入し、利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（前期）	たかの ひでお 高 野 秀 夫	12以降入学生/短英2選必	2
英作文（前期）		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- ② 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- ③ A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

履修上の留意点

- ① 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- ② 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみる。

成績評価の方法

- ① レポート
- ② 中間・期末各1回テスト
  - (a) 英語ニュース
  - (b) 教科書の英作文
  - (c) 自由英作文
- ③ 平常点

教科書

- ① *Unique English Composition* (Vol I・II)
- ② *TV News Watching・21 Approaches*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 ( 前 期 )	よし ざわ えい じ ろう 吉 沢 栄 治 郎	12以降入学生/短英2選必	2
英 作 文 ( 前 期 )		11以前入学生/短英2必(一類)	

講義のねらい

和文英訳のトレーニングに努めます。基本的な表現が、即座に口頭で言えるようにします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストの和文をいちどは自分で辞典を大いに活用して英訳してみるのです。いく通りもの言い方がありますが、ひとまず覚えるのは1つにしておきます。ただ解答をコピーするのは頭に残らないので、ともかくも英訳を試みて下さい。要は、実践躬行です。1回の授業に10題くらいの和文を英訳していきます。

履修上の留意点

和英辞典を持参のこと。

成績評価の方法

定期試験の結果を基にして評価します。

教 科 書

授業時に指示します。

参 考 書 等

『プログレッシブ和英中辞典』(小学館)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語翻訳法 (前期)	うめはらとしひろ 梅原 敏弘	12以降入学生/短英2選必	4

講義のねらい

「A translator is a traitor」(翻訳者は反逆者である)とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文はほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。

そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点を取りあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。(読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他)

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。(名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、話法、その他)

第3段階：総合練習。(長文翻訳練習)

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。なおコンピュータの台数に制限があるため、受講希望者多数の場合は、選抜を行います。受講希望者は、下記の英文をあらかじめ翻訳し、第1回目の授業に必ず出席して、提出すること。

Whoever has to deal with young children soon learns that too much sympathy is a mistake. A child that invariably receives sympathy will continue to cry over a tiny mishap ; the ordinary self-control of the average adult is only achieved through knowledge that no sympathy will be won by making a fuss.

成績評価の方法

平常の授業時に行う翻訳の小テストの結果 (50%)、毎回提出してもらった課題の英文翻訳練習の出来具合 (30%)、期末長文翻訳問題の出来具合 (20%)。

正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用しません。

参考書等

別宮貞徳 著 『翻訳を学ぶ』(八潮出版社)  
 別宮貞徳 著 『翻訳読本』(講談社)  
 河野一郎 著 『翻訳上達法』(講談社)  
 東田千秋 著 『直訳という名の誤訳』(南雲堂)



科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English A(前期)	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

To encourage students to develop their own ideas by introducing them to selected readings over which discussions will be held.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to read the following books on their own outside of class. They may read these texts in either English or Japanese; understanding the contents of them will be essential as these will provide the basis of discussions in class. The books should be read in the order in which they are listed.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

Tao by Lao tzu, The Art of War by Sun tzu, Nineteen Eighty-four by George Orwell, and Brave New World by Aldous Huxley. Some of these books are difficult to obtain, so students are free to use any versions they can find.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a make-up test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J. G.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

To provide students with the opportunity to put their English to work in controlled conversational situations replicating real life.

講義の内容・授業スケジュール

Beginning with the basics of situational English conversation, class time will be organized around pair and small group discussions on everyday topics selected in advance by the instructor and progressing from simpler situations to more complex. Vocabulary and idiomatic expression exercises each week as an integral part of the class.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.  
Japanese-English and English-Japanese dictionaries are required for use in class.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance (25%), class participation (50%), and an interview at the end of the term

教科書

Handouts to be provided by instructor

参考書等

None.

その他

Nothing.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A(前期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, ティム)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II A(前期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' allround abilities in English in a small group environment. In particular, the ability to interact smoothly in English will be developed by concentrating on conversation management and participation skills.

講義の内容・授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that students will work on projects, read and discuss books, and explore themes connected to the learning of English.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities.  
Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B(後期)	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類) 11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

Students will be given the opportunity to expand and develop the skills they have developed in Advanced English B through discussions of any topics that interest them.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be allowed to discuss any topics that interest them. The emphasis of the course is in conducting and maintaining natural conversations in English over a broad range of topics.

Reading newspapers, weekly magazines and other periodicals, listening to the news on the radio or watching it on TV, and researching subjects of interest on the Internet are encouraged as they provide valuable material for discussion.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no assigned texts for this course.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B(後期)	Jeffrey G. Garrison (ギャリソン, J. G.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

To prepare students for traveling abroad by 1) guiding them through the research and organization of travel plans and 2) introducing them to specific situations they may encounter on the trip.

講義の内容・授業スケジュール

Classwork will revolve first around planning a trip abroad, getting information for sources including the Internet, making airline, hotel and ground transportation reservations and going through Immigration and Customs. Once the planning stage has been completed, the travel stage will be undertaken. This will include preparing for situations that the traveller may encounter while traveling including finding one's way in a foreign city, understanding bus or train schedules, making reservations for restaurants or plays, visiting museums, finding a dentist or a doctor and making an appointment, and using the telephone to deal with a variety of situations.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.  
Japanese-English and English-Japanese dictionaries are required for use in class.  
Internet skills required.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance (25%), class participation (50%), and an interview at the end of the term.

教科書

Material provided by instructor.

参考書等

None

その他

Nothing

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B(後期)	Ashwell, Tim (アシュウェル, ティム)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
Advanced English II B(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' allround abilities in English in a small group environment. In particular, the ability to interact smoothly in English will be developed by concentrating on conversation management and participation skills.

講義の内容・授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that students will work on projects, read and discuss books, and explore themes connected to the learning of English.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities.  
Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語とコンピュータ I (前期)	Brooks, D. (ブルックス, D.)	12以降入学生/短英2選(一類) 12以降入学生/短英2選必(二類) 11以前入学生/短英2選	2

講義のねらい

The aim of the English For Computers (Eigo to konpyuta) course is to teach students the English language skills needed to work with computers and information technology. Additionally, the students will become familiar with a wide variety of computer uses for both home and office. One of the main goals of the course is to bring students to thorough understanding of the Internet and multimedia. The course seeks to give them experiences to deal effectively with these in English.

講義の内容・  
授業スケジュール

The focus of the course is on acquiring practical hands-on competence and English communication skills for using information technology, especially the Internet. Beginning with computer hardware and the concept of the computer network communications, the students will gain a basic understanding of the nature of information technology. Browsing the World Wide Web, search strategies, e-mail writing and etiquette, mailing list subscription, Telnet, FTP, newsgroups, webchatting are among the Internet topics to be explored. Students will learn how to make their own homepage with links to other websites.

NOTE : Owing to the students' background knowledge and skill and to the availability of software, the actual unit content may be altered.

UNIT TEACHING CONTENT

- 1 Computers and You : how computers affect our lives
  - 2 Introduction to information technology and the Net
  - 3 E-mail : using it and writing effective e-mail
  - 4 Exploring the Internet through e-mail : listserv, e-zines, newsgroups
  - 5 Browsing the World Wide Web
  - 6 Search Strategies : how to find the information you want
  - 7 Internet management tools : Telnet, FTP, Gopher, HTML
  - 8 Individual project : Web-based research project
  - 9 Homepage : content, design, and creation
  - 10 Multimedia : integrating text, graphics, audio and video
  - 11 Introduction to Class project : multimedia database / guide
  - 12 Computing for entertainment and education
  - 13 The Future of computers and information networks
- Preparation for Final Evaluation Project  
Final Exam

履修上の留意点

A. Students will be able to competently use information technology software : 1) to successfully locate information on the Internet, 2) read and write effective e-mail messages, 3) to access the full scope of the Internet resources, 4) to create and modify their own homepage on the Internet, 5) to produce a report using Internet sources.

B. Students will be able to understand computer and information technology concepts in English and will be able to communicate concerning computer procedures and Internet functions in English.

C. Students will improve their English language competence in the four main skills through communication in speaking, listening, reading, and writing about computers and through using the Internet and multimedia tools.

成績評価の方法

On-going evaluation through unit assignments and projects will be the major component of course evaluation. Students will be informed at the beginning of each unit of the skills they will be expected to be able to learn and how they will demonstrate their learning. A practical hands-on performance examination to demonstrate competence will be another possible part of the evaluation. Attendance and class participation are important parts of the course grading. The instructor may use brief multiple-choice quizzes during the class to check comprehension of the English language content and computer vocabulary. Course projects will likely count 60% of the final grade. Examinations, quizzes, assignments, attendance, and class participation will make up the other portion of the grade.

教科書

There is no text for the course. Handouts will be provided as needed. Regular attendance and hands-on participation in class are the main ways of learning the required skills with the computer applications.

その他

Access to a computer outside of class is not required. Students will be using Windows PC in a university computer lab.

This is a hands-on practical skills course. There is a limited amount of lecture during each class period. However, the students will be actively listening and following the teacher's instructions in order to understand the features and the specific functions for the software programs. Students will be expected to communicate ideas in English and to work toward computer project in English.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語とコンピュータⅡ (後期)	Brooks, D. (ブルックス, D.)	12以降入学生/短英2選(一類) 12以降入学生/短英2選必(二類) 11以前入学生/短英2選	2

講義のねらい

The aim of the English For Computers (Eigo to konpyuta) course is to teach students the English language skills needed to work with computers and information technology. Additionally, the students will become familiar with a wide variety of computer uses for both home and office. One of the main goals of the course is to bring students to thorough understanding of the Internet and multimedia. The course seeks to give them experiences to deal effectively with these in English.

講義の内容・授業スケジュール

The focus of the course is on acquiring practical hands-on competence and English communication skills for using information technology, especially the Internet. Beginning with computer hardware and the concept of the computer network communications, the students will gain a basic understanding of the nature of information technology. Browsing the World Wide Web, search strategies, e-mail writing and etiquette, mailing list subscription, Telnet, FTP, newsgroups, webchatting are among the Internet topics to be explored. Students will learn how to make their own homepage with links to other websites.

NOTE : Owing to the students' background knowledge and skill and to the availability of software, the actual unit content may be altered.

UNIT TEACHING CONTENT

- 1 Computers and You : how computers affect our lives
  - 2 Introduction to information technology and the Net
  - 3 E-mail : using it and writing effective e-mail
  - 4 Exploring the Internet through e-mail : listserv, e-zines, newsgroups
  - 5 Browsing the World Wide Web
  - 6 Search Strategies : how to find the information you want
  - 7 Internet management tools : Telnet, FTP, Gopher, HTML
  - 8 Individual project : Web-based research project
  - 9 Homepage : content, design, and creation
  - 10 Multimedia : integrating text, graphics, audio and video
  - 11 Introduction to Class project
  - 12 Computing for entertainment and education
  - 13 The Future of computers and information networks
- Preparation for Final Evaluation Project  
Final Exam

履修上の留意点

A. Students will be able to competently use information technology software : 1) to successfully locate information on the Internet, 2) read and write effective e-mail messages, 3) to access the full scope of the Internet resources, 4) to create and modify their own homepage on the Internet, 5) to produce a report using Internet sources.

B. Students will be able to understand computer and information technology concepts in English and will be able to communicate concerning computer procedures and Internet functions in English.

C. Students will improve their English language competence in the four main skills through communication in speaking, listening, reading, and writing about computers and through using the Internet and multimedia tools.

成績評価の方法

On-going evaluation through unit assignments and projects will be the major component of course evaluation. Students will be informed at the beginning of each unit of the skills they will be expected to be able to learn and how they will demonstrate their learning. A practical hands-on performance examination to demonstrate competence will be another possible part of the evaluation. Attendance and class participation are important parts of the course grading. The instructor may use brief multiple-choice quizzes during the class to check comprehension of the English language content and computer vocabulary. Course projects will likely count 60% of the final grade. Examinations, quizzes, assignments, attendance, and class participation will make up the other portion of the grade.

教科書

There is no text for the course. Handouts will be provided as needed. Regular attendance and hands-on participation in class are the main ways of learning the required skills with the computer applications.

その他

Access to a computer outside of class is not required. Students will be using Windows PC in a university computer lab.

This is a hands-on practical skills course. There is a limited amount of lecture during each class period. However, the students will be actively listening and following the teacher's instructions in order to understand the features and the specific functions for the software programs. Students will be expected to communicate ideas in English and to work toward computer project in English.

科目名	担当者名	配当学科	単位
同時通訳入門(後期)	Moe, Richard A. (モエ, リチャード A.)	12以降入学生/短英2選(一類)	2
同時通訳Ⅱ(後期)		12以降入学生/短英2選必(二類)	
		11以前入学生/短英2選	

講義のねらい

To teach students the basic skills of simultaneous interpreting

講義の内容・  
授業スケジュール

After introducing the basic skills of interpreting, students will be expected to apply them in practice. Both Japanese to English and English to Japanese interpretation will be covered. Each student will be expected to be able to give two short talks, one in English and the other in Japanese. As she does so, another student will simultaneously interpret the talks.

履修上の留意点

Students will need to practice speaking smoothly and clearly prior to class so that time in class will not have to be taken to correct their English. The emphasis of this course is on interpreting and not grammar or pronunciation, so students should practice those skills in other classes. Much preparation will be required to speak naturally in class without notes. Inability to do so will adversely affect a student's evaluation. Students will be evaluated at each class.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is  $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$  where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all evaluations, and  $\alpha$  represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no assigned texts for this course.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
秘 書 英 語 ( 前 期 )	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

日本の国際化に伴い、企業で働く秘書として実務に即した英会話の学習は必修であるといえる。来客応対や電話応対の英語、ビジネスレターの作成などを学び、秘書英語検定の対策としても対応できる力を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回1つの unit を学習する。Dialog について内容をよく理解したうえで、hearing, speaking, roll play を通して体得していく。  
復習を各自で十分に行ない、毎回の小テストに備えておくこと。

履修上の留意点

復習中心になりますので、テキストの順序どおりに講義しません。毎回出席しないと次回のテスト範囲がわかりませんので、必ず授業の進捗を把握しておくこと（止むをえず欠席の場合は、友人に尋ねておくこと）。

成績評価の方法

毎回実施する小テスト及びまとめのテストの成績。  
出席を重視します。

教 科 書

服部栄子メリエン著『やさしい秘書の英会話』（南雲堂）1,000円

そ の 他

- ① 受付、取次ぎ、案内などの来客応対における秘書としての会話を学ぶ。
- ② 電話会話、伝言メモの作成。
- ③ ビジネスレターの作成や履歴書の書き方。
- ④ まとめとして、来客応対のロールプレイを演習し、実際に活用できるか確認する。  
90分テープ1本を用意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
秘書実務 (後期)	もり森 もと本 まさ正 え恵	短英1・2選	2

講義のねらい

秘書業務の基本を修得する。  
 企業で働く秘書として必要な資質・職務知識、一般知識、マナー、接遇、技能などの分野について学び、即戦力として実務知識が役立つような講義を目的とする。  
 文部省認定秘書技能検定試験の受験にも対応できる。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の進め方として、秘書や秘書の仕事について考え理解し、行動でき、表現できるように適宜レポートや実技(来客対応・電話対応など)を課題として与えながら実務能力がつくようにする。

1. オリエンテーション(授業のねらいと進め方)
2. 秘書の役割と心がまえ(秘書のイメージ資格要件)
3. 会話(話し方、聞き方、敬語)
4. 接遇(来客対応、電話対応)
5. 文書作成Ⅰ(社内文書)
6. 文書作成Ⅱ(社外文書、メモ、グラフ)
7. 文書管理(ファイリング、郵便の扱い)
8. 交際業務と環境整備(慶弔のマナー、仕事のしやすい環境)
9. 会議Ⅰ(会議の種類と準備、後始末)
10. 会議Ⅱ(会議の実際-グループワーク)
11. 日程管理(行動予定、出張、旅行)
12. 実技①基本の姿勢(おじぎ、イスの立ち方、座り方、歩き方)
13. 実技②(接遇——来客対応、受付、取次ぎ、案内、接待、見送り)
14. まとめ

なお、適宜ビデオを使用し、秘書や秘書の仕事について具体的な理解ができるようにするとともに、立ち居振舞いや話し方について自己を客観的に見られる資料とする。

毎年、受講者が多いため、グループ別ワークを取り入れることもある。他のメンバーに迷惑をかけないように心がけること。

履修上の留意点

毎回講義と演習を中心に進めますので、資料を参考にして課題をきちんとこなすこと。  
 提出物については、締切日を守るように自己管理すること。

成績評価の方法

小テスト及び定期テストの成績。レポート等の提出物、実技、授業への参加意識などを含んだ総合評価とする。

教科書

野坂裕子・能勢照代・森本敦司共著『シクレタリアル・オフィスワーク・ノート』(燃焼社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
秘書概論 (前期)	もりもと まさえ 森本正恵	短英1・2選	2

講義のねらい

イギリスの産業革命以後、興った急激な工業化、社会の変革に伴い秘書業務の必要性が叫ばれ、近代の秘書の地位が確立した。しかし、ここ数年においては、オフィスオートメーションによる情報システムの進展により国際化、情報化が急速に進み従来の業務とは異なった新しい業務の処理が求められている。このような企業の業務革新に伴い、本来の秘書業務を基盤として、さらに質の高い新しい業務処理能力が秘書に求められるのは自明の理である。現在の大きな変革の波の中でこそ有能な秘書のニーズはある。そこで、秘書として必要な基本的資質、職務知識、形態、課題や今後の問題について理解を深めるために秘書理論を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. 企業とは何か-会社の種類と特徴、企業経営と組織
3. 「働く」とは-産業、職業に関する知識職場とは何か
4. 秘書活動の基本-秘書の機能と形態
5. 職務能力と専門性-秘書の資質と専門能力
6. 秘書と人間関係-TAで自分を知る
7. 秘書に求められるコミュニケーション能力
8. 予備日 (学会)
9. 秘書とパーソナリティ-必要とされるパーソナリティ
10. 秘書と情報
11. ライフスタイルについて-女性とライフスタイル、キャリアアップへの道
12. レポート提出
13. 予備日

履修上の留意点

講義形式で授業を進めるが、各自の個別学習(予習)と全員での学習を効率よくかみ合わせ、クラスでは発表の機会などを設け、自分の考えが表現できるような創造的学習を行う。グループワークも取り入れるので、欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心がけること。

成績評価の方法

出席及びレポートを重視する。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識をもち(新聞・ニュースなどに常に関心をもつこと)自分で考え、自分の言葉で表現できるようになること。課題が出された場合、指定の提出日に必ず出すこと。期限の過んだものは評価しない。他人のレポートを写すなどは論外である。(0点)

2年生は、就職活動で欠席を余儀なくされることがあるが、欠席の届を出したうえで「就職活動の報告」を翌週に発表してもらうことにより、欠席分を補えるものとする。

教科書

武田秀子 能登洋子 松井弘子 三村善美 共著『新秘書・ビジネスワーク論』1998 (早稲田教育出版) 1,900円

参考書等

新聞記事など新しい情報はプリントして、その都度配布する。

その他

オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと。出席を重視するので、止むをえず欠席する場合は、必ず届出ること。合同授業のため、受講生が多いと予想される。授業中の私語や遅刻は他人の迷惑になるので慎むこと。授業中は、働く女性としての意識をもち、行動するように心がけること。以上のような基本的なことが守れない人は、登録を遠慮してほしい。

以上

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ジャーナリズム研究	はたのとしお 旗野寿雄	短英1・2選	4

## 講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースや報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材(マスメディア志望者)、あるいは、情報を自律的に解説・判断できる人間(読者)を育成する。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。第一線の記者、論説委員、アメリカ勤務などの体験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。放送局や新聞社の見学も行う。

## 履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

## 成績評価の方法

ニュース分析、小論文、簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して評価する。

## 教科書

使用しない。

## 参考書等

その都度指示する。

## その他

私語厳禁、公語(意見発表)歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネスイングリッシュ	まちいやすし 町井靖	短英1・2選	4

## 講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっていく。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

## 履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習(英文解釈)、復習(英作文)が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

## 成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

## 教科書

町井靖著『ビジネス英語』(創成社)1,600円(本体価格)

## 参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語教育法 (後 期)	いしだ きゆり 石田小百合	短英1・2選	4

講義のねらい	日本語教育に関する基礎的知識を身につけるとともに、よりよい日本語授業を行なうために必要なことは何であるかを講義、発表、討論、実習などを通して考える力を養う。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本語授業法全般、詳細は後日決定する。
履修上の留意点	授業は基本的に受講者主体で行なう。日本語教育に関心があり、全日程出席できる、意欲ある者に受講してほしい。
成績評価の方法	試験及び出席、授業態度などを総合して評価する。
教科書	後日指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
表 現 法	ささ せ おう じ 笹瀬王子	短英1・2選	4

講義のねらい	日本語の構造や特質の理解を通じ、文章表現力を養うのが本講義の主眼である。 表現とは、自己発現の手段であると共に、他者や社会とのコミュニケーションをはかる手段でもある。そのことを踏まえ、明晰で論理的な、そして何よりも正しい表現方法の習得を目指す。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書を中心に現代日本語の表現について学ぶ。それと並行して、プリントなどの各種教材を参考に語彙力や書く力の向上をはかる。
履修上の留意点	随時に課す、課題を通して積極的な講義への参加をのぞむ。
成績評価の方法	授業中に実施する各種課題、レポート等を総合的に評価する。
教科書	影山尚之他編『日本語と表現の工夫』(双文社出版) 1,796円
参考書等	教場にて、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Group Discussion	Murphy, K. (マーフィ, K.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Group Discussion	Griffiths, J. (グリフィス, J.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

講義のねらい

The principal aim of this course will be to improve the ability of the students to express themselves effectively in conversational English on a variety of topics in a group discussion format.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will cover different conversational topics in the news, popular culture, or in global trends in business, science, and the environment. Students may be asked to make individual presentations to serve as the basis for broader interaction among members of the entire class.

履修上の留意点

During the course of two semesters, students will be expected to become familiar with the material presented in class, whether it is presented by other students or culled from the Internet, textbooks, or other sources. Regular attendance and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be determined.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Group Discussion	Thompson, E. (トームソン, E.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be advised first lesson.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Group Discussion	Snell, J. (スネール, J.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Reading Comprehension	Griffiths, J. (グリフィス, J.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

講義のねらい

The principal aim of this course will be to improve the ability of the students to read and understand a variety of materials in modern English.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each class will cover printed materials on different topics in the news, modern films and entertainment, or possibly from the Internet. Copies of the reading materials will be distributed regularly throughout the year. During class, each student will be expected to read both silently and aloud, and also to participate in class discussions. Periodic quizzes will be given to check on comprehension, vocabulary, and retention. Students may be called upon to complete individual assignments or give short presentations in class.

履修上の留意点

Regular attendance, completion of quizzes and assignments, and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or quiz scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be determined.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Reading Comprehension	Everaert, Amanda. (エバアート, A.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Reading Comprehension	Murphy, K. (マーフィ, K.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V	Leone, J. (レオン, J.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

講義のねらい	This is a TOEFL class. The goal is to improve student's understanding of and performance on TOEFL. This will be done through lectures, exercises, practice tests, etc.
講義の内容・授業スケジュール	Details of the class schedule will be announced in the class syllabus to be given out the first day of class.
履修上の留意点	This class is for students who are interested in the TOEFL. They should be willing to work and study, hard to improve their Knowledge of the TOEFL.
成績評価の方法	Grades will be based on attendance, class participation and tests and quizzes.
教科書	The textbook to be used will be announced later.
参考書等	Supplementary materials may be brought in from time to time by the instructor.
その他	Videos, slides, etc will probably not be used.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English V	Sculli, Santina (スカリー, S.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

This is a TOEFL preparation course. The goal of this course is not solely to raise TOEFL scores but to improve general English levels. Test-taking strategies will be studied but we will concentrate on raising reading speeds and vocabulary levels, and improving reading and listening comprehension. Primary emphasis will be on mastering reading skills as these have the greatest impact on performance on the TOEFL. Participants will be involved in individual, pair and group work during class and will be required to complete weekly assignments and out of class reading.

Assessment will be based on completion of assignments (35%), participation in class activities (25%) and performance on quizzes (40%). Classes will be conducted once a week (Friday mornings) over both terms. A booklist of required texts will be announced in the second week of classes. The total cost of these books will fall between ¥3,000 and ¥6,000.



科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI	Everaert, Amanda. (エバアート, A.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI	Thompson, E. (トームソン, E.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be advised first lesson.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI	Snell, J. (スネール, J.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

To be announced

科目名	担当者名	配当学科	単位
Intensive English VI	Griffiths, J. (グリフィス, J.)	11以前入学生/短英2必(二類)	2

講義のねらい

The principal aim of this course will be to improve the ability of the students to read, understand, and discuss a variety of materials in modern English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will cover materials on different topics in the news, modern culture, or from the Internet. Materials will be taken from a textbook or distributed in the course of the year. During class, each student will be expected to read both silently and aloud, and also to participate in class discussions. Periodic tests will be given to check on comprehension, vocabulary, and retention. Students may be called upon to complete individual assignments or give short presentations in class.

履修上の留意点

Regular attendance, completion of tests and assignments, and enthusiastic participation in classroom activities will be required to successfully complete the course.

成績評価の方法

Attendance and class participation will count for 50% of the final grade. Presentations, assignments, or test scores will count for the other 50%. Every three unexcused absences may lower the final grade by ten points. Tardiness will be frowned upon and may result in the lowering of grades.

教科書

To be determined.

その他

Any questions or problems a student has concerning the class should be discussed directly with the instructor.

# 1. 專門教育科目

## (3) 放 射 線 科



# 1. 專門教育科目

## (3) 放射線科

放射線物理学	〈小山正希〉	133
電気工学	〈佐藤昌憲〉	133
放射線機器概論	〈氏家盛通〉	134
放射線写真学	〈古川克治〉	135
解剖学	〈作山攜子〉	136
生理学	〈樋口雄三〉	136
衛生学及び公衆衛生学	〈吉田稔〉	137
画像検査技術学概論	〈西尾誠示〉	137
放射線基礎数学	〈清水忠良〉	138
近代物理学序論	〈小林久夫〉	138
放射化学序論	〈原田和正〉	139
実験 I A	〈西尾誠示・氏家盛通・三浦康平〉	140
実験 I B	〈清水忠良・小林久夫・佐藤昌憲・百瀬旬〉	141
実験 I C	〈山本裕右・櫃尾英次・原田和正〉	141
実験 I D	〈山本裕右・高田健夫・原田和正・村上雅彦〉	142
医学概論	〈作山攜子〉	143
臨床医学概論	〈作山攜子〉	143
放射線生物学	〈大田忠親〉	144
病理学	〈作山攜子〉	145
生化学	〈原田和正〉	145
応用数学	〈中本淳〉	146
原子核物理学	〈青木清〉	146
放射化学	〈山本裕右〉	147
電子工学	〈杉田徹〉	147
放射線機器工学	〈中北倫男〉	148
画像工学	〈古川克治〉	149
画像技術学	〈西尾誠示〉	150
放射線計測学	〈小山正希〉	151
関係法規	〈一守俊寛〉	152
実験 II A	〈西尾誠示・氏家盛通・阿部敏・金谷信一〉	153
実験 II B	〈小山正希・佐藤昌憲・中北倫男・中本淳〉	154
実験 II C	〈杉田徹・青木清・川副護・木村登〉	154
実験 II D	〈杉田徹・青木清・木村登・吉田正廣〉	155
実験 II E	〈櫃尾英次・一守俊寛・中北倫男〉	155
病院実習 I	〈氏家盛通〉	156
放射線医学概論	〈作山攜子〉	156
自動制御工学	〈青木清〉	157
医用機器工学	〈櫃尾英次〉	158
放射性同位元素応用機器工学	〈小山正希〉	159
画像情報学	〈西尾誠示〉	159
放射性同位元素検査技術学	〈氏家盛通〉	160
放射線治療技術学	〈高山誠〉	161
放射線管理学	〈一守俊寛〉	161
放射線学演習	〈西尾誠示〉	162

実 験	Ⅲ	A	〈小山 正希・佐藤 昌憲・羽生 毅〉	162
実 験	Ⅲ	B	〈青木 清・杉田 徹・永井 喜則〉	163
実 験	Ⅲ	C	〈山本 裕右・大田 忠親・原田 和正・村上 雅彦〉	164
実 験	Ⅲ	D	〈榎尾 英次・氏家 盛通・小林 久夫〉	165
病 院 実 習	Ⅱ	〈氏 家 盛 通〉		166
医 学 英 語		〈照 屋 浩 司〉		166
臨 床 医 学 特 論		〈 休 講 〉		
臨 床 放 射 線 特 論		〈 休 講 〉		
統 計 学		〈 休 講 〉		
情 報 工 学		〈 休 講 〉		
画 像 処 理 論		〈榎 尾 英 次〉		167
化 学 特 論		〈原 田 和 正〉		168
応 用 計 測 学		〈榎 尾 英 次〉		169
放 射 線 学 特 論		〈星 川 嘉 一〉		169
放 射 線 学 基 礎 演 習		〈小 山 正 希〉		170
放 射 線 学 基 礎 演 習		〈氏 家 盛 通〉		170
放 射 線 学 基 礎 演 習		〈杉 田 徹〉		171
放 射 線 学 基 礎 演 習		〈山 本 裕 右〉		171
放 射 線 学 基 礎 演 習		〈中 北 倫 男〉		172
放 射 線 学 特 別 演 習		〈青 木 清〉		172
放 射 線 学 特 別 演 習		〈榎 尾 英 次〉		173
放 射 線 学 特 別 演 習		〈佐 藤 昌 憲〉		173
放 射 線 学 特 別 演 習		〈清 水 忠 良〉		174
放 射 線 学 特 別 演 習		〈西 尾 誠 示〉		174
放 射 線 学 特 別 演 習		〈原 田 和 正〉		175
放 射 線 学 特 別 演 習		〈山 本 裕 右〉		175

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 物 理 学	こ 山 正 希	短 放 1 必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主としてX線）と物質との相互作用を中心として、最も多用されているX線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子（X線・γ線）の粒子性。
- 4) 光電効果。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X線回折・ブラグ反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動X線・特性X線の発生機構。
- 10) X線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動輻射・チエレンコフ輻射など）。
- 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。
- 15) 電子の飛行。
- 16) 放射線の単位。

X線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習するX線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用に有ると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

教 科 書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

専門（放射線科）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
電 気 工 学	さ 藤 昌 憲	短 放 1 必	2

講義のねらい

電気工学全般にわたる広い基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合せ講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ① 電気回路の電圧・電流        | ② 消費電力と発生熱量         |
| ③ 電気抵抗              | ④ 磁界の強さと磁束密度        |
| ⑤ 磁気回路              | ⑥ 電磁力               |
| ⑦ 電磁誘導作用と電磁エネルギー    | ⑧ 静電現象              |
| ⑨ 電界の強さと電束密度        | ⑩ 静電エネルギー           |
| ⑪ 交流回路の基礎           | ⑫ 交流の平均値・実効値        |
| ⑬ 正弦波交流の基本回路        | ⑭ 交流の直列回路           |
| ⑮ 交流の並列回路           | ⑯ 交流の電力             |
| ⑰ 複素数とベクトル          | ⑱ 交流回路の計算           |
| ⑲ 相互インダクタンスを含む回路の計算 | ⑳ 三相交流の基礎           |
| ㉑ 三相の結線方法と電圧・電流の関係  | ㉒ 三相交流の電力と力率        |
| ㉓ 平衡三相交流回路の計算       | ㉔ 電気計測（電圧・電流・電力の測定） |
| ㉕ 変圧器の基礎            |                     |

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教 科 書

- 『新電気基礎問題集』（綜文館） 800円  
『電気基礎上』（東京電機大学） 2,472円  
『電気基礎下』（東京電機大学） 2,369円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 機 器 概 論 ( 後 期 )	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短 放 1 必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- ② 一般撮影装置：X 線装置・X 線発生装置、X 線制御装置。
- ③ X 線源装置、X 線用高電圧ケーブル、X 線高電圧発生装置、電源設備。
- ④ X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- ⑤ 関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- ⑥ 診断用 X 線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- ⑦ 特殊 X 線装置：乳房用 X 線装置、泌尿器・婦人科系 X 線装置、乳幼児撮影装置。
- ⑧ X 線断層撮影装置、X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法・立体撮影法。
- ⑨ 循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置、X 線シネ装置と関連機器。
- ⑩ X 線 CT 装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X 線 CT 走査方式。
- ⑪ X 線 CT 検出器、寝台、X 線発生装置、X 線管、コンピュータシステム。
- ⑫ X 線 CT 装置の特徴：スリップリング方式、画像記録装置、画像記憶・表示装置。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な X 線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

前期試験の結果による。

教 科 書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,004円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線写真学 (後期)	ふる 古 川 かつ 治	短放 1 必	1

講義のねらい

画像診断の根幹をなす、各種医用画像の画像形成につき、感光材料、感熱材料等のセンサー科学とその最新技術につき理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 感光材料概論
- ② 感光理論
- ③ 現像理論
- ④ X線写真
- ⑤ 増感紙・蛍光板・II管

感光材料	現像理論	X線写真	増感紙
感光理論	品質管理		蛍光板
H12/10	/11、12	H13/1	/2

履修上の留意点

期中2回程度のミニテスト実施予定。  
教科書・参考書・文献等で理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席・ミニテストを参考に最終評価をする。追試、再試「無」。

教科書

『新しい放射線写真学』新版(富士メデイカルシステム)5,700円

参考書等

- ・日本写真学会編『写真工学の基礎』(銀塩写真編)(コロナ社)
- ・友田宣忠『写真科学』(通商産業研究社)
- ・笹井 明『写真の化学』(写真工業出版社)
- ・内田他『放射線画像情報工学』(通商産業研究社)

その他

授業方法：講義、ビデオ、OHP



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
解 剖 学	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短 放 1 必	2

講義のねらい

医療の道を歩む者にとって人体解剖学は最も基礎的な学問である。特に臨床の分野に従事する技師にとっては必須のものである。現状では画像は身体の前後像のみならず軸位、矢状、冠状各断層像に加え、3Dイメージなどによって診断が行われている。これらの画像を撮像するためにも解剖の理解は重要である。

講義の内容・授業スケジュール

骨格系、筋肉系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌、神経系について学ぶ。

履修上の留意点

将来診療放射線技師としてどの分野に従事するとしても基本的事項であるため、授業後は復習をし疑問は次の時間に質問をする。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教 科 書

吉川、星、林共著『解剖生理学』（金原出版）3,000円

参 考 書 等

講義を主とするが、OHPを用いて重要なポイントを強調する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 理 学 ( 後 期 )	ひ ぐち ゆう そう 樋 口 雄 三	短 放 1 必	2

講義のねらい

生体の生命現象について、単にその調節機序を解説するのではなく、それらが互いに有機的に関連しあい恒常性が維持されていることをホリスティックな視点から理解を深めることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生命と健康
2. 体 液
3. 循 環
4. 呼 吸
5. 消化吸収
6. 栄養・代謝・体温
7. 排 泄
8. 内 分 泌
9. 神経の興奮
10. 中枢神経系
11. 末梢神経系
12. 感 覚
13. 筋収縮と運動
14. 生体の防御機構
15. 生 殖

履修上の留意点

講義内容は、教科書よりも高いレベルで重点的に話すのでノートを必ずとること。出席を重視する。

成績評価の方法

筆記試験。出席点を与える。

教 科 書

松村・越智・豊田著『臨床検査技術学⑥生理学』（医学書院）3,914円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
衛生学及び公衆衛生学 (後 期)	よし だ 吉 田 稔	短 放 1 必	2

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および全国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版(南江堂)2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』(厚生指標 臨時増刊)厚生統計協会  
厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)  
環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

専門(放射線科)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像検査技術学概論 (後 期)	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短 放 1 必	2

講義のねらい

画像検査技術概論および放射線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 放射線技術と医療社会  
医療における診療放射線技師の役割、関連領域の構成、チーム医療について。
- ② X線の基礎  
X線の発生から写真効果まで、診療画像領域について述べる。
- ③ 画像の成り立ち  
点線源からのX線照射によって生じる画像の拡大、歪み、重畳効果などについて。
- ④ 画質を評価する尺度  
画質を評価するときの対象因子となる濃度、コントラスト、鮮鋭度、粒状性について。
- ⑤ 画像を左右するもの  
要因を出力側、入力側に分けて散乱線、撮影管電圧、感光材料などについて述べる。
- ⑥ 撮影条件の設定と考え方  
最適な画像を得るための理論的な考え方、課題と改善策について。
- ⑦ 体の基準線と原則および名称  
医療画像検査を行う上で重要な基準線、名称および体表解剖について。
- ⑧ 画像検査の種類  
単純撮影、造影法、特殊検査の原理と検査の基礎的知識について

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、小テストの結果、及び各自の学習意欲を重視する。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』(南江堂)6,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線基礎数学	し 清 みず 水 ただ 忠 よし 良	短放 1 必	2

講義のねらい

この科目は前半で確率・統計学と行列・行列式を、後半で積分学を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 連立一次方程式
2. 行列の表現
3. 行列の演算
4. 行列の分類
5. 6. 行列式 I・II
7. クラームルの解
8. 固有値
9. 統計・実験データのいろいろ
10. 統計データの収集
11. 平均値、度数分布
12. 平均値からのズレの評価
13. 最小自乗法
14. 確率分布
15. ポアソン分布・ガウス分布
16. 計算機による計算実習
17. ~積分学

履修上の留意点

電卓、方眼紙は常に携帯して欲しい。

成績評価の方法

試験・レポート・出席で評価する。

教科書

矢野・石原著『科学技術者のための基礎数学』（裳華房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代物理学序論	こ 小 ばやし 林 ひさ 久 お 夫	短放 1 必	2

講義のねらい

近代物理学の成立過程とその進展、さらに現代物理学に至る道程をできるだけ分かりやすく学ぶ。可能な限り数式を用いない形の講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I. 近代物理学の黎明
  1. 惑星の運動と海王星の発見
  2. 熱の本体とエントロピー
  3. 電気と磁気
- II. 近代物理学の誕生と現代物理学への進展
  4. 原子のなりたち
  5. 量子論の誕生と粒子性・波動性
  6. 不確性の原理と量子力学
  7. レーザ光線
  8. パウリの排他律と元素中の電子
  9. 半導体とエレクトロニクス
  10. 超流動ヘリウムの噴水
  11. 永久磁石と超伝導
  12. 相対性理論
  13. 原子核の火
  14. 新粒子の発見と統一理論
  15. 宇宙の創生と星の一生

履修上の留意点

講義はできるだけ参考書に沿って実施する。また、講義の理解度を確認し整理する意味で毎回テストを実施する。

参考書等

信貴豊一郎『現代物理学への道標』（内田老鶴圃）2,300円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 化 学 序 論	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短 放 1 必	2

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 反応速度論
7. 化学熱力学

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教 科 書

講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I A	にしお せいじ せいじゅう ちりみち 西尾 誠示・氏家 盛通 三浦 康平	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。  
X線画像を左右する様々な要因について基礎的な実験を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 撮影条件の設定  
被検体からより多い情報を得るための適切な線質・線量を求める。アクリルファントムを撮影し、X線の吸収と写真濃度を理解する。
- ② 照射野と撮影距離  
フィルム・X線焦点間距離を変化させ、写真濃度から照射野のX線分布を把握する。
- ③ 拡大と歪み  
形が異なる吸収体を用い、焦点、被写体、フィルムの位置関係と距離の長短による画像の変化を評価する。
- ④ フィルムの特性曲線の作成  
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。曲線からフィルムの特性を比較し、検査部位とフィルムの適合性について基礎を学ぶ。
- ⑤ 散乱線の評価  
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- ⑥ 撮影電圧とコントラスト  
電圧と被写体厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。  
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- ⑦ 増感紙の感度  
フィルムの特性曲線を利用し、増感紙の相対感度を比較する。又、組合せが不適切なフィルム／増感紙の曲線を作成し、被曝線量について認識を深める。
- ⑧ グリッドの性能評価  
鉛ディスク法を用い、散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本性能を評価する。
- ⑨ フィルム・増感紙の鮮鋭度／解像力  
矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。

履修上の留意点

担当教員の指導で上記項目について実験を行い、実験報告書を提出する。  
報告書の提出がない場合は定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

報告書の内容と定期試験の結果によって評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I B	清水 忠良・小林 久夫 佐藤 昌憲・百瀬 旬	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデーターを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容は手引書を制作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。

そのためにスケジュールは個人々人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I C	山本 裕右・榎尾 英次 原由 和正	短放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

1年次後期で並行して学ぶ「放射線写真学」および2年次で学ぶ「画像工学」の基礎となる事項について実験を行う。医療用フィルム画像をよりよく理解するために、フィルムの現像、定着の化学から始まり、フィルム現象、エックス線フィルムの特性を測定するセンチメートルに至る実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1. 基礎実験Ⅰ (ハロゲン化銀の性質、現像液の単薬調査)
2. 基礎実験Ⅱ (現像液組成薬品の化学的性質、定着液組成薬品の化学的性質)
3. フィルム現像
4. 引伸しプリント
5. センシトメトリー (感光計によるエックス線フィルムの特性曲線の作成)
6. 現像薬品と画像 (異なる現像薬品組成をもつ現像液処理による画像の比較)
7. スライド作成 (カラーホイルおよびポジフィルムによるスライド作成)
8. エックス線フィルム画像の複写
9. マイクロデンシトメータによる濃度測定
10. ブートストラップ法による特性曲線の作成
11. 安全光試験

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント。

参考書等

高尾慶人他『新しい放射線写真学』新版 (富士メディカルシステム) 5,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I D	<small>やまもと</small> 山本 <small>はらた</small> 原田 <small>ゆうすけ</small> 裕右 <small>たかだ</small> 高田 <small>たけお</small> 健夫 <small>かずまさ</small> 久正 <small>むらかみ</small> 村上 <small>まさひろ</small> 雅彦	短 放 1 必	実験 I (IA~ID) 5

講義のねらい

化学実験の基本操作を習得すると共に、実験の結果として得られたデータの処理法およびその解釈、報告書の作製について学習する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができる。また、得られた実験結果に伴う誤差には原因がある。その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調整法
4. 中和滴定による酸の定量
5. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
6. 分子模型実習
7. pH メータによる緩衝能の測定
8. 硫酸銅 (II) 五水和物の合成
9. ヨウ素滴定による銅 (II) の定量
10. o-フェナントロリン法による鉄 (II) の比色分析
11. イオン交換樹脂の交換容量の測定

履修上の留意点

- ・ 欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・ 遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・ 予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくること：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作製し、使用する薬品の性質、器具の使用法について下調べしておく。
- ・ 実験室内での規則を守ること：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・ レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教 科 書

プリント使用。

参 考 書 等

新版『実験を安全に行うために (正) 事故・災害防止編』(化学同人) 800円  
 新版『実験を安全に行うために (続) 基本操作・基本測定編』(化学同人) 700円  
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医学概論 (前期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短放 2 必	2

講義のねらい

医学とは何か。正しい医療はどうあるべきか。病気と人間との関わりについて。さらに診断、治療および予防について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 医学をどのようにとらえるか
- ② 医学の発達史
- ③ 健康・病気・医学の体系
- ④ 病気の原因
- ⑤ 病気による身体の変化
- ⑥ 病気の診断
- ⑦ 病気の治療とリハビリテーション
- ⑧ 病気の予防
- ⑨ 新しい医療システム
- ⑩ 健康教育と衛生統計
- ⑪ 医学の生命へのアプローチ

履修上の留意点

医学とはという大きなテーマであるが、平易な表現で医学の全体像を把握する。医学各論に入る前の重要な領域である。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。

教科書

日野原重明著『医学概論』(医学書院) 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
臨床医学概論 (後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短放 2 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として知っていなければならない知識を総論的に学ぶ。診断および治療をも含め臨床医学とは何かを修得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 疾患の分類
- ② 疾患の症状と診断
- ③ 疾患の治療
- ④ 発展する医療

疾患の分類については器質的疾患と機能的疾患、臓器別の疾患、種々の症候群、国際疾患分類についても学ぶ。

履修上の留意点

解剖についての知識を得、医学概論も終えて臨床分野に入っていく。専門用語も日本語のみならず欧文でも理解できるように学ぶ。放射線科に各科からの撮影依頼がくるが、それらを理解できるように修得する。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。

教科書

玉木正男・林文字共著『臨床医学概論』(名古屋大学出版会) 3,500円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 生 物 学 ( 前 期 )	おお だ た だ ちか 大 田 忠 親	短 放 2 必	1

講義のねらい

1895年、レントゲンによってX線が発見された翌年には、X線による手の皮膚炎や脱毛が報告されている。以来、一世紀にわたり放射線の研究・応用と放射線障害の防止の研究・応用とは、相補的な関係で発展してきた。

21世紀の原子力利用は更なる発展が考えられ、特に医療の高度化に伴う医療被曝の増加、原子力発電所への依存が増すことによる環境放射能の増加、SPring-8（放射光）に代表される加速器の普及や高々度飛行時の宇宙線などによる被曝の増加が予想される。

放射線生物学は、生物の集団から分子の各レベルに対する放射線の影響を研究する分野であるから、今後さらにその重要性は増すであろう。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の各項目よりなる。

- 1 放射線、放射光、宇宙線、素粒子
- 2 放射線の物理・化学作用
- 3 細胞の生存曲線
- 4 温度効果と酸素効果
- 5 LETとRBE
- 6 放射線感受性と細胞周期
- 7 酵素、核酸、DNA修復
- 8 急性効果
- 9 晩発効果
- 10 遺伝的效果
- 11 胎児および胚に対する効果
- 12 環境放射能
- 13 放射線診断・治療による危険と恩恵

履修上の留意点

授業開始時ならびに終了時にレポートを提出していただくので時刻厳守のこと。

成績評価の方法

評価は毎時間ごとのレポートにより判定する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業中に必要に応じ指示する。

そ の 他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単位
病理学 (後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短放2必	2

講義のねらい

病理学は2つの面をもつ。1つは病気で死亡した患者を解剖し、死因を明らかにすることである。他の1つは生きている患者の病変を組織片や喀痰などから診断をする。したがって病理学は基礎医学と臨床を合せもつ学問といえる。総論としては次の項目を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 退行性病変
- ② 進行性病変
- ③ 代謝性病変
- ④ 循環障害
- ⑤ 炎症
- ⑥ 感染症
- ⑦ 免疫
- ⑧ 腫瘍
- ⑨ 奇形
- ⑨ 熱傷、放射線障害

各論は各臓器の主な疾患について学ぶ。

履修上の留意点

総論を理解して各論について修得する。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教科書

『新病理学総論及び各論』（日本医事新報社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生化学 (前期)	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放2必	2

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目、とくに代謝に重点を置いて学習する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 細胞
2. 酵素とビタミン
3. 代謝
4. 核酸と遺伝子
5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用数学	なかもと あつし 中 本 淳	短放2必	2

講義のねらい

ここで言う「応用数学」とは広い意味での微分積分学の応用という領域のことである。とはいえ、これでは扱う範囲は相当広い。放射線を扱う上でよく出てくる数学に極力限定する。同じ問題でもいろいろな角度からのアプローチがあることを経験してもらいたい。抽象的な定理も実際に数値を使って表現すると理解しやすい場合が多いので実例を中心に据える。電卓、パソコンを使ったグラフ、表、図を多用したい。また、学生自身にも作ってもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

1～3. 微分積分学の復習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 4. 微分方程式の例 5～7. 簡単な微分方程式の解法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 8～9. 数値微分方程式の解法Ⅰ・Ⅱ 10～12. 数値積分法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 13～15. フーリエ級数Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 16～19. フーリエ変換Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 20. ～画像処理のための数学

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

試験・レポート・出席で評価する

教科書

矢野健太郎・石原繁著『科学技術者のための基礎数学（新版）』（裳華房）

参考書等

矢野健太郎・石原繁著『解析学概論（新版）』（裳華房）  
E・クライツグ著『技術者のための高等数学1～6』（培風館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原子核物理学	あおき きよし 青 木 清	短放2必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射能に関する講義を行う。特に $\alpha$ ・ $\beta$ 壊変と $\gamma$ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。きちんと理解すると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 $\alpha$ ・ $\beta$ ・ $\gamma$ 線、壊変図）
3.  $\alpha$ 壊変（ $\alpha$ 線のエネルギー、ガイガーカウンターの法則、トンネル効果）
4.  $\beta$ 壊変（ $\beta$ 壊変、 $\beta'$ 壊変、 $\beta$ 線のエネルギー、電子捕獲、カリブプロット）
5.  $\gamma$ 線放射（ $\gamma$ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスbauer効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子補捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

竹井力著『放射線物理学』（南山堂）  
田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）

その他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射化学	やまもと ゆうすけ 山本裕右	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。  
 本講義では、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学」、さらに2年次で並行して学ぶ「原子核物理学」で得た化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC(放射化学実験)」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「放射性同位元素検査技術学」、「管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。  
 なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から以下の内容について講義する。

1. 天然に存在する放射性同位元素
2. 放射能、放射壊変および壊変則
3. 放射平衡
4. 放射性同位元素の製造
5. 放射性同位元素の分離、精製
6. 放射能を利用する分析法
7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

2回の中間試験および学年末試験により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
電子工学	すぎた とおる 杉田徹	短放2必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の習得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教科書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』(日本理工出版会) 2,500円

その他

国家試験該当科目である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 機 器 工 学	なか きた つね お 中 北 倫 男	短 放 2 必	2

講義のねらい

診断用 X 線発生装置および X 線映像装置の構成、構成要素の構造、機能、特性、装置の動作原理、動作特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

X 線発生装置は、X 線管部、直流高電圧発生部および制御部などから構成される。直流高電圧の発生形式により、自己整流式、単相ならびに三相全波整流式、インバータ式およびコンデンサ式などの種別がある。また X 線映像装置として X 線 TV 装置とミラーカメラ装置がある。

前期は X 線管装置から単相ならびに三相全波整流式 X 線装置について講義し、後期はインバータ式、コンデンサ式および自己整流式 X 線装置と、X 線 TV 装置およびミラーカメラ装置について講義する。

履修上の留意点

X 線発生装置は、高電圧応用機器の一種でさまざまな技術要素を内包する。また X 線映像装置はエレクトロニクスと光学の応用機器である。したがって、この教科をよく理解するには、電気、電子工学、物理学、化学、自動制御工学などを併せ履修することが望ましい。

成績評価の方法

年度内に行う試験（小テスト、中間試験、定期試験）および出席状況により評価する。

教 科 書

青柳泰司ほか著『改訂 対射線機器工学(I)X 線診断機器』（コロナ社）5,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像工学 (前期)	ふる 古 川 かつ 治	短放 2 必	1

講義のねらい

より良い画像とは何か、画像形成に結びつく諸要因とその物理値としての画像解析法を理解する。併せて、デジタル画像に対する基礎と各種画像処理や画像通信等についても理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 画像解析(1)  
 ① センシトメトリー…光、X線露光  
 ② 鮮鋭度と画像…レスポンス関数  
 ③ 粒状性…雑音  
 ④ 総合画像評価…ROC評価、NEQ (U)
- 画像解析(2)  
 ① 各種医用画像概論…F/S法とDR法  
 ② FCRの原理…FCRの構成、IPの原理と特性、画像処理  
 ③ DR画像の画質評価…DQE、NEQ (U)  
 ④ 各種画像処理等…新画像処理、画像計測、画像通信
- スケジュール：「2年生 前期」  
 画像解析(1) 画像解析(2)  
 H12/4 / 5 / 6 / 7

履修上の留意点

期中 ミニテスト、レポート提出を各1回程度実施予定。  
 画像評価の基礎的考え方、評価法について参考文献等により、理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席・ミニテスト・レポート等を参考に最終評価する。追試、再試「無」

教科書

『新しい放射線写真学』新版(富士メデイカルシステム) 5,700円

参考書等

- ・極光 X-RAYNo25 化成オプトニクス(株)
- ・友田宣忠『写真科学』(通商産業研究社)
- ・安居院猛他『画像工学の基礎』(昭晃堂)
- ・井上英一他『写工学』(共立出版社)
- ・内田他『放射線画像工学』(通商産業研究社)

その他

授業方法：講義、OHP、他

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 技 術 学	にし お せい じ 西 尾 誠 示	短 放 2 必	2

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や画像工学を元にした幅広い学問によって構成される。解剖・生理を裏付けとした整位・撮影条件論、及び得られた画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 胸部撮影の理論
- ② 腹部の撮影技術と画像評価
- ③ 乳房・軟X線撮影の理論
- ④ 頭部の撮影技術と画像評価
- ⑤ 耳鼻科領域の撮影技術と評価
- ⑥ 椎骨の撮影技術とチェックポイント
- ⑦ 四肢の撮影技術とチェックポイント
- ⑧ 消化管検査の手順と画像評価
- ⑨ 実質臓器の画像検査の手順
- ⑩ 心・血管造影検査について
- ⑪ 脳神経系の画像検査について

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、小テスト及び学習意欲を参考にする。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参 考 書 等

立入弘著『診療放射線技術』（南江堂）6,800円  
日本放射線技術学会編『放射線検査学』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線計測学	こやま まさき 小山正希	短放 2 必	2

#### 講義のねらい

万能である放射線計測系は存在していない。即ち、測定対象と必要なデータとを接続する計測系は測定対象によっても、また必要とされるデータによっても様々に異なってくる。診療放射線学における放射線計測学とは一般に、状況に応じて変えなければならない計測系を如何に選択し、かつ使用するかを主としている。ここで必要とされる素養はこのことを念頭に置いて、現存する多種類の検出系、計測系の放射線応答を出来る限り詳細に知ることであろう。これらの系の選択に当っては絶対的なものが無い以上、あくまでも相互比較によってより適切な物を決定する必要がある。従って単に事項の項目的理解では計測学を学んだことにならない。本科目ではこれらの点に留意して学習する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げる事項は次の通りである。

- 1) 放射線検出器分類上の着眼点。
- 2) 放射線検出器の全体像とそれぞれの検出器の位置づけ。
- 3) 電離箱型検出器の基本動作原理。
- 4) 電子及びイオンの運動。
- 5) 電離箱型検出器の基本特性。
- 6) 電離箱型検出器の種類とその概要。
- 7) 電離箱型検出器の出力回路と動作モード。
- 8) 各種電離箱（自由空気型、指頭型、空洞型、外挿型、シャロー型、均質型など）の基本原理とその実際。
- 9) 線量計測とその実際。
- 10) 各種計数管（GM・比例・シンチレーション計数管など）の動作原理と特性。
- 11) パルス計測の基本とその応用。
- 12) 計測データの統計処理。
- 13) 半導体検出器の原理と応用。

検出器や計測系について、既成のコンポーネントの組合せでは目的が達せられない場合、必要なコンポーネント自身を研究開発し、実用に供するのが次の段階の計測学の内容となる。このレベルを念頭に置き学習したい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
関係法規 (後期)	いちもりとしひろ 一守俊寛	短放2必	1

講義のねらい

法律上、放射性同位元素及び放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。しかしながら、保護法益、取扱いの態様等により更に電離放射線障害防止規則等により規制される。各々の法律を正確に理解するには各人の相当な努力が要求される。整理・関連性等を重視し効率的な理解を日論む。

講義の内容・  
授業スケジュール

- \*関係する各種法令の体系的な把握
- \*各法令での定義、規制に関する共通・特異性のある事項の抽出
- \*管理技術との関連性に着目して法令条項の理解度を増大させる。
- \*数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- \*係わる各種業務に対応した
- \*想定される各種実務に対する整理された法令の理解・把握

履修上の留意点

《放射線管理学》の知識を活用して、確実に理解されることが要求される。

成績評価の方法

出席率、小テスト、定期試験により評価

参 考 書 等

日本アイソトープ協会  
『医学における放射線の防護と安全』ICRP Publication 73 2,400円  
『医療放射線防護関係法令集』2,200円  
『放射線障害の防止に関する法令』概説と要点 1,200円  
医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』（医歯薬出版 KK）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II A	にし お せい じ あ べ さとし 西尾 誠示・阿部 敏 うじい 盛通・金谷 信一 氏家	短 放 2 必	実験Ⅱ(ⅡA~ⅡE) 7

講義のねらい

診断用 X 線装置、X 線 TV 装置、X 線 CT 装置を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、得られた画像の評価を通じて、臨床画像への認識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 頭部 X 線撮影法  
頭部ファントムを用い、正面像、側面像、タウン法等の撮影法を学び、画像解剖を理解する。
- ② 副鼻腔 X 線撮影法  
ウォーター法、コルドウェル法等、副鼻腔の撮影法を学び、画像解剖とその意義を理解する。
- ③ 側頭骨 X 線撮影法  
ステンバース法、シュラー法、ゾンネンカルプ法について撮影法と画像解剖を理解する。
- ④ 上肢の X 線撮影法  
手関節、肘関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑤ 下肢の X 線撮影法  
膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑥ 胸椎、腰椎、骨盤の X 線撮影法  
腹部ファントムを用い、多種に及ぶ腰部の撮影技術を習得する。
- ⑦ 胸部の撮影技術と感光材料  
胸部の撮影手技を学ぶと共に、胸部に最適な撮影条件と検出系を選択する。
- ⑧ 胃造影検査法  
X 線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視撮影法を学ぶ。特に体位と画像情報の評価が重要になる。
- ⑨ 乳房 X 線検査と CR 画像処理  
軟 X 線を用いて乳房ファントムを撮影し、乳房撮影の特殊性を学ぶ。更に CR の画像処理を習得するとともに CR 画質を理解する。
- ⑩ X 線 CT 検査法  
X 線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。

履修上の留意点

担当教員の指導で上記項目について実験を行い、実験報告書を提出する。報告書の提出がない場合は定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

報告書の内容と定期試験の結果によって評価する。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』(医歯薬出版) 4,800円 及び配布プリント。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 II B	小山正希・佐藤昌憲 中北倫男・中本淳	短放 2 必	実験 II (IIA~IIE) 7

講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用 X 線発生装置からの制動 X 線の実効エネルギー、エネルギー分析のためのパルス波高選別の基礎的手法、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎的手法などを取り上げて実験し、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

実験項目は次の通りである。

- 1) 制動 X 線の実効エネルギーの測定。  
連続エネルギー分布である制動 X 線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
- 2) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。  
シンチレーション型プローブを用いて Y 線のエネルギー分布測定のためのパルス波高分析の基礎的手法を学ぶ。
- 3) X 線による物質の 2 次電子平衡厚の測定。  
2 次電子平衡の概念を理解する為に、<sup>60</sup>Co 線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2 次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
- 4) GM 計数管の基本特性と計数の統計。  
最も普遍的な計数管である GM 計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM 計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 II C	杉田徹・青木清 川副護・木村登	短放 2 必	実験 II (IIA~IIE) 7

講義のねらい

電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 真空管（三極真空管の静特性）
2. 半導体素子（ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性）
3. 集積回路（オペアンプとデジタル素子）
4. パルス波形の観測（シンクロスコープによる観測）
5. 波形変形回路（微、積分回路、ダイオードクリッパー）
6. 波形整形回路（シュミット・トリガー回路の特性）
7. パーソナルコンピュータ（図形処理 I）
8. パーソナルコンピュータ（図形処理 II）

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。  
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書（IB・IIB・IIC・IID・IIIA・IIIB）〔第四版〕』

その他

パーソナルコンピュータの実験は情報教育センターで行う。  
前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 II D	杉田 徹・青木 清 木村 登・吉田 正廣	短放 2 必	実験 II (II A~II E) 7

講義のねらい

電気工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行う。  
下記の項目について実験を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. コンデンサーの充放電特性
2. 直、並列共振 (共振現象の基礎知識を得る)
3. 交流ブリッジ (インダクタンス、キャパシタンス)
4. R-C 回路 (インピーダンスとベクトル)
5. 整流回路 (整流と平滑、定電圧回路)
6. 変圧器 (電磁誘導、巻数比と電圧比)
7. 三相12ピーク整流回路 (多相整流)
8. 高電圧発生回路 (倍電圧、コッククロフト回路)

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。  
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書 (IB・IIB・IIC・IID・IIIA・IIIB) [第四版]』

その他

前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 II E	榎尾 英次・一守 俊寛 中北 倫男	短放 2 必	実験 II (II A~II E) 7

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。
1. X線管焦点寸法の測定
  2. X線管電圧、X線管電流の測定
  3. 撮影時間の測定
  4. 三相全波整流装置の特性

履修上の留意点

実験は結果の取得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識修得を図る目的で設置された科目であるため、実験中はすでに学修済みの内容の確認とか、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けて欲しい。

報告書(レポート)の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが、書かれている内容を理解することが最も重要であることを認識して欲しい。報告書提出時の試問は記載内容の理解度を確認、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求められることもある。

成績評価の方法

実験態度、報告書及び試問、中間テスト、定期試験などの結果によって総合評価する。

教科書

配布プリント

参考書等

『JISハンドブック 放射線(能)』(日本規格協会)最新版(隔年発行)

その他

実験科目の単位修得には所定のテーマすべてを終了することが必要で、やむを得ない理由により欠席した場合は、追実験を受けなくてはならない(実験IIの単位認定はIIA~IIEすべての合格が条件である)。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
病院実習 I (後 期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放 2 必	3

講義のねらい

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格取得のための必須科目です。2 学年期までの履修科目や実験で修得した基礎知識が、臨床実習病院では、どのように応用されているかを知ると共に、臨床実習指導者等による臨床の場での教育と指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会となる。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものがある。また学内での学習で不足していた点などに気づき、その後の学習意欲へつながることが多い。臨床病院実習に先だって、学習ガイダンスを担当教員と、実習病院の臨床実習指導者によって学内で実習する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法。
- ② 各実習病院の施設説明。実習生の実習病院希望調査。実習要項の説明。
- ③ 実習病院の決定。実習報告書についての説明。
- ④ 病院実習のための知識。病院の組織と業務や病院の機能について。
- ⑤ 患者接遇と患者心理について。
- ⑥ 病院実習における実習上の心得。
- ⑦ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目別ガイダンス。
  - a. 一般撮影系
  - b. 透視撮影系
  - c. 血管造影検査系
  - d. X線 CT 検査系
  - e. 救急検査系
  - f. 超音波・MR 検査系

成績評価の方法

実習病院の実習指導者からの実習成績報告書と実習生の提出する実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項・専門教育科目教科書参考書

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線医学概論 (後 期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	短放 3 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として特に必要な解剖学の復習をする。特に矢状断、冠状断の理解と復得をする。さらに診断学、治療学の発達の歴史、現状および今後の展望について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ① X線による診断（単純写真、CT）
- ② 核磁気共鳴（MR）による診断（MRI、MRA）
- ③ 放射線医学の医学に対する貢献

履修上の留意点

将来放射線技師として医療に携わるものにとって放射線業務の医学への役割を知ることはきわめて大切である。自分の職業に対するの自覚をもつような講義としたい。自由に発言できる機会をもつようにしたい。

成績評価の方法

定期的筆記試験。出席は重視する。

教科書

加藤征治著『解剖学の要点』（金芳堂）3,800円

参考書等

スライドまたは OHP 使用のこともある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自動制御工学 (前期)	あおきよし 青木 清	短放3必	2

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 自動制御の概要 (自動制御の意味と種類、目標値、制御対象、制御量)
2. フィードバック制御
  - ① ラプラス変換とラプラス逆変換
  - ② 制御系の構成 (基本的構成と種類、サーボ機構、ブロック線図、伝達関数)
  - ③ 動作特性 (過渡特性、インディシャル応答、定常特性、定常偏差)
  - ④ 周波数特性 (周波数伝達関数、ベクトル軌跡、ボード線図)
  - ⑤ 安定判別 (ナイキストの安定判別法、ゲイン余有、位相余有)
3. シーケンス制御
  - ① 基本素子 (命令スイッチ、検出スイッチ、電磁リレー)
  - ② リレー回路 (自己保持回路、AND 回路、OR 回路、NAND 回路、NOR 回路、論理図)
  - ③ 基本回路 (優先回路、禁止回路)

履修上の留意点

講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

柳瀬著『自動制御の入門』(東京電機大出版局)、深海・藤巻監『制御工学』(東京電機大出版局)

その他

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 用 機 器 工 学 ( 後 期 )	か し お えい じ 櫃 尾 英 次	短 放 3 必	2

講義のねらい

この科目は医用画像診断装置の中で、X線CT装置とMRIを重点に講義する。また、放射線治療などに用いられる加速器についてはその概要を講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. X線CT装置
  - 1) X線CTの原理および種々の方式
  - 2) 検出器およびデータ収集系
  - 3) システムおよび画像再構成
2. MRI装置
  - 1) 核磁気共鳴の物理的原理
  - 2) MRIシステムの概要
  - 3) 画像形成の原理〈1〉
  - 4) 画像形成の原理〈2〉
3. 加速器
  - 1) 加速器の概要、コッククロフト形とバンデグラーフ形加速器
  - 2) 線形加速器
  - 3) サイクロトロン、シンクロトロン
  - 4) ベータトロン、マイクロトロン

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。X線CT、MRI、および加速器の各講義の後演習を行う。過去の放射線機器工学の国家試験問題を事前に勉強しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射性同位元素応用機器工学 (前期)	こやま まさき 小 山 正 希	短放 3 必	2

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。  
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理し中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理  
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。  
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの  
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。  
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。  
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。  
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の確度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

専門(放射線科)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像情報学 (前期)	にし おせい 西 尾 誠 示	短放 3 必	2

講義のねらい

臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 画像情報概論
- ② 画像形成に影響を与える因子と画質の評価尺度
- ③ 胸部の画像情報  
画像の最適化と条件に依存する情報量の変化について
- ④ 腹部領域の画像情報  
診断目的に応じた画像技術と情報量の変化について
- ⑤ 乳房の画像情報  
軟線と画質、CR画像、正診率、被曝線量、集団検診の現状など
- ⑥ CRの基礎(概論)  
CRの思想、原理・構成、被曝などについて
- ⑦ CR・画像処理  
画像処理を交えてCRの解像力やコントラスト分解能などについて
- ⑧ DSAの基礎と臨床画像
- ⑨ CT検査と画像情報

教科書

稲本一夫編『放射線画像医学』(医歯薬出版) 3,800円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射性同位元素検査技術学	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短 放 3 必	2

講義のねらい

放射性同位元素検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性同位元素を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性同位元素を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技、データ処理法などについて講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 核医学検査概論、検査装置、機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- ② 医薬品ジェネレータ、薬剤管理、検査法概論、シンチグラフィ概論。
- ③ 検査法前処置、放射性医薬品投与方法、画像処理の基本概念、RI 動態検査法。
- ④ RI 動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法・RI 動態機能検査装置。
- ⑤ RI 試料測定装置、ポジロン断層装置・ヒューマンカウンタ。
- ⑥ インビボ検査各論、脳神経系シンチグラフィ。
- ⑦ 脳循環動態計測、甲状腺摂取率測定・シンチグラフィ。
- ⑧ 甲状腺癌・副甲状腺・副腎皮質・髄質シンチグラフィ。
- ⑨ 肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ、心筋シンチグラフィとデータ解析法。
- ⑩ 心プールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- ⑪ 腫瘍・炎症・リンパ節シンチグラフィ。
- ⑫ ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- ⑬ VB<sub>12</sub>吸収試験、蛋白漏出試験、腎・腎動態シンチグラフィとレノグラム。
- ⑭ 循環血液量・血漿量・血球量測定・鉄代謝・赤血球寿命測定。
- ⑮ 血小板寿命・カルシウム代謝測定、ポジロン断層検査法。
- ⑯ インビトロ検査概論。インビトロ放射性医薬品・検査法の原理・B/F分離法。
- ⑰ 測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義。
- ⑱ インビトロ検査各論。AFP、CEA、CA19-9、エラスターゼ、PA、CA125、CA15-3、NSE 他の腫瘍マーカー。ACTH、GH、T<sub>3</sub>、T<sub>4</sub>、PTH、HB 他。

成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果による。

教 科 書

インビボ・インビトロ編『核医学検査技術』（通商産業研究社）各編 4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線治療技術学	たか 高山 やま 山 まこと 誠	短放3必	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前半では癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。

放射線の人体に対する影響などの放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器について解説を行い、放射線治療の計画と実技、線量分布や照射方法(外部照射、密封小線源治療等)の総論的項目について考える。

また後半では各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

教 科 書

村上晃一著『放射線治療技術』  
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

専門(放射線科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線管理学 (前期)	いち 一 もり 守 とし 俊 ひろ 寛	短放3必	2

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要であり、そのための基本的な理念と指針を与えている「国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告」の概要について理解し、放射線計測・線量測定技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を習得することを目的としている。また、国内法令による管理基準との関係について注意をはらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 基本的な概念
- 2) 放射線生物学上の考察
- 3) 線量制限の体系と放射線防護体系
- 4) 放射線防護実施の一般原則
- 5) 職業上、医療上の被曝
- 6) 放射線モニタリング技術
- 7) 被曝計測評価
- 8) 個人被曝管理
- 9) 放射性同位元素の管理と取扱
- 10) 放射線遮蔽

履修上の留意点

学術面よりも実務上で役立つことを重視する。国家試験該当科目「放射線管理学」に対応し基本的事項の理解度の高揚を目指しており小テストも実施する。

成績評価の方法

出席率・小テスト、定期試験により評価

教 科 書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版 KK) 4,000円

参 考 書 等

日本アイソトープ協会  
『国際放射線防護委員会勧告』ICRP Publication 26  
『国際放射線防護委員会の1990年勧告』ICRP Publication 60 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学演習 (後 期)	にし お せい し 西 尾 誠 示	短放 3 必	2

講義のねらい	この授業は放射線科の過程で学ぶ全科目の総合的評価を行うことを目的としている。具体的には診療放射線技師の国家試験合格のために必要な知識の習得を確認することである。
講義の内容・授業スケジュール	学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。ゼミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。
成績評価の方法	中間試験、定期試験の成績によって評価する。
教科書	『診療放射線技師国家試験対策全科 (第6版)』(金芳堂) 8,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 III A	こやま まさのり 小山 正希・佐藤 昌憲 はぶ たけし 羽生 毅	短放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい	放射能の測定手順・放射能測定用計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定のご概念と実測技術の基礎を把握する。
講義の内容・授業スケジュール	<p>主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 吸収線量の測定。 高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは<sup>60</sup>Co線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合せによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。<sup>60</sup>Co線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源—ファントム—電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。</li> <li>2) フィルムによる放射線場の測定。 計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは<sup>60</sup>Co線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。</li> <li>3) 半導体検出器によるα線の測定。 表面障壁型半導体検出器を使用してα線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集取率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。</li> <li>4) GM計数管による線源のβ壊変率測定。 GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。 実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。</li> </ol>
参考書等	放射線学会編『吸収線量の標準測定法』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ B	青木 清・杉田 徹 永井 喜則	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御Ⅰ (二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。)
2. フィードバック制御Ⅱ (自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。)
3. シーケンス制御Ⅰ (エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。)
4. シーケンス制御Ⅱ (各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件で測定する。)
5. コンピュータ制御Ⅰ (パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。)
6. コンピュータ制御Ⅱ (AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。)

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要となるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教 科 書

『実験書(ⅡC・ⅡD・ⅢB)第五版』

そ の 他

一つのテーマについての実験を3～4人のグループで実施する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 III C	山本 裕右・大田 忠親 原田 和正・村上 雅彦	短 放 3 必	実験Ⅲ(ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。  
本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法についての実験を行い、マルチチャンネル波高分析器による $\gamma$ 線スペクトルおよび半減期を測定する。また、3年次で並行して学ぶ「管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・  
授業スケジュール

以下の項目について実験を行う。

1.  $^{99m}\text{Tc}$  のミルキング
  - a) コールドラン
  - b) ホットラン： $^{99}\text{Mo}$  の製造、溶媒抽出法による $^{99m}\text{Tc}$  のミルキング、 $\gamma$ 線スペクトルの測定、半減期の測定  
ホットランは学外実習として立教大学原子力研究所で行う。
2. マイクロピペットの検定（重量法、吸光光度法）

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分おこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教 科 書

実験プリント

参 考 書 等

日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会）1,470円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
実 験 III D	檀尾英次・氏家盛通 小林久夫	短放3必	実験Ⅲ(ⅢA~ⅢD) 5

講義のねらい

放射性同位元素検査技術学、医用機器工学および放射線計測学に関連するテーマについて実験を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

主な実験テーマは次の通り。

- 1) ガンマカメラの性能評価  
ガンマカメラの基本性能をファントムを使用して測定する。
- 2) ポジトロン同時計数測定  
PETの基本的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計数の実験を行う。
- 3) 超音波の各種特性の測定  
超音波装置を使用して、超音波が水中を伝播中に生じる反射、散乱、減衰などの特性と装置の主要な性能を測定する。
- 4) マルチチャンネル計測法  
マルチチャンネル波高分析器を使用して、未知の核種を測定し、そのデータより核種を同定する。
- 5) X線CT装置による画像処理  
X線CT装置を使用して水ファントム、校正用ファントムを測定する。このデータを画像処理し、結果を表示させる。
- 6) 甲状腺ヨード摂取率測定  
模擬ヨード線源を用いて甲状腺ヨード摂取率測定の実験を行う。

履修上の留意点

あらかじめ実験ガイダンスを行うので、実験の前に予習しておくこと。

成績評価の方法

報告書と定期試験により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
病院実習Ⅱ (前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放 3 必	3

講義のねらい

3 学年期の病院実習も 2 学年期と同じ、指定規則による必須科目となっている。実習科目は、放射性同位元素検査技術学（核医学検査技術学）と放射線治療技術学および放射線管理技術学の臨床実習である。臨床実習病院では、診療業務を実施しながら指導してくれる。実習生は限られた期間内で確実な結果を得るよう積極的、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練と、自覚を高め目的意識を明確に把握して、貴重な体験を将来に活かして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類の説明と記入方法。
- ② 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- ③ 病院実習先の決定と学割定期の申請
- ④ 実習要項（核医学系）の説明
- ⑤ 実習要項（放射線治療系）の説明  
放射性同位元素の取り扱い上の注意。
- ⑥ 非密封放射性同位元素管理。
- ⑦ 実習報告書の説明。
- ⑧ 患者接遇（3 学年期実習関係）について。
- ⑨ 臨床実習における実習生の心得。
- ⑩ 実習病院の臨床実習指導者による実習項目と内容の説明。
  - a. 核医学検査法
  - b. 放射線治療法
  - c. 核医学診療・放射線治療の放射線管理。

成績評価の方法

病院実習先の実習指導責任者からの成績報告書を中心に、学生の提出する実習報告書の評価を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と 3 学年期で使用している教科書等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学英語 (後期)	てる や こう し 照 屋 浩 司	短放 2 選	1

講義のねらい

1. 医学関連の英語に慣れる。
2. 英語の医学論文などの内容についておおまかに理解する。
3. 英文で簡単なレポートを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から、医学や健康に関する英文の題材を用いて講義を行い、単語力、構文読解力、英作文力をたかめていく。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、定期試験および小テストなどを総合して評価する。

教科書

清水雅子・名木田恵理子著『ヘルスサイエンスの英語入門』（講談社サイエンティフィク）

参考書等

1. 『リーダーズ英和辞典』、『英和中辞典』（いずれも研究社）などに代表される一般的な英和辞典（既に所有するものでよい）。
2. 『医学英和大事典』（南山堂）などの医学英語の辞典が準備できればさらに好ましいと思われる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像処理論 (後期)	かし 櫃 お 尾 えい じ 次	短放3選	1

講義のねらい

コンピュータのハードウェアの小型化は、マルチプロセッサの使用を可能とし、大容量で高速な画像処理が可能となった。それに伴いコンピュータを用いた画像処理が、今後ますます盛んになるものと思われる。

コンピュータによる画像の処理と認識は、その処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。

最近の医用画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力としている。講義では画像の処理と認識の基本を修得することを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の内容は次の通り。

- 1) 画像の処理と認識について
- 2) 画像の入出力
- 3) 画像のフィルタリング
- 4) 画像の直交変換
- 5) 2値画像処理
- 6) 特徴空間とクラスタリング
- 7) パターンマッチング
- 8) 構文解析的パターン認識
- 9) 画像の領域分割
- 10) 立体認識
- 11) 神経回路網による画像認識

履修上の留意点

画像処理の基本を理解するように努力されたい。

教科書

安居院猛、長尾智晴共著『画像の処理と認識』（昭晃堂）3,675円



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 特 期 論 ( 後 期 )	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短 放 3 選	1

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は $^{99m}\text{Tc}$ -テクネチウムを中心として、 $^{133}\text{Xe}$ -キセノン、 $^{67}\text{Ga}$ -ガリウム、 $^{123}\text{I}$ 、 $^{125}\text{I}$ 、 $^{131}\text{I}$ -ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用しての核医学検査技術学的な面については、3年次の「放射性同位元素検査技術学」で学ぶが、本講義においては *in vivo* 放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記の観点から、*in vivo* 放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同属元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム (発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法)
2. キセノン、クリプトン (希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、 $^{81}\text{Rb}$ - $^{81m}\text{Kr}$  ジェネレータ)
3. ガリウム、インジウム、タリウム (発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)
4. ヨウ素 (発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)

成績評価の方法

学年末試験と平常点により評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,470円を使用する。講義には必ず持参すること。その他、参考書として厚生省薬務局審査課編『放射性医薬品基準ハンドブック』(日本アイソトープ協会) 2,310円をもつとよい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用計測学 (前期)	かし 尾 英 じ 次 檀 尾 英 次	短放3選	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。  
医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
  - CR (Computed Radiography)
  - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特論 (後期)	ほし かわ よし かず 星 川 嘉 一	短放3選	1

講義のねらい

既に学んだ解剖学、放射線物理学や画像技術の基礎の上に、実際の症例を通して臨床に役立つ良い画像とは何かを学ぶ。又、医師、看護婦、放射線技師等で形成される医療チームにおける臨床放射線技師の役割についても理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

単純写真、造影検査、CT、MRI、血管造影等のモダリティ一別、又頭部、頸部、胸部、腹部、四肢等の臓器別に実際の症例を見ながら、正常像や代表的な疾患の画像を学ぶ。

履修上の留意点

一方的な受け身の形ではなく、積極的な発言等の授業への参加を求める。

成績評価の方法

基本的には期末試験の結果で評価を行なうが、授業への出席やその態度についても参考にする。

その他

授業の方法は実際の画像、スライド、ビデオ、OHPを使用し、学生の参加を主体にして進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	小山正希	短放1選	1

講義のねらい

この科目の目的は、専門的な科目を学ぶ初学者に必要とされる学習の姿勢・考え方を培い、自分なりに学習の方法論を獲得しようとする場合に役立つようにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

比較的基礎的な放射線・放射能の応用機器・放射線の種々の物質に対する効果などに関する文献・書籍の内容を題材として、それらについての最新の動向・展望を含めて、何が、どのような視点で、どのように取扱われているかを検討し、議論を加えてゆく。取上げる題材の例を掲げれば（概要）

- X線を用いた元素分析
- 放射線定量の概念
- 医療用放射線機器
- 放射線と発光効果
- 放射線と天文学

などである。これらの題材はその内容・知識を獲得することが目的ではなく、テキストを通じて、放射線の世界のどこかに好奇心の対象を見出し、それへの関心を核として学習にはずみをつけること、種々の事項を関連づけて考える姿勢を身につけることなどを目標としているのである。専門科目を受講するときに陥り易い、単なる項目的理解を超えて、概念の流れを理解し、項目それぞれの位置づけが可能な学習姿勢培養の一助としたい。

教科書

授業に使用するテキストはプリントなどの形式で配布し、参考書などは個々の問題について、その都度紹介してゆく。

その他

授業の方法はゼミ形式で行い、テキストの消化量より、討論を主としたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	うし 氏 いえ 家 もり 盛 みち 通	短放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献より選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 生活環境と放射線
- ② 奥の細道と放射線
- ③ 植物と放射線
- ④ 食品中の放射性物質
- ⑤ 核実験と放射能
- ⑥ 食生活と人工放射能
- ⑦ 実効線量当量
- ⑧ 線量限度の考え方
- ⑨ 海洋の放射能
- ⑩ 病院での放射線
- ⑪ 放射能時計

これらのことを中心に4月より7月にかけて講述する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	すぎ 杉      た 田      とおる 徹	短放1選	1

講義のねらい

新入生の諸君に一つの間を提供し、いかに学ぶべきかを教員と共に考えることを目的としている。具体的にはゼミ形式をとり授業を進めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

専門分野のテーマにこだわらず広く問題意識が発現出来る授業としたい。

履修上の留意点

やる気のある学生の受講を望む。

教科書

資料は毎回配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	やま 山      もと 本      ゆう 裕      すけ 右	短放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また、未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。

- ・原子とは
- ・原子の中の電子
- ・安定同位体と放射性同位体
- ・放射能とは
- ・放射線とは
- ・エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきりと見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習 (前期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	短 放 1 選	1

講義のねらい

放射線科における学業になじみ、将来診療放射線技師として立つための自覚を促し、学習意欲を引き出したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

輪読を中心に、放射線発見の歴史を辿り、また、放射線に関する平易な解説パンフレットにしたがい放射線学への緒を学ぶ。さらに、医療技術の革新状況、画像診断機器の現状と将来、医師との共働者 (COMEDICAL) としての診療放射線技師の役割と位置づけなどを、最近の文献から読み取り、認識と展望を持つ。

履修上の留意点

この演習を契機として、それぞれ学習と自己啓発を進展させることを期待する。意欲ある学生の受講を望む。

教 科 書

資料は、必要に応じて随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	あお き きよし 青 木 清	短 放 3 選	2

講義のねらい

診断用エックス線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

エックス線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、線量当量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。活動は下記のような順序で行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互いの議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

そ の 他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、グループ単位で実験を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	かし 檀 お 尾 えい じ 次	短放3選	2

講義のねらい

パソコンを利用したデータ処理に関する分野からテーマを選び、データ処理の実験を行い、研究レポートとしてまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムについての基礎を学習し、これの基本的なプログラムについてパソコンを利用して実習する。

- 1) テキストおよび論文の講読
- 2) 実験テーマの選定
- 3) 実験
- 4) 研究レポートの作成
- 5) 研究発表

履修上の留意点

あらかじめ本演習についての大綱を示すので、実験テーマおよび実験計画について、全員で討議して決める。

成績評価の方法

ゼミの活動状況、研究レポートおよび研究発表を総合して評価する。

教科書

ゼミのテキストとして適したものを採用する予定である。

その他

ゼミ形式で講読を行い、メンバー全員が参加して実験を進める。メンバーの自主的な活動を期待する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	さ 佐 とう 藤 まさ のり 昌 憲	短放3選	2

講義のねらい

この特別演習では、放射線線量計測に関したテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- テーマ
- 自由空気外挿電離箱の開発
  - 電離箱によるX線線量の評価
  - 電離箱によるγ線線量の評価
  - パソコンによるシミュレーション

成績評価の方法

研究論文にて評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	清水 忠良	短放3選	2

講義のねらい

この科目はテーマを絞って、少し深く現在の話題（課題）に挑戦しようと設けられたものである。細部の技術にこだわると意外に面白い世界が開かれるのではなかろうかと思っている。担当者（清水）の得意なテーマに強く限定しないように配慮をしようと思っている。  
 モットー：1. 「自分で考えてまず実行してみる」 2. 「議論して、次のステップに進む」  
 3. 「GO TO 1」

講義の内容・授業スケジュール

1. 学生のテーマ（希望）の提案
  2. 担当者（清水）による具体的テーマの提案
  3. テーマ決定
- スケジュールの最終は12月末の発表会まで。

成績評価の方法

日頃の質疑応答、発表会での質疑応答による。

その他

討論、ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	西尾 誠示	短放3選	2

講義のねらい

高品質な画像の維持・向上には、画像工学及び画像評価の知識が必要不可欠である。その基礎としてX線画像の形成過程での事象について深い知識を持つこと、及び得られた画像について、理論的な分析・評価法を習得することが望ましい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 画質を左右する要因について実験
- ② 画質の物理的・視覚的評価法
- ③ 臨床写真の評価

履修上の留意点

学生個人でテーマに沿って実験を行い、発表会で結果を報告できるようにする。

成績評価の方法

研究に対する意欲、報告書の内容について評価する。

その他

週1回、輪番制で医療画像に関する勉強会を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放3選	2

講義のねらい

各種の発光体材料など、放射線技術学に関連が深い物質について実験を行い、その特性やメカニズムを理解するとともに、実験結果について考察する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

各自一つの研究テーマを設定し、そのテーマに沿って行った実験の結果をレポートとしてまとめ、発表する。また、関連分野の文献について輪読を行う。

履修上の留意点

学生実験とは異なり、研究実験において「模範解答」は存在しない。各自が得た実験結果から、未知の解答を各自が導き出すものである。1年間、研究テーマに対して自発的・積極的に取り組む姿勢が必要である。

成績評価の方法

レポートの内容と平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学特別演習	やま もと ゆう すけ 山 本 裕 右	短放3選	2

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス(シンチレーション)など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体の開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。

さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめる必要がある。

成績評価の方法

平常点。





## 2. 他学部履修科目



## 2. 他学部履修科目

禅学概论	〈佐藤秀孝〉	183
中国禅宗史	〈田中良昭〉	183
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	184
禅籍讲读 I	〈田中良昭〉	184
禅籍讲读 III	〈佐藤秀孝〉	185
仏教概论	〈平井俊榮〉	186
インド仏教文化史	〈休講〉	
中国仏教文化史	〈永井政之〉	187
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	187
中国古典語初級	〈石井公成〉	188
中国哲学史	〈前川亨〉	188
上代文学研究 I	〈小野寛〉	189
中古文学研究 I	〈高橋文二〉	189
中世文学研究 I	〈村上光徳〉	190
近世文学研究 I	〈富士昭雄〉	190
近代文学研究 I	〈山崎眞紀子〉	191
比較文学	〈満谷マーガレット〉	192
児童文学	〈山口節子〉	193
西洋思想史	〈麻生建〉	193
演劇概论	〈井上理恵〉	194
編集実務	〈長谷川孝〉	194
イギリス文学特講 I	〈逢見明久〉	195
イギリス文学特講 II	〈高野正夫〉	196
イギリス文学特講 III	〈岡崎寿一郎〉	196
イギリス文学特講 IV	〈中岡洋〉	197
イギリス文学特講 V	〈富士川義之〉	197
イギリス文学特講 VI	〈丸小哲雄〉	198
アメリカ文学特講 I	〈東雄一郎〉	199
アメリカ文学特講 III	〈前期：足田和人〉 〈後期：川崎笑佳〉	199
演劇特講〈イギリス・アメリカ〉	〈前期：荒井良雄〉 〈後期：落合和昭〉	200
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	200
地理思想史	〈竹内啓一〉	201
地形学	〈清水長正〉	202
人口地理学	〈大友篤〉	202
文化地理学	〈小田匡保〉	203
応用地理学	〈高木正博〉	203
現代地理学特論	〈長谷川均〉	204
日本史特講 VII〔近代〕	〈小泉雅弘〉	204
東洋史特講 X〔近・現代〕	〈休講〉	
考古学特講 III	〈矢野和之〉	205
日本仏教史 II	〈遠藤廣昭〉	206
西洋文化史 I	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	207
哲学史	〈山口祐弘〉	208

歴 史 哲 学	〈麻 生 建〉	208
産 業 ・ 職 業 社 会 学	〈安 藤 喜 久 雄〉	209
マ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	〈川 本 勝〉	209
社 会 福 祉 発 達 史	〈林 千 代〉	210
国 民 所 得 論	〈吉 野 紀〉	211
日 本 所 得 論	〈橋 野 知 子〉	212
中 小 企 業 論	〈三 井 逸 友〉	213
社 会 政 策	〈光 岡 博 美〉	215
教 育 經 濟 論	〈谷 敷 正 光〉	216
日 本 經 濟 論	〈小 林 正 人〉	218
ア ジ ア 經 濟 論	〈鄭 正 章 淵〉	219
中 国 經 濟 論	〈小 杉 修 二〉	221
ア メ リ カ 經 濟 論	〈瀬 戸 岡 紘 志〉	222
ロ シ ア ・ 東 欧 經 濟 論	〈山 縣 弘 博 之〉	224
商 業 政 策	〈曾 我 信 孝〉	226
マ ー ケ テ イ ン グ	〈百 田 義 治〉	227
經 営 管 理 論	〈堀 龍 二〉	228
労 務 管 理 論	〈遠 藤 孝 透〉	229
財 務 監 査 論	〈飯 岡 章 吉〉	231
会 計 監 査 論	〈中 原 藤 利 安〉	232
管 理 會 計 論	〈加 藤 沢 紘 造〉	233
原 価 計 算 論	〈古 米 田 貢 寿〉	234
貿 易 行 法 各 論	〈齊 藤 休 講 〉	235
銀 行 政 法 各 論	〈竹 中 智 香〉	236
比 較 憲 法	〈竹 中 智 香〉	237
親 族 統 制 史	〈北 野 か ほ る〉	237
西 洋 法 史	〈北 野 か ほ る〉	238
英 米 法 史	〈岡 田 外 司 博〉	239
經 濟 政 治 学	〈小 堀 訓 男〉	240
国 際 政 治 史	〈浦 田 早 苗〉	241
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	〈富 井 幸 雄〉	241
地 方 自 治 法	〈前 田 英 昭〉	242
議 立 法 過 程 論	〈休 講 〉	243
比 較 政 治 学	〈岩 崎 正 洋〉	244
現 代 国 家 論	〈大 塚 桂 桂〉	245
比 較 憲 法	〈休 講 〉	246
經 営 労 務 論	〈鹿 嶋 秀 晃〉	247
国 際 經 營 論	〈茂 垣 広 志〉	248
商 業 史	〈山 田 勝 勝〉	249
保 險 經 營 論	〈石 名 坂 邦 昭〉	250
財 務 會 計 論	〈渡 邊 惠 一 郎〉	251
經 營 分 會 計 論	〈片 桐 伸 夫〉	252
稅 務 營 業 論	〈高 木 克 己〉	253
情 報 理 論	〈高 井 徹 和 夫〉	254

経営統計	〈山内 慎二〉	255
上代文学講読	〈佐原 作美〉	256
中古文学講読	〈鈴木 裕子〉	256
中世文学講読	〈蘭部 幹生〉	257
近世文学講読	〈越後 敬子〉	257
近代文学講読	〈石割 透〉	258
現代文学講読	〈松田 直行〉	259
時事英語	〈休講〉	
英語演習 I [英語音声の基礎]	〈休講〉	
応用計測学	〈樫尾 英次〉	260



科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤 秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	田中 良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

菩提達磨の渡来以前の仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪洲宗、石頭の石頭宗によって禅宗が宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法であると確信している。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史—中国—』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』があるが、入手困難のため図書館を利用されたい。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものである。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	佐藤秀孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹禅、日本禅に二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順に進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史に一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

特定の教科書は使用しないで、講義の中で適宜に資料などをコピーで配布する。

参考書等

参考書等 田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円  
駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,600円  
船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
その他、日本の禅宗に関する諸文献

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読Ⅰ	田中良昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、中国で成立した初期の禅籍（禅宗語録）を講読するものである。本年は、昨年に引き続き、初期の禅籍の内、六祖慧能（638～713）が韶州大梵寺で道俗のために説法した記録とされる『六祖壇経』を読む。『六祖壇経』は、長い年月にわたって数多くの異本が生み出され、その間に著しい増広がなされたが、本講義では、最も素朴な姿を伝える現存最古のテキストである敦煌本の内、最初にその存在の知られたスタイン本（S5475号）と、近年、周紹良氏によってその内容が明らかにされた敦煌県博物館所蔵本（敦博本）を比較しつつ、その読解を通じて、初期の禅宗語録の特徴、禅思想、特に南宗禅の基本的立場を明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 慧能に至る初期の禅宗について、2. 『六祖壇経』とその構成、3. 前年に講読した部分の概要、4. 新たな部分の講読

履修上の留意点

原文（影印本）に触れることの意義を体験し、認識していただきたい。

成績評価の方法

平常の出席状況と学年末試験の結果を総合して評価する。

教科書

スタイン本を校訂した大正蔵48巻と周紹良編著『敦煌写本壇経原本』（文物出版社）の該当部分をコピーして配布する。

参考書等

柳田聖山訳『六祖壇経』（世界の名著）18『禅語録』（中央公論社）及び（世界古典文学全集）36A『禅家語録』Ⅰ（筑摩書房）、楊曾文校写『敦煌新本・六祖壇経』（上海古籍出版社）、佐藤悦成和訳『敦煌新本・六祖壇経』（全国曹洞宗青年会事務局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	さ とう ひで たか 佐 藤 秀 孝	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

この講義は日本禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して日本の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。日本への禅宗の伝来は平安末期から鎌倉時代に始まり、南北朝時代から室町・戦国時代にはその隆盛期を迎えている。ここで初期の日本禅籍というのは、こうした中世禅林に成立したものをその対象としている。

はじめに日本への禅宗の伝来、兼修禅と純粹禅、臨済宗と曹洞宗の展開とその状況、五山叢林と林下、漢文語録と仮名語法などの問題を概観し、日本禅籍の分類や特徴を講ずる。とくに永平道元（1200～53）や瑩山紹瑾（1264～1325）に始まる曹洞宗の禅籍についてはいくぶん詳しく説明したい。

その後に当該の禅籍を講読するわけであるが、今年は『道元禅師語録』をその対象とし、特徴的な上堂語その他を順次に読み進めることにしたい。本書は道元の語録である『道元和尚広録』（『永平広録』とも）10巻を抜粋編集して1巻となした『永平元禅師語録』すなわち『永平略録』のことであり、その編集は道元と同門に当たる南宋の無外義遠（？～1266）によってなされているらしい。その間の事情などを踏まえて本書を精読吟味していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

履修上の留意点

仮名の『正法眼蔵』と違い、本書は漢文の語録であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

教科書

鏡島元隆訳註『道元禅師語録』（講談社学術文庫）700円

参考書等

大久保道舟訳註『道元禅師語録』岩波文庫（岩波書店）520円  
 酒井得元訳註『永平元禅師語録』『道元禅師全集』第5巻に所収（春秋社）4,120円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	ひら い しゅん えい 平 井 俊 榮	英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

仏教について基本的な教理を中心に概説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の大綱にしたがって授業をすすめる。

- 序 章 仏教とは何か
- 第1章 仏陀の生涯
- 第2章 仏の本質
- 第3章 法 — 仏教の真理観 —
- 第4章 一切法 — 法の分類 —
- 第5章 輪廻と業の煩惱
- 第6章 悟りへの道
- 第7章 心 — 実践の主体 —
- 第8章 修行者の理想像
- 第9章 戒律と教団の組織
- 第10章 仏教の歴史

履修上の留意点

出欠は随時採る。

成績評価の方法

期末筆記試験の成績により評価

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）1,600円（変更あるやも知れず）

参 考 書 等

平川彰著『三国仏教通史』（春秋社）2,575円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

## 講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするのではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「葬送儀礼・追善」を取りあげて、仏教教団において葬送が儀礼として成立する過程を考えてみたい。

## 成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

## 教科書

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	ほかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

## 講義のねらい

「浄土思想と日本文化」という課題のもとに講義を行いたい。日本文化史の上に及ぼした浄土思想の影響は極めて大きいですが、その浄土思想を仏教思想の中にどう位置づけるべきかを断えず考慮しながら講義を進めたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

まず、インドの世親の『浄土論』を中心にインド仏教における浄土思想の展開を押え、それが中国においてどのように定着したかを、曇鸞、慧遠、吉蔵、善導などを中心に考察し、それらが日本の浄土思想にどのように現われ発展したかを、智光、永観、覚鑿、源信、法然、親鸞などを中心に検討していく。

## 履修上の留意点

講義において指示する文献を自分できちんと読むことが要求されるであろう。

## 成績評価の方法

学年末の定期試験による。

## 教科書

末木文美士『日本仏教史』（新潮文庫）

## 参考書等

家永三郎『日本文化史』第二版（岩波新書）  
石田瑞磨『日本人と地獄』（春秋社）  
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	石井公成	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

## 講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

## 履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

## 成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

## 教科書

使用せず、コピーを配布する。

## 参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえかわとむる 前川亨	国文・英米文・地理・歴史 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

## 講義のねらい

中国人の世界観・人間観・死生観などの歴史的展開を把握することを目的とする。具体的には儒教・仏教・道教の思想とその相互関係の理解が主な課題となる。その際、東アジア世界の中で中国思想という広い視野を失わないよう心掛けたい。この授業を通して、中国人の思考様式がどのような特徴をもっており、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なっているかを、いささかでも明らかにしたいと思う。一見抽象的にみえる思想の世界も、実は我々の現実と密接につながっていることを、共に学んでいこうと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

受講者の関心の方向を勘案して、前年度同様に孔子から初めて唐・宋代に及ぶか、それとも唐・宋代から始めて近・現代に及ぶかを決めたい。いずれにしても、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

## 履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化など多方面に関心のある諸君の受講を期待する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（持とうという意識を持っていること）が望ましいが、授業したいはそれなしでも理解可能であろう。継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちで受講しないでもらいたい。問題意識と積極的な意欲をもった皆さんの受講を望む。

## 成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期・後期に提出してもらう。それ以外の評価方法も検討したい。

## 教科書

特に必要としない。

## 参考書等

授業中に適宜紹介する。

## そ の 他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるか、受講者の皆さんの意見なども聞きながら進めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おの野 寛 <small>ひろし</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

今年度は万葉集巻二から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

## 履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

## 成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

## 教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	たか 橋 文 二 <small>はし ぶん じ</small>	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大・短英	4

## 講義のねらい

平安朝の女流文学作品の中に表れた人間観、宗教観、自然観の意味するところを問い尋ね、その文学世界の特質を考える。

## 履修上の留意点

講義の該当箇所を予習し、そこに出てきている作品の原文を確認しておくことが望ましい。

## 成績評価の方法

出席の状況、夏休みの課題レポートの提出、期末テストの成績で評価する。

## 教科書

高橋文二『源氏物語の時空と想像力』（翰林書房）

## 参考書等

講義時間内に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究Ⅰ	むら 村 上 光 徳 むら かみ みつ のり	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

『徒然草』を講読し、兼好の物の考え方－自然観・人生観等にふれる。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを使い関係ある章をたんねんに読み先学の説など参考にして考えてゆく。

成績評価の方法

①筆記試験 ②出席状況

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究Ⅰ	ふ じ あき お 雄 ふ じ あき お	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

芭蕉の俳諧文学研究。本年度は『おくのほそ道』の講読を通して、芭蕉の俳諧紀行文の特質を考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

『おくのほそ道』の主要な章段を中心に、『曾良旅日記』その他の資料を参照しながら、講読する。

成績評価の方法

学年末の試験により評価する。

教科書

萩原恭男校注『芭蕉 おくのほそ道』（岩波文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅰ	やま さき ま き こ 山 崎 眞 紀 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

人は言葉を介して考えていることを伝達するが、心の中に生じたいろいろな感情や思いを的確に言語化するのは難しい。とりあえず自らが蓄積している語彙を用いて、抽象的な心の中を言葉として表に出し具象化するしかないだろう。語彙が貧弱であったりすると、思いと言葉とが一致しにくく、相手にもうまく伝わらず、自分自身も消化不良のようで居心地が悪い。また、考える力や現象を分析する力も育たない。言葉は生きていく上で大切なツールであるにも関わらず、それを磨くことを怠りがちである。豊かな語彙力、適切な単語の選択、具象化できるだけの文脈づくり、文章の構成力などを学ぶひとつの方法として日本の近代小説を読む、というのはいかがであらうか。

複雑な感情を一元化して何にでも「カワイイ」と表現してしまったり、安易に「超〜」「っていうか」をつけて自分の世界を表現し得たように思いこんでしまう平板な言語力には、平板な世界観しか築けないだろう。それでは生きていてもつまらない。日本の近代小説には豊かな言葉が溢れている。言葉を磨くには恰好の教材になる。作品中に描かれている都市に注目して集められた日本近代小説のアンソロジーを読み、めまぐるしく変化している現代社会の都市中に生きる私たちの感性と言葉を磨くことがねらいである。

講義の内容・  
授業スケジュール

泉鏡花、樋口一葉、田山花袋、谷崎潤一郎、芥川龍之介、江戸川乱歩、三島由紀夫、大江健三郎らの小説。アンソロジー所収以外の現代小説を読むこともある。

履修上の留意点

授業に臨む前にテキストを読み、感想や意見を述べられるように準備しておくこと。また、〈都市〉を解説するために、街を歩く際に観察力もち柔軟な感受性のアンテナを立ててキャッチしておくこと。自らが感じとったことを口頭発表や文章化してもらう。なお、年間通じて3分の1以上欠席した場合は単位は認定しないので注意すること。

成績評価の方法

出席や授業時の意見・発表などの平常点と前期と後期の論述テストにより評価。

教 科 書

東郷克美・吉田司雄編『近代小説〈都市〉を読む』（双文社出版）2,000円

そ の 他

教科書以外のテキストを準備して貰うこともあり。ビデオも時に使用する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。明治時代の日本は西欧文化のすべてを「翻訳」しようとしていたといっても過言ではないが、授業では、比較的扱いやすい詩の問題が中心になる。前期では、讃美歌、イギリスの浪漫派、フランスの象徴派の詩人たちやシェークスピアなどが近代日本にどのようにして翻訳されてきたか、作品を精読しながらみていきたい。後期では、逆に日本語の詩（短歌、俳句を含めて）の翻訳問題を焦点にして、十九世紀からの英訳短歌、E. パウンドの英訳謡曲や戦後のハイク・ブームなどをみていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義科目ではあるが、授業中、なるべくたくさんテキストを精密に読んでいきたい。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995  
『翻訳の思想』日本近代思想体系15（岩波書店）1991  
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童文学	やまぐちせつこ 山口節子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英	4

## 講義のねらい

子どもの発見に始まる日本児童文学の流れの中で、リアリズム作品、ファンタジー作品がそれぞれどう描かれてきたかを、具体的作品を通して理解する。特に宮沢賢治の日本的ファンタジー作品については、作品の底を流れる賢治童話のフィロソフィーを共に考え合う。また、ファンタジー作品が今日的状況をのり超える力をもつことを、M. エンデの『モモ』やルグインの『ゲド戦記』などの海外児童文学も含めて読み解く。

## 講義の内容・授業スケジュール

日本児童文学の成立と展開を年代を追ってリアリズム、ファンタジー作品ごとにとりあげる。今日の現代児童文学の状況と新しい潮流について、作家・作品を具体的にとりあげながら児童文学の流れとこれからの展望を考察する。賢治作品については、人間とは何か、真実とは何か、生きるとは何かといった人間の本質を、作品を通して共に考え合い、生きる力を得る授業としたい。海外児童文学では、テーマ、モチーフ、全体の構成を理解し、ファンタジーのもつ力とは何かに迫る。

## 履修上の留意点

授業でとりあげる作品は事前に予告するので、必ず読んで授業に臨んでいただきたい。

## 成績評価の方法

成績評価は、前・後期2回のレポートによる。出席状況や授業態度も考慮に入れる。

## 教科書

授業の際に、事前に紹介する。

## 参考書等

授業の進行に併せて関連図書を紹介する。

## その他

講義を中心に、ビデオなども用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	あそうけん 麻生建	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理・経A 商・経営・短国・短英	4

## 講義のねらい

ヨーロッパ人の基本的なものの考え方、さらに思想史という形で何が形成され、求められてきたかを、できるだけ日本との比較の視点から明らかにする。  
特に言語の問題に焦点を当て、教科書に基づきながら説き明かし、その背景をも考察する。

## 履修上の留意点

教科書は毎回持参すること。問題を自分なりに整理し直すため、ノートをとることを勧める。講義は連続しているので、可能なかぎり続けて出席するよう努力すること。

## 成績評価の方法

学年末の試験による。教科書に記述されていることのみが講義の内容ではないから、その都度の講義に留意すること。

## 教科書

麻生建著『ドイツ言語哲学の諸相』（東京大学出版会）3,502円

## 参考書等

特になし。必要な場合は授業中に指示する。

## その他

講義。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 劇 概 論	井 上 理 恵	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短英	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかに収めればいいのかについて考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルクイー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオで舞台に展開される演劇を観て、西洋と日本の演劇の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は「国文学特講 X」を同時に受講されることが望ましい。

また、実際の舞台を見にいったり批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

レポート（二回の観劇批評およびその他二回）による。

教 科 書

授業時に指示する。

参 考 書 等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

そ の 他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
編 集 実 務	長 谷 川 孝	禅・仏教・英米文・地理 社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短英	4

講義のねらい

編集とは、「だれかに—何かを—伝える」という過程に携わる仕事です。つまり「何か」に気づき、その中の意味をとりたて、表現の形を与えて、受け手に引き渡していく、一連の過程が編集という仕事です。そこでは、ものごとの何に目をつけ、何を読みとるのかという「視点(目のつけどころ)」と、「なぜ」それを伝えるのかという意味と責任が問われます。この授業では、書籍・新聞・雑誌など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の整理やレイアウト、原稿づくりなどの、「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを主要なテーマとして、「自分の視点」を育てることを目指したいと考えています。

「だれかに—何かを—伝える」という過程は本来、日常生活や仕事の中でだれもが行っていることでもありますから、編集について考えることは実は、一人ひとりが何をどのように読みとり、どのように伝えて生きているかを考えることだ、とも言えます。現在の情報社会は、多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、一人ひとりが情報の発信人になるよう求められていると言われています。こうした観点からも、編集を考えてみることであれば、と思います。個人紙（誌）づくりの課題は、こうしたねらいもあります。

成績評価の方法

B4判2つ折り4ページの個人紙（誌）を課題作品として提出してもらうほか、自己評価点と平常の提出物などによります。

教 科 書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 I	おの 逢 み 見 あき 明 ひさ 久	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

シェイクスピアの原作からその友情観を探る。併せて、シェイクスピア映画にみとめらる友情の主題も扱う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1回 講義内容の説明
- 第2回 プラトン以来の友情の伝統
- 第3回 『ソネット集』における友情の主題
- 第4回 『ヴェローナの二紳士』のヴァレンタイン
- 第5回 ・BBC版『ヴェローナの二紳士』
- 第6回 『ロミオとジュリエット』のマーキュシオとロミオ
- 第7回 ・MGM版『ロミオとジュリエット』
- 第8回 ・カステラーニ版『ロミオとジュリエット』
- 第9回 ・ゼフィレリ版『ロミオとジュリエット』
- 第10回 ・ラーマン版『ロミオとジュリエット』
- 第11回 『ヴェニス商人』のアントーニオとバッサーニオ
- 第12回 ・ミラー版『ヴェニス商人』
- 第13回 ブラナー版『ヘンリー5世』のフォールスタッフとハル王子
- 第14回 前期レポート試験
- 第15回 『ハムレット』のホレーシオとハムレット
- 第16回 ・オリヴィエ版『ハムレット』
- 第17回 ・リチャードソン版『ハムレット』
- 第18回 ・BBC版『ハムレット』
- 第19回 ・ゼフィレリ版『ハムレット』
- 第20回 ・ブラナー版『ハムレット』
- 第21回 ・黒澤明の『悪い奴ほどよく眠る』の西と板倉
- 第22回 ナン版『十二夜』のヴァイオラとオーシーノー
- 第23回 『二人の血縁の貴公子』のアーサイトとパラモン
- 第24回 『二人の血縁の貴公子』
- 第25回 後期レポート試験

成績評価の方法

レポートから判断する。

教 科 書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

履修上の留意点

授業ではよくノートをとること。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしいちろう 岡崎寿一郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出發として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいいがたくなっているプロンテ文学について講義する。わが国では比較的良好に親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Bronte (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生には退席してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 VI	まるこ てつお 丸 小 哲 雄	禪・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

批評行為は人間の本能です。文学テキストの読みについての論議が必要なのは、やみくもに文学テキストを読んでもそれほど大きな効用はなく、テキストの読み・解釈・批評の交通整理が必要であるからです。テキスト間の相違に折り合いをつける枠組は、いわば作者の「方法」を読みとるためであり、読み手自身のテキストを作ることでもあります。その「方法」は一般化、普遍化できるものですが、人間の不合理や不条理を取り扱う文学論はテキストの神秘的な解釈から脱神秘的な解釈へいたる回路を、いかに創り出してゆくかが問題となります。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての〈持続する〉テキストをどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、テキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。そのために文学テキスト内部からテキスト外部へどう出てゆくかの手順を批評的ディスクールとして説明してゆきます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストの読み方と研究の仕方を覚えるためにさまざまな文学テキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か：日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程：文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

#### 成績評価の方法

試験等による成績評価については、平常点50%、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）50%。クラスでの発表者には別途評価。

#### 教科書

- イ) 『〈持続する〉テキストへの意匠』（英宝社）
- ロ) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

#### 参考書等

- イ) 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
- ロ) 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 東 ゆう いち ろう 雄 一 郎	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

アメリカの1640年の *The Bay Psalm Book* から現在にかけて、子供たちに読み継がれてきた詩を読みます。イギリスから渡ってきた人々は聖書とマザーグースを新世界にもたらしました。植民地時代の子供たちは、教会や学校で、大人たちと同じく、信仰心にあつい詩を読み、それを教材としました。子供たちはロングフエロー、ホイッティアー、ブライアントなどの詩を暗誦しました。独立革命の *The New England Primer* のアルファベットのWは“Whale”から“Whashington”に変わりました。19世紀になると、女性詩人たちが様々な雑誌に、自作の詩を掲載し、家族を支えました。夫の先立たれた女性、なまけ者の夫をもつ女性、病気の両親を養う女性、おさない弟や妹のめんどうをみなければならなかった女性たちでした。19世紀のアメリカの児童文学は、現在のディズニーランドもはるかに及ばない大輪の花を咲かせていました。シゴニーは、先住民の悲惨な生活を訴え続けました。ナサニエル・グラハム・シェファードは南北戦争の兵士の死を人類の死滅と訴えました。この一方で、アメリカの子供たちの詩には、実に楽しい言葉あそびの詩、ナンセンス詩も多くあります。その代表は、ジェイムズ・ホイットコム・ライリーです。永年、アメリカにはライトヴァースは存在しないなどと吹聴されてきましたが、それはウソです。そして、文学は、ウォレンス・ステーブンスが言う、至高のウソです。虚構は現実を超越します。そして、現実人間の想像世界よりも常に先んじてしまいます。この想像の森中のしげみの中で、子供たちの詩はその未知の訪問者を待っています。アメリカの子供たちは、その当初から、大人の世界を共有してきたのです。そこには大人と子供の境界線などありません。ジョン・レノンの〈イマジン〉の世界があるだけです。

## 教科書

*The Oxford Book of Children's Verse in America*

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	前期：あし た の かす ひと 足 田 和 人 後期：かわ さき えみ か 川 崎 笑 佳	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

ロスト・ジェネレーションと呼ばれる作家の短編小説を読み、その特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの技法を学ぶ。

## 講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の作品に目を通しながら、講義を行う。

## 履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることもあるので、積極的な参加を希望する。

## 成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席とする。加えて、前期・後期あわせて2回のレポートを課し、年間の評価とする。

## 教科書

プリント配布。

## 参考書等

必要に応じて紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	前期：荒井良雄 後期：落合和昭	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

イギリス演劇とアメリカ演劇を、欧米演劇の原点であるギリシア・ローマ演劇の伝統をはじめ、最近のロンドンやブロードウェイにおける上演や、映画化作品、さらには日本における受容も視界に入れて講義する。とくに20世紀の英米演劇の劇作家と作品を重点的に取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、シェイクスピアを中心に、イギリス演劇を荒井が講義する。Comedy of Manners、オスカー・ワイルド、20世紀のイギリス演劇を代表する劇作家と作品を、時代順に取りあげる。後期は、20世紀のアメリカ演劇を落合が講義する。Eugene O'Neill、Thornton Wilder、Tennessee Williams、Edward Albee、Sam Shepardなどの劇作家論と作品研究を中心に授業を進める。

履修上の留意点

前期のイギリス演劇は荒井、後期のアメリカ演劇は落合が担当することを承知の上で受講すること。

成績評価の方法

前期は7月に試験、後期は定期試験の形ではなく、レポート課題（原稿用紙5枚程度）を3回以上提出してもらう。出席に関しては、出席率は三分の二が必要である。

教科書

前期 特定の教科書は使用しない。戯曲や参考書は講義の主題毎に紹介する。  
後期 プリント、また、必要があれば、教室で指示。

参考書等

荒井良雄著 『英米文学映画化作品論』（新樹社）2,500円  
太平和登・荒井良雄共著 『ブロードウェイ！ブロードウェイ！』（朝日新聞社）1,200円

その他

舞台や映画のビデオや演劇の朗読テープを随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	Sanders, Leonard P. (サンダース, L. P.)	禅・仏教・国文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。Intertextual Analysis のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	たけうち けいいち 竹内啓一	禅・仏教・国文 英米文・歴史・経A 商・短国・短英	4

#### 講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、一昨年度は、日本地理思想史の講義をしたので、本年度は世界地理思想史の講義をする。ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のものの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシアンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的实践は空間的な限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これらの間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk, official academic geographies が、local, national, global concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をして、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。講義への出欠のチェックはしないが、予告なしに、講義時間の最初または最後に小テストを何回か行う。

#### 成績評価の方法

上記小テストの成績 (40%) と学年末の持ち込み一切自由の筆記試験 (60点) による。

#### 教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』 (大明堂) 2,500円

#### 参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。

- 手塚章 (訳編) 『地理学の古典』 (古今書院)
- 西川治 (編) 『地理学総論』 (総総観地理学講座1) (朝倉書店)
- 水津一朗 『近代地理学の開拓者たち』 (地人書房)
- 野沢秀樹 『フランス地理学の群像』 (地人書房)
- 飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』 (日本評論者) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)
- 野沢秀樹 『ヴィダルド・ド・ラ・ブラーシュ研究』 (地人書房)
- 竹内啓一 『とほろうぐ』 (古今書院)
- 織田武雄 『古地図の世界』 (講談社)
- 織田武雄 『地図の歴史』 (講談社)
- 長澤和俊 『世界探検史』 (白水社)
- スケルトン (増田・信岡訳) 『探検地図の歴史：大航海時代から極地探検まで』 (原書房)
- 増田義郎 『大航海時代』 (世界の歴史13) (講談社)
- ジョン・ノーブル・ウィルフィールド (鈴木訳) 『地図を作った人びと：古代から現代まで』 (いたる地図製作の偉大な物語) (河出書房新社)

日本における近代地理学の発達については以下の私の著書がある。

*Moern Japanese Geography: An Intellectual History.* (Kokon-Shoin.)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地形学	しみず ちょうせい 清水 長 正	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・短大	4

## 講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

## 講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである。  
1. 地形学の成り立ち、2. 地表を変化させる種々の営力と地形の分類、3. 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、組織地形）、4. 海水の働きと地形、5. 地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、6. 地形発達

## 履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

## 成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点も多少加味する。

## 教科書

貝塚爽平・小池一之ほか編『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,532円

## 参考書等

小池一之ほか訳『一般地質学Ⅱ』（東京大学出版会）3,708円

## その他

授業は講義形式で、最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともに、スライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人口地理学	おおとも あつし 大 友 篤	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明かにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを平行して説明する。

## 講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化地理学	小 <sup>お</sup> 田 <sup>だ</sup> 匡 <sup>まさ</sup> 保 <sup>やす</sup>	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短放	4

## 講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、本講義では、特に宗教地理学の研究例について述べる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要 2. 宗教地理学 3. 宗教分布 4. 宗教集落・宗教都市  
5. 巡礼

## 成績評価の方法

成績評価は、レポートと試験によって行なう。レポートが提出されない場合は、単位認定は保証できない。

## 教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用地理学	高 <sup>たか</sup> 木 <sup>ぎ</sup> 正 <sup>まさ</sup> 博 <sup>ひろ</sup>	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短放	4

## 講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

## 履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

## 成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加味する。

## 教科書

授業時間に配布するプリントを使用。

## 参考書等

高橋 裕『河川工学』（東京大学出版会）その他随時紹介する。

## その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代地理学特論	はせがわ ひとし 長谷川 均	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短放	4

## 講義のねらい

新聞やテレビで“沖縄”の二文字を目にすることが多い。沖縄県では、本土復帰以降、巨額な資金がつき込まれ、島々の自然がいたるところで痛めつけられている。また最近、本島北部に米軍基地の移転と空港建設を目指した新知事が誕生し、それに伴う自然へのダメージを懸念する声も強い。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。これらは、私が最近興味をもって取り組んでいるテーマでもある。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。地元紙の記事やインターネットで流れている情報なども紹介する予定である。なお、後期は、前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地球や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

## 履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退中は認めない。

## 成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

## 教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

## 参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

## その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	こいずみ まさひろ 小泉 雅 弘	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経済・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、岩倉使節団と留守政府、明治六年の政変、文明開化、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

## 履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

## 成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

## 教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

## 参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 学 特 講 Ⅲ	や の かず ゆき 矢 野 和 之	禪・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
  - ・日本建築史（古代）概要
  - ・遺構とその上部構造体の復元
  - ・保存計画概論
  - ・保存科学、保存工学概論
  - ・まちづくりと文化財
  - ・計画策定の実務
  - ・国内の事例
  - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教 科 書

なし。

参 考 書 等

適宜指示。

そ の 他

講義はスライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史 Ⅱ	えん どう ひろ あき 遠 藤 廣 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経 A・商・経営・短大	4

講義のねらい

中世の仏教諸宗派の展開を、特に関東にスポットをあてて概観し、その過程を明らかにしていきたい。その中でも、地域社会とのかかわりを中心にしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は古代仏教も概観するが、講義の中心は中世の関東における仏教諸宗派の展開にしぼって見たい。

中でも真言宗と曹洞宗については詳細する。なぜならば、関東においては、古代仏教諸宗派中真言宗が最も多く展開を見、いわゆる鎌倉新仏教の中では曹洞宗が最も展開をとげていることから、両宗は地域社会とのかかわりも深いと考えられるからである。このうち真言宗の展開の場合は、鎌倉・室町時代を通して、京都・鎌倉との関係は無視できない。そのような視点からも講義を進めて見たい。

成績評価の方法

成績評価は、定期試験の結果と出席を基本とするが、出席は特に重視する。

教 科 書

特になし。必要な資料は、授業時に配布する。

参 考 書 等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	禅・仏教・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

#### 講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識をしっかりと把握できるようにしたい。また近年、国際的視野をもった人材の育成が叫ばれているが、真の国際理解の前提には、自国の伝統文化に対する一定の素養をもつことが益々大切になってきている。講義では、こうした点にも配慮していく予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化する、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼－出産と子育て－
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

#### 成績評価の方法

夏休みの課題としてレポートの提出を求める。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

#### 教科書

本講義では教科書は使用しない。

#### 参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）  
新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』（日本実業出版社）



科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 史	やまぐち ままひろ 山 口 祐 弘	国文・英米文・地理 社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに取めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動してものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉えた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴 史 哲 学	あそう けん 麻 生 建	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短大	4

講義のねらい

「歴史とは何か」、「歴史認識はいかにして可能か」という問題は、単なる歴史学の問題ではなく、広く人文科学一般の問題である。講義は、この二つのテーマを中心に行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前半はいわゆる「歴史哲学」の変遷をギリシア時代から19世紀に至るまで概括し、そこで展開された諸問題を検討する。後半は主として歴史認識の問題を解釈学を中心に講義する。教科書として下記のものを使う。

履修上の留意点

前半は純粋な講義の形をとるので、きちんとノートを取り、自分なりに問題を整理する努力をすること。後半は教科書に基づいて行なう。

成績評価の方法

学年末の試験による。

教科書

麻生建著『解釈学』（世界書院）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	あん どう き く お 安 藤 喜 久 雄	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大	4

## 講義のねらい

急激な環境変化によって企業社会が大きく変貌しつつある。この点について産業社会、企業、労働組合、勤労者相互の関係をふまえながら考察する。

## 講義の内容・授業スケジュール

以下の諸項目について講義を進める

1. 企業変容と勤労者生活
2. 企業と経営組織
3. 職場集団と人間関係
4. 日本の経営と組織風土
5. 日本の雇用慣行の転機
6. 労使関係と労働組合
7. 就業構造の変化と職業意識
8. 企業と社会

## 成績評価の方法

出席点と定期試験の両方で評価する。

## 教 科 書

安藤喜久雄他『企業社会の構図』学文社

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわ ちと まさる 川 本 勝	禪・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経A・商・経営・短大	4

## 講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能を考察する。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて考える。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

## 履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目であるが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

## 成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

## 教 科 書

用いない。

## 参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	権・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経A・商 法A・政治・経営・短大 10以降入学生/心理	4

講義のねらい

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

成績評価の方法

後期にレポートを提出してもらいそれによって行なう。

教科書

特にきめないが、今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）をあげておきたい。

その他

9年度以前入学の社会学科心理学コースの学生は、この科目を履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よし の 野 紀	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内的および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回  
ここまでで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R.J.ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 橋 の 野 知 子	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・短国・短放	4

#### 講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら概観していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要なトピックスが、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。また時代・地域を問わず、社会には光と影が存在します。それらについては講義の中でも触れるつもりですが、自らその両面を常に意識し考えながら講義に出席されることを希望します。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- (1)近代日本経済史へのアプローチ 1 - 日本経済史に対するさまざまな見方
- (2)近代日本経済史へのアプローチ 2 - 幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
- (3)近代経済成長の始動 - 殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
- (4)国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
- (5)工業化の進展 1 - 近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
- (6)工業化の進展 2 - 農業部門と非農業部門との関係
- (7)日清・日露戦争と日本経済
- (8)第一次世界大戦と日本経済 - 工業化の新しい局面
- (9)1920年代 - 世界秩序の再編「ボックス・アメリカナ」と日本経済
- (10)「慢性的不況」 - 金融再編成と産業合理化
- (11)二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
- (12)1930年代 - 対立へと変化する国際社会と日本経済
- (13)「戦後経済史」への展望 - 産業構造の変化、市場経済の変容、戦時経済の意味

#### 履修上の留意点

基本的には教科書にそって講義を進める予定です。重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ? どうして?」という疑問を大切にしてください。

#### 成績評価の方法

夏休みのレポート、後期試験、出席状況を総合して評価します。

#### 教 科 書

三和良一『概説日本経済史 近現代』(東大出版会) 1993年 2,400円+税

#### 参 考 書 等

講義の中でその都度紹介します。

#### そ の 他

授業は講義形式。OHP、ビデオの利用による説明もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	みつ い つ とも 三 井 逸 友	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

### 講義のねらい

「中小企業」を論じるということは、意外に容易ではない。なぜなら、「社会科学的概念」を抽象的に論じるのではなく、慣れ親しんでおり、それなりの「固定観念」や「イメージ」が「言霊」としてつきまとっているのが、日本語の慣用語の一つとしての「チューショーキギョー」だからである。しかしそんな「日用語」を一年もかけて論じようというのがここでのねらいではない。ねらいはむしろ、「中小企業は経済のきわめて重要な（critical）構成要素である」（クリントン米大統領）と評される事実を、客観的総合的にとらえ、考えていくことにある。

日本の中小企業はその数約600万、企業の99%、従業者数の80%を占め、製造業中心企業に限っても80万を数え、付加価値の50%以上を生み出している。まさしく、『日本は「中小企業国」だから強い』（森清著、ダイヤモンド社刊）のである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が十分その成果の恩恵にあずかっていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差・不利・経営不安などの「問題状況」も依然広く見られ、長期不況と信用取縮の中でまた、きわめて深刻ともなっている。しかもこのように「期待」と「困難」とが交錯するという事態は、いずれの国でも共通して確認できる。それにもかかわらず、日本の政府は、従来の中小企業政策を不要とし、時代錯誤な姿勢を世界にさらけ出した。

中小企業をめぐる現実をとくカギを、その役割と当面している問題、そしてこれに対する経済学的な理解の方法を検討し、中小企業の役割・可能性とこれを妨げる諸問題への政策的対応の意味を通じて明らかにしていくのが、この講義のねらいである。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 第一部 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況

ここでは、「中小企業論」の性格と方法を示し、その対象としての中小企業の存在の実態を、国際比較を含めて概観する。その上で、中小企業が直面している問題状況や、中小企業の新生・成長と転廃業・退出の経済的社会的メカニズムを具体的に検討し、「日本の中小企業問題」の位相と今日性を再確認する。

#### 第二部 「中小企業論」研究の理論と方法

ここでは、中小企業の存立と問題性をめぐる従来の理論・研究を振り返り、新たな方法を提起する。「中小企業存立論」「問題論」や「貢献論」だけでなく、今日の「企業家論」、さらに、いわゆる「ベンチャー企業論」や「企業家精神論」、「ポストフォーディズム論」もここでの批判的検討対象である。それらの限界性をふまえて、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけの方法を指摘する。

#### 第三部 中小企業の現代的存在形態と「経済システム」「経済的関係」

ここでは、うえの研究方法にもとづいて、中小企業の存在の実態を構造的に解明する。「下請制」「工場産業産地」「大都市中小工業」などといった、我が国の従来の中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追う。あわせて、80年代後半以降の、日本企業の「国際化」のもとでの、日本的企業間関係と管理手法の「輸出」、「現地化」の示した特徴と限界から、中小企業の存立の普遍的意味をあらためて考える。結合生産力の「効率性」と、競争と統制・管理の原理の貫徹がもたらす「経済的関係」のうちの問題状況・「自立」企業の可能性と経営展開の意義が、基本的視角となる。

#### 第四部 中小企業政策の展開と国際比較

ここでは、「中小企業問題」の展開とこれに対する各国の「中小企業政策」の国際比較研究を行う。ポイントは「生産力的」に成功を取ってきた我が国の「中小企業の近代化政策」の評価であるが、これに対する欧米の政策の相違、そして世界経済の一体化、地域経済圏の形成のもとで、近年の「収斂傾向」を検討し、特に EU 欧州連合ならびに欧州諸国の政策の最新の特徴にふれる。また、我が国については、近年の「中小企業政策」否定、創業促進策、ベンチャー企画支援策などへの「転換」も検討する。

### 履修上の留意点

中小企業の研究は、ナマの企業の実態から始まるものであり、その意味で現実感覚が大切である。講義の中では、「教科書をなぞる」ようなことはなるべく避け、今日の現実的な話題を重視したいので、教科書くらいは事前に読んでおくようにしてほしい。また、夏休みには補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。

### 成績評価の方法

基本的には、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。「出席」を取るという空しい作業をするつもりはないが、「出席状況」は加味する。「再試験」は実施する。

### 教 科 書

三井逸友『現代経済と中小企業』（青木書店）2,800円（税抜）  
同編『日本的生産システムの評価と展望』（ミネルヴァ書房）3,600円

## 参考書等

三井『EU 欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）2,330円  
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ 新版』（有斐閣）2,200円  
中小企業庁編『中小企業白書』[各年次]  
中小企業総合研究機構訳編『ヨーロッパ中小企業白書 1997』（同友館）3,500円  
佐藤編『21世紀、中小企業はどうなるか』（慶大出版会）2,300円  
中小商工業研究所編『現代日本の中小商工業－国際比較と政策編』（新日本出版社）刊行予定

## その他

「講義」形式を基本とするが、企業のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、「ベンチャー」起業家、企業経営者や行政関係者の方々の話なども取り入れたい。その中で、企業の経営実態、産業動向等についての、担当者の世界各地や全国での最新の見聞も豊富に活用していく。また、諸方面のWEBサイトの提供する情報は（担当者自身のものを含めて）、必須の材料である。

[http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Mitsui\\_Seminar/mit/](http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Mitsui_Seminar/mit/)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会政策	みつ 光 おか 岡 はく 博 み 美	禅・仏教・国文 英米文・地理・歴史 経営・短国・短放	4

#### 講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

#### 履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

#### 成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

#### 教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育経済論	や 谷 しき ただ みつ 敷 正 光	禅・仏教・国文・英米文 歴史・社会・福祉・心理 法A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2000年アメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
  - (1) 日本の産業化と教育
  - (2) 日本の経済成長と教育
  - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
  - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
  - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
  - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
  - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
  - (8) クリントン大統領の経済と教育 「21世紀アメリカ教育行動計画」 (一部ビデオ)
  - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
  - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
  - (11) プレア首相の経済と教育 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
  - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
  - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
  - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興
  - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
  - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
  - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育
  - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
  - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令、専門学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
  - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
  - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
  - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のため視聴覚教室でビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施。

## 教科書

毎時間、講義の教材として年間30～40枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

## 参考書等

参考文献を講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）  
土志田征一『レーガノミックス』（中公新書）  
原田和男『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）  
大原 進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）  
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）  
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）  
沼口 博『学校教育と経済発展』（学文社）  
その他は講義の中で紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	こ ばやし まさと 小 林 正 人	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 法 A 政 治 ・ 短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、今の平成不況なかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
戦後改革  
日本の高度経済成長：歴史とその原因  
産業政策の役割  
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の産業構造  
産業構造の理論と歴史  
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
- 日本の経済発展の総括と展望  
平成不況の意義  
情報通信革命（インターネット）
- 日本の産業問題  
食糧問題と農業部門の意義  
製品の安全性と PL 法  
環境問題と経済発展

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義では OHP などをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

## 講義のねらい

いま、アジアから目が離せない。ついこの間まで「東アジアの奇跡」として世界の称賛を浴びていたアジア経済は、97年夏のタイ通貨急落を引き金とするアジア経済危機を機に、いまや世界デフレの震源地として国際的評価を失墜させている。この「ヤマヌの神」の顔を持つアジア経済を、私たちは、いったい、いかなる視点からアプローチすればよいのだろうか。これは、経済危機の当事者である日本人にとって非常に気の重い作業ではあるが、それ以上に、私たちの知的冒険心を刺激してやまない研究課題でもある。

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫まる予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界資本主義の動向にも注意を払いたい。

講義計画は、以下の通りである。

## 講義の内容・授業スケジュール

## 〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済
    - ① 資本主義萌芽問題
    - ② 植民地経済の実情
    - ③ 「植民地近代化論」批判
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
    - ① 農地改革
    - ② 外国（アメリカ）援助
    - ③ 帰属財産払下
2. アジア NIEs の経済発展
  - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
    - ※ NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立
    - ※ 韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEAN の歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

## 〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジア NIEs 論
    - ① 新古典派アプローチ
    - ② 世界システム論的アプローチ
    - ③ その他…歴史・文化的アプローチ
  - (2) 東アジア経済発展論
    - ① 世銀のアプローチ
    - ② 国家主義的アプローチ
    - ③ 経済システムアプローチ・市場強化アプローチ
    - ④ その他……企業論的アプローチ etc.
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APEC の発展過程
  - (2) ASEAN の自由化過程

- (3)その他の中小規模経済圏
- 7. アジア経済の現状
  - (1)アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2)その他の諸問題……環境問題 etc.
  - (3)日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストで評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』(有斐閣アルマ) 2,000円(税抜き)  
参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。  
 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみんぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。  
 本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この3点で中国の長期的動態を論ずる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。  
 前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。  
 これについて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。  
 このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれまいであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。  
 上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

#### 履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。  
 教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。  
 また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

#### 成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。  
 再試験あり。

#### 教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

#### その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	せ と おか 瀬 戸 岡 紘	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのがこの講義です。それとともに、アメリカでのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です

この講義を受講するために特別な経済学の予備知識は必要としません。経済学部以外の学生でも十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済について興味をもつ学生諸君には、さらに深めた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探究をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

アメリカ経済について自力で学習していく力をつけることが目標です

受講者のみなさんが、アメリカ経済について自分の力で学習研究していくための動機をつかみ、その基礎的能力をつけることが、この講義のねらいです。ビデオの多用とか、資料の過剰な配布などはしませんが、それもむしろ受講者諸君が自力でビデオを活用し資料を収集する力量がつくように指導したいと考えるからです。この講義は、新入生から卒業年度生まで、いずれの学年でも受講できますが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生までに受講することをすすめます。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

《導入の話題》

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

《総論》

◇アメリカの建国の理念と現代の経済

◇アメリカ経済の歴史的過程

《アメリカ経済各論》

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家とベンチャービジネス

◇アメリカの雇用と労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの交通・通信・情報

◇アメリカの金融

◇アメリカの教育と経済

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

◇アメリカ経済と環境問題

◇アメリカ社会とヴォランティア

◇女性・マイノリティーとアメリカ経済

《世界とアメリカ》

◇国際通貨ドルの地位と IMF

◇アメリカと貿易 (GATT と WTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークとその経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

## 《アメリカと世界の諸地域》

- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋
- 《むすびの話題》
- ◇アメリカの経済学（あたらしい学派の見解）

## 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

## あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話しします。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、ことの真相や本質的なことがらを、ちょっと立ちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

## アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

## 成績評価の方法

## 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。すなわち、この講義では、一発の年度末試験よりも、平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定なのです。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を年間をとおして何回も提出してもらうことを考えています。今年度も受講者との合意が成立すれば、平常点を考慮にいれつつ小論文を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

## 教科書

## 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短法	4

### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験あり。

### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ぼ ひろ ゆき 番 場 博 之	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

近年、日本の商慣行や流通の多段階性、出店規制などに対して諸外国からの批判が高まり、いわゆるグローバルスタンダードなる基準の名のもとにこうした問題に対する改善が要求された。また、日本国内でも「消費者の利益」という大義名分のもとに流通規制緩和が急速に進んできた。しかしながら、そもそも日本の流通システムは非合理的なのであろうか。また、消費者の利益とは単に商品の価格が安いことだけなのだろうか。さらに、どのような規制緩和が本当にわれわれの生活を豊かにしてくれるのだろうか。本講義ではこのような問題意識のもと海外諸国の流通および商業政策との比較を通して日本の商業政策および流通を考えて行く。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義はまず流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の流通政策（商業政策）体系を解説する。また、数回に1回の割合で講義の流れとは別に、テーマ講義を行う。ここでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。

- (1) ガイダンス（講義の進め方、流通経済・商業政策の枠組み）
- (2) 流通機構と流通構造
- (3) 流通の意義と機能
- (4) 資本主義商業の基礎理論
- (5) 日本の流通政策・商業政策とその枠組
- (6) 独占禁止法とその体系
- (7) 再販売価格維持制度と景品表示法
- (8) 取引の規制：おとり広告・二重価格表示・不当廉売等
- (9) 訪問販売法の改正と自立する消費者
- (10) 流通政策の転換と街づくり
- (11) 中小小売業の役割
- (12) 大規模小売店舗法
- (13) 流通規制緩和と大規模小売店舗法
- (14) まちづくり三法
- (15) 商店街再生への取り組み
- (16) 海外の流通・商業政策

年間で4～5回の実施を予定しているテーマ講義を取り上げるテーマには、例えば①小売業の組織化、②消費者心理とコンビニ、③電子マネー、④ヒット商品とマーケティング戦略、⑤大店立地法の施行とその問題点、⑥広告と流通、⑦キャッチセールスと消費者被害といったものを考えている。なお、詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

#### 成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。再試験は実施しない。

#### そ の 他

- ・ 講義には OHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。
- ・ 講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。
- ・ 参考書・教科書・参考資料等は必要に応じて指示する。
- ・ 問い合わせ先、E-mail : h2banba@cuc.ac.jp, HP : <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	そ 曾 が 我 の 信 た か 孝	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 前期はマーケティングの基本的な政策である4つの政策を現状をふまえながら講義する。その概要は次のとおりである。
  - 製品政策……マーケティングで展開される製品にかかわる政策の内容を説明し、それらが需要創造にどのように作用しているかも同時に説明していく。その内容は、①製品の差別化、②市場の細分化と製品の細分化、③製品のライフサイクルの短縮化と陳腐化政策の関係などである。
  - 価格政策……現代の価格は需要と供給で決定されているとはいえない。また、小売価格は生産原価と必ずしも因果関係があるとはいえなくなっている。一般的には購買環境を前提にして価格は設定されているといっても過言ではない。そのような価格設定がマーケティングの政策のひとつである。そこで、①価格設定の方法、②差別価格と消費者との関係、③価格による消費者支配などを説明する。
  - チャンネル政策……自己製品の流通経路の政策について説明する。企業にとって、自己の製品の特性にあわせて、もっとも合理的な流通経路を選択しようとしている。それにはたんに流通コストの問題だけでなく、販売チャンスや需要創造の問題にもかかわるからである。そこで①商業の排除と系列化、②流通支配の形態、③新業態への対応などを説明する。
  - 促進政策……上記の3つの政策も販売促進政策の効果があるが、それらに含まれない販売促進政策について説明する。その内容は①販売員管理、②広告の方法と実態についてである。
- 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングについて説明する。とりわけ、日本企業が国際マーケティングを展開するようになった背景を説明し、日本企業の多国籍化の過程について説明する。その内容は次のとおりである。
  - 国際経済環境の変化と日本企業の対応……NAFTA、EUなどブロック経済化に日本企業が現地法人で対応してきた過程を説明する。その内容は①アメリカでの現地化の過程、②EUへの現地化の方法と過程、③日本企業の現地化と総合商社の役割などである。
  - 国内市場の変化と国際化……とりわけ価格志向品の現地生産とその製品の輸入について説明する。その内容は、①日本の規制緩和と製品輸入、②途上国・共産国での現地生産と輸入、③中小企業の現地化と総合商社との関係などである。
  - 日本企業の多国籍化と財務……日本の多くの企業が多国籍化を展開したのは、外的要因によるところが大きい。しかもそれは急速に展開しなければならない状態であった。それを実現できた日本の企業は、膨大な資金調達が可能であったからである。その内容を①資金調達の多様化、②エクイティ・ファイナンスと金利などの面から説明する。
  - 総合商社と国際マーケティング……日本の多国籍企業の典型である総合商社のマーケティングの展開について説明する。これまで総合商社は素材を中心とした貿易業務を主体としてきたが、日本企業を取り巻く環境の変化によっていっそう排除の傾向が強くなってきた。それに対応する政策として、自ら生産や小売部門に進出しマーケティングを展開している。そこで、①総合商社の子会社戦略、②総合商社のマーケティングの特性などについて説明する。

成績評価の方法

定期試験（場合によって小テスト、出席等）によって評価する。定期試験に大きなウエイトをおいていることはいうまでもないが、そこでは講義内容の理解はもちろん、問題に対する自分なりの解決の力と応用力を期待している。  
再試験を実施する。

教 科 書

曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	ひゃく た よし はる 百 田 義 治	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会 福祉・心理・短国	4

#### 講義のねらい

大企業間の合併や提携、特殊会社の解禁、企業集団の再編、リストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、21世紀を目前に、日本企業は大きく変貌しようとしています。その底流には、情報化・国際化(グローバル化)・規制緩和の進展、メガ・コンペティション(大競争)、「グローバル・スタンダード」など日本企業を取り巻く経営環境の強烈な変化があります。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からアプローチします。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### I. 現代企業の所有・支配・管理

- ①株式会社と経営者
- ②企業集団と持株会社
- ③コーポレート・ガバナンスの国際比較
- ④企業の社会的責任とビジネス・エシックス

#### II. 現代企業の経営管理・経営組織

- ①経営管理とは(管理過程、管理職能、管理原則)
- ②大量生産体制と経営管理(テイラー・システム、フォード・システム)
- ③経営管理と人間性(人間関係論と行動科学、労働の人間化…)
- ④経営管理の近代理論(個人と組織の統合理論)
- ⑤経営組織の基本形態(権限と責任、ラインとスタッフ…)
- ⑥経営組織の発展形態(事業部制、カンパニー制、分社化…)
- ⑦国際経営と企業文化(グローバル化、ローカル化、異文化共生…)

#### III. 日本企業の競争力と日本的経営

- ①日本的企業システムの変化(所有構造、統治システム、企業と政府…)
- ②日本的生産システムの再編(トヨタ・システム、製販統合システム…)
- ③日本的労働システムの変化(終身雇用、年功制、能力主義、成果主義…)

#### 履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業のテーマと関連づけて話を進めます。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心に向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

#### 成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

#### 教科書

なし。(随時、コピーを配布します)

#### 参考書等

授業や課題レポート(夏休み)に関連して紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 務 管 理 論	ほり 龍 じ 堀 龍 二	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進してきたが、その内実には年功制の要素がなお色濃く残されていた。ところが最近における日本経済の低迷のなかで、この年功制の完全払拭＝能力主義・成果主義への本格的移行が急速に進展しつつある。相次いでリストラが断行されるとともに、年俸制の導入、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の変更等々、賃金と雇用に関する基本的な制度に大きな変化が進行している。これらの動向と特徴やその背景にあるものを探りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに職能給、職務給、職能資格制度、小集団管理、人事効果などを賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理との整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定である。

成績評価の方法

原則として定期試験の成績で評価する。再試験は実施する。

教 科 書

現在選定中。初回講義までに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	えん 遠藤 とう 藤 たかし 孝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短大	4

講義のねらい

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表(BALANCE SHEET)、損益計算書(INCOME STATEMENT)を中心に、その性格、内容、役割について講義する。できるだけ時の実務上の会計問題にひきつけて講義する。例えば、ヤオハン、三田工業、山一証券の粉飾問題。会計監査の信頼性－監査法人の損害賠償責任問題。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

- (1) 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- (2) 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- (3) 5月第1週  
財務会計の制度性について。  
財務会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- (4) 5月第2週  
貸借対照表論。貸借対照表とは何か、実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- (5) 5月第3週  
資産評価について。流動資産－棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- (6) 6月第1週  
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- (7) 6月第2週  
繰越資産について。繰越資産の特殊性、繰越資産項目とその償却。
- (8) 6月第3週  
引当金について。引当金とは何か。引当金の設定基準－商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- (9) 6月第4週  
同上。
- (10) 7月第1週  
資本会計について。

後期

- (11) 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- (12) 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- (13) 9月第3週  
同上。
- (14) 10月第1週  
同上。連結キャッシュ・フロー計算書、税効果会計。
- (15) 10月第2週  
セグメント会計について。  
リース会計について。  
年金会計、退職給与引当金と年金会計
- (16) 10月第3週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表(書)。
- (17) 10月第4週  
同上。
- (18) 11月第1週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- (19) 11月第2週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。会計監査の信頼性、何を監査するのか、監査の範囲「企業会計原則」について。

- (20) 11月第3週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- (21) 11月第4週  
同上。会計の国際化と日本企業会計制度改革会計 Big Bang
- (22) 12月第1週  
世界企業会計の最新動向。
- (23) 12月第2週  
同上。
- (24) 12月第3週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。総括。
- (25) 最終週  
予備。  
以上のスケジュールは、学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

履修上の留意点

講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

教科書

遠藤孝他著『会計学』(森山書店)1998年

参考書等

遠藤孝著『引当金会計制度の展開』(森山書店)1998年

その他

授業の方法、教科書、OHP、ときにプリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	い飯 おか とおる 飯 岡 透	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査について受講者の理解を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

[前期]

- 4月 会計監査の目的と種類
  - (1) 会計監査の目的
  - (2) 会計監査の種類
  - (3) 監査基準の必要性とその構造
- 5月 わが国監査制度の展開
  - (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
  - (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開  
監査人の要件と責任
    - (1) 監査人の要件
    - (2) 監査人の選任と解任
    - (3) 監査人の職務権限と責任
- 6月 監査要点と監査手続の選択適用
  - (1) 監査要点の意義と種類
  - (2) 通常実施すべき監査手続とその内容
- 7月 監査証拠の種類と内容
  - (1) 監査証拠の意義と分類
  - (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

[後期]

- 9月 内部統制と監査リスク
  - (1) 内部統制の構成要素
  - (2) 内部統制の評価
  - (3) 監査リスクと重要性
- 10月 監査計画と組織的監査
  - (1) 監査契約と予備調査
  - (2) 監査計画の目的とその設定
  - (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
  - (4) 他の監査人の監査結果の利用
- 11月 監査調書の目的と種類
  - (1) 監査調書の目的と作成要件
  - (2) 監査調書の種類と保存  
経営者確認書の意義と記載内容
    - (1) 経営者確認書の意義と目的
    - (2) 経営者確認書の記載内容
- 12月 監査報告書と監査概要書
  - (1) 監査報告書の意義と機能
  - (2) 監査報告書の種類
  - (3) 短文体監査報告書の記載内容
  - (4) 特記事項の記載内容
  - (5) 監査概要書の目的と記載内容
- 1月 この講義の総括と年度末試験の説明  
なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。

成績評価の方法

成績は、レポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。



教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	なか ばら しょう きち 中原 章 吉	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思ひます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思ひます。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円、平成11年

教科書

中原章吉編『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	かとうとしやす 加藤利安	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

## 講義のねらい

19世紀中葉において確立した原価計算は、目的手段体系として、その成立の当初から現在に至るまでさまざまな実践の場から提起され、時代とともに変容する各種の目的に応えることが期待されてきた。わが国の「原価計算基準」は原価計算の果たす目的を5つ列挙している。換言すると、財務諸表作成目的（財務会計目的）と経営管理目的という包括的な2つの目的を達成すべきものとして設定されている。しかしながら、基本的には財務会計の側面に強く傾斜しており、全部原価計算による製品原価の計算に主眼が置かれている。しかし他方において、戦後における原価計算の研究は、その経営管理的利用面において大いに開発されてきている。標準原価計算、直接原価計算そして貢献利益計算等が提唱され、さらに最近に至ってはプロジェクト・プランニングや戦略的な経営管理の計数的技法として関連原価計算や活動基準原価計算が論議されている。このように、一定の時代的、環境の状況の認識の下で、ある特定の社会的役割を果たすべく設定されてきた原価計算制度・「原価計算基準」も、その変容した今日的な経済的、社会的な環境下で、現実的な課題への適合性が問題とされるに至り、原価計算システムの再構築や管理会計基準設定等の提言が数多くみられるようになってきている。それは、「異なる目的には異なる原価計算システム」の開発可能性という様相を表わしている。一定の環境状況の下で、企業経営の現実的課題と関連して計算目的が設定され、目的達成の手段であるとするれば、原価計算の目的手段体系の因果的理解ができるのでないか。このような趣旨で本年度の授業内容は、わが国の原価計算基準を所論展開の中心としながらも、その後展開された各種委員会の研究成果を踏まえつつ、それらを一過性の会計現象として捉え、それをできるだけ系統的に分析し、原価計算の展開過程を論理的に解明することをこころがける。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期では、原価計算の基礎的考察を行う。原価の諸概念の検討や「原価計算基準」設定の意義、そしてその構成上の特徴について検討を加える。

後期では、近年における原価計算の展開過程の特徴を「原価計算基準」と関連させながら解明する。そこでは主として、意思決定指向的な原価計算としての関連原価計算、活動基準原価計算について検討を加える。

## 成績評価の方法

原則として、学年末の定期試験の成績に基づいて評価するが、夏期休暇前の最終授業時において簡単な試験も行う。  
再試験を実施しない。

## 教科書

最初の授業時に指示する。

## 参考書等

授業時に適宜挙げる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる古 さわ沢 こう紘 そう造	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 法 A・政治・経営・短放	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
  1. 農産物と貿易
  2. 水産物と貿易
  3. 林産物と貿易
  4. 鉱物資源と貿易
  5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
  1. 開発援助と貿易
  2. 環境と貿易
  3. 公正と貿易
  4. グローバリゼーション
  5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

#### 成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験は実施する。

#### 教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行論	よね だ みつぐ 米 田 貢	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 法A・政治・短国・短英	4

講義のねらい

前半の【現状分析編】では、現代日本の金融構造を概観したうえで、90年代日本における金融危機の展開過程を具体的に紹介する。後半の【理論篇】では、それらの金融危機を理解するための基礎理論として信用理論を体系的に説明する。

講義の内容・  
授業スケジュール

【現状分析編】

1. 現代日本の金融構造
2. 1990年代の日本金融危機の概観
3. 銀行取付とは何か？－木津信用組合の経営破綻の事例研究
4. 住専処理をめぐって
5. 現代日本における土地問題－80年代の土地投機をふりかえる
6. 97年金融危機はいかに急展開したか－三洋証券、山一証券、北海道拓殖銀行の経営破綻
7. 98年金融危機と日本長期信用銀行、日本債券信用銀行の特別公的管理＝一時的「国有化」
8. 1980年代アメリカ金融危機とセーフティネット
9. 現代日本における金融危機管理の失敗

【理論篇】

1. 銀行とは何か？
2. 貸借通貨と利子生み資本
3. 預金通貨と信用創造
4. 現実資本の蓄積と貨幣資本の蓄積
5. 中央銀行の機能
6. インフレーションとは何か？
7. 現代資本主義の投機化現象について
8. 現代資本主義のグローバル化と為替投機

成績評価の方法

- 1) 【現状分析篇】終了時点で、現代金融危機についてのレポートを提出。評価40点満点。
  - 2) 学年末に、【理論篇】の内容について論述試験を行う。評価60点満点。
- 両者合計が60点以上の場合に単位を付与する。  
再試験を実施する。

教科書

授業はレジメに沿って行う。

参考書等

参考文献については適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	さいとう ひまし 齊 藤 寿	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営・短放	4

#### 講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

#### 履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

— 私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいで、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) — との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送らしましょう。

#### 成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

#### 教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
親 族 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・経 A・商 政治・経営・短大	4

## 講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

## 履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

## 成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

## 教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

## 参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・政治・経営・短大	4

## 講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

## 履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

## 成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

## 教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4版〕』（有斐閣双書）1,648円

## 参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円  
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北野かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066-1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造Ⅰ 中世ヨーロッパの封建制
    - 第3節 社会構造Ⅱ イングランドの封建制
    - 第4節 統治構造 封建制の解体
  - 第3章 近世 (1350-1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 米 法	きたの 北 野 かほる	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる。法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1編 概論
  - 第1章 法系論
    - 第1節 西洋近代法の法系
    - 第2節 英米法系の特色
  - 第2章 英米法の特徴
    - 第1節 法内容の歴史性
    - 第2節 法観念の社会性
    - 第3節 法思考の実務性
  - 第3章 判例法の理論
    - 第1節 総論：「判例法主義」
    - 第2節 先例拘束性の原理
    - 第3節 判決における「法」
    - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
  - 第1章 裁判所制度
    - 第1節 イギリス
    - 第2節 アメリカ合衆国
  - 第2章 訴訟過程
    - 第1節 英米訴訟制度の特徴
    - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	お だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	禅・仏教・国文・英米文 地 理 ・ 歴 史 ・ 社 会 福 祉 ・ 心 理 ・ 経 営 ・ 短 放	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

## 講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生と共に考えたい。

## 履修上の留意点

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は、必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業をすすめたい。よって、積極的な参加を求める。

## 成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

## 教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらたさなえ 浦田早苗	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・経営・短放	4

## 講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること及び、現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

## 講義の内容・授業スケジュール

- 近代の始点ルネサンス期と18世紀
- 英国革命とIRA
- ジャコバイトと英国王室
- 議院内閣制の成立変遷過程
- 英国における政治腐敗防止過程
- フランス革命と国家の概念
- フランス政治におけるジャコバン主義
- 「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合——
- 統合ヨーロッパの源流

## 成績評価の方法

前期レポート 7～8×400字 は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

## 教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短放	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とする予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教 科 書

南博方他『行政法3』（第3版）（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）。『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
議 会 関 係 法	まえ だ ひで あき 前 田 英 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短国・短英	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。

選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行わなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改革に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・  
授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

参 考 書 等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）  
前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）  
その他各種選挙法に関する解説書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	いわさきまさひろ 岩崎正洋	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

この科目で取り扱うテーマは、現代世界の民主主義諸国の政治に関する問題を、現代の比較政治学の理論の観点から検討することである。科目名は、「比較政治学」であるが、広義に捉えれば、「現代政治分析論」ということもできよう。

本講義では、比較政治学の基本的な理論の検討を通して、「比較政治学は現実政治を考える上でどのように役立つのか」という点を考える。比較政治学が研究対象とするのは、世界のあらゆる国々である。それ故、焦点を向けるのは、先進諸国だけではなく、また発展途上国だけだということでもない。先進国同士を比較することもあれば、発展途上国同士を比較することもある。さらには、先進国と発展途上国との比較を行うこともある。

本講義では、各国の政治現象を説明するさまざまな議論に言及し、現実政治の理解と政治理論の理解との間を架橋することを目的とする。この講義でとり上げる比較政治学の諸理論は、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視点を提供することになるだろう。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のような項目に従って、比較政治学の理論を広範に見渡し、現実政治が政治理論によってどのように説明され、捉えられているのかを明らかにする。それにより、現実政治と政治理論との間の橋渡しを行うこととする。

- I 比較政治学の課題と方法
- II 政治システム
- III 政治発展
- IV 政治文化
- V 政治体制
- VI 連立政権
- VII コーポラティズム
- VIII 福祉国家
- IX 民主化
- X 政党システム

なお内容・スケジュールについては、現実政治の変動を受けて、若干変更することもあるので、その点に留意されたい。

#### 履修上の留意点

この科目のみが学部内の政治学に関連する科目として独立して存在するのではないため、関連分野の他の科目と併せて履修することが望ましい。

しかし、本講義のテーマに関心をもつ者が初学者であったとしても、何ら履修上の差し支えはない。受講者の知識の習得と理解の増進に役立つような授業展開としたい。

日常の生活や研究においても、この科目に関連する情報を、新聞や雑誌、ニュース、インターネットを通じて収集し、理解増進に役立つとされたい(例えば、各国の選挙結果についてのデータ・アーカイブや政党や政府のホームページなど)。

#### 成績評価の方法

原則として、定期試験およびレポートの評価を総合して行う。前期もしくは後期のいずれかを試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

ただし履修者の数などにより、その方式に変更がありうることを念頭に置かれたい。

#### 教 科 書

- \*岩崎正洋他編『民主主義の国際比較』(一藝社)1999年
- \*岩崎正洋『政党システムの理論』(東海大学出版会)1999年

#### 参 考 書 等

講義の際に詳細な文献目録を提示するが、さしあたり、以下に挙げる書物は、比較政治学について考える際に役立つだろう。

- \*M. ドガン&D. ペラッシー／櫻井陽二訳『比較政治社会学』(芦書房)1983年
- \*西川知一編『比較政治の分析枠組』(ミネルヴァ書房)1986年
- \*H. J. ウィアールダ編／大木啓介他訳『比較政治学の新動向』(東信堂)1988年
- \*砂田一郎・藪野祐三編『比較政治学の理論』(東海大学出版会)1990年
- \*青木 能・野口忠彦・岩崎正洋編『比較政治学の視座』(新評論)1998年
- \*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Politics and Society in Western Europe*, 3rd ed., Sage, 1994.
- \*Jan-Eric Lane and Svante O. Ersson, *Comparative Politics: An Introduction and New Approach*, Polity Press, 1994.

#### そ の 他

基本的に講義中心とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おお つか かつ 大 塚 桂	神・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理・経A 商・法A・経営・短国・短英	4

#### 講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況があります。大国・日本丸はどこにすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履習してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みるとき、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。それというのも、国家論は総合科学としての性格を有するからです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
  - ①序論
  - ②官立アカデミズムの形成
- B 国家学説の史的展開
  - ①古代国家学説
  - ②中世国家学説
  - ③近代国家学説
  - ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
  - ①法治国家論
  - ②政治制度
  - ③官僚制
  - ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
  - ①福祉国家論
  - ②ネオ・コーポラティズム
  - ③シティズンシップ
  - ④きたるべき国家像

#### 成績評価の方法

- 受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
- A方式（レポートによる単位認定）  
～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
  - B方式（試験による単位認定）  
～ペーパー・テスト（中間・期末）による評価です。
  - C方式（AとBの折衷）  
～レポートと授業時間における小テストにより評価します。
- ※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

#### 教 科 書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

#### そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階(2835)にあります。電話は、3418-9377(直)です。質問など気軽に訪問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営労務論	か 嶋 秀 晃 鹿 嶋 秀 晃	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労務者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点はなし。①私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。②携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらう。

成績評価の方法

評価が学期末試験のみ。①空欄補充問題(約60点分)②論述問題1問(約40点分)の予定。試験は持ち込み不可とする。

教科書

テキストは特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田眞澄『人事労務管理』(ミネルヴァ書房)1993(定価3,000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』(中央経済社)1995(定価2,600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』(東洋経済新報社)1992(定価3,500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。  
[http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima\\_Seminar/index.html](http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 営 論	茂 垣 広 志 <small>がき ひろ し</small>	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経 A・商・法 A・政治・短放	4

#### 講義のねらい

国際経営論とは、「国境を越えて事業展開しているその各拠点の諸活動をどのようにマネジメントするのか？」という課題に取り組んでいる経営学の一領域である。したがって、既存のドメスティックな経営理論を基礎として、各事業拠点を高度に海外に分散化した多国籍企業（MNC）特有の問題を扱っている。本講義のねらいとしては、経営戦略論、マネジメント論、組織論等をベースとして、比較経営論ないし異文化経営論の視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントを考える際の基本的フレームワークについて、種々の理論（アプローチ）、データ、ケースを援用し考察していきたい。つまり、企業の国際化、多国籍化にまつわる諸現象を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて、国際経営に関する理解を深めることを目的としている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

海外に拠点を高度に分散化している MNC にとっての大きな課題は、それら拠点の現地化（適応性）の要請とグローバルな統合化（効率性）の要請のバランスないしその同時達成である。日本企業の場合、急速な海外展開と日本的マネジメントの特徴から、アメリカ系および欧州系 MNC と異なる様相を示している。その日系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴を理論、欧米系 MNC との比較、ケースを通じて理解し、課題ないし問題点について理解を深められる授業内容と構成を予定している。より具体的には、以下のような内容を予定している。

- I. 国際経営のフレームワーク（隣接領域との異同と関連性）
- II. 企業の多国籍化を説明する諸理論の検討（IPLC 仮説、寡占反応仮説、差別化優位仮説、内部化優位仮説、経営資源優位仮説、折衷仮説、経営資源移動仮説等）
- III. 国際経営／企業多国籍化の発展段階モデル（ロビンソン・モデル、小林モデル、マッキンゼー・モデル、アンゾフ・モデル、EPRG モデル等）
- IV. 国際競争戦略（国際戦略の基本パターンないしタイプ）
  1. 国際競争優位性（規模の経済・範囲の経済・連結の経済、比較優位・国家特殊優位性）
  2. 国際競争戦略の類型（ポーター・モデル、ドズ＝ブラハラード・モデル、パートレット＝ゴシヤール・モデル等）
  3. 国際戦略提携
- V. 国際戦略と組織構造
  1. マクロ構造（国際事業部制、世界的地域別構造、世界的製品別構造、世界的マトリックス構造）
  2. ミクロ構造および内部ネットワーク（トランスナショナル・モデル、ヘテラルキー・モデル）
- VI. 日本企業の国際化と人的資源管理
  1. 欧州系 MNC とアメリカ系 MNC の戦略及びマネジメント上の特徴（経営伝統と現状）
  2. 日系多国籍企業の海外子会社マネジメントの特徴（その必要性と問題点、進出地域別特徴）
  3. 異文化マネジメントと海外派遣社員の選抜、教育、給与問題
- VII. 国際マーケティング戦略（海外市場参入、グローバル・マーケティング・ミクス、製品ポジショニングとグローバル市場細分化戦略等）

以上が講義内容の要目であるが、講義では単なる理論の紹介のみならず、各種調査データや具体的な企業のケースを通じて理解を深めていきたい。

#### 成績評価の方法

成績は、期末試験の結果による。

#### 教 科 書

茂垣広志・池田芳彦『国際経営論』（学文社）2,800円

#### 参 考 書 等

根本孝・諸上茂登『国際経営の進化』（学文社）2,800円

#### そ の 他

OHP あるいはプロジェクターを用いて授業を進める。また、必要に応じて資料を配布する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 史	やま だ まさる 山 田 勝	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短国・短放	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継 続 性     |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流 通 量     |
| (3) 利 潤         | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品         | (9) 価 格 革 命   |
| (5) 市 場         | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。  
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業史』（創成社）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保 險 経 営 論	いし な ぎか くにあき 石 名 坂 邦 昭	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの应用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメント』(白桃書房)  
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ え いち ろう 渡 邊 恵 一 郎	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

#### 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者、その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義の内容は、おおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造（損益計算書と貸借対照表との関係）及び会計基準と会計原則（財務会計の前提、債的特徴及び一般原則など）。
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開）。
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と開示、外貨換算、財務分析、財務諸表の国際比較など）。

#### 履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年2回）を重視する。

#### 成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び期末試験点数の総合による。

#### 教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計（改訂増補4版）』（中央経済社）

#### 参 考 書 等

寫井剛雄編『体系会計諸則集（最新版）』（白桃書房）  
日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

#### そ の 他

授業の方法、講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、教科書で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと学年末試験で行います。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テ ス ト 範 囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

渋谷武夫著『経営分析の考え方・すすめ方』（中央経済社）3,568円

参 考 書 等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たか き かつ み 高 木 克 己	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉 心理・法A・政治・短放	4

#### 講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
  - (1) 移転価格税制
  - (2) タックス・ヘイブン対策税制
  - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

#### 履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

#### 成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

#### 教 科 書

開講時に指示する。

#### 参 考 書 等

開講時に指示する。

#### そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	たが い てつ お 雄 高 井 徹 雄	禅・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。

本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。企業における情報利用の形態の変遷を概観する。また、インターネットと同様な環境をベースとした、イントラネット・エクストラネットに触れ、現在から近未来における戦略的な情報の利用とはどうあるべきかについて考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。ここでは、モンテカルロ法など乱数を用いる基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションモデルの構築方法を学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

※なお、適宜（前期3、後期5回程度）、情報教育センターのコンピュータルームを利用して実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。

その他、出席状況と実習授業時の課題も評価に反映する。

教科書

高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円  
上記教科書の他に、適宜プリントで補足する。

その他

情報処理基礎、統計原論を先にまたは同時に履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお夫 西村和夫	禪・仏教・国文・英米文 地理・歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短国	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

講義の内容・  
授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年生が履修するのは困難です。2～3年生のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参 考 書 等

各種の参考書をそのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕 → 経営情報論

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	やまの うち しん じ 山 内 慎 二	禅・仏教・国文・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・法A・政治・短放	4

#### 講義のねらい

統計と企業経営の関わりについて取り扱う経営統計は、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造について予測し、いろいろな意志決定をサポートすることを目的とする学問である。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たせるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明する。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：	経営統計の役割、基礎概念	1回
統計特性値：	平均、分散、正規分布	2回
市場調査と統計整理：	調査の諸段階、標本設計、データ整理	6回
統計推測：	標本分布、区間推定、仮説検定	2回
前期復習と中間試験：	(7月中旬)	2回
経営時系列：	季節指数、時系列予測	4回
経営指数：	物価指数、数量指数	2回
分散・回帰分析：	一元配置法、相関係数、最小2乗法	3回
統計的意志決定理論：	意志決定基準、期待効用理論	2回
後期復習と定期試験：	(翌年1月中旬)	2回

#### 履修上の留意点

年間数回程度の演習問題を適宜に配布し、それを本講義内容の基礎的部分をもとに独自に解ければ、中間や定期試験に心配する必要はない。

#### 成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

#### 教科書

西田俊夫・田畑吉雄共著「経済・経営の統計学」(培風館)1995 2,100円(税別)  
講義を補充するプリントを適時に配布する。

#### 参考書等

守口栄一・竹田仁共著「経営数学・経営統計とその応用」(日本理工出版社)1992 2,200円(税別)

#### その他

統計学、あるいは統計原論を先に又は同時に履修することが望ましい。



科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学講読	佐原 作美	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

## 講義のねらい

授業では『万葉集』を対象にその講読を行う。『万葉集』は承知のごとく、舒明朝（629-641）の頃から奈良朝の天平宝字3年（759）までの約120年間の和歌約4,500首が収められている、わが国最大の和歌集である。そこで授業では、『万葉集』の中から代表的な歌人や和歌を選んで講読していきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』を理解するには、作品を読解し作者を知るほかに、当時の歴史や社会的文化的な背景を視野に入れながら読んでいくことが大切である。そうした点を考慮に入れ踏まえながら、作品を読んでいきたい。

## 成績評価の方法

レポートや出席状況をもって評価する。

## 教科書

土橋 寛編『作者別 万葉集』おうふう（桜楓社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学講読	鈴木 裕子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

## 講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者一人一人に答えを見つけてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになってほしいと考えています。

## 講義の内容・授業スケジュール

今年は、篝火の巻から読みます。六条院の栄華を誇る権力者源氏の保護を受け、華やかな生活の中で玉鬘の苦悩は続きます。父の期待を裏切らない息子夕霧の成長ぶりや、六条院世界における紫の上の位置も気になるところです。

## 履修上の留意点

講読という科目の性格上、授業はテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。

## 成績評価の方法

前期・後期に1度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

## 教科書

『源氏物語四』新潮日本古典集成（新潮社）

## 参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学講読	その べ みき お生 菌 部 幹 生	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

## 講義のねらい

中世の作品の中から、『無名草子』をとりあげる。今年度は特に後半の女性論の部分を中心に読み進めたい。その関連から、記録類や説話集類も読むことになる。評論として書かれた内容について理解するだけでなく、小野小町以下の古典文学史上著名な女性たちがどのような経緯を経て、どのように受けとめられ、評価されてきたのかを確認し、それらについての自分なりの意見を持てるようになりたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、序から源氏物語論の前までを講義する。前期の後半から後期にかけては、小野小町・清少納言・小式部内侍・和泉式部・宮宣旨・伊勢御息所・兵衛内侍・紫式部・皇后定子・上東門院・大斎院選子・小野皇太后宮といった女性たちに対する女性論や関連作品を読み進める。

## 履修上の留意点

毎時間、その日の講義内容に対する意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

## 成績評価の方法

毎時限提出する意見文で50点分を評価し、十二月末の時間内に50点満点の筆記試験（持ち込み参照何でも可）を行う。なお、追再試験はレポートとするが、これについては、一月の授業時間内に指示するので必ず出席すること。

## 教科書

新潮日本古典文学集成『無名草子』（新潮社）2,000円

## 参考書等

必要に応じて時間内に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学講読	えち ご けい こ子 越 後 敬 子	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

## 講義のねらい

西鶴の代表作の一つである『好色五人女』を読む。本書は実際にあった五つの恋愛事件をもとに描かれた作品である。当時は封建体制のもと厳しい身分制度がしかれており、自由な恋愛が認められていなかった。そのため悲劇的な結末を迎えざるを得ない男女が数多くあった。それを西鶴はどのように描いたか、当時の時代背景や先行文芸との関わりを視野に入れながら読み進めていきたい。

## 講義の内容・授業スケジュール

第一回 授業の進め方の説明  
第二・三回 西鶴と『好色五人女』に関する概説  
第四回以降 『好色五人女』講読

## 履修上の留意点

毎回、授業範囲分の下調べをしてきてほしい。また教科書は活字本を用いるが、適宜影印資料を配布するので、変体仮名に慣れてほしい。

## 成績評価の方法

前・後期末の試験に平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

## 教科書

江本裕『好色五人女 全訳注』（講談社学術文庫）1,200円  
その他、授業時にプリントを配布する。

## 参考書等

授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 代 文 学 講 読	いし わり 透 石 割 とある	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

講義のねらい

1910年代から1920年代に発表された、わが国の代表的な小説を、多様な角度から読み、同時代の文学史、表現史の一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール

扱う作品は、芥川龍之介『羅生門』『鼻』『芋粥』『奉教人の死』、谷崎潤一郎『小さな王国』『白昼鬼語』志賀直哉『清平衛と瓢箪』『十一月三日午後の事』『雨蛙』、内田百閒『施順入城式』など。

また、それらの作品や時代に共通する課題をかかえた菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩などの作品も自由にとり入れて、この時代のもっていた課題を考えていく予定。

履修上の留意点

文庫本などで接することが難しい作品を扱う場合もあるが、そうした作品も、受講者は、必ず前もって読んで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポートなどでは、これまでの研究文献にもたれかかることのない、斬新な視覚によるものを期待したい。

教 科 書

『芥川龍之介全集1・Ⅱ』（ちくま書房）志賀直哉『小僧の神様、城の崎にて』『清兵衛と瓢箪・網走まで』（以上新潮文庫）谷崎潤一郎『美食倶楽部-谷崎潤一郎大正作品集』（ちくま文庫）内田百閒『冥途・旅順入城式』（岩波文庫）

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 講 読	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉・心理 経A・商・経営・短英・短放	4

## 講義のねらい

「よりによって」、とあなたは言うかもしれない。それでも、現在の文学界において最もポピュラーな作家の一人である村上春樹を読む。年間を通じての講義タイトルは、「現象としての村上春樹」(あるいは、「よりによって村上春樹」)。彼の作品を読み進めながら、作品に描かれたフィクションの「世界」と、我々が生きる現実との距離、その位相の違い、そして接点を探る。ここには村上春樹という作者研究の視点はない。私は村上春樹の友達ではないし、会ったこともないので、彼がどんな人間であろうと私には関係がない。また同時に、たとえば『ノルウェイの森』が400万部以上売れたことによって、一種の社会現象になったという文脈での「現象」を考察したいわけでもない。もちろんそうした情報は、事実として何らかの前提にはなり得るわけだが。本講において注目したいのは、彼の作品と読者がきり結び関係そのものである。すなわち具体的に、作品と私の関係、作品とあなたの関係が、すべての出発点である。さらに教場において共に講読した結果として、「作品を通しての私とあなたの関係」が想定されるとしたら、そこから村上作品と現代社会の関係性についての何かが浮かびあがるはずである。通常の文学鑑賞においては、作品と読者との一対一の関係によって表現のほとんどすべてが完結してしまえるが、村上春樹現象と言われるほどのポピュラリティーを持ってしまった作品については、それが現代社会の中でどのように認識されるのかを意識せずには読めない部分があるからである。

 講義の内容・  
授業スケジュール

順次、村上春樹の作品を講読する。できるだけ多くの作品に触れたいと思うが、具体的にどの作品をどのようなスケジュールで読み進めて行くかは、講義を進める中で随時決めさせていただく。

## 履修上の留意点

当然ながら授業時間中に読むことのできる部分のごく限られているので、各自が授業以外の時間で少しでも多くの作品を読むことが要求される。また、国文科であるのに恐縮だが、村上春樹が翻訳したアメリカ現代小説もいくつか、参考として講読の対象としたい。原文を英語で読む必要はないが、講義において翻訳文と原文との比較を行うことがある。

## 成績評価の方法

出席回数と、レポートの提出によって評価を行う。レポートの内容・時期・回数等も、授業を進める中で適宜決めさせていただきたい。

## 教 科 書

テキストとして、加藤典洋編『村上春樹 イエローページ』(荒地出版社)1,553円+税、およびユリイカ臨時増刊号『総特集 村上春樹の世界』(青土社)1,260円を指定するので、各自購入し、毎回授業の際に持参してほしい。これらをいわゆる教科書として読み進めるわけではないが、村上作品の全体像を見渡すことのできるガイドとして使用する。前者は主要な長編小説の紹介として、後者は短編や翻訳作品を含めた全体像を概観するのに有効である。実際に講読する村上作品については、これらのガイドにも紹介されているのでそれを参考に、各自で用意していただく。読んでいない者は、まず『羊をめぐる冒険』(講談社)および講談社文庫と『ノルウェイの森』(上・下 講談社)だけは読んでおいてほしい。

## 参 考 書 等

村上春樹に関する出版物は数多いが、最寄の書店で入手できる参考書として、鈴木和成『村上春樹クロニクル 1983-1995』(洋泉社)1,500円と、木股知史編『日本文学研究論文集成46 村上春樹』(若草書房)3,500円+税をあげておく。

## そ の 他

講読形式の授業であり、それは学生が各自講読するという意味である。講義では、全員が声を出して読んでも仕方がないので代わりに私が読むが、あくまで自分が読まなければ意味のないものだという前提を忘れないでいただきたい。そのあとは、作家研究・作品研究の講義でない分、各自の興味と感性に引きつけて、むしろそれぞれの受け入れ方をしてほしい。私は私の感性をもとに、作品について何かを述べることになるが、それをそのまま受け入れるのではなく、むしろそれとあなた自身の感じ方の「ズレ」を意識することの方が重要である。年間の授業の最後に、あなたにとっての村上春樹とは何か、と訊ねることになるだろう。その時に、それぞれの感じ方で、それぞれの言葉で答えてほしい。音楽が好きなら、音楽にたとえるなら、という個人的な言い方でかまわない。ほくにとって村上春樹は、なぜか佐野元春なんですけど。どうしてかはうまく説明できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 計 測 学 ( 前 期 )	かし 櫃 お 尾 えい 英 じ 次	禅・仏教・英米文・地理 歴史・社会・福祉 心理・経A・商・経営	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
  - 放射性核種および放射線計測の基礎
  - ガンマカメラ
  - SPECT
  - PET
  - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) X線診断装置
  - CR (Computed Radiography)
  - DSA (Digital Subtraction Angiography)
- 3) 超音波診断装置
- 4) PACS (画像管理システム)
- 5) 生体電気計測
- 6) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

教材としてプリントを使用する。

### 3. 「日本語」・「日本事情」科目



### 3. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

#### 《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	265
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	265
日 本 語	II	〈佐野典子〉	266
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	266
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	267
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	267
日 本 語	IV	〈石川守〉	268
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	268
日 本 語	V	〈石川守〉	269
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	269
日 本 語	VI	〈石川守〉	270
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	270

#### 《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	271
日本事情 II〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	271
日本事情 III〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	272
日本事情 IV〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	272
日本事情 V〔社会〕	(後期)	〈吉田 素子〉	273
日本事情 VI〔政治・法律〕	(後期)	〈上條 末夫〉	273
日本事情 VII〔文学〕	(前期)	〈村上 光徳〉	274
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	274
日本事情 IX〔経済〕	(前期)	〈瀬戸岡 紘〉	275
日本事情 X〔経営〕	(前期)	〈猿山 義広〉	276





科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 I	さ の り こ 佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の映画、TVドラマ、ニュース、などの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートはその都度、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 I	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- 語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- 助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、小説、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	さ の り こ 佐 野 典 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本語の読解能力の向上を目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	日本の現代作家の小説、ノンフィクション、エッセイ等を輪読する。
成績評価の方法	試験、提出物、授業態度、出席率等により、総合的に評価する。
教 科 書	授業で使用する教材は担当者がそのコピーを用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	た た ら あま こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	<p>話すことを中心に日本語の運用能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。</li> <li>○発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。</li> <li>○あわせて書く練習もする。</li> </ul>
講義の内容・ 授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。</li> <li>○読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。</li> <li>○スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。</li> <li>○ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。</li> <li>○話したことを文章にまとめる。</li> <li>○テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。</li> </ul>
履修上の留意点	積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。
成績評価の方法	平常点を重視する。
教 科 書	必要に応じてコピーを配布する。

## 《日本語科目》

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 III	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
  - 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

### 履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

### 成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

### 教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 III	ゆ む ら れ い こ 湯 村 礼 子	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになること目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

### 履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

### 成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

### 教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 IV	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の中・上級のさまざまな文型の用法を分析して、理解するばかりでなく、会話や作文で使えるようにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の進め方は、テキスト「日本語中上級文型」を使って、そこに出てくる文型や、文法事項、語彙、表現、アクセントの問題などをともに分析して進めていきたい。

履修上の留意点

授業は一方的な講義の形ではなく、教師の側が、学生に質問をしながら進めて行く。教師から教えてもらうのではなく、自分で考え、自分で準備し、積極的に参加するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 IV	湯村 礼子 <small>ゆむら れいこ</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

- 講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。
- 講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。
- 履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。
- 成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。
- 教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。
- 参考書等

特になし
- その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

- 講義のねらい

中上級の文法・表現練習及び作文演習。自分の言いたいことを正しく適切な表現を用いて話したりわかり易く書くための基本的練習をする。
- 講義の内容・授業スケジュール

  - 留学生の文章によく見られる問題箇所（たとえば「は」と「が」の使い分け、その他の助詞、自他動詞、接続表現、文末表現など）について正しく使えるよう練習する。
  - より適切な表現が選べるよう中上級の文法・表現の復習をする。
  - 話し言葉と書き言葉の使い分け、事実と意見の述べ方、表・グラフを使う表現等レポートを書くときに役立つ基礎的な練習をする。
- 履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。
- 成績評価の方法

平常点を重視する。
- 教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	いし かわ まもる 石 川 守	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

日本語の「会話文型」を中心に、より高度な日本語の日常会話の表現について分析する。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は ICJ (intermediate) の会話部分を用い、そこに出現する会話文型、会話特有の文型、アクセント等について分析をしながら進める。

履修上の留意点

講義は教師が一方的に講義するというのではなく、常に学生に質問をしながら進めるため、自分の意見をはっきりもってもらいたい。また、本講義は、日常会話の文型や文法的要素を分析するもので、実際の会話をしたり、会話練習をするものではない。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 VI	た た ら あき こ 多 田 羅 哲 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを押さえながら、本・新聞・雑誌等の生教材を読む。
- 関連したビデオを見て、それらが実際にどう使われているかを知る。
- テーマについて話し合ったり書いたりすることで日本語を豊かにする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオを使用。

## 《日本事情科目》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 I 〔 地 理 〕 ( 前 期 )	須 山 聡 <small>す やま さとし</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

日本の風土や地域性をわかりやすく紹介し、日本に対する理解を深める。日本各地の風土や地域性に関する簡単なテキストを用いて受講者に新たな日本のとらえ方を提示したい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 日本列島のなりたち－暑い、寒い、湿っぽい－
- 2 日本列島の文化的多様性－日本は多民族社会？－
- 3 伝統の「日本」－フジヤマ・ゲイシャ・ジンリキシャ－
- 4 技術の「ニッポン」－ハイテク国家の実像－
- 5 日本の都市－繁栄と退廃－
- 6 日本の農村－そしてお年寄りばかりが残った－
- 7 日本人の知らない日本－こんな日本、あんな日本－

### 履修上の留意点

受講者の活発な発現を期待する。

### 成績評価の方法

出席を重視するが、場合によってはレポートも課す。

### 教科書

適宜資料を配布する。

### 参考書等

日本地図帳を持参されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 II 〔 自 然 〕 ( 前 期 )	清 水 善 和 <small>し みづ よし かず</small>	全学科・短大 (短放随意)	2

### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り、亜熱帯の沖縄まで約3,000kmの細長い国土を有している。国土の67%は山地であり、複雑な海岸線とあいまって多様な地形を形成している。日本は複数のプレートの境界域に当たり、世界でも有数の火山・地震地帯となっている。このような多様な環境を反映して、日本には独特の動物・植物が多数生息・生育している。

本講義では日本の自然を気候・地形・地質、生物の3分野に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジアの自然の中での日本の位置づけ、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながり、(3)自然と日本の文化との関係。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることによって、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。また、講義の最後には日本の自然破壊の歴史とその保護の在り方についても言及する。

### 成績評価の方法

レポート（2、3回）と出席回数に基づいて評価する。

### 教科書

特定の教科書はなし。参考書は適宜紹介する。

### その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。適宜スライドによる事例紹介を行なう。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートで成績の評価とする。
教科書	なし
参考書等	なし
その他	講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民俗音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民俗音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
その他	その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 V 〔 社 会 〕 (後 期)	よ し だ も と こ 吉 田 素 子	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

この講義では、現代の日本人の意識や行動様式を、社会現象を通して検討します。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、日本で起きた社会現象や事件をとらえた新聞記事・雑誌記事などを読み、理解します。そして、受講生の間でその記事についての意見を交換したり、他国で起こっていることと比較したりすることによって、日本社会の特質を分析します。

成績評価の方法

毎回出席をとり、授業中の発言なども平常点として加味します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 VI 〔 政 治 ・ 法 律 〕 (後 期)	か み じ ょ う す え お 上 條 末 夫	全 学 科 ・ 短 大 (短 放 随 意)	2

講義のねらい

戦後日本の政治制度と政治の実態を解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1、日本国憲法の意味
- 2、国会法の内容
- 3、選挙法の沿革と意味
- 4、内閣法と立法府との関係
- 5、司法制度のあり方
- 6、衆議院議員選挙の推移
- 7、参議院議員選挙の推移
- 8、地方自治と地方選挙
- 9、政党の実情と政党政治
- 10、議員立法と国会のあり方
- 11、内閣の性格とそのあり方
- 12、日本の政治文化

成績評価の方法

平常点による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ 〔文学〕(前期)	むら かが みつ のり 村 上 光 徳	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

中世の軍記文学を講ずる。

講義の内容・  
授業スケジュール

保元の乱の『保元物語』から平治・治承の戦いまでを作品を中心に講義する。

履修上の留意点

出席とレポートを課す。

教科書

その都度必要に応じ配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕(後期)	あか ぼ ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 IX 〔 経 済 〕 ( 前 期 )	せ と お か 瀬 戸 岡 ひろし 紘	全学科・短大 (短放随意)	2

#### 講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。わかっているようで、わからないことを、なるべくいいねいに話します。たとえば、明治時代以来の工業化は、アジア諸国のなかでなぜ日本が先んじて成功したのか？ 日本の経営が今あちこちで問題にされていますが、どのようにしてそれが日本に根をおろしていったのか？ 就業人口に占める農業人口の割合は、日本とオーストラリアとイギリスとアメリカでは、どこが一番高いか？ そして農業生産高はどうか？そして時には余談もします。たとえば、この国本当の名前ってニホンなの？ ニッポンなの？それともジャパンでもいいの？など、みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話すことがねらいです。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

- 日本の工業地帯と工業
- 日本の農村と農業および日本の水産業
- 日本のサービス業および金融
- 明治維新以前の日本経済の歴史
- 第2次世界大戦以降の日本経済の展開
- 日本経済とアメリカ経済
- 日本経済とアジア経済
- 日本経済と政府の役割
- 日本の労働者・サラリーマンの生活
- 日本経済と社会や文化の変化
- その他

#### 成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト(クイズ)30%、宿題30%が目安です。

なお、この成績評価のためまえから、再試験は実施しません。

#### 教 科 書

日本経済について書かれた本はあまりにたくさんあるので、特定の本を指定することはいたしません。しかし、授業のなかでその都度適切な本を紹介し、日々のニュースをよく聞いてください。この講義では、日ごろあなたが目にするそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。とくに、よい本をもとめたい人は、私に相談してください。いくらでも紹介します。

#### そ の 他

授業は、おおむね日本語です。しかし、その日の要点は、英語でも話します。質問は、日本語でも英語でもどちらでも受けつけます。授業のなかで、みなさんが積極的に発言することを期待しています。はじめのうち、どうしても日本語がうまくつかえなければ、英語で発言してもかまいません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 X 〔 経 営 〕 ( 前 期 )	猿 山 義 広	全学科・短大 (短放随意)	2

講義のねらい

この講義では、日本の広告事情について学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 広告の歴史
- II 日本の広告メディア
- III 日本の広告会社
- IV 日本の広告主
- V 広告プランニングの実際
- VI 最近の日本の広告

履修上の留意点

日常生活の中で接する広告の中から、自分が面白いと思うものを見つけておくこと。

成績評価の方法

期末レポート「私が選ぶ2000年のテレビCMベスト10」によって評価します。

教 科 書

授業中に適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

『宣伝会議』『ブレン』『広告批評』等。

## 4. 教職課程・資格講座科目 (国文科・英文科)

- (1) 教 職 課 程
- (2) 学校図書館司書教諭講座



## 4. 教職課程・資格講座科目

〔注意〕頁（ ）は、他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は、主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示しています。

### (1) 教職課程

#### 《教職に関する専門科目（必修）》

教 職 入 門	〈大浜幾久子・伊藤 茂樹・遠藤 司・北村 三子 坂本 信昭・豊田千代子・村山 輝吉〉	283
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	283
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	284
発達と学習の心理学	〈大 浜 幾久子〉	284
カリキュラムと学習	〈大 浜 幾久子〉	285
教育とメディア	〈石 橋 達 也〉	286
国 語 科 教 育 法	〈小 林 治 治〉	287
英 語 科 教 育 法	〈山 縣 裕 裕〉	288
特 別 活 導	〈山 田 忠 行〉	288
生徒指導論（進路指導を含む）	〈遠 藤 司 司〉	289
道 徳 教 育 の 研 究	〈山 田 忠 行〉	290
教 育 臨 床	〈遠 藤 司 司〉	291
教 育 実 習 I ・ II	〈坂 本 信 昭〉	291
教 育 実 習 I ・ II	〈村 山 輝 吉〉	292

#### 《教職に関する科目（選択）》（11年度以前入学生）

#### 《教科又は教職に関する科目》（12年度以降入学生）

教 育 関 係 法 規	〈広 沢 明 明〉	293
学校経営と学校図書館	〈山 田 節 子 子〉	(294)
読書と豊かな人間性	〈山 田 節 子 子〉	(294)
学校図書館メディアの構成	〈源 昌 久 久〉	(294)
情報メディアの活用	〈源 昌 久 久〉	(294)
学習指導と学校図書館	〈山 田 節 子 子〉	(294)

### (2) 学校図書館司書教諭講座

学校経営と学校図書館	〈山 田 節 子 子〉	297
読書と豊かな人間性	〈山 田 節 子 子〉	297
学校図書館メディアの構成	〈源 昌 久 久〉	298
情報メディアの活用	〈源 昌 久 久〉	298
学習指導と学校図書館	〈山 田 節 子 子〉	299





# (1) 教 職 課 程



## 《教職に関する科目（必修）》

科目名	担当者名	配当学科	単位
教職入門 (後期)	大浜幾久子・伊藤茂樹・遠藤司・北村三子 坂本信昭・豊田千代子・村山輝吉	12以降入学生/教職1必 (短国・短英)	2

### 講義のねらい

高度消費社会の出現や、情報化社会の進展の中で、今日の日本の教育界は多くの困難な問題を抱えています。将来教師になろうとする人には、そうした問題に自ら取り組んでいく覚悟とそれを越えてゆける力量が必要となるでしょう。その力量の中には、知識ばかりでなく、関心の広さ、感受性、想像力、柔軟な発想、そして体力など、きわめて多様なものが含まれます。この講義では、教職課程の専任教員七名に加え、外部からも講師をお迎えして、さまざまな角度から教育を語っていきますが、教師になるための勉強の第一歩として、教師という職業には関心を持つべき多くのことがあるということを、まずは実感してください。

### 講義の内容・授業スケジュール

今日の教育に関する諸問題をオムニバス形式で講じていきます（毎回テーマと講師が代わっていきます）。また、11月9日、16日は、普通の講義ではなく、教職課程の履修に関するガイダンスが予定されています。詳しいスケジュールは、初回の講義で配布される予定です。

### 履修上の留意点

レポートによる評価。

### 成績評価の方法

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村三子	短国・短英1必	2

### 講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

### 講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴……18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものをいくつか取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考……今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、たとえば次のようなものを検討していきます。
  - ・今日の子どもや若者の精神的ストレスや、彼らの引き起こした事件
  - ・近代の教育をより広い観点から問いなおすような子ども史や若者史、あるいは、社会史的視点を含む人間形成の歴史
  - ・近代では周知的だった教育思想や実践

### 履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

### 成績評価の方法

試験（あるいはそれに代わるレポート）

### 参考書等

教場で指示

### その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後 期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1必	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・前近代的な社会と教育……原始古代・中世社会の人間形成
- ・近代社会と学校制度……近代学校制度の成立と発展
- ・近代学校の社会的機能……政治的機能・経済的機能・文化的機能
- ・近代学校制度の諸問題

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

試験（またはそれに代わるレポート）

教科書

教場で指示

そ の 他

この科目は、教職課程の必須科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前 期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	短国・短英1必	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

履修上の留意点

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。  
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大 浜 幾 久 子	12以降入学生/短国・短英1必	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部省

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。  
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 と メ デ ィ ア	いし ぼし たつ や 石 橋 達 也	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

この授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状態での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育／学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な技法や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の問題点や注意点についても検討していきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。  
1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会への参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、まじめに出席することと積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教 科 書

教科書は、次のものを使用する予定です。  
今栄国晴編著『新版 教育の情報化と認知科学——教育の方法と技術の革新——』（福村出版(1988)）2,400円+税

参 考 書 等

参考文献や関連する資料などは、必要に応じてそのつと授業の中で紹介あるいは配布していく予定です。

そ の 他

授業の中で、コンピュータを使用する実習の時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも興味があれば安心して出席できます。

教室のパソコン (Mac) の台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部 (昼間) の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学 (教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学 (教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語科教育法	こばやし 林 治	教職1必 (短国)	4

#### 講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つこともあるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際を学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現（書く）、口頭表現（話す・聞く）に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること（思考）がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 現行学習指導要領の解説および2002年実施の新学習指導要領について。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

#### 履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

#### 成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容（教科指導案を含む）、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

#### 教科書

『改編 中学校・高等学校 国語科教育法』（おうふう）1,800円  
中学校教科書『現代の国語1』（三省堂）690円（五月以降に購入可能）

#### 参考書等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

#### その他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語科教育法 (前期)	やまがた ゆたか 山 縣 裕	教職1必 (短英)	4

講義のねらい	この授業では、学校の英語教育の現状にもふれながら、討論などにより、各々の状況に応じた英語教育というものを理解する。
履修上の留意点	原則として、8回欠席をした者には単位を与えない。授業開始から20分以内に来た者のみ遅刻(1/2出席扱い)とする。
成績評価の方法	出席点、定期試験などを総合的に評価する。
教科書	『英語科教育法入門』(研究社出版) 2,300円
その他	この科目は、1週間に2回、授業が行なわれます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特別活動 (前期)	やま ただ ただ ゆき 山 田 忠 行	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい	「特別活動」は教育課程に位置付けられ、その内容は学習指導要領に示されており、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成するために必要な能力や態度、所属する集団の充実向上に努める態度、社会の一員としての自覚と責任ある態度、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力などを養うものである。この「特別活動」の教育的意義や目標及び内容、方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、理論的な研究面では、特別活動の指導理念や方法原理について、生徒指導との関連を図った研究を行う。また、実践的な面では、特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての指導力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	①特別活動の基本的な性格 ②特別活動の目標と特質 ③特別活動と各教科等との関連 ④学級活動の特質と活動内容 ⑤生徒会活動の特質と活動内容 ⑥学校行事の特質と活動内容 ⑦特別活動の指導計画の作成 ⑧生徒指導とガイダンス ⑨特別活動とボランティア活動 ⑩特別活動と学校・学年・学級経営 ⑪特別活動の指導を担当する教師 ⑫特別活動の評価
履修上の留意点	文献による理論的な研究を深めるとともに、特別活動の具体的な実践にかかわる指導計画の作成や指導内容、指導方法等についての研究を深め、教師としての識見を高め、実践力、指導力を身につけることが大切である。
成績評価の方法	レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し、評価する。
教科書	文部省著作『中学校学習指導要領(平成10年12月)解説-特別活動編-』(ぎょうせい) 70円
参考書等	森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説・特別活動』(第一法規) 1,300円、他
その他	講義及び年間指導計画、指導案の立案等

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前期)	えん 遠 藤 つかさ 司	教職1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師－生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

成績評価の方法

期末試験を予定している。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究 (前期)	やま だ だ ぎ 山 田 忠 行	教職2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

「道徳教育」の充実は、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みを行わなければならない。そのために、小・中学校においては教育課程に「道徳」が位置付けられ、高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行わなければならない。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び内容、方法等についての研究を、理論と実践の両面から研究を行う。道徳教育を進めるに当たっては、豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が求められる。教師としての実践的な指導力を身につけるために、道徳教育の内容や活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、教師としての指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①道徳教育の経緯 ②道徳教育の基本的な在り方 ③道徳教育の目標及び内容 ④主として自分自身に関する事 ⑤主として他の人とのかかわりに関すること ⑥主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること ⑦主として集団や社会とのかかわりに関すること ⑧道徳の時間の指導計画とその作成 ⑨道徳の時間の指導方法 ⑩人間関係の充実と学級経営 ⑪家庭、地域社会との連携による道徳教育 ⑫生徒理解に基づく道徳教育の評価

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳教育の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等について理解を深め、教師としての実践力、指導力を身につけることが大切である。

成績評価の方法

レポート、試験、出席状況等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部省著作『中学校学習指導要領（平成10年12月）解説－道徳編－』（大蔵省印刷局）260円

参考書等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説・道徳』（第一法規）1,300円、他

その他

講義及び年間指導計画、指導案の立案等

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 臨 床	えん どう つかさ 遠 藤 司	12以降入学生/教職1・2必 (短国・短英)	2

#### 講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 人が人と関係をもつことの意味
2. カウンセリングマインドとは
3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味
4. 教師-生徒関係の見直しと再生の過程
5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題

#### 履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。

#### 成績評価の方法

期末試験を予定している。

#### 教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

#### その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習 I	さか もと のぶ あき 坂 本 信 昭	11以前入学生/教職2必(短国)	3
教 育 実 習 II		12以降入学生/教職2必(短国)	5

#### 講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくするというよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通して、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

#### 講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後には、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か——どうあるべきか——について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

#### 履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

#### 成績評価の方法

①実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、②教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、③ビデオ視聴のコメント(感想)、④年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、①～④について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

#### 教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

#### 参考書等

寺崎昌雄他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円  
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅰ	むら やま てる よし 村 山 輝 吉	11以前入学生/教職2必(短英)	3
教育実習Ⅱ		12以降入学生/教職2必(短英)	5

講義のねらい

学生が教育実習に主体的にとり組み、教育実践について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

年間を通じておおむね次の事項を取りあげる。

- 教育実習の意義と心がまえ
- 学習指導について
- 生徒指導について
- 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教科書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

《教職に関する科目（選択）》（11年度以前入学生）  
 《教科又は教職に関する科目》（12年度以降入学生）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 関 係 法 規	ひろ さわ あきら 広 沢 明	教 職 1 選 (短国・短英)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教 科 書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参 考 書 等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.297) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.297) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しろう きゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.298) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しろう きゅう 源 昌 久	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.298) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こと 山 田 節 子	教職1・2選 (短国・短英)	2

(P.299) 参照

## (2) 学校図書館司書教諭講座





科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

講義・討論・ビデオ  
この科目は、平成10年度までに「図書館学I」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子ども読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

小論文とテストによる

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』

そ の 他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。  
1. 学校経営と学校図書館(前期)  
2. 学習指導と学校図書館(前期)  
この科目は、平成10年度までに「図書館学I」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環境と学校図書館メディアの配置

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円  
『日本目録規則 1987年版 改定版』(日本図書館協会)3,500円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

必要に応じて、ビデオを活用する。  
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後 期)	みなもと しょう きゅう 源 昌 久	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索

履修上の留意点

予習・復習をしっかりと行ってほしい。

成績評価の方法

平常点および試験の成績を併せて評価する。

教 科 書

情報科学技術協会編『CD-ROM 版情報検索の演習』(日外アソシエーツ) 2,200円

参 考 書 等

講義中に指示する。

そ の 他

この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅱ」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ 子 山 田 節 子	図書(司)1・2必 (短国・短英)	2

#### 講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学校図書館は児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。  
この科目は、その原理と方法を学と共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習過程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

#### 成績評価の方法

小論文とテストによる。

#### 参考書等

- 全国 SLA 編『これからの学校図書館と司書教諭の役割：改正学校図書館法マニュアル』
- 井沢純著 全国 SLA 刊行『図書館学大系7 読書教育言論』

#### その他

講義・討論・ビデオ・演習  
この科目は、平成10年度までに「図書館学Ⅰ」の単位を修得した者は、履修できません。

※平成12年度以降入学生は大学（学部）に開講されている下記の科目も履修することができます。ただし、できるかぎり短大の開講科目を履修することが望ましい。やむを得ず履修しなければならない場合は教職窓口（教務部②番）に相談して下さい。

## (1) 教職課程

### 《教職に関する科目（必修）》

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期) (後期)	小倉 康仁	教職1・2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期) (後期)	石橋 達也	教職1・2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア (前期) (後期)	芝崎 順司	教職1・2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究 (前期)	加藤 幸夫	教職2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究 (前期)	小川一郎	教職2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究 (前期)	つる鶴 まき巻 たけし武	教職2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動 (後期)	か加 とう藤 ゆきお夫	教職1・2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動 (後期)	小川一郎	教職1・2必 (短国・短英)	2

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動 (後期)	つる鶴 まき巻 たけし武	教職1・2必 (短国・短英)	2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こ み やま かなめ 小 宮 山 要	教職1・2必 (短国・短英)	2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	こく かん ま り こ 国 眼 眞 理 子	教職1・2必 (短国・短英)	2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	さ とう なお と 佐 藤 尚 人	教職1・2必 (短国・短英)	2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	えん どう つがさ 遠 藤 司	教職1・2必 (短国・短英)	2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生徒指導論(進路指導を含む) (前 期)	かわ はら せい し 川 原 誠 司	教職1・2必 (短国・短英)	2

教職・資格講座

《教科又は教職に関する科目》  
 《学校図書館司書教諭講座科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2
		図書(司)1・2必(短国・短英)	

科目名	担当者名	配当学科	単位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2
		図書(司)1・2必(短国・短英)	

科目名	担当者名	配当学科	単位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しよう きゆう 源 昌 久	教職1・2選(短国・短英)	2
		図書(司)1・2必(短国・短英)	

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しよう きゆう 源 昌 久	教職1・2選(短国・短英)	2
		図書(司)1・2必(短国・短英)	

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2
		図書(司)1・2必(短国・短英)	

教職・資格講座





# 專 攻 科

(放射線技術科学専攻)



## 専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学	〈宮地 幸久〉	309
放射線の生物影響	〈宮地 幸久〉	309
放射線生物学研究	〈休 講〉	
放射線生物学特別実験	〈休 講〉	
疾病と画像	〈作山 攜子〉	310
放射線治療効果	〈作山 攜子〉	310
画像医学研究	〈氏家 盛通・作山 攜子・西尾 誠示〉	311
画像医学特別実験	〈作山 攜子〉	311
線量計測工学	〈小山 正希〉	312
放射線検出器工学	〈小山 正希〉	312
放射線計測工学研究	〈小山 正希・青木 清・佐藤 昌憲・杉田 徹〉	313
放射線計測工学特別実験	〈小山 正希〉	313
放射線感光化学	〈山本 裕右〉	314
放射線化学特論	〈山本 裕右〉	314
応用放射線化学研究	〈山本 裕右・原田 和正〉	315
応用放射線化学特別実験	〈山本 裕右〉	315
放射線リスク評価学	〈一守 俊寛〉	316
最新放射線治療技術	〈久保田 進〉	316
診療機器工学研究	〈中北 倫男・檀尾 英次〉	317
診療機器工学特別実験	〈中北 倫男〉	317
診療機器システム基礎工学	〈中北 倫男〉	318
診療機器材料・デバイス工学	〈中北 倫男〉	318



科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用医療生物工学 (後期)	みや ち ゆき ひさ 宮 地 幸 久	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい ヒトの体の構造と機能を理解する。また、生物に共通する現象や法則性についても理解する。

講義の内容・授業スケジュール 医療人として必要となる、解剖学、生理学、分子生物学の知識を、最近のトピクスを含めて講義する。

- 1) 神経系の構造と機能
- 2) 循環系の構造と機能
- 3) 呼吸系の機能と構造
- 4) 消化器系の機能と構造
- 5) 泌尿器系の機能と構造
- 6) 生命と遺伝情報

履修上の留意点 授業に出席すること。

成績評価の方法 定期試験とレポートにより評価する。

教科書 特に指定しない。配布プリント。

参考書等 中野昭一著『学生のための生理学』(医学書院)  
松田幸次郎ら共訳『医科生理学の展望』(丸善)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線の生物影響 (前期)	みや ち ゆき ひさ 宮 地 幸 久	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい 放射線が生物に与える影響について理解する。また放射線治療学の基礎となる学習としても理解する。

講義の内容・授業スケジュール 放射線作用の特徴、放射線の分子・細胞レベルにおける作用機構、放射線が臓器および個体に与える影響について講義する。

- 1) 放射線と分子生物学
- 2) 放射線と臓器および個体
- 3) 放射線と温熱作用
- 4) 放射線治療の基礎
- 5) 放射線ホルミシス効果

履修上の留意点 授業に出席すること。英語の辞書を持参すること

成績評価の方法 定期試験とレポートにより評価する。

教科書 特に指定しない。配布プリント。

参考書等 菅原努 監修『放射線基礎医学』(金芳堂)  
ERIC J. HALL, *Radiobiology for the Radiologist* (Lippincott Company)

科目名	担当者名	配当学科	単位
疾病と画像 (前期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の主な疾患について理解するとともにその疾患の主なレントゲン所見を知ることが目的とする。また各疾患に最も必要な検査法は何かをも理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 頭頸部
- ② 胸部 (心臓、血管系を含む)
- ③ 消化器系 (肝、胆道系を含む)
- ④ 泌尿生殖器
- ⑤ 骨軟部組織
- ⑥ 小児放射線
- ⑦ 救急放射線医学
- ⑧ Interventional Radiology

これらの臓器のうち代表的疾患の単純写真、CT、超音波、MRI、血管撮影、核医学の画像を理解し、疾患を最もよく描出するための技術を学ぶ。

履修上の留意点

スライドおよび OHP を用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療効果 (後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の悪性腫瘍の stage 分類、TMN 分類を決める前の検査としての CT、MRI の有用性とその所見を理解することを第一とし、これらの異常所見の描出するための技術的方法の修得を目標とする。放射線治療後の経過観察のための検査法の選択と画像診断の意義について検討する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ① 頭頸部および顔面 (副鼻腔を含む)
- ② 肺
- ③ 腹部臓器
- ④ 男性性器 (前立腺、睪丸)
- ⑤ 女性性器 (子宮、卵巣、付属器)
- ⑥ 乳房
- ⑦ 骨軟部組織
- ⑧ 骨髄・リンパ筋

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 医 学 研 究	氏家 盛通・作山 攜子 西尾 誠示	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各種の画像診断の技術は日々発展し続けている。各画像診断法の基礎的研究と臨床への応用と発展に対応できる知識を身につけるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本語による文献による討論、さらに欧米の文献による知識を得ることも心がける。自分が選んだ論文を発表すること、また指定した論文のこともあり得る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 医 学 特 別 実 験 ( 前 期 )	作 山 携 子	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

現在すでに利用されている診断法でもさらに新しい撮像法が実行されている。例えばヘリカルCTは一般的なものであり、3D イメージ、マルチスライス CT は日常の検査法である。したがって適切な診断を行うための適切な撮法と条件の設定は診療放射線技師の判断に負うところが多い。そのために十分な医学的知識と実戦力を養うための実験を行う。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
線 量 計 測 工 学 ( 前 期 )	こ やま まさ き 小 山 正 希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量を定めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにしこれら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとられずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 検 出 器 工 学 ( 後 期 )	こ やま まさ き 小 山 正 希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

主として比較的新しい形式の検出器の内容を紹介し、計測系全体を見渡して特定のものを選択する場合の参考となるようにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学研究	小山正希・青木清 佐藤昌憲・杉田徹	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・ Radiation Research
- ・ Physics in Medicine & Biology
- ・ Medical Physics
- ・ Nuclear Instruments and Methods
- ・ British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学特別実験 (前期)	小山正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動 X 線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 感 光 化 学 ( 後 期 )	やまもと ゆう すけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 化 学 特 論 ( 前 期 )	やまもと ゆう すけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかにして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかにして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、輝尽発光、エキソ電子放出現象についても言及する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用放射線化学研究	山本 裕右・原田 和正	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, Physica status solidi, Journal of Applied Physics などの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特に TLD および輝尽発光体に関する最近の代表的な研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用放射線化学特別実験 (前期)	山本 裕右	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

熱ルミネセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (FCR プレート) および増感紙の基本原則、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線リスク評価学 (後 期)	いち もり とし ひろ 一 守 俊 寛	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

人の感覚器官である目、耳、鼻、舌、皮膚は生物組織で構成された代表的なセンサであるといえる。センサを必要とする分野は産業界にかぎらず広範囲にわたっており今後益々重要度を増してくると考えられる。本講義では各種センサ素子の物理機構・特性に焦点をあて、それを利用したセンシング技術について理解を深めることを主目的としている。特に、対象に対する理解から新しい発想への発展を大切にする「考える」を実行すべく一部ゼミ形式をとり入れる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1) 観測とは (感覚する・測定する)
- 2) センサの分類・物理・基礎特性
- 3) 半導体センサ
- 4) 磁気センサ
- 5) 光ファイバセンサ
- 6) 超音波・マイクロ波センサ
- 7) 温度センサ
- 8) 化学センサとバイオセンサ
- 9) 歪みゲージ
- 10) クォーツで測る
- 12) 光でものを測る
- 13) 長さを、流れを、温度を、磁気を測る
- 14) 直接測定とリモートセンシング
- 15) センサの未来像

成績評価の方法

課題レポートで評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
最新放射線治療技術 (前 期)	く ぼ た すずむ 久 保 田 進	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

レントゲンがX線を発見する前、ベックレルがγ線を発見する前、放射線は存在も知られていませんでした。しかし、放射線による腫瘍の治療は現在なくてはならないものになっています。放射線治療の歴史、効果、副作用、いろいろのガンの治療法などを講義する予定です。

教 科 書

久保田進『放射線治療ハンドブック』(ERC 出版) 1,800円

参 考 書 等

<http://www2.justnet.ne.jp/~19500204>

そ の 他

ホームページには参考になる情報があります、参考にして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器工学研究	なかきた つねお かしお えいじ 中北 倫男・榎尾 英次	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

下記のような内外の学会誌、専門誌、技術誌所載の論文、記事を講読し、診断、治療機器の現状と課題について展望をもつ。

- ・ American Journal of Roentgenology
- ・ Radiology
- ・ British Journal of Radiology
- ・ Medical Physics
- ・ INNERVISION
- ・ 新医療
- ・ 医用機器メーカー技術誌

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器工学特別実験 (前期)	なかきた つねお お 中北 倫男	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

診療機器・システムの基本回路を中心に、ハードまたはソフトによる模擬実験を行い、基本的特性について理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器システム基礎工学 (後 期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器・システムの最近の動向および運用、評価などについて、解説し、診療機器への理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器材料・デバイス工学 (前 期)	なか きた つね お 中 北 倫 男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

診療機器に関わる主要材料、デバイスの物性と諸特性について論じ、診療機器に関する理解を深める。

# 仏教科（一夜間開講一）

仏教科（一夜間開講）	専門教育科目	他学部履修科目	仏学部開設科目
		他学部履修科目	他学部履修科目





# 1. 專門教育科目

仏 教 科



# 1. 専門教育科目

基礎 仏教学	〈石井公成〉	325
坐禅	〈角田泰隆・志部憲一〉	325
宗学 研究	〈角田泰隆〉	326
禅学 研究	〈奥野光賢〉	326
仏典 研究 I	〈休講〉	
仏典 研究 II	〈石井公成〉	327
仏典 研究 III	〈袴谷憲昭〉	327
仏教 語解 説	〈池田道浩〉	328
中国 禅宗 史	〈須山長治〉	328
日本 禅宗 史	〈角田泰隆〉	329
インド 仏教 史	〈池田道浩〉	329
中国 仏教 史	〈奥野光賢〉	330
日本 仏教 史	〈袴谷憲昭〉	330
禅 籍 講 読	〈志部憲一〉	331
仏 典 講 読	〈大西龍峯〉	331
仏 教 伝 道	〈角田泰隆〉	332
中国 古 典 語 道	〈須山長治〉	332
書 道	〈野村宙弘〉	333
仏 教 と 文 化	〈奥野光賢〉	333
仏 教 と 現 代	〈峰岸孝哉〉	334
外国語 仏書 演習	〈石井公成〉	334
インド・チベット 仏教 演習	〈休講〉	
中国 仏教 演習	〈奥野光賢〉	335
仏教 思想 演習	〈袴谷憲昭〉	335
仏教 文学 演習	〈石井公成〉	336
宗学 演習	〈角田泰隆〉	336
日用 経典 概説	〈奥野光賢〉	337
宗教 哲学	〈紺野馨〉	337
キリスト教 概説	〈紺野馨〉	338
仏教 特講 I	〈荒井裕明〉	338
仏教 特講 II	〈三橋正〉	339
宗学 特講 I	〈熊本英人〉	339
宗学 特講 II	〈晴山俊英〉	340



科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎仏教学	いし 井 公 成 石 井 公 成	短仏1必	4

講義のねらい

この授業は、仏教科に進学した第1年次生に対して、仏教と仏教学の基礎知識を身につけてもらうことを目的としている。つまり、仏教の基本的な教義と歴史を学ぶとともに、関心をもった分野を自分で学んでゆくための知識と方法、そして深く考えつつ追及してゆく態度を身につけることが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の伝記と思想から出発し、インド・中国・朝鮮・日本・チベットその他の諸国・諸地域に展開してゆく仏教史の流れ、研究動向の変化、参考文献の性質やその利用法などについて講義する。講義に当たっては、縁起の思想の変化に重点を置き、禅宗に関しては仏教史における道元禅師及び瑩山禅師の思想の意義を明らかにする。

履修上の留意点

頻繁に質問し、その応答を通じて講義を進めてゆくため、積極的に参加することが望まれる。

成績評価の方法

学年末の試験によるが、質疑に積極的に参加した者については考慮する。

教科書

教科書は用いず、コピーを配布する。

参考書等

参考文献はきわめて多いため、一覧を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
坐 禅	つ の だ たい りょう し べ けん いち 角 田 泰 隆 ・ 志 部 憲 一	短仏1必	4

講義のねらい

短大仏教科は「仏教とは何か」という基本的な研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗教義の重要な実践としての坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、宗門の重要な修行である坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知りそれを実際に体験できる科目として重要な意義もっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不用。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない。仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、単位を認定しない。

教科書

『坐禅－講本－』（更生社）2,200円

参考書等

なし。

そ の 他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 研 究	つのだたいりゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禅師・瑩山禅師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績と、夏季休業中の課題レポートによって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参 考 書 等

授業において紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 学 研 究	おくのみつよし 奥 野 光 賢	短仏1・2選必	4

講義のねらい

どんな分野であれ、研究は山登りに似ているように思われる。予備的知識のないまま、いきなり難しい事柄に飛びついて、さしたる成果は得られないであろう。したがって、前期はこれから「禅学」を本格的に研究していく上での基本的予備知識の習得を目標としたい。その上で実際に禅に関する文献を読み進めていく予定である。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は「禅学」に関する基本的知識の習得を目標に講義形式で授業を進める。その上で後期には実際に文献講読を行なう。いまのところ『六祖壇経』を読む予定である。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行なわないのであらかじめ注意されたい。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末試験によって評価する。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

参 考 書 等

授業に直接関係する参考文献は授業において適宜指示するが、手頃な仏教辞典と漢和辞典はいつも手許に置いておいてもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏典研究Ⅱ	いし 井 ころ せい 石 井 公 成	短仏1・2選必	4

講義のねらい	漢訳の原始仏教経典を講読する。漢訳経典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパーリ語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パーリ語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易な経典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。
履修上の留意点	仏教漢文が中心となる。必ず漢文の力がつくよう指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。
成績評価の方法	年度末試験によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、平常点を加算する。
教科書	コピーを配布する。読む経典については、希望があれば考慮する。
参考書等	読む経典に応じて教場で一覧を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏典研究Ⅲ	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい	この授業は、日本における仏教思想の展開を検討していくために必要な仏教思想を叙した文献を取り上げ、それを素材に、仏教思想とはなにかを具体的に考えていく、演習形式で進められるクラスである。本年度は、南都六宗の一つである法相宗の思想を理解すべく、良遍の『法相二巻抄』を読む。
講義の内容・授業スケジュール	上述のごとく、演習形式の講読であり、最初から順次に読み進めていく。
履修上の留意点	常に出席して積極的に講読に参加すること。
成績評価の方法	学年末の定期試験による。
教科書	『鎌倉旧仏教』（日本思想大系15、岩波書店）。126-158頁所収の、鎌田茂雄校注本をテキストとする。自分で入手できない人のためには、学年初めにコピーを用意する。
参考書等	横山紘一著『唯識とは何か』（春秋社）、袴谷憲昭著『唯識の解釈学』（大蔵出版）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 語 解 説	いげ だ みち ひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解する。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在する様々な仏教の思想的問題を考察していくことを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教 科 書

水野弘元『仏教用語の基礎知識』（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 禪 宗 史	す やま ちよう じ 須 山 長 治	短仏1・2選	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年度に続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べて行く。これにより、中国禅では時代とともにどういう問題意識が展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	つのだ たいりゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史－日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	いけ だ みきひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し、論争を繰り返していたのである。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）、平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教史	おくの野みつよし賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

中国に展開した仏教の概説を目標とする。その際、たんなる歴史の概説にとどまることなく、特に思想的展開を跡づけることに意を用いたいと思う。

履修上の留意点

特に教科書は指定せず、プリントを配布して授業を進める。プリント配布のため受講者を確認するので、受講希望者は開講初日にならず出席すること。また、欠席によるプリントの配布は原則として行なわないのであらかじめ注意されたい。

成績評価の方法

プリントを配布して授業を進める。

教科書

鎌田茂雄『中国仏教史辞典』（東京堂出版）4,800円、その他、適宜授業において指示する。

参考書等

学年末の試験によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	はかまやのりあき袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を経由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に辿っていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教科書

講義は、末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ－』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参考書等

袴谷憲昭『法然と明恵－日本仏教思想史序説－』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

その他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅 籍 講 読	志 部 憲 一 <small>し べ けん いち</small>	短仏1・2選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

『正法眼蔵随聞記』をテキストとして使用する。この本は曹洞宗開祖の道元禪師が中国より帰朝して後、京都深草の興聖寺において門下の人々に示した言葉を収録したもの。内容は仏道修行の用心・秘訣を示したもので、和文で書かれており比較的読みやすい。また様々なテーマが取り上げられている。弟子の懐笈が聞くに随い書き留めたもので、道元禪師の生の声を聞くことができ、初めて禅を学ぶ者には好資料である。講義の形式はテキストを読みながら禅者の考え方や修行の心構えを解説する形で行なう。尚テキストは講義開始時にコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏 典 講 読	大 西 龍 峯 <small>おお にし りゅう ほう</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は長い歴史をもち、伝承も複雑多岐にわたることから、その教えを示す仏典も多様かつ膨大なものがあります。  
本講座では、仏典として今日伝承されるものの概要を示し、かつ実際にそれらの仏典の一部に触れることを目的としております。

講義の内容・  
授業スケジュール

できるだけ仏典に関する知識を広げてもらうために、特定の文献をひとつ選んで通読するのではなく、むしろ傾向の異なるさまざまな文献から教材となりそうなものを取りあげて講読してみようと思います。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

随時配布します。

参 考 書 等

随時配布します。

専門(仏教科)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 伝 道	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は、これを学ばなくては説くことはできないが、学んで説くことがなければその存在意義を失う。道元禪師は「弘法救生」（仏法を広め、苦悩する多くの人々を救う）の思いを常に深く心に願われていたというが、曹洞宗宗侶もやはり同様の誓願を持たなければならないであろう。そこで必要なのが伝道・教化ということである。この科目では、この伝道・教化の理念と実践について講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

仏教の伝道において、一般の人々にわかりやすく説き広めるということは容易なことではない。この科目では、まず釈尊の生涯をたどりながら、仏教伝道の基本的あり方について考え、さらに現代の宗門寺院における中心的活動である葬儀と法事（年回忌法要）の意義について考察する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 古 典 語	す やま ちょう じ 須 山 長 治	短仏1・2選	4

講義のねらい

昨年度に続き、『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子の言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心として儒家の思想は展開する。本年度も『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え・思いを読み取って行きたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

『論語』二十卷は、それぞれ断片的な短文の集りである。まずはその一文一文をきちんと訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述と訓読・口語訳。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

金谷 治訳注『論語』（岩波文庫）等。

専門（仏教科）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道	野 <sup>の</sup> 村 <sup>むら</sup> 宙 <sup>おき</sup> 弘 <sup>ひろ</sup>	短仏1・2選	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏 教 と 文 化	奥 <sup>おく</sup> 野 <sup>の</sup> 光 <sup>みつ</sup> 賢 <sup>よし</sup>	短仏1・2選	4

講義のねらい

本授業は仏教を教理の上からのみとらえるのではなく、文化史的側面から考察することによって仏教が実際に果たした役割を考えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は仏教が中国に受容・定着するにあたっていかなる変容をとげたのかを、主として「孝」思想に的を絞って考えてみたい。前期は概説を中心とした講義形式で授業を進め、後期には『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』といった経典を読みながら前記の問題を考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。安易な気持ちでの受講は避けられたい。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

適宜、授業において紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 現 代	みね ぎし こう さい 峰 岸 孝 哉	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教はインドで成立し、中国を経て六世紀には日本にも伝来し、その影響は今日に及んでいる。この間仏教はそれぞれの民族・国の歴史・社会・文化と交流し、様々な特色ある宗教文化を現出してきたわけである。日本仏教もそうしたものの一つであろう。

それだけに、仏教と歴史・社会を深く考えることは、単に仏教ばかりではなく社会の立場からも、重要な関心事でなければならないだろう。

ここに「仏教と現代」と題する本講の目的を次のように考えたい。つまり本講の題目からは、今日の「実態としての仏教」の意にも解せるし、また理念的に「現代仏教としての今日的条件」を考えることも理解できよう。そこで今年は、仏教は日本人のくらしの中の宗教として、大きな影響を及ぼしてきたことの当然の責任として、宗教的・社会的責任を負うものとする。

仏教は、これまで原則として出家教団であり、このためか社会性に欠けるとともに指摘されてきた。しかし今日ほど宗教教団の果たす宗教的・社会的役割に対するきびしい評価が求められている時代もないのではなかろうか。

以上のような問題意識から考えるとき、「仏教と人権」という視点は今日の仏教を考える上で重要なテーマの一つと思われる。今年はこれをめぐって日本仏教の性格を考える。

講義の内容・授業スケジュール

明治から今日の日本仏教に限定し、特定教団の差別事象を中心に、仏教と差別についてまず学習する。今日における「人権」とは何か。そしてテキストを中心に学習する。

履修上の留意点

他人の考えではなく、自分の頭で考えることの大切さを自覚して欲しい。

成績評価の方法

レポート提出による評価

教科書

曹洞宗宗務庁編『差別語を考えるガイドブック』（解放出版社）1,854円

参考書等

講義の進行に合わせてその都度提示する。

その他

必要に応じてコピーも参考にする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 国 語 仏 書 演 習	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教から日本仏教に至る様々な系統の文献の英訳を読む。英文法の復習となるよう配慮するが、努力して調べる習慣をつけることを希望する。読む文献については、要望があれば考慮する。

成績評価の方法

平常点を中心とする。

教科書

テキストは資料をコピーする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教演習	おくの野みつよし 興野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この授業は純然たる「演習」科目なので、本来は毎週当番をきめて実際に文献を講読してもらうのが建前であるが、慣れるまでのしばらくの期間は丁寧に指導を行なう。一年間、徹底的に一つの文献に接することによって読解力を養成するのが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。『八宗綱要』は古来、簡にして要を得た仏教概論として読みつかれてきた古典的名著で、今日の研究水準から見ると部分的には誤りはあるものの、その価値はいささかも減ずるものではない。本演習では、その講読を通じて中国仏教各宗の歴史と基本的教義の把握を目標とする。その際、本演習はあくまで「中国仏教演習」であるので、随時中国撰述の文献も参照していく予定である。

履修上の留意点

演習科目なので、十分な事前の下調べが必要である。受講にあたってはその点をあらかじめ認識しておいてもらいたい。下調べの方法は丁寧に指導を行なう。何よりも必要なことは自分で調べてみよう、読んでみようという意欲である。

成績評価の方法

演習科目なので、出席とレポートによって評価する。したがって、欠席の多い学生は、成績評価の対象としないのであらかじめ留意されたい。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）、その他の参考書、受講にあたって是非揃えておいて欲しいもの等は開講初日に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教思想演習	はかまやのりあき 袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

このクラスでは、日本における仏教思想の展開に重要な役割を果たしたものは、浄土教であるとの考えから、永観の『往生講式』を取り上げて講読する。

講義の内容・授業スケジュール

永観は三論宗の人であり、その浄土思想の背景には三論教学がある。その点は、彼の別な著作である『往生拾因』によく現われているので、『往生講式』を読むかたわら、時々『往生拾因』を参照しながら、最初から読み進めていく。

履修上の留意点

常に出席して積極的に講読に参加すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。

教科書

二文献ともに、大正蔵、84巻所収のものをテキストとする。

参考書等

国訳一切経、諸宗部5、349-406頁所収の二文献の訓読を参照されたい。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 文 学 演 習	いし 井 公 成 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講座では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。

講義の内容・  
授業スケジュール

男女の愛情・無常・自殺・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

期末試験とレポートによるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教 科 書

使用せず、コピーを配布する。

参 考 書 等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 演 習	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禅師の名著『正法眼蔵』を読む。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義の形式で行うが、学生による予習の成果を発表してもらいながら問答形式で授業を進め、テキストを読解してゆく。

履修上の留意点

事前の予習が必要である。予習においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらおう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。

成績評価の方法

演習科目であるので、授業への出席、および授業での研究成果の発表によって評価する。よって欠席の多い学生や、所定の研究成果の発表を行わなかった学生には単位を認定しない。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日用経典概説	おくの野みつよし賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この科目は、日頃、曹洞宗寺院においてよく読誦されている経典をはじめ、主要な大乘経典等について、その成立の背景や内容の概説を目標とする。将来、曹洞宗の宗侶となる学生諸君はもちろん、仏教を学ぶものにとって経典の内容を理解しておくことは重要なことであろう。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗において日頃読誦している経典（教典）・語録等について概説する。その際、それらの内容上のことはもちろんのこと、仏教史上における意味、影響といった問題も視野に入れて講義を進める。重要な経典については、実際に原文も講読する。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

水野弘元編『仏典解題辞典』（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教哲学	こんの野かおる馨	短仏1・2選	4

講義のねらい

近代的世界における宗教の意味を考える。

講義の内容・授業スケジュール

主に西ヨーロッパの思想史的展開に即して、理性と信仰との相克を窺う。そのため、哲学史、科学思想史、宗教史、宗教学等を広く渉猟する。

履修上の留意点

学生として当然具うべき知的好奇心以上のものを必要としない。

成績評価の方法

定期試験の成績による。出席も重視する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
キリスト教概説	紺野 馨 <small>こんの かおる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

キリスト教の教義の紹介のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史への入門を旨とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期はキリスト教史を中心に、歴史的  
形成物としてのキリスト教を考える。

成績評価の方法

定期試験の成績による。出席も重視する。

教科書

教場で指示する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教特講 I	荒井 裕明 <small>あらい ひろあき</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

この講義では、唯識(ゆいしき)思想を勉強します。唯識とは、唯だ識のみがあるという唯心  
的な考え方の中で、私たちが物事を認識する場合に、認識される対象ではなく、それを認識す  
る心のはたらきを重視する点に特徴があります。

講義の内容・  
授業スケジュール

唯識思想の代表的な経典である『解深密経』(げじんみつきょう)を中心として、唯識派の教  
義の内容を紹介し、更に仏教史における唯識思想の意味について考察したいと思います。

成績評価の方法

学年末試験、および講義の出席状況によって評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

袴谷憲昭著『唯識の解釈学－「解深密経」を読む』(春秋社刊)。その他講義の際に随時紹介  
します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 II	みつ はし 橋 正 三 橋 正	短仏1・2選	4

講義のねらい

日本人は、ある時は神を拝み、ある時は仏を拝み、暦に基づく迷信に左右され、「仏」となって死んでいく。外国の人々から見ると実に不可解に見えるが、この中に一定の法則が見出される。本講座では一年間の講義を通じて、日本人と宗教の関わりについての様々な側面を、歴史的に解明していく。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず、日本人の在来信仰（神祇信仰）について分析し、それが仏教の伝来によって如何に変化したか、そして両者の間に如何なる使い分け（棲み分け）ができたかを考察していく。おおむね、前期は神祇信仰や神話など神道関係を中心に、後期は仏教の日本の展開を中心に論じていく予定である。また、江戸時代以前の暦についても解説し、そこから生じた様々な禁忌（タブー）が今に残っていることも指摘したい。

履修上の留意点

講義の内容が多岐にわたるので、受講生は真面目に出席し、一回ないし数回毎にまとめをしていくことが望まれる。

成績評価の方法

講義内容全般についての論述式テストを授業の最後に行ない、これを主に評価する。

教 科 書

授業内に指示する。

参 考 書 等

授業内に指示する

そ の 他

講義が中心となるが、受講生の積極的な参加を期待したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 I	くま もと えい 人 熊 本 英 人	短仏1・2選	4

講義のねらい

主に曹洞宗の寺院徒弟を対象として、曹洞宗寺院の諸行事法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988（昭和63）年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れたい。

成績評価の方法

筆記試験またはレポート。

教 科 書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』（曹洞宗宗務庁刊）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 学 特 講 II	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

出席の状況とレポートの提出による評価を考えている。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

## 2. 他学部履修科目



## 2. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	345
国際経済論	〈休講〉	
社会政策	〈休講〉	
価値理論	〈荒木勝啓〉	347
国民所得論	〈吉野紀〉	348
銀行論	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水卓〉	350
貿易論	〈休講〉	
会計監査論	〈飯岡透〉	351
管理会計論	〈中原章吉〉	353
法思想史	〈高橋洋城〉	354
日本法制史	〈茂野隆晴〉	355
西洋法制史	〈休講〉	
経済法	〈岡田外司博〉	356
国際関係論	〈前期：南山淳〉 〈後期：首藤素子〉	357
地方自治法	〈富井幸雄〉	358
倒産処理法	〈馬越道夫〉	359
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	360
経営財務論	〈高田光明〉	361
経営組織論	〈長瀬勝彦〉	362
経営技術論	〈休講〉	
公益企業論	〈園田哲男〉	364
管理会計論	〈前期：猿山義広〉 〈後期：菅本栄造〉	365
会計監査論	〈中平榮一〉	366
日本経済論	〈羽鳥茂〉	367
中国禅宗史	〈須山長治〉	368
日本禅宗史	〈角田泰隆〉	368
インド仏教史	〈池田道浩〉	369
日本仏教史	〈袴谷憲昭〉	369
書道	〈野村宙弘〉	370
仏教と文化	〈奥野光賢〉	370





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	法B・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにもうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するものであります。また、商学専修の学生は、あわせて経済原論Ⅰを履修すれば、本講義の理解の助けとなるでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたと思います。

- (1) 商品論（価値論）
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粹流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

#### 成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式ですが、テキストの参照を認めます。しかし、この措置は、私自身、学生時代に非常に疑問に思っていたことでありますが、君たちに、受験生のような暗記の勉強を早く卒業してもらい、十分な準備をして試験に臨んでもらいたいということでもあります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれませんが。したがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。

再試験は実施する。

#### 教科書

- 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社）
- 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号
- 3 『経済学論集』第20巻第4号
- 4 『経済学論集』第22巻第1号

5 『経済学論集』第22巻第4号

6 『経済学論集』第26巻第1号

7 『経済学論集』第27巻第1号

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	法B・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導き出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのための準備と練習に当てられると思っていただきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

#### 成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。

#### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成溪堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 民 所 得 論	よしの吉 野 紀	法B・二営・短仏	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その一つ一つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウドディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウドディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』第6版(多賀出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	法B・二営・短仏	4

平成12年度休講

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	し 清 みず 水 たかし 卓	法B・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

ヨーロッパ経済論は、資本主義世界経済を創り出し、その主導者として、数百年の間、世界の近代化を進めてきたヨーロッパ経済の現状分析を通して、今後の日本と世界経済の展望について考察することを課題とします。

冷戦崩壊後10年、世界は、市場原理による経済運営と自由貿易体制の時代に入っています。効率至上のAngloサクソンの新自由主義経済システムが、経済格差、環境破壊などの諸問題の解決にとり有効である否かを、ヨーロッパ諸国の現状をふまえて検討します。

欧州連合（EU）の11か国は、昨年1月単一通貨ユーロを発足させました。通貨統合はアメリカドルから自立した強く安定した欧州通貨を創出し、欧州経済統合の完成を目指しています。一般市民がユーロ紙幣や硬貨を使用するようになるのは2002年ですが、このユーロが安定通貨になるか否かは、世界経済のあり方に大きく影響します。

1997年には、イギリス、フランス、1998年にはドイツで社会民主主義政党が政権につき、EU 15か国のうち13か国が左派中道政権となりました。こうした政権が、グローバル化に対応して、第二次世界大戦後作り上げた福祉国家の成果をどのように継承ないし刷新して行くのかが注目されます。とりわけ、民営化やリストラによる高失業率をどのように解決していくのか手腕が問われています。通貨統合と併行して進められる東欧、中欧諸国へのEU拡大、それに伴うEU機構の再編など、統合過程の動きも目が離せません。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 【前期予定】

第二次世界大戦と戦後ヨーロッパ  
西欧経済の高成長  
欧州統合への歩み－EECへの道  
経済統合の展開－関税同盟  
経済統合－共通農業政策  
経済成長の限界－スタグフレーション  
経済危機下のEC－通貨危機  
経済危機への対応(1)－サッチャーリズム  
経済危機への対応(2)－ミットランの実験  
1992年市場統合－非関税障壁の克服  
経済通貨同盟－単一通貨ユーロ  
前期試験

##### 【後期予定】(EUの最新動向をフォローするためテーマを変更することがあります)

ヨーロッパの多様性－地理・民族・文化  
EUの農業－多様性  
EUの産業の変貌－  
EUの機構と財政－超国家か国家連合か  
EUと地域政策－地域格差の克服  
EUの拡大－東欧、中欧諸国の加盟に伴う諸問題  
EUの対外関係－日本との比較  
欧州の平和問題－冷戦と民族問題  
後期試験

#### 履修上の留意点

ヨーロッパ経済論は、一つの体系的理論を敷衍する科目ではありません。ヨーロッパの多様性について認識を深め、経済社会の現実に向け、経済や社会諸問題の解決に様々な視点が可能であるのだということを確認してもらいたいと思います。

#### 成績評価の方法

試験点数を基本とし、出席回数にも配慮します。なお、再試験は行わないので注意してください。

#### 教科書

教科書はありません。ただし、日経文庫『EUの知識』は有益でしょう。

#### 参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	飯岡透 <small>いおか とおる</small>	法B・短仏	4

講義のねらい

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化、企業活動の複雑化、一部企業における不正問題の発生などに伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。そこで、この講義では、こうした会計監査の発展過程、制度、社会的役割などを中心に会計監査についての理解を深めることを目的としている。

講義の内容・  
授業スケジュール

この講義での授業内容とそのスケジュールは次のとおりである。

[前期]

4月 会計監査の目的と種類

- (1) 会計監査の目的
- (2) 会計監査の種類
- (3) 監査基準の必要性とその構造

5月 わが国監査制度の展開

- (1) 第2次世界大戦前におけるわが国監査制度の展開
- (2) 第2次世界大戦後におけるわが国監査制度の展開

監査人の要件と責任

- (1) 監査人の要件
- (2) 監査人の選任と解任
- (3) 監査人の職務権限と責任

6月 監査要点と監査手続の選択適用

- (1) 監査要点の意義と種類
- (2) 通常実施すべき監査手続とその内容

7月 監査証拠の種類と内容

- (1) 監査証拠の意義と分類
- (2) 十分な監査証拠と合理的な基礎

[後期]

9月 内部統制の監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素
- (2) 内部統制の評価
- (3) 監査リスクと重要性

10月 監査計画と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の重要性と審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

11月 監査調書の目的と種類

- (1) 監査調書の目的と作成要件
  - (2) 監査調書の種類と保存
- 経営者確認書の意義と記載内容
- (1) 経営者確認書の意義と目的
  - (2) 経営者確認書の記載内容

12月 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短形式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

1月 この講義の総括と年度末試験の説明

なお、以上のスケジュールは、学会出張や大学祭などにより変更することがある。

履修上の留意点

会計監査は、財務諸表の適正性についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、簿記論及び財務会計論の講義を履修し、財務諸表について十分に理解することが望まれる。

成績評価の方法

成績は、夏季休業中のレポート（30%）及び年度末のテスト（70%）の結果によって評価する。再試験を実施する。



教科書

飯岡・市村・島崎共著『会計監査概論』（中央経済社）3,500円

参考書等

飯岡透著『中間財務情報制度論』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	なか はら しょう きち 中 原 章 吉	法 B ・ 短 仏	4

講義のねらい

「管理会計」という分野は多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段も段階を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、管理会計の本質、体系その中での「意思決定会計」と「業績管理会計」をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連についても講義していきたいと思います。

後期は管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

履修上の留意点

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思います。例えば、中原章吉著『企業会計の基礎』（創成社）3,500円 平成11年。

教 科 書

中原章吉『管理会計論』（税務経理協会）平成12年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	経B・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

西欧の様々な法思想を跡づけ再吟味する営みを通じて、近代法の環境の中で白明のものと考えられている思考のワクを相対化し、批判する視点を持つためのきっかけとしたい。こうした作業は、揺れ動く現代の法状況へ対峙してゆくのに必要であると思われる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ここでは大まかなアウトラインしか述べることができないが、重点をおくトピックおよび思想家として、以下を予定している。

(前期) ヨーロッパ法思想の核となったギリシャの法思想（プラトン、アリストテレス）、キリスト教思想（アウグスティヌス）、中世自然法論（トマス・アクィナス）

(後期) 前近代から近代への世界像の転換、近代法の基礎理論とも言える自然権論や社会契約思想（ホッブズ、ロック、ルソー）、これを批判的に受け継ぐドイツ啓蒙期の法思想（カント）、ドイツ観念論の法思想（ヘーゲル）

基本的には、時代を順に追い、代表的な思想家と思索を共にする形で述べていくことになるが、断片的な紹介ではなく、影響関係や重要な概念枠組の変遷などを重視し、明らかにできればと思う。また狭い意味での法学理論史の枠にとらわれず、各々の法思想を、その時代の人間観やコスモロジーの中に法理解を位置づけて検討し、そうした作業を通じて最終的には、近代という時代が獲得したものと忘却してしまったものについて考えてみたい。なお、時間の都合上、最大限順調に講義が進んだとしても、19世紀前半の法思想までをカバーするのが精一杯だと思う。19、20世紀以降の法思想ないし法学理論の諸潮流については、法哲学講義の一環として取り扱うつもりである。

#### 成績評価の方法

定期の記述試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他に任意提出課題として、講義で紹介した思想家の著作を読んでレポートを提出してもらえば、一定範囲内で評価に加える。

#### 教 科 書

ここでは、三島淑臣『法思想史』[新版]（青林書院）4,854円を挙げておくが、講義の補完、通常の学習には自分にあった概説書を選んでもらってかまわない。詳細については講義のはじめに紹介する。

#### そ の 他

講義の概要、参考資料を必要に応じて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本法制史	しげのたかはる 茂野隆晴	経B・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

どんな学問にも史学がある。法学を学ぶ者にとって最も身近な史学が法制史である。日本法制史は、「日本国民の法律生活の歴史的考察」である。それ故、法制史は過去の制定法規を羅列し、その解釈にのみ留まるものではなく、その法の発生した社会的背景をさぐらなくてはならないのである。

講義では、そうした観点に立ち、国初から近代までの5期に分ち、主な法制を中心に取り上げ、各期の方の特性をできるだけ平易に講述していきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 日本法制史とその時代区分
- 2 国生みの神話ほか
- 3 『魏志』倭人伝ほか
- 4 冠位十二階と憲法十七条
- 5 律令の刑罰体系と司法制度
- 6 律令の「戸令」
- 7 三世一身法と墾田永年私財法
- 8 御成敗式目
- 9 甲州法度之次策（信玄家法）
- 10 武家諸法度
- 11 五人組帳
- 12 公事方御定書
- 13 田畑永代売買禁止令と分地制限令
- 14 慶安の御触書
- 15 奉公年季の規制
- 16 商家の財産相続
- 17 荻生徂徠の『政談』
- 18 大名貸と御用金
- 19 相对済し令・本公事と金公事・棄捐令
- 20 出奔・欠落・勘当・旧離のことなど
- 21 去状（三下り半）
- 22 大津事件
- 23 登極令ほか
- 24 明治民法総則・親族・相続

#### 履修上の留意点

めいめいには少しだけの私語かも知れないが大きな教室では騒音と化す。そうしたなかでは細やかな授業は不可能です。特に留意してもらいたい点である。

#### 成績評価の方法

学年末試験に、平常点として出席点を加味して行なう。

#### 教科書

大久保治男・茂野隆晴〔編著〕『日本法制史史料60選』（芦書房）本体2,000円

#### 参考書等

大久保治男・茂野隆晴〔共著〕『日本法制史』（高文堂出版社）2,980円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	おか だ と し ひろ 岡 田 外 司 博	二 営 ・ 短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえつつできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	前期：南 <sup>みなみ</sup> 山 <sup>やま</sup> 後期：首 <sup>しゅ</sup> 藤 <sup>とう</sup> 素 <sup>もと</sup> 子 <sup>こ</sup>	経B・二営・短仏	4

講義のねらい

現代の国際関係の理論と現状の課題について、知識と理解を深めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

次の項目をほぼ2週分の授業を割当てながら進める予定である。

前期（4～7月まで担当：南山淳）

1. 国際政治理論の展開(1) 現実主義
2.                    "                  (2) 自由主義
3.                    "                  (3) マルクス主義
4.                    "                  (4) 冷戦後の国際政治理論
5. 冷戦後の安全保障研究
6. 国際システムの変遷と冷戦後の地域紛争
7. 経済のグローバル化と国際政治経済学

後期

8. 国連の開発戦略と南北格差の問題  
近代化理論の変遷と従属論の影響  
世銀・IMFの機能と問題
9. 国際政治と人権保障の制度化  
人権保障の法的枠組みの展開と課題  
人権と人権NGOと国際社会
10. 1970年代以降の経済のグローバル化  
政策協調と国際交渉の多様化  
Global Governanceの課題
11. 地域環境と国際関係の課題  
地球環境問題の現状と政策的対応  
「発展の権利」と「持続可能な発展」
12. グローバル化と国家主権の変容

成績評価の方法

定期試験により評価する。

参 考 書 等

PRピオティ、M.V.カピ著（D.J.ウェッセルズ、石坂菜穂子訳）『国際関係論－現実主義・多元主義・グローバルリズム』（彩流社）1993年。

原彬久編『国際関係学講義』（有斐閣）1996年。

とくに毎時間使用するというわけではないが、次の文献を入手し、授業に関連する項目を各人で勉強しつつ、授業に出席することを勧める。

細谷千博監修、横山・野林編『国際政治の21世紀像』（有信堂）1997年（第2版）2,987円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経B・二営・短仏	4

#### 講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

#### 成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とる予定である。単位認定のとき考慮することがある。

#### 教 科 書

南博方他『行政法(3) (第3版)』(有斐閣双書) 1,800円

#### 参 考 書 等

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)、『地方自治判例百選 (第2版)』(別冊ジュリスト)。なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

#### そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒 産 処 理 法	馬 越 道 夫 <small>ま こし みち お</small>	経B・二営・短仏	4

講義のねらい

倒産処理法とは破産法・和議法・商法上の会社整理・清算に関する規定、会社更生法など倒産に関する諸法規の総称である。倒産処理法という名称の法典が六法全書に存在するわけではない。

なお、倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が極めて困難になった状況をさす。倒産処理法には目的の異なる二種の法規が存在する。一つは債務者の財産を清算し、債権者への平等弁済を図る制度である（例・破産法）。他の一つは債務者の財産を全面的に清算することなく、取引関係を整理し企業の再建を図る制度である（例・会社更生法）。上記二種の法規について判例を挙げ具体的に講述したい。

また、今日国際的取引の拡大や多国籍企業の多発に伴い、一企業の破産もその影響は国内に止まらず破産的処理も国際的規模が要求される。かかる涉外破産の問題点についても平易に講述したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

4月・5月 倒産処理法の概説

6月・7月・9月 破産法

10月・11月・12月・1月 会社更生法

※授業時間ごとに、その時間の講義の要旨を記載したプリント（レジュメ）を渡します。

履修上の留意点

受講者は民法・民事訴訟法の基礎知識を修得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験の結果及び出席状況を参考にします。

教 科 書

桜井孝一編 馬越道夫著『演習ノート破産法』（法学書院出版）1,800円

参 考 書 等

石川明『破産法』（日本評論社発行）2,800円

馬越道夫編著『論点国際民事訴訟法』（不磨書房出版）



科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経B・法B・短仏	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必須科目である「経営学概説」や「経営学」などの授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の8つの要目について検討する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

#### 2000年度『アメリカ経営学』授業計画

- I 1年間の授業の概要(1)
- II 経営学の対象と方法(2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論(4)
- VI 取引コスト理論(6)
- VII プロパティ・ライツ理論(2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論(2)

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

#### 《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 教科書

指定しない。

#### 参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983、1997
  - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
  - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
  - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989、1998
  - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。
- 6 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書——組織の経済理論の応用——』（税務経理協会）2000年（A.Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
  - 7 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u.a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schäffer-Poeschel, 1997）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	法B・短仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・  
授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項について次の順番で講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 流動・固定分類法の重要性
6. 資金

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	ながせ かつ ひこ 長 瀬 勝 彦	経B・法B・短仏	4

#### 講義のねらい

この講義で論じるのは、第1に企業組織がどのように構成されているのか、第2にそれが環境の中でどのように運動しているのか、第3に個人や小集団が組織とどのように関わっているのかである。

組織というものは形があるわけでもなければ色がついているわけでもない、目に見えない存在である。それなのに私たちは、会社がどうだとか学校がどうしたとか当然のように会話を交わしているし、法律上も「法人」として人間並みの位置づけがされている部分もある。天然資源から自動車やコンピュータをつくったり、巨大ビルや橋を建築したりすることは個人では何百年かかってもできないが、組織はやってのける。企業組織の活動によって生活が豊かで便利になることは否定しようがない。しかし一方で企業組織は、自然環境を破壊して私たちの生活を脅かすという側面も併せ持っている。

また、人間は組織の中で高く評価されると嬉しく思うし、「会社人間」といわれるように組織と一体化する人もいる。一方で組織の側も構成員に対していろいろ便益を与えてくれるが、景気が悪くなると手のひらを返したようにみんなで嫌がらせをすることもある。ショックで病気になるったり自殺したりする人もいるほどである。こんなに社会にも個人の心にも大きなプレッスを示す経営組織について、じっくり考えてみようではないか。

授業の展開としては、抽象的な理論や学説の紹介は程々に留め、現代の組織が直面している問題をなるべく多く取り上げて議論していきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

取り上げる予定の主な項目は以下の通りである。ただし授業の回数と項目番号は一致しない。

1. コーポレート・ガバナンス（企業は誰のものか）
2. 企業組織の階層（企業組織を横に切ってみる）
3. 企業組織の部門化（企業組織を縦に切ってみる）
4. 新規事業開発と組織内組織（企業組織の卵）
5. ラインとスタッフ（組織の中の2種類の仕事）
6. 国際化と組織（多国籍企業の組織はどんなものか）
7. 企業と外部環境（コンティンジェンシー理論の貢献と限界）
8. 組織文化と組織開発（企業によって社員のものの考え方が違う）
9. 組織と戦略（組織は戦略に従う？）
10. 企業の寿命と組織エコロジー（会社は寿命は30年？）
11. 組織のリストラクチャリング（企業の建て直し）
12. 新しい人事・処遇制度（出世と給料）
13. 情報化と組織（コンピュータが入って組織はどう変わったか）
14. 企業間関係（ネットワーク論）
15. 個人と組織（人はなぜ組織のために働くのか）
16. 組織的意思決定（経営学とは意思決定の学問である）
17. イノベーション（企業とはイノベーションをする存在である）
18. 組織均衡論と新しい組織論（サイモンはどこまで正しいか？）
19. 意思決定演習（ゲームで組織的意思決定の疑似体験）

通常の講義のほか、適宜ビデオ教材を使ったりゲーム形式でおこなったりする（臨時の教場変更に注意）。講義時間内にレポートの作成と提出を求めることもある。また講義中に受講生の発言を求めることがあるが、高いレベルは求めていないので、素朴な意見を積極的に開陳して欲しい。

#### 履修上の留意点

私は受講者のために「楽しく、分かりやすく、ためになる」講義をするように、いろいろと工夫をしているつもりである（それが100%成功しているとは言わないが）。それだけに、講義の妨げになる行為（私語や携帯電話など）に対しては厳罰をもって臨む。それが一度であっても成績が「不可」になることもあるので覚悟しておくこと。私語をするくらいなら講義に出席しない方が、単位取得に関してははるかに安全である（もちろん毎回まじめに参加することが最も好ましい）。また講義時間内にレポート作成を課するときは、理由の如何を問わず遅刻者の入室は認めないので注意すること。

#### 成績評価の方法

定期試験の点数が主体となる。それにレポート点が加算される。

#### 教科書

なし。

参考書等

長瀬勝彦著『意思決定のストラテジー』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公益企業論	その 園 だ 田 てつ 哲 お 男	法B・短仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別される意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討（規制と競争）を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価においては、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行うつもりである。

教科書・  
参考書等

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行うつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	前期：猿 山 義 広 後期：菅 本 栄 造	法 B ・ 短 仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思考を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 管理会計の体系
- II 管理会計における原価概念と利益概念
  - 1. 原価態様
  - 2. 全部原価計算と直接原価計算
  - 3. 分権管理のための原価概念と利益概念
- III 利益計画
  - 1. 利益計画の手続
  - 2. 損益分岐点分析と CVP 分析
  - 3. 短期利益計画のための価格分析
  - 4. 短期利益計画のための営業費分析
- IV 生産現場における原価管理活動の取組み
  - 1. 原価企画・原価改善・原価維持の概念
  - 2. TDK<sup>株</sup>のケース
- V 組織構造の変革と管理会計
  - 1. マネジメントコントロール・システムとは何か
  - 2. 組織形態と責任会計の関係
  - 3. 事業部制会計について
  - 4. マイクロ・プロフィットセンター制
  - 5. 京セラのアメーバ経営、NEC 埼玉のラインカンパニー制のケース
  - 6. オムロン綾部工場、KOA<sup>株</sup>の WSM のケース
- VI まとめ

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

レポートを重視します。

教 科 書

適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

より体系的に勉強したいという人のためには、櫻井通晴著『管理会計』（同文館）。  
計算問題については、日商簿記検定の「工業簿記」「原価計算」のテキスト。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	なか ひら えい いち 中 平 榮 一	法 B ・ 短 仏	4

講義のねらい

独立監査人による財務諸表監査の基礎知識について解説する。

講義の内容・  
授業スケジュール

会計監査論では、つぎの題目の順で体系的に講義をすすめる。

- (1) 会計監査論の対象と方法
- (2) 会計監査の意義
- (3) 監査の種類
- (4) 監査の基準
- (5) 監査の主体
- (6) 監査証拠と監査技術
- (7) 監査計画と監査手続
- (8) 監査調書
- (9) 監査報告
- (10) 内部監査及び監査役監査
- (11) 国際監査

上記を通じて財務諸表監査の基礎知識を十分に講述したい。

履修上の留意点

継続して受講することが要請される。

成績評価の方法

定期試験のほか、小ペーパー・テストも評価の対象にする。

教 科 書

開講時にくわしく紹介する。

参 考 書 等

開講時にくわしく紹介する。

そ の 他

授業の方法 講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	は どり 羽 鳥 茂	法 B ・ 短 仏	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、またそれらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、「講義のねらい」にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいうまでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年 3,200円

参 考 書 等

読みやすいと思われる順になっています。  
 [A]鶴光太郎『日本の市場経済システム』（講談社現代新書）1994年  
 [B]ジョン・マクミラン、伊藤、林田訳『経営戦略のゲーム理論』（有斐閣）1995年  
 [C]中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年  
 数学はつぎの2冊が適当だと思います。  
 [D]高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年  
 [E]永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

そ の 他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	須山長治	経B・二営	4

講義のねらい

『景德伝灯録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。なぜ感動的なのか。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際は言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を語録を通して考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅では時代とともにどういう問題意識が展開していったのか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とは何かを考えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。  
具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	角田泰隆	経B・二営	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史-日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	経 B・二 営	4

講義のねらい

インドにおいて既に積尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し、論争を繰り返していたのである。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）、平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	はがま や のり あき 袴 谷 憲 昭	経 B・二 営	4

講義のねらい

この授業は、日本において、インド伝来で中央アジアや中国や朝鮮を経由して将来された外来思想としての仏教が、いかに展開し定着したかを、通史的に辿っていく一方で、仏教と一括されるものの中に生じた全く異質な相対立する二つの流れの相違を明確に押えていこうとするものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、以上の目的を実現するために、通史的な講義と諸文献の講読を並行して進めていくことになるが、できれば、後者により大きなウエイトを置きたいと思っている。

履修上の留意点

参加人数の大小に大きく左右される面があるので、確定的なことは言えないが、できれば、演習形式の講読の割合を多くしたいと考えている。参加者はその点を念頭に意欲をもって授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

上述の状況いかんによる。

教科書

講義は、末木文美士『日本仏教史－思想史としてのアプローチ』（新潮文庫）560円をテキストとし、講読は、適宜指示する文献のコピーによる。

参考書等

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

その他

授業方法は、上述したごとくであるが、講読文献のコピーは再発行しないので、できるだけ継続して参加してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書 道	の 野 村 宙 弘	経 B・二 営	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、筆、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。  
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王羲之『蘭亭序』(清雅堂) 360円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏 教 と 文 化	おく の 野 みつ よし 賢	経 B・二 営	4

講義のねらい

本授業は仏教を教理の上からのみとらえるのではなく、文化史的側面から考察することによって仏教が実際に果たした役割を考えることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は仏教が中国に受容・定着するにあたっていかなる変容をとげたのかを、主として「孝」思想に的を絞り考えてみたい。前期は概説を中心とした講義形式で授業を進め、後期には『仏説孟蘭盆経』や『父母恩重経』といった経典を読みながら前記の問題を考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

授業はプリントを配布して進める。欠席によるプリントの再配布は原則として行わないのであらかじめ注意されたい。プリントを準備する関係上、受講希望者は開講初日にかならず出席すること。

成績評価の方法

出席状況も考慮しながら、学年末の試験によって厳正に評価する。安易な気持ちでの受講は避けられたい。

教科書

特に指定せず、プリントを配布して授業を進める。

参考書等

適宜、授業において紹介する。

### 3. 仏教学部開設科目



### 3. 仏教学部開設科目

パ ー リ 語 初 級	〈片 山 一 良〉	.....	375
サンスクリット語初級	〈金 沢 篤 篤〉	.....	375
チベット語初級	〈松 本 史 朗〉	.....	376
仏 教 美 術	〈松 田 誠一郎〉	.....	376
詩 偈	〈 休 講 〉		
原 始 仏 教	〈片 山 一 良〉	.....	377
宗 教 史	〈長 谷 部 八 朗〉	.....	377
インド仏教文化史	〈 休 講 〉		
浄土学概論	〈廣 川 堯 敏〉	.....	378
真宗学概論	〈 休 講 〉		
真言学概論	〈廣 澤 隆 之〉	.....	379
日蓮教学概論	〈 休 講 〉		



科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ語初級	かた 片 やま 山 いち 一 ろう 良	短仏1・2選	4

講義のねらい	パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、文法全体について講義し、後半は、『小空経』（Cūḷa-suñña-sutta）を直接に読みたいと思う。
履修上の留意点	習得に丁寧であることが望まれる。
成績評価の方法	成績評価は、レポート（夏期）および年度末テストによる。
教科書	テキストはコピーにて配布する。
参考書等	水野弘元『パーリ語辞典』（春秋社）
その他	随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
サンスクリット語初級	かな 金 ざわ 沢 あつし 篤	短仏1・2選	4

講義のねらい	仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。
講義の内容・授業スケジュール	定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。
履修上の留意点	予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。
成績評価の方法	平常点と期末・年度末の筆記試験。
教科書	J・ゴングダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）
参考書等	辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）



科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	短仏1・2選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの（チベット人の著作）を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

開講日初日に指示するので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教美術	まつだ せい いちろう 松田誠一郎	短仏1・2選	4

講義のねらい

日本彫塑史Ⅰ・飛鳥時代：日本彫塑史に関する諸問題について、近年の研究動向を視野に入れながら詳しく解説する。今年は、飛鳥時代（仏教伝来以後、平城遷都まで）を取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】		【後期】	
第1回	飛鳥前期彫塑の概観	第1回	飛鳥後期彫塑の概観
第2～3回	飛鳥大仏	第2回	野中寺の弥勒菩薩像
第4～6回	法隆寺金堂の釈迦三尊像	第3回	法輪寺のクス材製木彫像
第7回	止利派の金銅仏	第4回	法隆寺再建と童顔童形像
第8～9回	法隆寺夢殿の救世観音像	第5～7回	山田寺仏頭と薬師寺本尊
第10～11回	法隆寺百済観音像	第8～9回	塑像と乾漆像
第12回	法隆寺四天王像	第10回	埴仏と押出仏
第13～15回	進度調整のための予備日	第11～12回	広隆寺と中宮寺の半跏像
		第13～15回	進度調整のための予備日

履修上の留意点

- ①単位取得のためには、授業日数の60%以上の出席を必要とする。
- ②休日に東京国立博物館の法隆寺宝物館を見学したり、夏休みに奈良・京都の古寺を訪れてみるなど、飛鳥仏に接する機会を積極的につくるよう努力すること。

成績評価の方法

後期末にレポートを課して評価する。

参考書等

水野敬三郎・関口欣也・大西修也編『法隆寺から薬師寺へ』（『日本美術全集』第2巻 飛鳥・奈良の建築・彫刻）1990年（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 始 仏 教	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教の源泉を原始仏教という。大乘であれ小乗であれ、そのすべては後代の呼び名に過ぎず、いずれの考えも原始仏教から出発している。釈尊が示されたものは、縁起、四諦の教え、あるいは無常・苦・無我という三相の見方であった。戒律を保ちまもることに始まり、少欲知足の生活をつねに教え導かれた。そこには智慧と慈悲の教えがあるのみで、何ら飾りは見られない。本講義では、このような原始仏教の教えを具体的に示し、またこの教えを通して「仏教」とは何かを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、仏伝を紹介し、縁起・四諦などの基本的思想について、後期は、中道ないし戒律の実践について見ることにする。

履修上の留意点

受講生は、まず、従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始仏典を直接読むことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

参考資料は適宜指示する。

その他

随時、資料プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 史	は せ べ はち ろう 長 谷 部 八 朗	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
浄土学概論	ひろ かわ たか とし 廣 川 堯 敏	短仏1・2選	4

講義のねらい

従来の伝統的立場からではなく、新たな比較思想論の視点から、法然浄土教に光をあてて、その教学上の諸問題を解明したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず法然房源空の生涯とその著作解題、および浄土宗＝祖聖光・三祖良忠の伝記について概論的な説明をした上で、法然における宗教心の開発と発展・人間観・神秘体験・阿弥陀仏観・自力他力論・選択思想・念仏の現代的意義・罪悪観・浄土教倫理等の諸問題について順次講述したい。

履修上の留意点

法然の伝記について基礎的な知識を持った上で受講すること。

成績評価の方法

レポート、出席点、受講態度等を総合して判定する。

教科書

毎回プリントを用意する。

参考書等

諸戸素純『法然上人の現代的理解』S.39（知恩院浄土宗学研究所）、高橋弘次『法然浄土教の諸問題』H.6再刊（山喜房）、藤本浄彦『法然浄土教思想論攷』S.63（平楽寺書店）、田村円澄『法然』S.34（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
真言学概論	ひろ さわ たか ゆき 廣 澤 隆 之	短仏1・2選	4

講義のねらい

真言密教の基本的理解をめざす。空海を中心として、日本における真言密教の展開を考察する。基礎的概念を理解することを目標とするが、さらに思想としての仏教のありかたを考察する。道元禅師の思想とも結びつけ、日本における仏教の基層的なありかたや特質を考えてみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

(キーワードを中心とする)

- ①インド仏教史における大乘と密教  
仏教における密教的特徴、ヒンドゥー神話と仏教、大乘仏教における陀羅尼、仏陀観、マンダラ、瑜伽行(ヨーガ)、チベットへの伝播
- ②中国における密教  
密教の訳経、唐代の密教の隆盛、国家と真言密教、不空三蔵と惠果阿闍梨
- ③空海の思想  
著作について、教判論(密教と顯教との対比)、十住心思想、即身成仏思想、言語観、救済論
- ④日本における真言密教の展開  
古代宗教の呪術性とアニミズム、言霊信仰、奈良時代～平安初期の仏教、護国思想、山岳仏教、平安末期の仏教、加持祈祷、真言密教と浄土教、覚鑿の思想、真言宗の分派、
- ⑤密教的思想と現代思想  
近代主義と仏教研究、真言密教はなぜ嫌われたか? 真言密教はカルト教団に近いか? 近代～現代の思想とどのように真言密教は関わるか?

履修上の留意点

授業中に私語した者は即座に退室させる(学習意欲のある学生の迷惑になる行為を厳禁する)。

成績評価の方法

学生の出席状況・履修態度を勘案して学年末に発表。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

講義形式(教科書を使用しないので、きちんとノートを作成すること)。

発行者：駒澤短期大学